

# 学校施設のあり方に関する市民アンケート 報告書（速報版）

令和2年 9月

上尾市 教育委員会

## < 目 次 >

<b>第1章 調査の概要</b> .....	- 1 -
1. 調査の目的 .....	- 1 -
2. 調査の対象 .....	- 1 -
3. 調査の方法 .....	- 1 -
4. 調査期間 .....	- 1 -
5. 調査機関 .....	- 1 -
6. 回収結果 .....	- 1 -
7. 報告書の見方・留意点 .....	- 1 -
<b>第2章 調査の結果</b> .....	- 2 -
1. 学校に対する考え方 .....	- 2 -
2. 学校施設の適正規模・適正配置 .....	- 8 -
3. これからの学校施設のあり方について .....	- 15 -
4. 新しい学校の活用方法について .....	- 28 -
5. 新しい学校教育について .....	- 36 -
6. 今後の学校施設のあり方を検討する方法について .....	- 40 -
7. 上尾市の学校施設全般に関する意見 .....	- 45 -
8. 回答者の属性 .....	- 57 -
<b>参考：中学校区ごとのクロス集計結果</b> .....	- 61 -

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

上尾市では、児童生徒数の減少が進んでおり、小学校児童数はピーク時(昭和 55 年)に約 23,000 人、中学校生徒数はピーク時(昭和 61 年)に約 11,000 人の生徒がいましたが、現在では半数程度となっています。

また、学校施設としては、ピーク時の児童生徒数を迎えるために設立した校舎も約 70%が建築後 40 年以上を経過していることから、将来を見据えた更新計画の策定が必要となっています。

そうした中、上尾市では、市全体の公共施設を整備する観点で「上尾市公共施設等総合管理計画」と「上尾市個別施設管理基本計画」を策定しており、学校施設についても、個別の『上尾市学校施設更新計画』を策定する予定です。

この計画の策定に当たり、今後の参考資料とすることを目的に本調査を実施しました。

### 2. 調査の対象

令和 2 年 5 月 1 日時点において、上尾市に居住しており、平成 2 6 年 4 月 2 日以降に生まれたお子様がいる方を対象に、無作為に 1,500 名を抽出。

### 3. 調査の方法

郵送配布・郵送回収

### 4. 調査期間

令和 2 年 7 月 9 日(木)～7 月 2 6 日(日)

### 5. 調査機関

上尾市教育委員会(教育総務部 教育総務課)が実施。

(※集計業務は八千代エンジニアリング株式会社に委託)

### 6. 回収結果

発送数(通) :	1,500 通
回収数(通) :	623 通
回収率(%) :	41.5%

### 7. 報告書の見方・留意点

- ① 集計した数値(%)は、小数点以下第 2 位を四捨五入して表示しています。したがって、各項目の構成比の合計は、必ずしも 100%にならない場合があります。
- ② 回答者数を母数として計算しているため、複数回答の場合は、各選択肢の数値を合計すると 100%を超える場合があります。
- ③ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。

## 第2章 調査の結果

### 1. 学校に対する考え方

問1 お子さんが今後学校に通う際に、最も身に付けさせたいこと [当てはまる上位3つ]

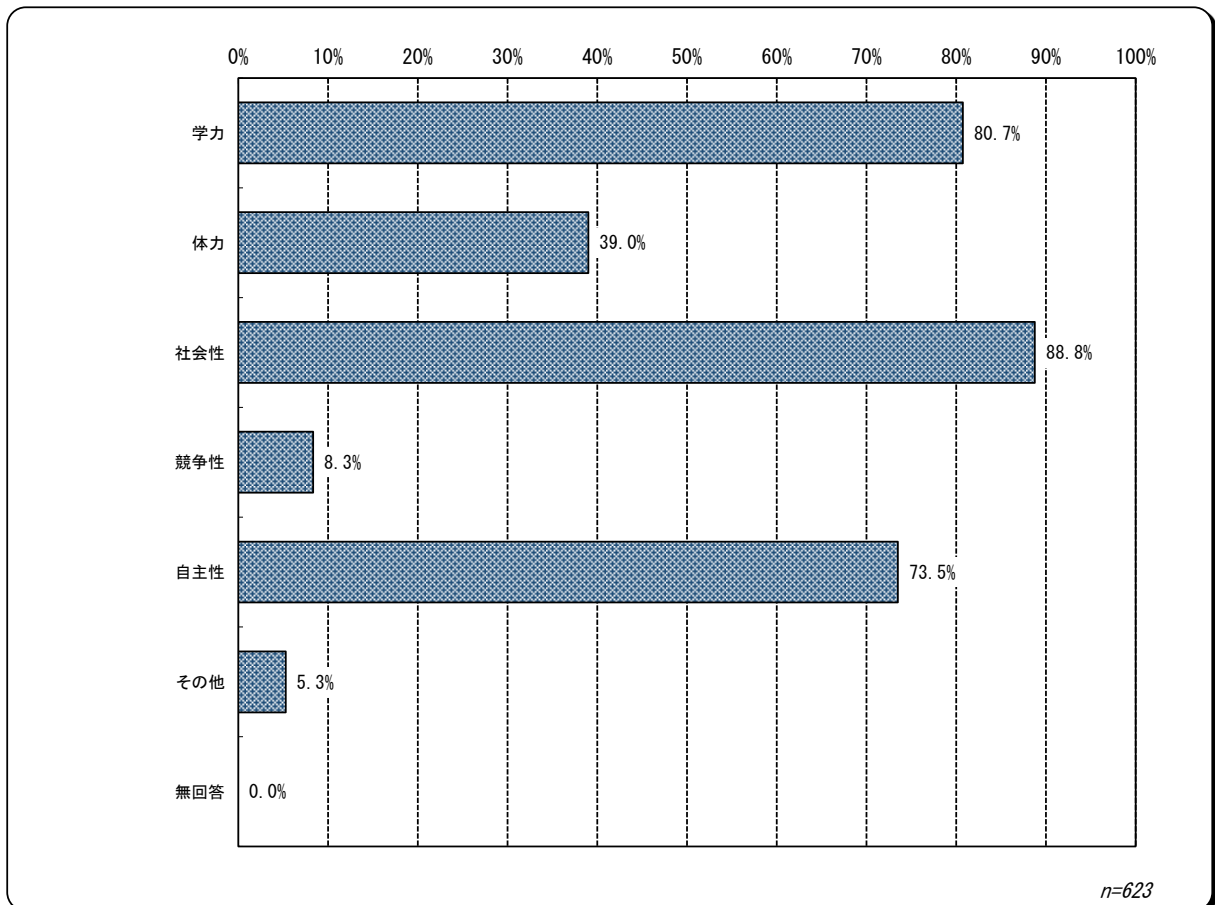
- 「お子さんが今後学校に通う際に、最も身に付けさせたいこと」に対する回答としては、「社会性（88.8%）」が最も多く、次いで「学力（80.7%）」、「自主性（73.5%）」となっています。

(複数回答)

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

学力	体力	社会性	競争性	自主性	その他	無回答	合計
503	243	553	52	458	33	0	623
80.7	39.0	88.8	8.3	73.5	5.3	0.0	100.0

※3つ以上選択された回答を含む



【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】

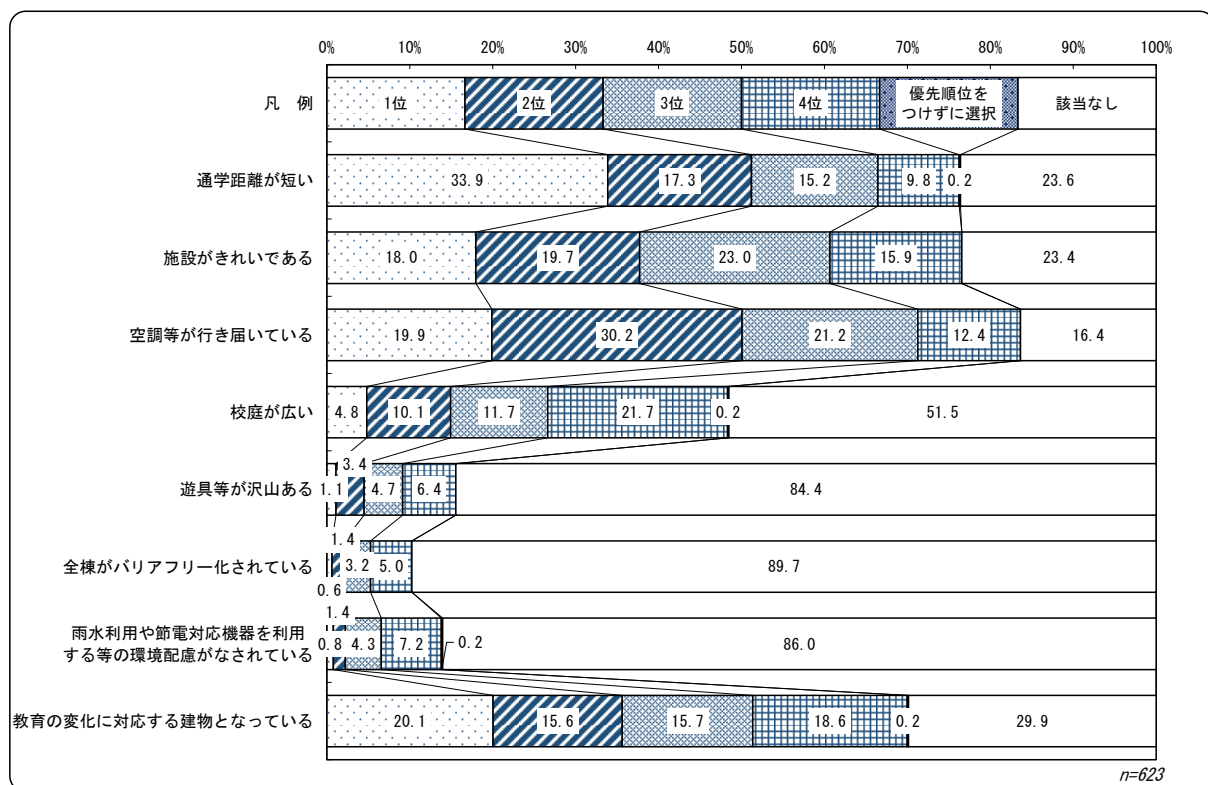
協調性（7件）
道徳（2件）
友情（2件）
独創性（2件）
探求心（2件）
想像力
思考力
自己肯定感
勉強の仕方、物事の考え方
思いやり
読解力
自身の発見
モラル
学ぶ事の楽しさ
人間性
常識
支配力
やりたいこと、楽しいことを見つけてほしい
学びへの意欲興味
自立心
主体性
質問力

問2 学校施設に求めるもの（ハード面） [上位4番目までの優先順位]

- 「学校施設に求めるもの（ハード面）」の1位として最も多かった回答は、「通学距離が短い」でした。
- また、「施設がきれいである」「空調等が行き届いている」「教育の変化に対応する建物となっている」の選択肢についても、上位4番目までに選択する回答者が多くなっています。

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	211 33.9	108 17.3	95 15.2	61 9.8	1 0.2	147 23.6	623 100.0
施設がきれいである	112 18.0	123 19.7	143 23.0	99 15.9	0 0.0	146 23.4	623 100.0
空調等が行き届いている	124 19.9	188 30.2	132 21.2	77 12.4	0 0.0	102 16.4	623 100.0
校庭が広い	30 4.8	63 10.1	73 11.7	135 21.7	1 0.2	321 51.5	623 100.0
遊具等が沢山ある	7 1.1	21 3.4	29 4.7	40 6.4	0 0.0	526 84.4	623 100.0
全棟がバリアフリー化されている	4 0.6	9 1.4	20 3.2	31 5.0	0 0.0	559 89.7	623 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	5 0.8	9 1.4	27 4.3	45 7.2	1 0.2	536 86.0	623 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	125 20.1	97 15.6	98 15.7	116 18.6	1 0.2	186 29.9	623 100.0

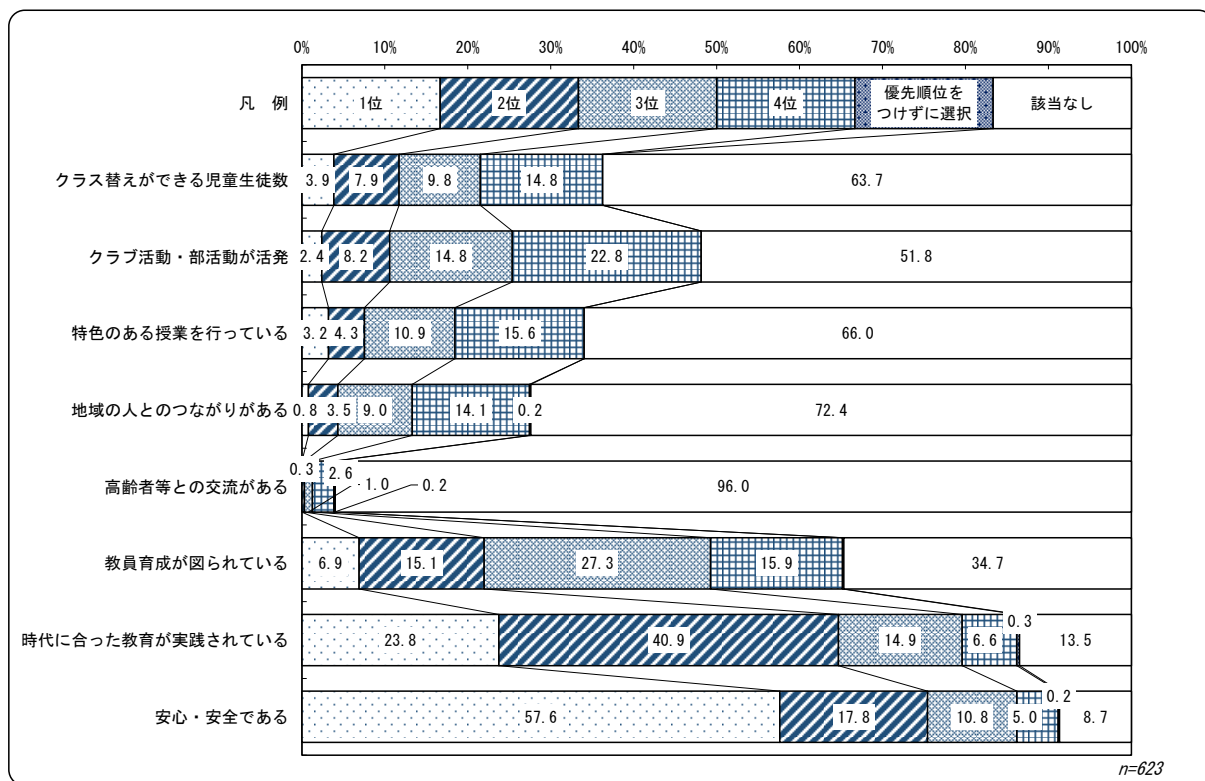


問3 学校施設に求めるもの（ソフト面） [上位4番目までの優先順位]

- 「学校施設に求めるもの（ソフト面）」の1位として最も多かった回答は、「安心・安全である」でした。
- また、「クラブ活動・部活動が活発」「教員育成が図られている」「時代に合った教育が実践されている」の選択肢についても、上位4番目までに選択する回答者が多くなっています。

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	24 3.9	49 7.9	61 9.8	92 14.8	0 0.0	397 63.7	623 100.0
クラブ活動・部活動が活発	15 2.4	51 8.2	92 14.8	142 22.8	0 0.0	323 51.8	623 100.0
特色のある授業を行っている	20 3.2	27 4.3	68 10.9	97 15.6	0 0.0	411 66.0	623 100.0
地域の人とのつながりがある	5 0.8	22 3.5	56 9.0	88 14.1	1 0.2	451 72.4	623 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	2 0.3	6 1.0	16 2.6	1 0.2	598 96.0	623 100.0
教員育成が図られている	43 6.9	94 15.1	170 27.3	99 15.9	1 0.2	216 34.7	623 100.0
時代に合った教育が実践されている	148 23.8	255 40.9	93 14.9	41 6.6	2 0.3	84 13.5	623 100.0
安心・安全である	359 57.6	111 17.8	67 10.8	31 5.0	1 0.2	54 8.7	623 100.0



問4 通う学校を選択できるようになった場合に、学校を選ぶ上で重要なこと

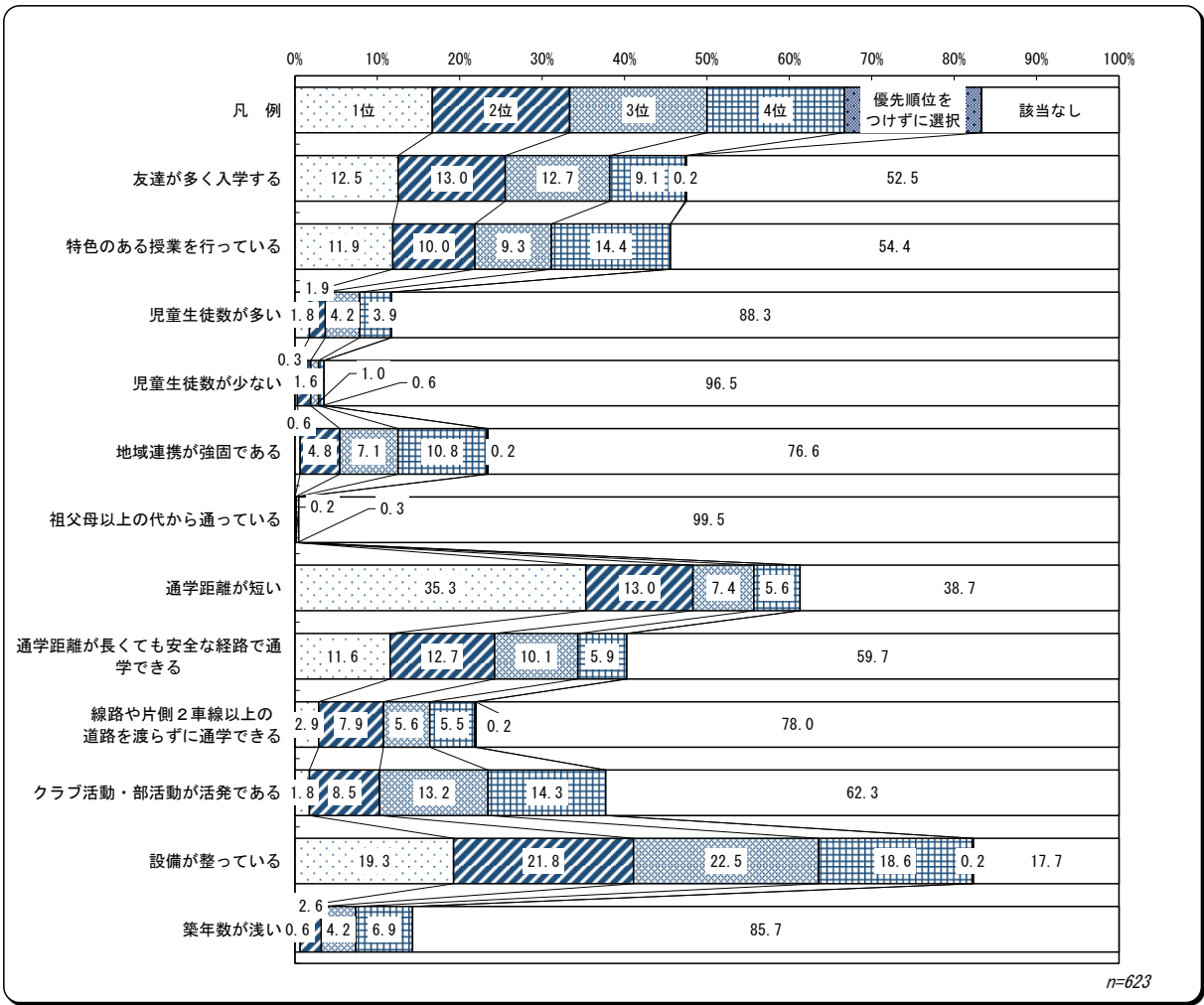
[上位4番目までの優先順位]

- 「通う学校を選択できるようになった場合に、学校を選ぶ上で重要なこと」の1位として最も多かった回答は、「通学距離が短い」でした。
- また、「友達の多くが入学する」「特色のある授業を行っている」「設備が整っている」の選択肢についても、上位4番目までに選択する回答者が多くなっています。

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
友達が多く入学する	78 12.5	81 13.0	79 12.7	57 9.1	1 0.2	327 52.5	623 100.0
特色のある授業を行っている	74 11.9	62 10.0	58 9.3	90 14.4	0 0.0	339 54.4	623 100.0
児童生徒数が多い	11 1.8	12 1.9	26 4.2	24 3.9	0 0.0	550 88.3	623 100.0
児童生徒数が少ない	2 0.3	10 1.6	6 1.0	4 0.6	0 0.0	601 96.5	623 100.0
地域連携が強固である	4 0.6	30 4.8	44 7.1	67 10.8	1 0.2	477 76.6	623 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	1 0.2	2 0.3	0 0.0	620 99.5	623 100.0
通学距離が短い	220 35.3	81 13.0	46 7.4	35 5.6	0 0.0	241 38.7	623 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学できる	72 11.6	79 12.7	63 10.1	37 5.9	0 0.0	372 59.7	623 100.0
線路や片側2車線以上の道路を渡らずに通学できる	18 2.9	49 7.9	35 5.6	34 5.5	1 0.2	486 78.0	623 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	11 1.8	53 8.5	82 13.2	89 14.3	0 0.0	388 62.3	623 100.0
設備が整っている	120 19.3	136 21.8	140 22.5	116 18.6	1 0.2	110 17.7	623 100.0
築年数が浅い	4 0.6	16 2.6	26 4.2	43 6.9	0 0.0	534 85.7	623 100.0





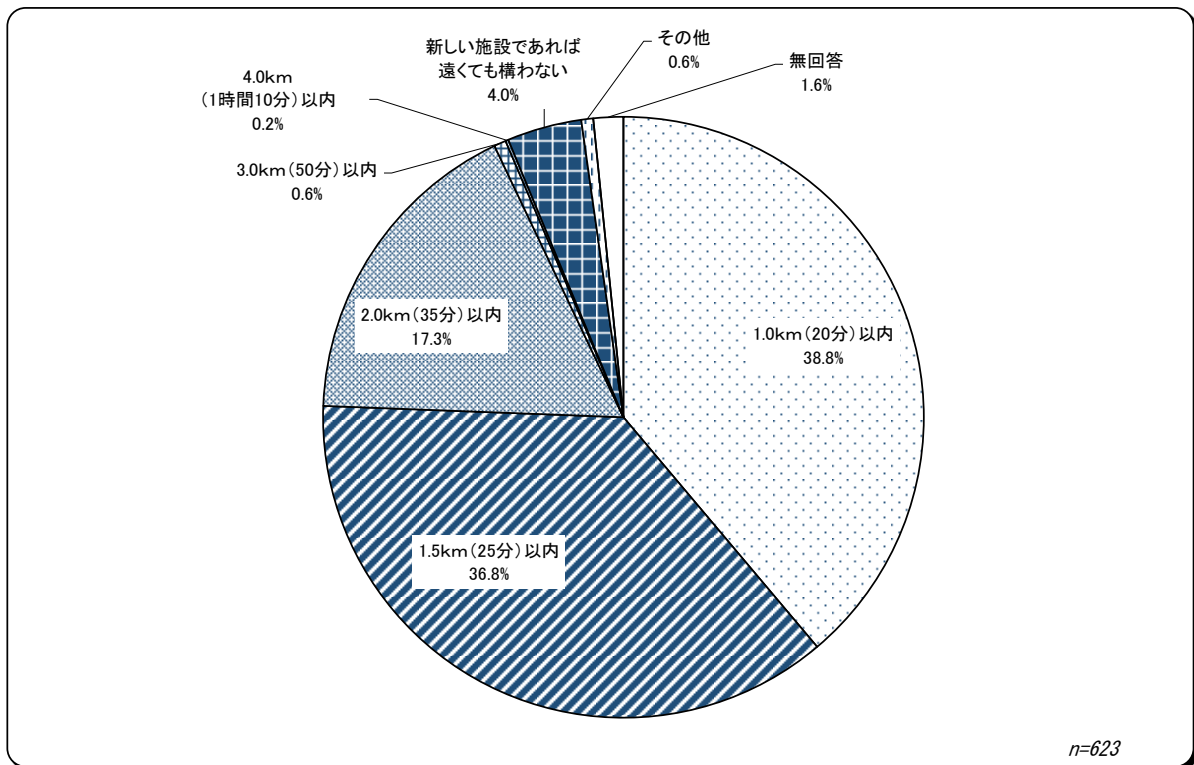
## 2. 学校施設の適正規模・適正配置

### 問5-1 小学生の通学距離として上限と思われる距離

- 「小学生の通学距離として上限と思われる距離」に対する回答としては、「1.0km (20分) 以内 (38.8%)」が最も多く、次いで「1.5km (25分) 以内 (36.8%)」、「2.0km (35分) 以内 (17.3%)」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

1.0km (20分) 以内	1.5km (25分) 以内	2.0km (35分) 以内	3.0km (50分) 以内	4.0km (1時間10分) 以内	新しくても構わなければ遠くても構わない	その他	無回答	合計
242	229	108	4	1	25	4	10	623
38.8	36.8	17.3	0.6	0.2	4.0	0.6	1.6	100.0



#### 【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】

学年に応じ異なると考えます。低学年は 1.0km、高学年は 2.0km 程度。

10 分以内。

特になし。

夏の時期は 20 分より短いほうが良い、熱中症が心配。

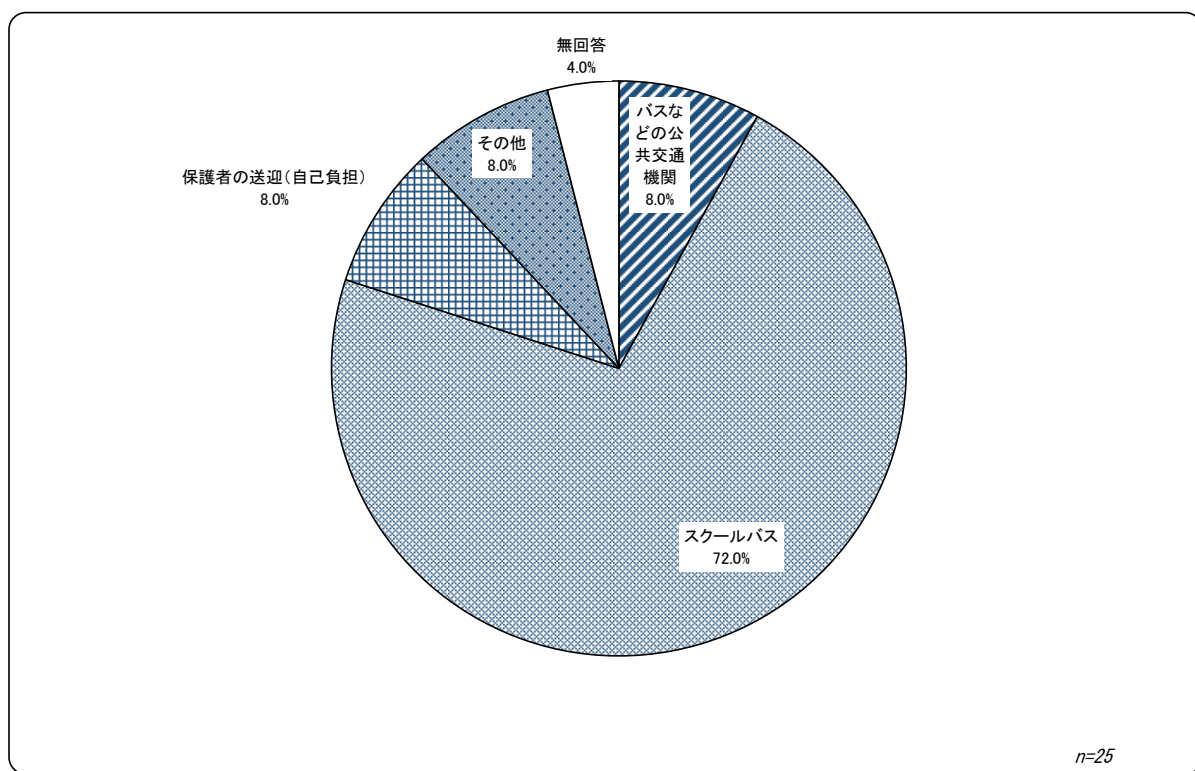
### 問5-2 小学生の通学する場合の手段

※「問5-1」で「新しい施設であれば遠くても構わない」を選択された方のみ回答

- 「小学生の通学する場合の手段」に対する回答としては、「スクールバス（72.0%）」が最も多く、次いで「バスなどの公共交通機関（8.0%）」及び「保護者の送迎（自己負担）（8.0%）」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

手段	回答数	構成比（%）
徒歩（通学班編成）	0	0.0
バスなどの公共交通機関	2	8.0
スクールバス	18	72.0
保護者の送迎（自己負担）	2	8.0
その他	2	8.0
無回答	1	4.0
合計	25	100.0



#### 【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】

低学年は保護者の送迎、高学年は徒歩（通学班編成）や公共交通機関へ変化。

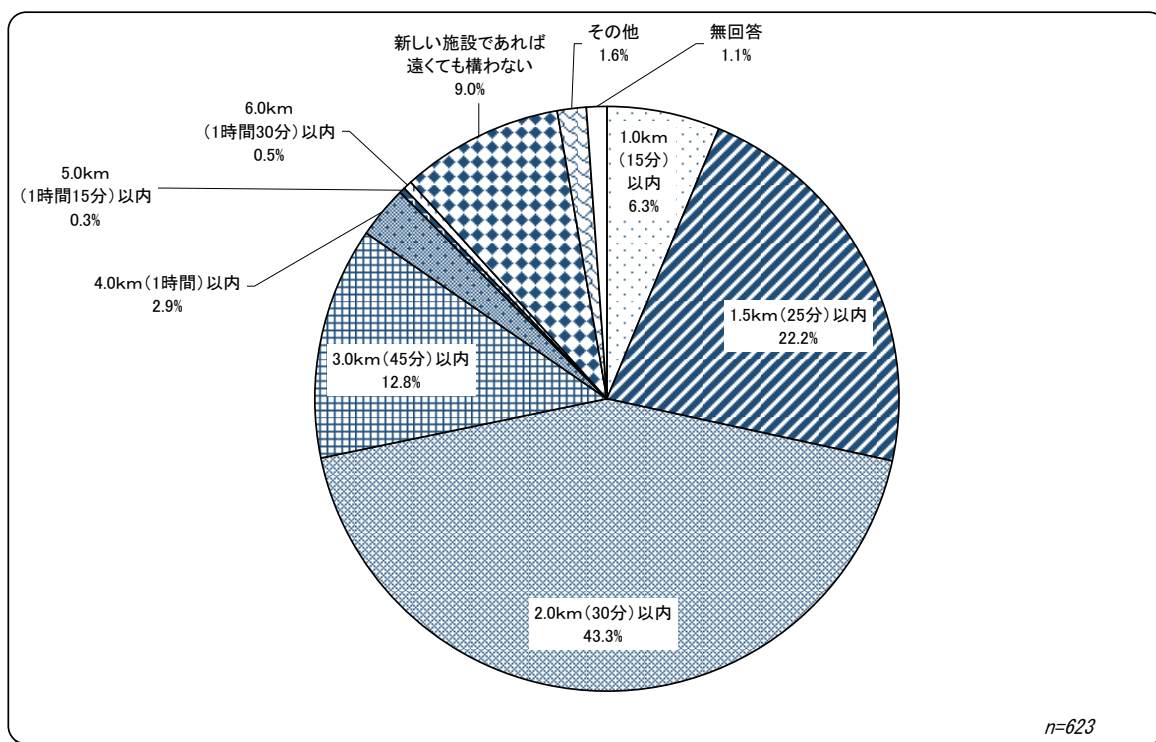
公共交通機関の一部の座席を学校専用とするなど。

問6-1 中学生の通学距離として上限と思われる距離

- 「中学生の通学距離として上限と思われる距離」に対する回答としては、「2.0km (30分) 以内 (43.3%)」が最も多く、次いで「1.5km (25分) 以内 (22.2%)」、「3.0km (45分) 以内 (12.8%)」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

1.0km (15分) 以内	1.5km (25分) 以内	2.0km (30分) 以内	3.0km (45分) 以内	4.0km (1時間) 以内	5.0km (1時間15分) 以内	6.0km (1時間30分) 以内	新しい施設であれば遠くても構わない	その他	無回答	合計
39	138	270	80	18	2	3	56	10	7	623
6.3	22.2	43.3	12.8	2.9	0.3	0.5	9.0	1.6	1.1	100.0



【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】

私立か公立かによる。
中学は自転車通学可なので、その適応距離を 2.0km 以上から 1.5km 以上にしてくれるなら、2.0km 以内でも良いと思う。
10 分以内。
特になし。
2km 以上は自転車通学できれば 4km 以内。
子どもにあっていない学校であれば距離は関係ない。
自転車利用可能な距離を短くしてほしい。
2km 以上は自転車。
自転車利用可能だと 30 分圏内。
徒歩及び自転車でそれぞれ 40 分以内程度。

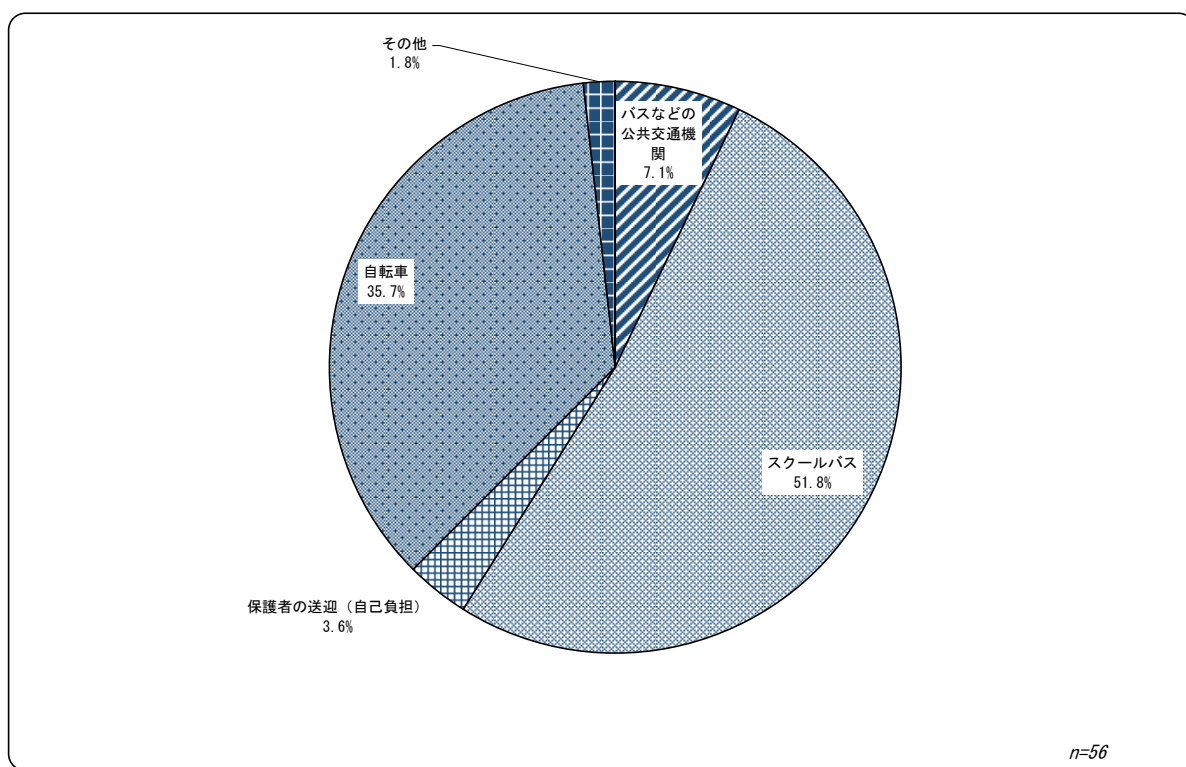
## 問6-2 中学生の通学する場合の手段

※「問6-1」で「新しい施設であれば遠くても構わない」を選択された方のみ回答

- 「中学生の通学する場合の手段」に対する回答としては、「スクールバス（51.8%）」が最も多く、次いで「自転車（35.7%）」、「バスなどの公共交通機関（7.1%）」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

手段	回答数	構成比（%）
徒歩	0	0.0
バスなどの公共交通機関	4	7.1
スクールバス	29	51.8
保護者の送迎（自己負担）	2	3.6
自転車	20	35.7
その他	1	1.8
無回答	0	0.0
合計	56	100.0



### 【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】

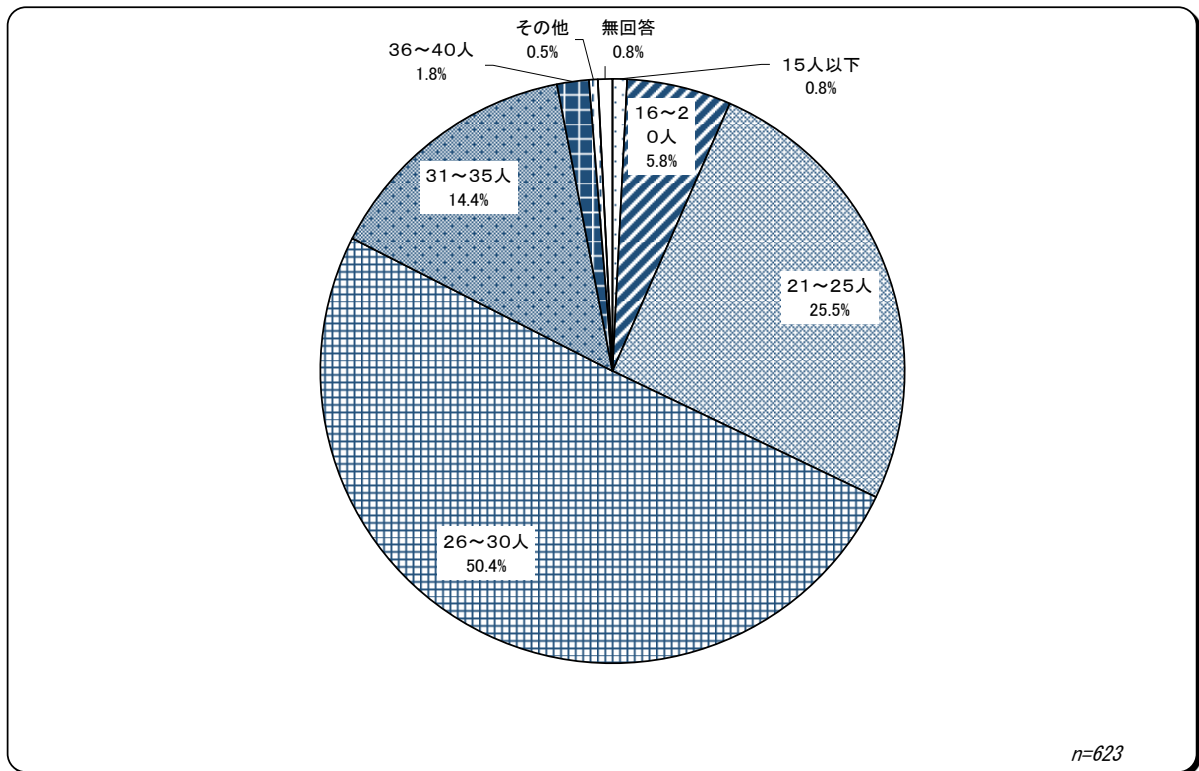
自転車または、公共交通機関の一部の座席を学校専用とするなど。

問7 1学級当たりの適正なクラス人数

- 「1学級当たりの適正なクラス人数」に対する回答としては、「26～30人（50.4%）」が最も多く、次いで「21～25人（25.5%）」、「31～35人（14.4%）」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

15人以下	16～20人	21～25人	26～30人	31～35人	36～40人	その他	無回答	合計
5	36	159	314	90	11	3	5	623
0.8	5.8	25.5	50.4	14.4	1.8	0.5	0.8	100.0



【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】

教員と学校による。

クラス人数より1クラスを何人で担当するかで考えるべき。

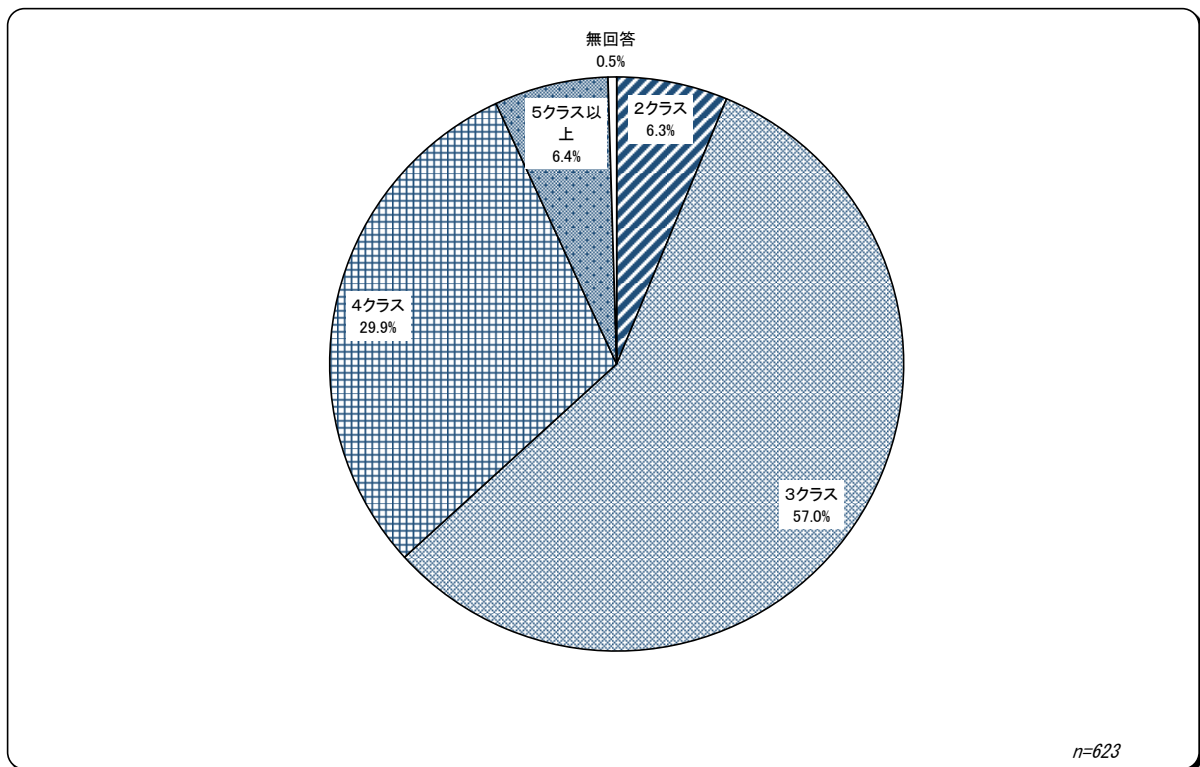
30～40人。

問8 1学年当たりの適正と考える小学校のクラス数

- 「1学年当たりの適正と考える小学校のクラス数」に対する回答としては、「3 クラス (57.0%)」が最も多く、次いで「4 クラス (29.9%)」、「5 クラス以上 (6.4%)」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

1 ク ラ ス	2 ク ラ ス	3 ク ラ ス	4 ク ラ ス	5 ク ラ ス 以 上	無 回 答	合 計
0	39	355	186	40	3	623
0.0	6.3	57.0	29.9	6.4	0.5	100.0

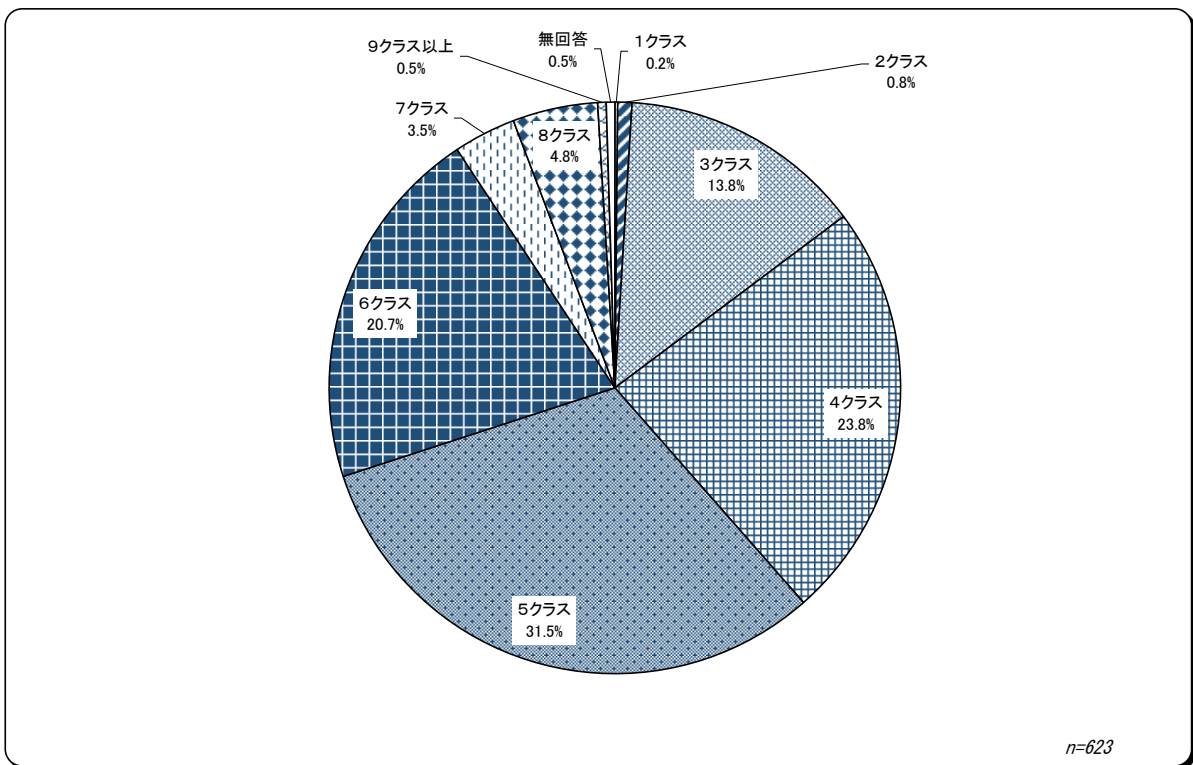


問9 1学年当たりの適正と考える中学校のクラス数

- 「1学年当たりの適正と考える中学校のクラス数」に対する回答としては、「5 クラス (31.5%)」が最も多く、次いで「4クラス (23.8%)」、「6クラス (20.7%)」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

1 ク ラ ス	2 ク ラ ス	3 ク ラ ス	4 ク ラ ス	5 ク ラ ス	6 ク ラ ス	7 ク ラ ス	8 ク ラ ス	9 ク ラ ス 以 上	無 回 答	合 計
1	5	86	148	196	129	22	30	3	3	623
0.2	0.8	13.8	23.8	31.5	20.7	3.5	4.8	0.5	0.5	100.0





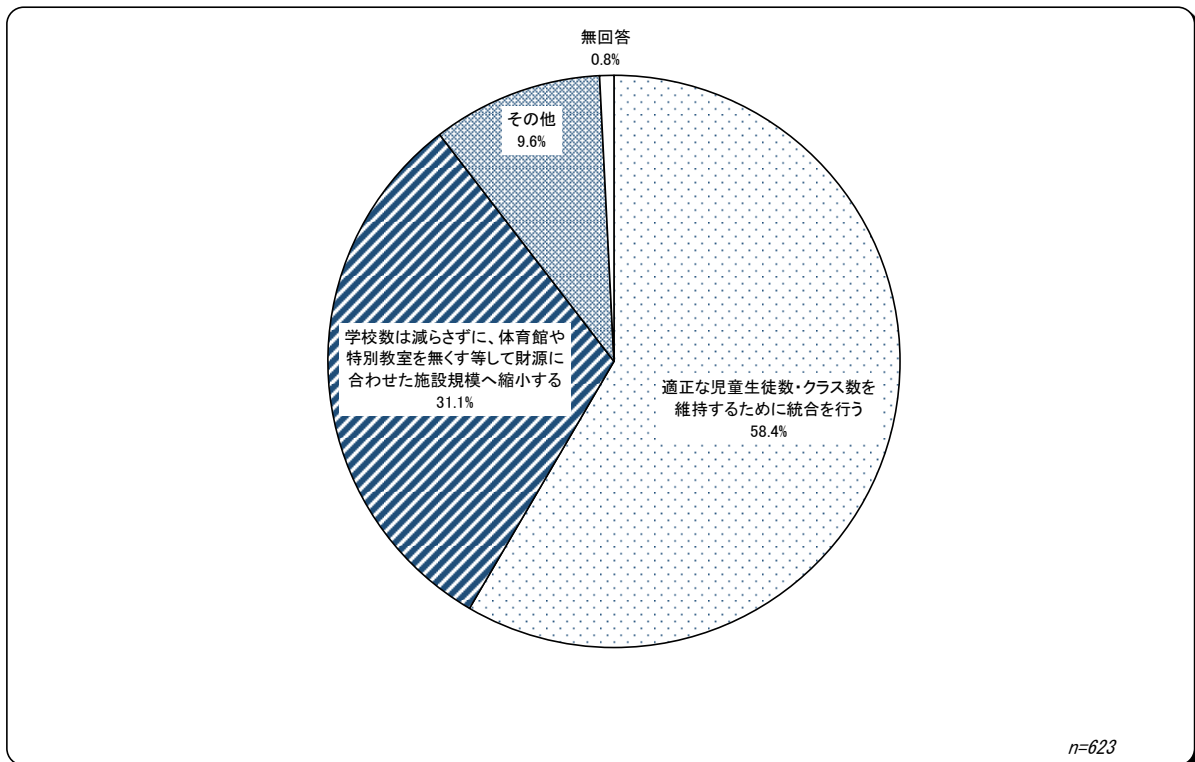
### 3. これからの学校施設のあり方について

問10-1 35年後を見据えたとき、上尾市の学校施設としてどうしていくことが望ましいか

- 「35年後を見据えたときに、上尾市の学校施設としてどうしていくことが望ましいか」に対する回答としては、「適正な児童生徒数・クラス数を維持するために統合を行う（58.4%）」が最も多く、次いで「学校数は減らさずに、体育館や特別教室を無くす等して財源に合わせた施設規模へ縮小する（31.1%）」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

持適 する 正 な 児 童 生 徒 数 ・ ク ラ ス 数 を 維 持 す る た め に 統 合 を 行 う	せ 別 学 校 施 設 規 模 を 無 く す 等 し て 財 源 に 合 わ せ た 施 設 規 模 へ 縮 小 す る	そ の 他	無 回 答	合 計
364	194	60	5	623
58.4	31.1	9.6	0.8	100.0



**【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】**

<b>余裕空間の活用</b>
空き教室を使い、様々な分野の事を体験させる。
校舎によっては児童の安全に配慮し、高齢者向けの教室などを利用して施設の維持費等を賄う。
民間の業者等と連携し、空き教室を有効活用する。
学校数は減らさず空き施設をリフォームし、地域活動やビジネス施設（オフィス、ミーティングスペース等）として貸し出す、若しくは分譲する。
空いている場所、教室等を一般に貸し出し、費用を徴収する。
空き教室などを地域の人たちも使えるようにする。
地域企業と連携し、空き教室でのワークや社会勉強を行い、産学連携を図る。
企業への貸し出し、児童支援機関、行政機関等の事務所としての活用、特別支援学校等への通学が遠いことで困難な方への教室としての活用や空いた教室を有効活用することで財源をプラスにする工夫をすれば良いと考える。
有料などで空き教室等を貸してみる。
空き教室を貸し出せばよい（老人会、婦人会、オフィス、倉庫等）。
学校内施設の余剰分を貸し出すなどの財源確保。
民間の企業とワークシェアリングを行ったらどうか？習字、ソロバン等。
空き教室でクラブ活動や課外活動等、有効に使用する。
学校数は減らさず、行政の倉庫として利用。
<b>施設規模の見直し</b>
学校数は減らさず、オンラインの授業や民間施設と協力して特別授業を行い、施設規模を縮小する。若しくは小規模校学区はスクールバスを使い他校と統合する。
学校数は減らさずに教室数や学級の広さを縮小していく（体育館は必要と考える）。
基本的には「数」よりも「規模縮小」だと考えるが、まずその前提に上尾市がどこを目指すかによる。
学校数は減らさずに体育館や特別教室を小規模にする。避難所など他の施設との併用・転用の方向性を模索するなど子どもたちの安全を確保しつつ、限りある財源を有効活用できるように整備してほしい。
教室は残して体育館、グラウンドは複数校で共有してはどうか。
統合をしたら遠い子どもも出てくる。体育館は必ずないといけない。理由は運動する場所、避難場所にもなるから特別教室も言語教室など必要な教室、それ以外で使わない教室のみ縮小するなら良し、「学校数は減らさずに、体育館や特別教室を無くす等して財源に合わせた施設規模へ縮小する」の考え方が全く理解できない。
教育の質の維持、向上ができる規模にする。学校数ありきでは考えたくありません。
<b>統合・小中一貫教育導入の検討</b>
小学校はそのまま、中学校は統合。
統合してバス通学。
統合し、空き施設を民間に売却。
小中を一貫にする。小中それぞれを統合すると通学の距離が延びてしまうので。
小中一貫校や待機児童を減少させるため、保育所に転用する。
小学校と中学校を併設。小学校の中に中学校を作る（小中一貫校）。
全体の学校総数を維持した上で小中学校を同じ学区に統廃合し、小中一貫教育化する。
学校数を減らすのは賛成だが、それによって浮いた費用をどのように使うか気になる。あとあまりに減らすとどうしても通学路の距離が延びるのが、かわいそう。

<b>学区調整・学校の選択</b>
学区を変更して、適正な人数になるようにする。
学区の範囲を見直し、現在の学校数のまま適正に子どもの人数を調整する。場合によっては統合もあり。大石地区は新設も考慮すべき。
学校数を減らさず学校を選べること。
<b>その他</b>
小学校は学童クラブ、中学校は地域の為、社会の為に役立たせるべき。
学校を災害拠点としての活用を視野に入れて改修していく事が必要だと思います。
統合も検討しつつ、災害時の対応もしてほしい。
数十年後を見据えるのであれば学校の縮小などは行わず税金を投じて第一に教育関連を盛り上げていくのが望ましい。多額の税金で図書館移設などしないで適正に税金を回せば良い。小中学校の評判が上がりファミリー層が上尾市に流入してくれば将来の税収も見込める。
小学校2クラス、中学校4クラスくらい。
建物の老朽化を考慮し、適正数に一新すべき。
学年施設でも利益を出せる仕組みを作って学校数、施設を維持する。
施設がとにかく古い、メンテナンスをお願いします。
学校は避難所としても利用されるので数を減らすべきではない。本来の学校としての機能+ $\alpha$ の施設として何かできることがあるはず。
避難場所も考えることやその学校でイジメにあった場合、学校を換える（転校）する選択肢を減らしてほしい。
子ども達の為にお金をもっとかけて対応して下さい。
子どもが減ることだけを想定せず、子どもが増えるような子育て支援を考えて、子どもが育てやすい地域にして下さい。
子どもを増やすべきである。
児童数を増やす努力をする。
他の財源を確保する案を考える。
できるだけ学校数は減らさずに、体育館や特別教室を無くす等して財源に合わせた施設規模へ縮小する、無理なら適正な児童生徒数・クラス数を維持するために統合を行う（特別支援教室を増やすなど）。
生徒が減ろうが部屋が空こうが子どものことを一番に考えてほしい。コストや空き部屋のことなど親が考えることではない。
良い考えは思い浮かびませんが、どちらも望ましいとは感じません。
35年後、孫の世代の事だと思う。お金がないから管理できないから減らすのではなく、国が教育に対してお金を出すように変えていくべきだと思う。学校の維持管理は業務委託（清掃監視カメラ等）、ICT技術者、スポ指導者等を利用していくべき。
財源的には統合が合理的だが、現状を見るとこれ以上通学の距離が延びる事は子どもの安全性から考えると統合はやめるべきです。登下校時の犯罪を防ぐため、スクールバスは海外では一般的です。子どもの安全を確保した上での統合でないと市民は納得しません。
分からない。少し減らしてもいいと思う。
緊縮財政ありきの恣意的な内容であるため答えられない。
生徒にとって何がいいのかまだわからない。
そもそも何が適正。
不明。

問10-2 統合を行う場合、35年後の学校数ほどの程度が良いか

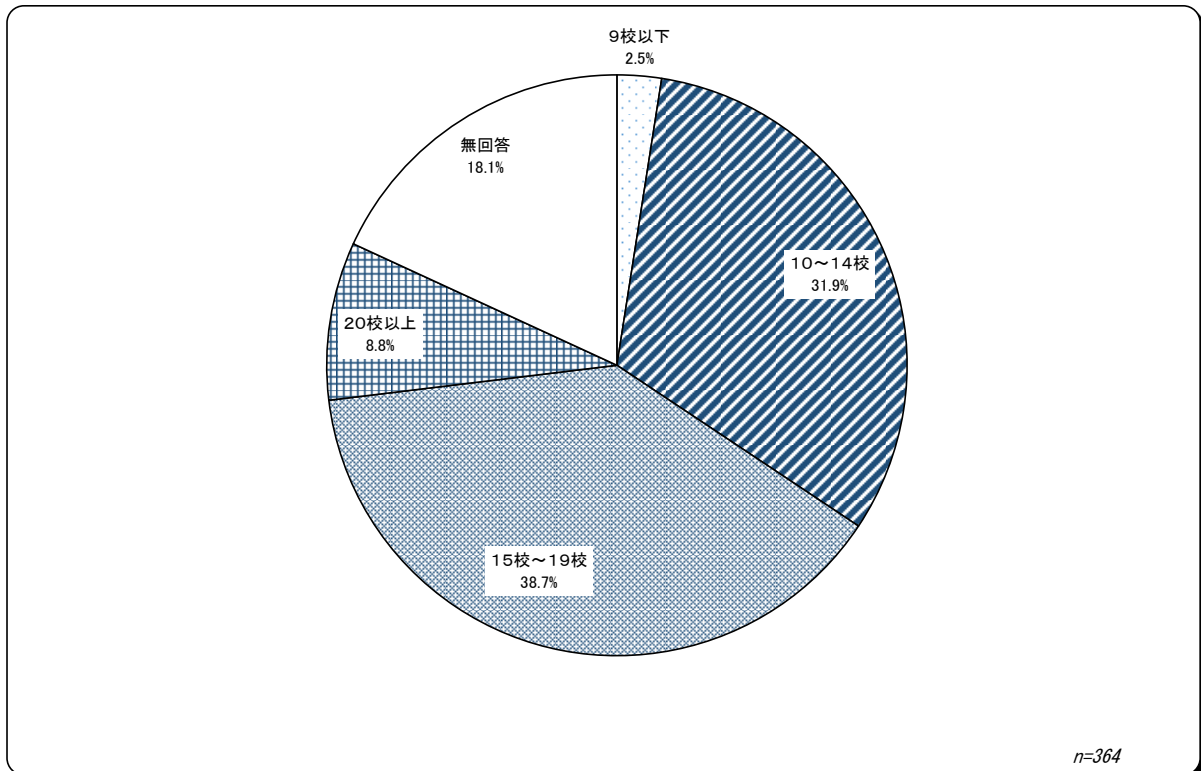
※「問10-1」で「適正な児童生徒数・クラス数を維持するために統合を行う」を選択された方のみ回答

【小学校（現在22校）】

●「統合を行う場合、35年後の学校数ほどの程度が良いか（小学校）」に対する回答としては、「15校～19校（38.7%）」が最も多く、次いで「10校～14校（31.9%）」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

9校以下	10～14校	15校～19校	20校以上	無回答	合計
9	116	141	32	66	364
2.5	31.9	38.7	8.8	18.1	100.0

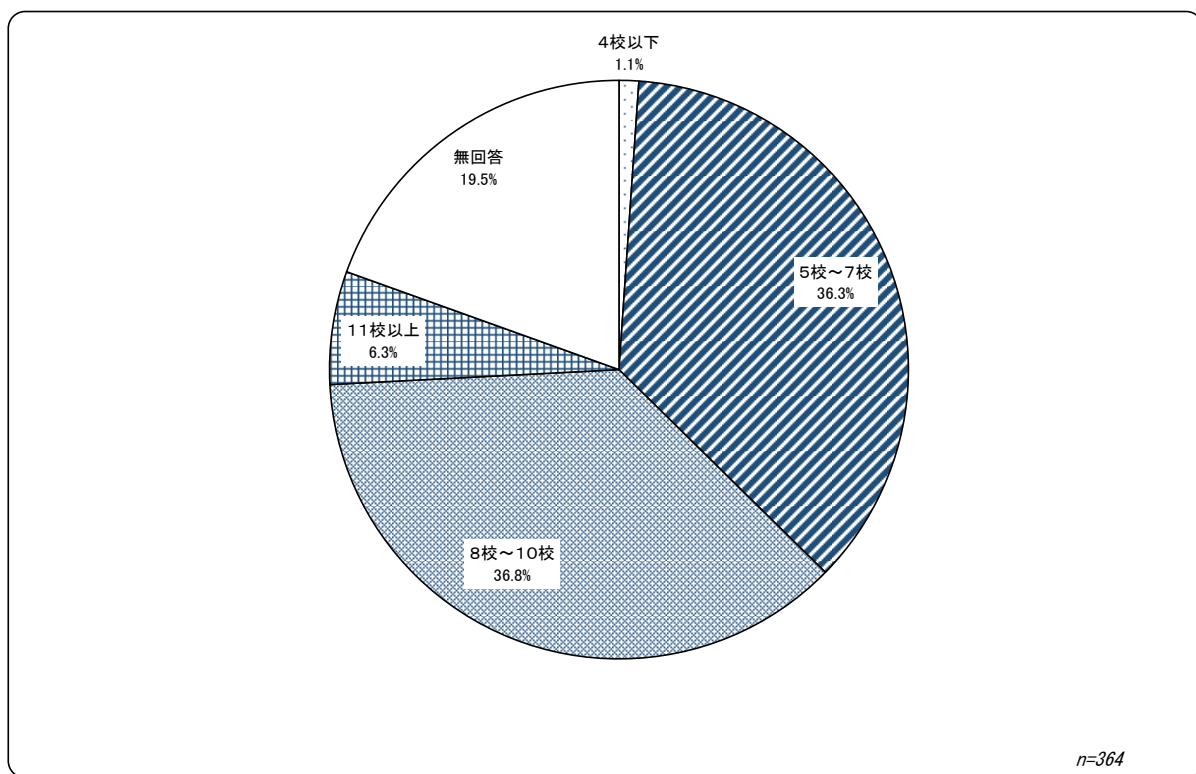


【中学校（現在 11 校）】

- 「統合を行う場合、35年後の学校数ほどの程度が良いか（中学校）」に対する回答としては、「8校～10校（36.8%）」が最も多く、次いで「5校～7校（36.3%）」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

4校以下	5校～7校	8校～10校	11校以上	無回答	合計
4	132	134	23	71	364
1.1	36.3	36.8	6.3	19.5	100.0

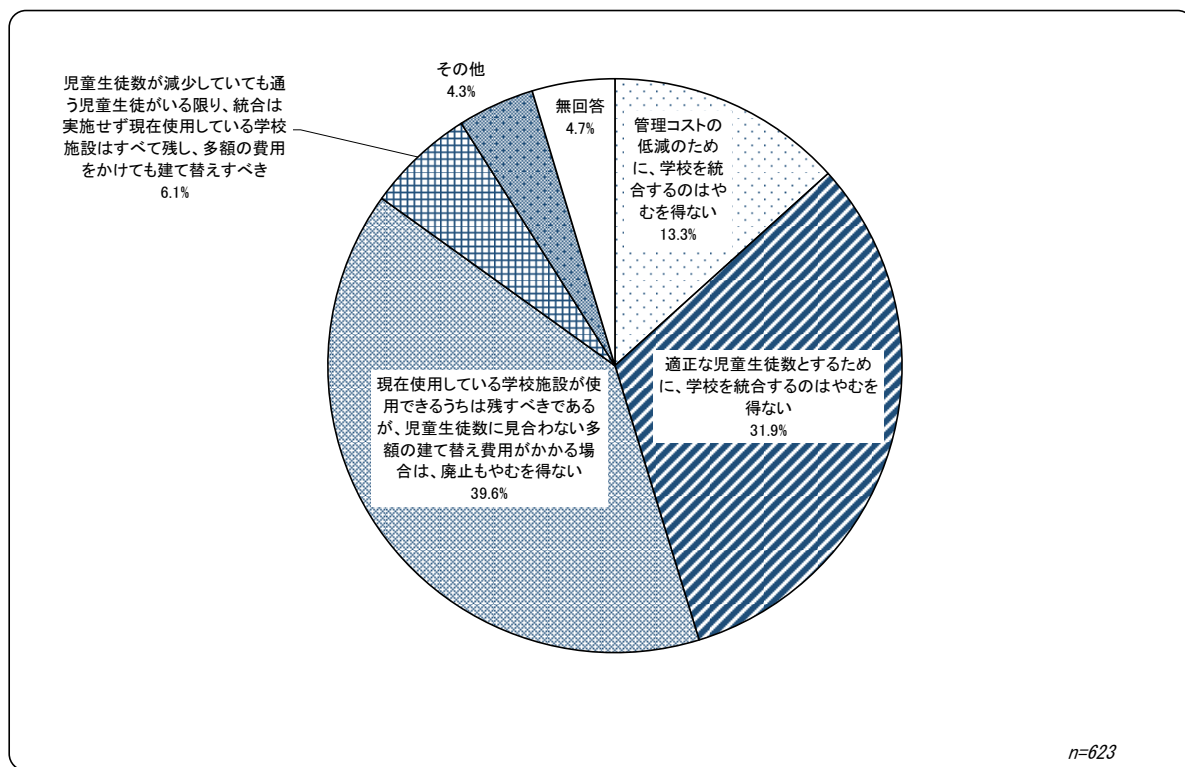


問 1 1-1 今後の学校更新方法について、学校を建て替える際の考え方

- 「今後の学校更新方法について、学校を建て替える際の考え方」に対する回答としては、「現在使用している学校施設が使用できるうちは残すべきであるが、児童生徒数に見合わない多額の建て替え費用がかかる場合は、廃止もやむを得ない (39.6%)」が最も多く、次いで「適正な児童生徒数とするために、学校を統合するのはやむを得ない (31.9%)」、「管理コストの低減のために、学校を統合するのはやむを得ない (13.3%)」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比 (%) ]

やむを得ない	管理コストの低減のために、学校を統合するのは	適正な児童生徒数とするために、学校を統合するのは	現在使用している学校施設が使用できるうちは残すべきであるが、児童生徒数に見合わない多額の建て替え費用がかかる場合は、廃止もやむを得ない	児童生徒数が減少している限り、統合は実施せず現在使用している学校施設はすべて残り、多額の費用をかけても建て替えすべき	その他	無回答	合計
83	199	247	38	27	29	623	
13.3	31.9	39.6	6.1	4.3	4.7	100.0	



【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】

<b>施設規模の見直し</b>
統合はせずに規模を縮小して建て替えすべき、又は統合してもスクールバス対応などで通学時間を減らしてほしい。
統合は実施せず、規模を縮小して最小限の費用で建て替えを行う。建て替えの時には他の市の施設との統合をさせて費用をおさえる。
建て替えの際に規模を縮小する等。
統合にこだわらず、グラウンドにコンパクトな新校舎、敷地の一部転用（借地にして収益を得るなど）様々なプランを考えて組み合わせる。
<b>統合・小中一貫教育導入の検討</b>
建替えや統合はかまわないが今後、可能性としては低いが児童、生徒数が増えてきても大丈夫な様に余裕をもってやって欲しい。
統合して廃止、廃止後に公園、グラウンドなどを運営。
建て替え時に小中一貫教育として小中学校の校舎を同じ敷地内に作るとか、統合する施設を同時に作ってしまう方が無駄がない。
生徒数を増やす為には統合することはやむを得ないが、多額の費用をかけてでも子どもたちが伸び伸びと学びやすい施設にしてください。
<b>その他</b>
児童数だけで判断するのではなく、地域の災害拠点としての意味を持たせつつ統廃合、建て替えを検討する。
学校施設としてではなく、オフィスなどに転用して収益を得た方が良いと思う。
経費が維持できないのであれば収益を上げる施策をしたらどうか？
多額の費用をかけずに建て替えられるよう考える（安全性があつて）。
通学距離、時間を考え統合や学区の組み替えをして人数を調整し、通学距離が長くなり、通えない児童がいる場合は建替えすべき。生徒は自転車通学もできるので小規模校は統合してもよい。
管理コストの低減し、スクールバス等で統合できれば。
学校を統合すると通学の距離が延び不安。統合するなら、交通の安全など個々の生徒の安全にまで気を配れるのか？小学生が夕方遅くに長距離を歩くのは危ないと思う。
新しい小さい学校を建てる。学校に行きたくない先生と生徒が通う。
管理コストの低減と施設の維持は両立できるのでは。
東町小学校は存続希望。その他の学校については管理コスト低減のために学校を統合するのは構いません。
児童数が減少前提のアンケートでは？どうすれば児童が増えるか考えたほうが良い。
コスト面を重視するのではなく、生徒にとってどうすべきかを第一に考えてほしいです。
もっと希望をもつべきである。
選択肢は統合ありきで選定できるものなし。規模の縮小及び施設の長寿命化、修繕で更新時期はずらせるはず。
教育委員会としてこれらの選択肢しか用意できないことに不満を感じる。
費用については国に申請しているのですか？
よくわからない。
不明。

問 1 1-2 学校施設の統合の対象となる施設を決定するにあたり、どのような点が重要か  
[上位 4 番目までの優先順位]

※「問 1 1-1」で以下を選択した方が回答

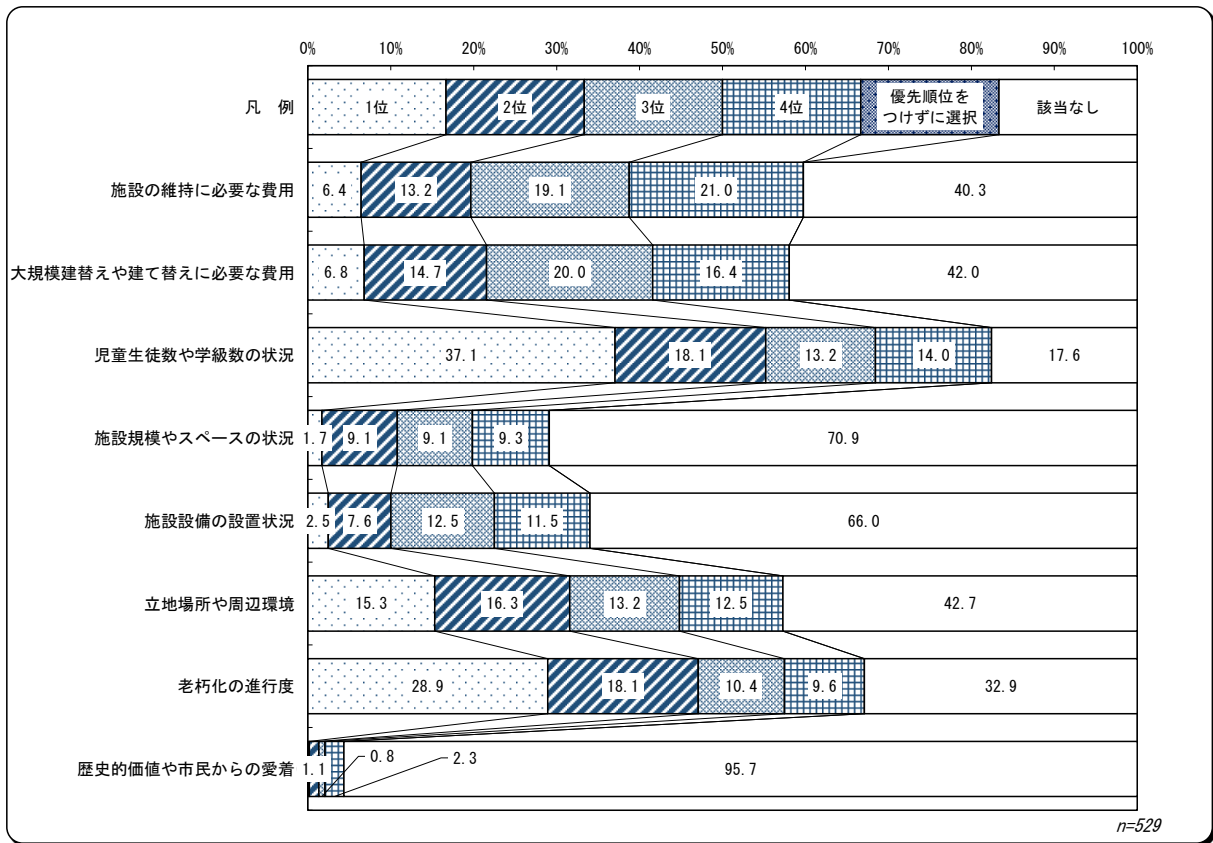
- ・管理コストの低減のために、学校を統合するのはやむを得ない
- ・適正な児童生徒数とするために、学校を統合するのはやむを得ない
- ・現在使用している学校施設が使用できるうちは残すべきであるが、児童生徒数に見合わない多額の建て替え費用がかかる場合は、廃止もやむを得ない

- 「学校施設の統合の対象となる施設を決定するにあたり、どのような点が重要か」の 1 位として最も多かった回答は、「児童生徒数や学級数の状況」でした。
- また、「施設の維持に必要な費用」「大規模建替えや建て替えに必要な費用」「立地場所や周辺環境」「老朽化の進行度」の選択肢についても、上位 4 番目までに選択する回答者が多くなっています。

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

	1 位	2 位	3 位	4 位	優先 順位 をつけ ずに 選択	該 当 な し	合 計
施設の維持に必要な費用	34 6.4	70 13.2	101 19.1	111 21.0	0 0.0	213 40.3	529 100.0
大規模建替えや建て替えに必要な費用	36 6.8	78 14.7	106 20.0	87 16.4	0 0.0	222 42.0	529 100.0
児童生徒数や学級数の状況	196 37.1	96 18.1	70 13.2	74 14.0	0 0.0	93 17.6	529 100.0
施設規模やスペースの状況	9 1.7	48 9.1	48 9.1	49 9.3	0 0.0	375 70.9	529 100.0
施設設備の設置状況	13 2.5	40 7.6	66 12.5	61 11.5	0 0.0	349 66.0	529 100.0
立地場所や周辺環境	81 15.3	86 16.3	70 13.2	66 12.5	0 0.0	226 42.7	529 100.0
老朽化の進行度	153 28.9	96 18.1	55 10.4	51 9.6	0 0.0	174 32.9	529 100.0
歴史的価値や市民からの愛着	1 0.2	6 1.1	4 0.8	12 2.3	0 0.0	506 95.7	529 100.0





問 1 1-3 現在の学校施設をすべて残すべきと考える理由と良いと考える財源確保の方法

※「問 1 1-1」で「児童生徒数が減少していても通う児童生徒がいる限り、統合は実施せず現在使用している学校施設はすべて残し、多額の費用をかけても建て替えるべき」を選択された方のみ回答

① 現在の学校施設をすべて残すべきと考える理由

近い学校に通うのが一番安心・安全だから。
少子化対策がうまくいき子どもが増加したら逆に学校が足りなくなり、かえってコストがかかる。避難場所。通学距離や親、教師の負担が増える。
先行投資と考え、費用をかけるべき。本当に将来を考えるのであれば、子どもを増やしていくことを考えて、学校・教育に力を入れていくべきである。 生徒数が少ない所は土地も安く、学校がキレイで多方面で高い評価を得ていれば、その周辺に引っ越ししていくファミリーが増え、将来的には結果的に税収も増えて財源も増える。
統合をすると学校まで遠くなり、通学時に危険な思いをする子どもが出てきてしまうから。
とにかく子ども第一に考えてほしい。一番お金を掛けるべきは子ども。
そこに学校があることで保たれている地域環境がある為。
学校の統合にまず反対。通学距離が遠くなる児童が増えてくる。低学年で真夏に歩かせるのはかわいそう。
統合すると通学距離が長くなり、子ども、親の負担や通学時の危険度が上がるので。
子どもの為。
児童数の減少、イコール学校の統合など、今までより不便になると上尾市で子育てをする世帯が減るから。民間の知識を活用した新しい学校が必要。
子ども達のため。
ある程度、生徒がいる限り、その地域で通える範囲の学校は残すべき。地域の学校に通っていたことが後々の思い出となる。
現状よりも減らすのであれば通学時間が長くなるため。
公立の施設として残すべき。
学校が近いから引越してくる人もいる。統合により通学距離が伸びたら上尾市を選ばない選択肢も増える。多額の費用とも言うが少人数なら、いくらでもやりようはある。正直ただの甘えにしか聞こえない。
児童・生徒数に見合わず廃止したとして、また統合されたとして自宅から遠い近いが必ず出てくると思います。災害が起きても安心、安全に通えるという点では統廃合に反対です。建物は耐震強化やりフォーム的なもので補うことはできないでしょうか。
30 人位のクラスがベースになっていますが、その人数が適切なのかに疑問があるので、統合せず、やっていくことをしてみたい。
学校が地域の拠点、避難場所になっていることが多く、統廃合により、市民生活により不便をもたらす為。
統合していくのもやむを得ないのかもしれないが、本音を言えば、子どもが遠くまで通学することに不安を感じる為。
少子高齢化を受け入れすぎている。子どもの数を増やそうとする議論がない。
老人に対するお金を削減してでも子どもにはお金をかけるべき。日本の政策は老人に偏り過ぎ。かなり大胆に子どもにお金を投入する。
統合や施設運用に頭を働かさずに市全体の人口増加を目標にすべき。住みやすい土地、子育てしやすい市にして家族層を増やすべき。

<p>児童数の減少を時代のせいにはできない。市としての魅力がないのも原因だと思うべき。</p>
<p>同時期に建てられたとしても建て替え等の財源は長期的に市が確保しなければならなかった。全部一度に行わずに順番に少しずつやればよかった。これからは人数に見合う建物を建てることとし、それまでは補修して使うしかないのではないか。</p>
<p>学校を統合すると通学距離が長くなってしまふ子が増え、危険が増えるため、必要とされる大きさの学校を建て直すべきだと思います。</p>
<p>児童生徒数の減少の問題は決して学校や先生、自治体（委員会）の責任ではなく、社会の子育て、教育の不安感によるものだと思う。この先、10年後、20年後、人口を増やすよう頑張るのは30代～60代の我々の務めだと思う。希望を持つこと前提に新しくキレイな学校を未来の子どもたちに残してあげるべきだと考えたから。</p>
<p>統合すると通学する時間が長くなってしまふかもしれない。長い時間歩かせるのは安全とは言えない。クラスの数が増えてしまふと学力の格差ができる。先生も対応が大変。</p>
<p>災害時の避難場所としても使うことを考えて、近くにあつて安心していたのに無くなることによつて不安を感じる。</p>
<p>統合すること自体に反対する訳ではないが、それにより児童数が増えることが心配。マンモス校は目が行き届かないなど、色々ある。小学校なら1学年3クラス程度、全校500名くらいがとても理想であると思う。</p>
<p>安心・安全が最優先であり、老朽化を解消すべき。</p>
<p>小・中学生の背負っているランドセルがとても重いので長距離の通学には反対。空き教室を企業に貸し出して賃料をとる。デイサービスなど高齢者向けにする。</p>
<p>災害に備えた施設として利用。</p>

## ② 良いと考える財源確保の方法

積立金を今から積立てる。
昭和 41 年～50 年の時の整備時はどのように財政確保してやりましたか？学校のようなインフラには建設国債で対応するよう、政府、政治家、財務省にやるまで働きかける。結果が出るまで 60～100 年の地方債で財源を調整する。ネックになる地方の法律は変える。増税や緊縮が一番最悪なやり方です。財源にかける資料がないのはなぜですか？具体的に述べたいのですが。数字がないとできないです。緊縮ありきで本質から逃げてませんか？
まず無駄な税金投入をやめる。それでも足りないときは税金を徴収する。そういう税金が嫌な独身の人は市を出るだろうが、幼い子どもを持った家庭は逆に市に流入してくると思う。学校、教育、子育てで魅力的であれば。
老人に使うお金を減らす。
先ずは市の財政を見通すべき（不透明な予算の廃止等）、すぐに市民への負担を強いるべきではない。
それは素人の私たちが考えても実現などしない。税金の無駄遣い、財源を見直して確保していくしかないと思う。
学校と地域の人も活用して利用できる新しいカタチの施設として作り、利益を生み出す。地域活性化も同時にはかる。
体育館、グラウンドを貸し出す。また、激甚化する自然災害に地域の避難所になることから、国・県から財源を確保する。
ふるさと納税に力を入れる。
生徒が少なくなって廃校となっても使用できる建築設計とし、その為の財源を確保する。ふるさと納税などでもっと魅力的な返礼品を考えて財源を確保する。上尾市出身の著名人の協力でファウンディングができないか。
建て替えを行う際は適正な費用で行うべき。 unnecessaryな設備改築をすべきではない。
公務員の給料を減らす。
規模を縮小し、土地を販売する。ソーラーパネルなどのエコ化の活用。IT活用による人件費削減。維持の為にはある程度の保護者負担を負わせる。学校自体を小さい建物にしたり、プールなどは作らないようにして建設費用を抑える。複合施設にして財源を確保する。
僅かだが、バザー、廃品回収（資源回収）、地域（地区）のイベント等に利用してもらう。
施設の管理費を上尾市全体で払う制度にしていく。
今、考えられる児童数に合わせた教室数を考え、それぞれの学校は残しつつ、学校の広さを縮小、教員数の見直し、特別教室や休日の体育館は契約した企業に貸し出し財源確保できるか検討するのはどうか。
子どもの数が増えれば何も問題ないと思う。子どもを育てやすい、育ちやすい環境を目指すべきである。
増税（固定資産税、都市計画税）、寄付、相続税（国策になるが）。
上尾市としての良い所をもっとアピールすべき。38 年上尾市に住んでいて警察の汚点しかアピールする所がない。観光事業で財源確保を行い、それから戸建て住宅、複合施設に力を入れる（アリオは失敗だと思う、イオンも場所が悪い）。
上尾市会計予算を見ると教育費は他の予算より少なく思います。建物であるので土木費の都市計画費から一部費用を回すのが良いと考えます。
未来の日本を支える子どもたちのために必要なことなので、増税にて財源確保が良いと思います。

<p>政党にこだわりはないが、国があまりにも教育全体に掛けるお金をケチりすぎていると思う。少子化だからお金を掛けなくて良いという考え方は絶対間違えている。子育てが幸せで、未来に希望がもてる環境ならもっと子どもが増え、人口を建て直せる可能性だってある。35年後は孫の世代、今生きづらいなら今の60代の怠慢じゃないかと思う。まずは市長や県長、教育長全員がどれだけ教育にお金をかけられないか、国（文科省）に訴えてみてはどうかと思う。</p>
<p>学費を上げる。ペーパーレス化、市から色々頂ける郵送物、必要な方もいると思いますがインターネットで頂ける物はそれで良いと思います。各家庭で必要な所だけ送れば良いかなと学校でのお手紙もネットで見た方が便利。</p>
<p>チラシや広報誌など、毎月読んではいらなくても別に困ってはいない。今はネットでも見られるので。そのへんを見直すとか。</p>
<p>学校施設老朽化問題を上尾市の優先解消問題と定義し、予算を通す。</p>
<p>仕事をしない上の役職の人をカットしたらいい。国から出してもらえばいい。学校の役員、PTAですらボランティアでやっているのに保護者からお金を取るのはおかしい。</p>
<p>建物の老朽化を想定し、基本金を積み立てているはずなので、それを使用して建て替える。</p>
<p>不明。</p>
<p>こちらに聞きますか？</p>

#### 【回答権がない方の回答】

##### ① 現在の学校施設をすべて残すべきと考える理由

広いのびのび活動できる空間で子どもたちに学んでほしい。

統合することのメリットもあると思われるが、それではこれからの少子化に対応できない。人口増を目指す1つとして子ども（1人または2人）に手を掛ける親を定住させ、人口増やせる。少人数による教育を実施する文教都市を目指すことも1つ。少人数で学力が高く（全員が平均的に）という実例を実家の地域で見ているので可能性は高いと思う。

国に申請することや県が出しても良いと思う。

##### ② 良いと考える財源確保の方法

少子化を国が危機と考え、国ベースで予算を確保していかないとダメじゃないですか。

先に記載してある統合の財源とそれほど変わらないと思われるが、その試算はしてますか？

財源確保については、まずは県や市の帳簿をしっかりと精査して予算が正しく使用されているのか確認が必要だと思う。神社等非課税のところを無くすべき。ホームページでの予算等はたまかすぎて見ても意味不明。

#### 4. 新しい学校の活用方法について

問 1 2 お住いの地区にある学校施設で、今後どのような新しい活用の仕方ができるか  
[当てはまるもの3つ]

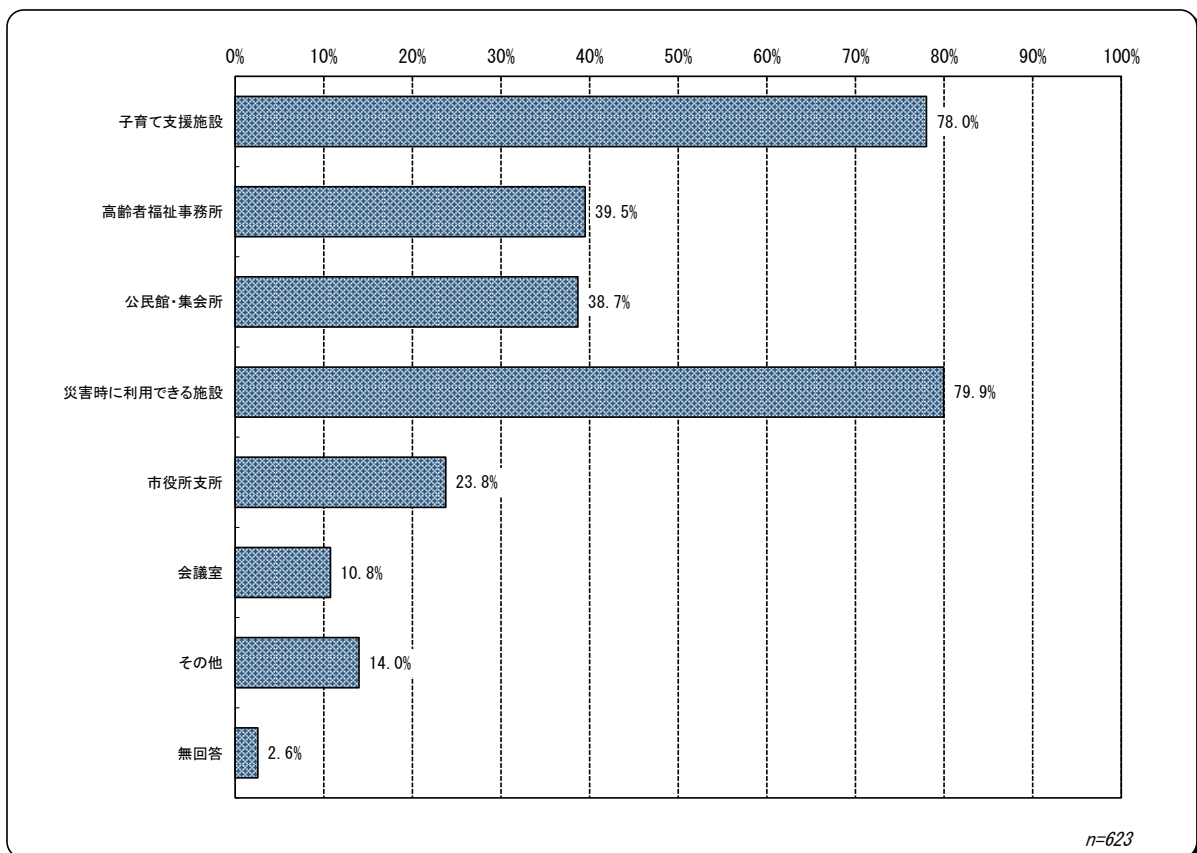
- 「お住いの地区にある学校施設で、今後どのような新しい活用の仕方ができるか」に対する回答としては、「災害時に利用できる施設（79.9%）」が最も多く、次いで「子育て支援施設（78.0%）」、「高齢者福祉事務所（39.5%）」、「公民館・集会所（38.7%）」となっています。

(複数回答)

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

子育て支援施設	高齢者福祉事務所	公民館・集会所	災害時に利用できる施設	市役所支所	会議室	その他	無回答	合計
486	246	241	498	148	67	87	16	623
78.0	39.5	38.7	79.9	23.8	10.8	14.0	2.6	100.0

※3つ以上選択された回答を含む



**【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】**

図書館（19件）
学習塾・習い事関係施設（10件）
保育所・託児所等の子育て支援施設（9件）
学童（8件）
老人ホーム・デイサービス等の高齢者向け施設（7件）
公園（6件）
民間へ貸し出し（6件）
オフィス・ワーキングスペース（5件）
スポーツ施設（4件）
生涯学習施設・児童館（4件）
市民へ貸し出し（4件）
警察・消防施設（3件）
店舗等（2件）
複合施設・官民連携施設（2件）
特別支援学級（2件）
博物館（1件）
災害用倉庫（1件）
子ども食堂（1件）
ボランティア施設（1件）
バーベキュー場（1件）
市のイベント施設（1件）
ワークショップ施設（1件）

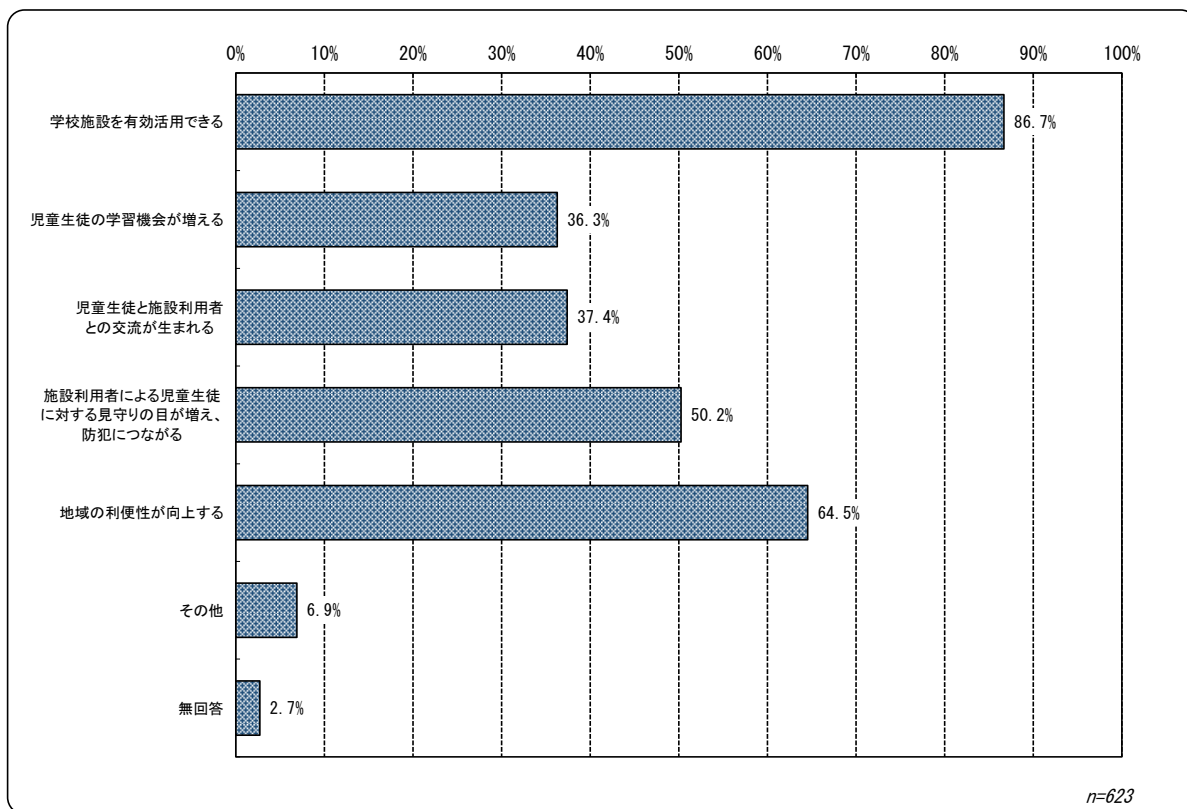
問13 学校施設について、新しい活用の仕方が追加された場合、どのようなメリットがあるか  
 [当てはまるもの3つ]

● 「学校施設について、新しい活用の仕方が追加された場合、どのようなメリットがあるか」に対する回答としては、「学校施設を有効活用できる（86.7%）」が最も多く、次いで「地域の利便性が向上する（64.5%）」、「施設利用者による児童生徒に対する見守りの目が増え、防犯につながる（50.2%）」となっています。

(複数回答) [上段：回答数 下段：構成比(%)]

学校施設を有効活用できる	児童生徒の学習機会が増える	児童生徒と施設利用者との交流が生まれる	施設利用者による児童生徒に対する見守りの目が増え、防犯につながる	地域の利便性が向上する	その他	無回答	合計
540	226	233	313	402	43	17	623
86.7	36.3	37.4	50.2	64.5	6.9	2.7	100.0

※3つ以上選択された回答を含む





【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】

<b>財源の確保</b>
財源。
利用費徴収による収益化。
格安に貸し出すなどした場合、収益が見込める。
施設の維持コストの低減。
財源の確保。
会議室等で貸し出せば収入ができる。
民間への売却益を予算に充当。
収入（利用維持費を利用者から徴収できる）。
収益化。
貸出可能な施設を設置し、市の歳入増を可能とする。
費用削減。
既存の公民館・集会所の老朽化や移転のための建て替えのための費用がかからなくなるから。
維持費の削減。
公民館等の敷地を売却等できる。
<b>施設の有効活用</b>
市の資産として住民が必要とするサービスを行うことができる。待機児童を出さない。
保育園の頃から小学校をイメージしやすいし、校庭を園庭として活用できる。何より新しい保育園の建物を建てる必要がなく、駐車場もあるため、車での送り迎えが容易。学童に預けている兄弟と一緒に連れて帰れる。
子育てについて相談ができる。
学童等、子育て支援に活用できれば。
災害時に市役所機能と子どもの環境を守ることができる。
天災等による緊急事態時の活用。
災害時に安心して利用できる。
学校以外の不必要な公共施設の整理ができる。
<b>交流の創出</b>
子どもと親の交流につながる。
地域での交流が生まれる（児童生徒と利用者以外も）。
<b>学習機会の創出</b>
社会性が身につく。
コミュニケーションの向上。
<b>その他</b>
働く場所が増える。
ペドフィリアやレイプ犯等を避けられるよう監視カメラで確認できる。
関係機関の連携、効率化。
施設利用者による犯罪の可能性はある。
防犯上の事を考えるとあまり好ましくないと思います。不特定多数の人が出入りするような施設は×。
メリットは感じず、コストが発生するだけだと思います。反対です。
大人の都合のみで生徒、児童のメリットはない。
メリットを感じない。不特定多数の人の出入りは心配しかない。
学校が潰されない。
当てはまるものなし。
生徒がいる学校に部外者を入れるのは不安がある。
デメリットもある。開放されることで防犯が下がる。
人の出入りが増えるので不安もある。
新しい活用内容が分からないと回答できない。

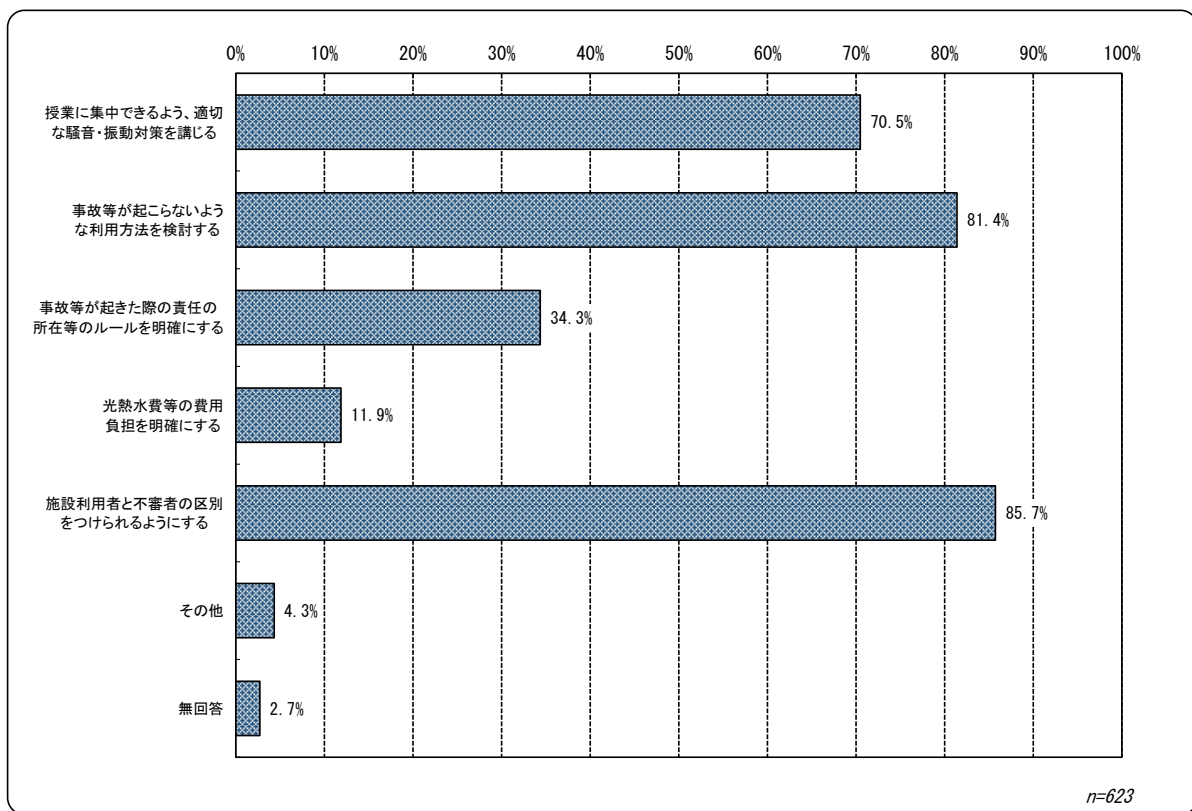
問14 学校施設について、新しい活用の仕方が追加された場合、どのような点に配慮すべきか  
 [当てはまるもの3つ]

● 「学校施設について、新しい活用の仕方が追加された場合、どのような点に配慮すべきか」に対する回答としては、「施設利用者と不審者の区別をつけられるようにする(85.7%)」が最も多く、次いで「事故等が起こらないような利用方法を検討する(81.4%)」、「授業に集中できるよう、適切な騒音・振動対策を講じる(70.5%)」となっています。

(複数回答) [上段: 回答数 下段: 構成比(%)]

な授 騒業 音に ・集 振中 動可 対能 策よ をう 講よ じう る適 切	な事 利故 用等 方が 法起 をこ 検ら 討な すい よう	所事 在故 等 の ル起 ール をき 明た 確際 にの 責 任 の す	負光 担熱 を水 明費 確等 にの す費 用	を施 つ設 け利 ら用 れ者 る よと う不 審 者 の 区 別	そ 他	無 回 答	合 計
439	507	214	74	534	27	17	623
70.5	81.4	34.3	11.9	85.7	4.3	2.7	100.0

※3つ以上選択された回答を含む



【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】

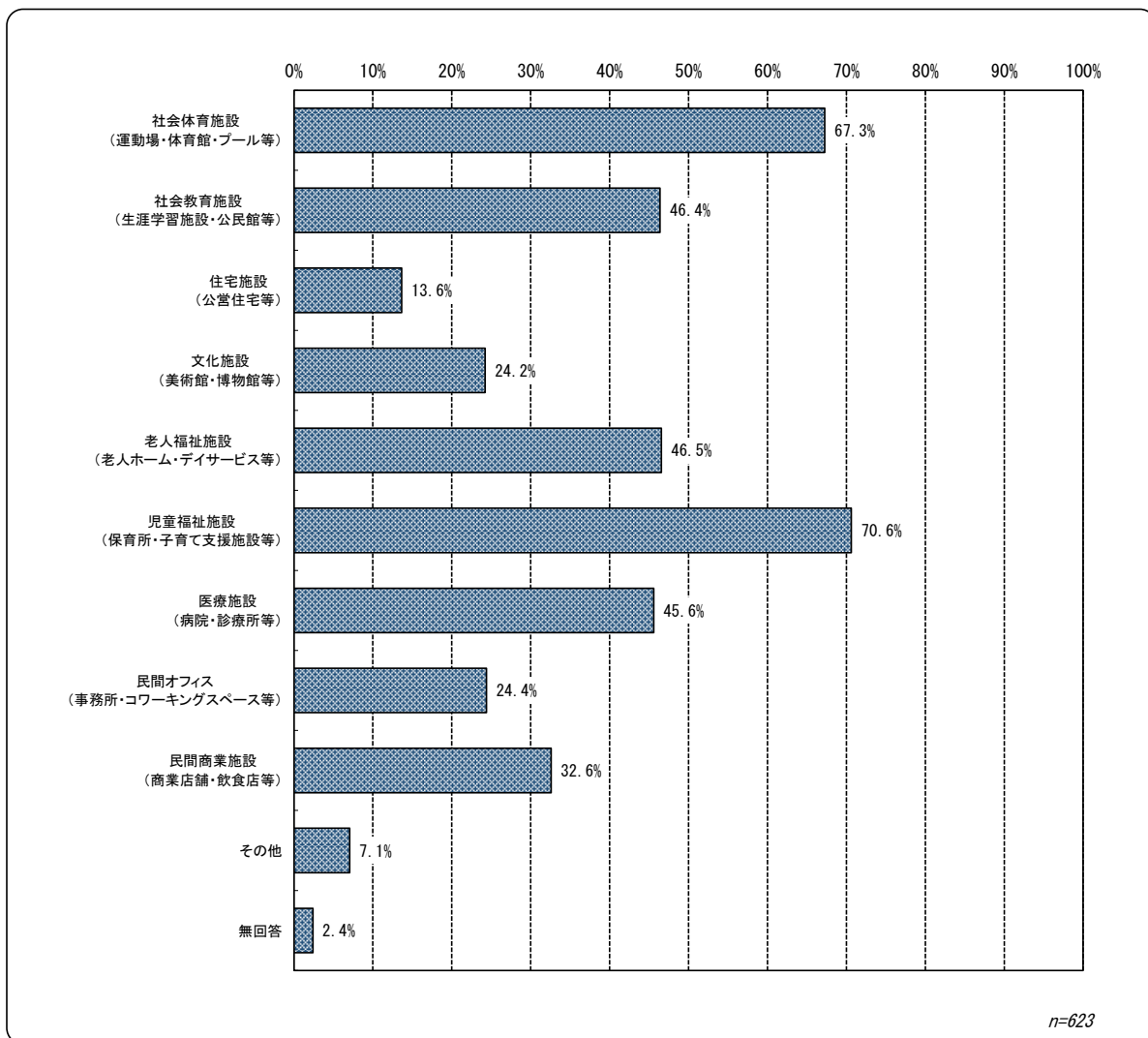
<b>防犯対策</b>
犯罪防止への厳格な対処。
防犯強化が必要（学校関係者以外立入禁止区域を作る）。
警備員や監視カメラを付けるべき。変態から子を守ってほしい。
防犯体制の確立が重要だと思います。
<b>利用時間・場所・目的の明確化</b>
新しい活用を行う時は時間帯を設け有効な時間利用をする（例 平日 16：00～18：00 など）。
生徒と接触させない時間帯に制限。
それぞれの建物・部屋への行き来をできないようにする。
日中等の授業のあるときは施設は使わせないようにする。
一般の利用時間帯の調整→あくまで児童メイン。
それぞれの活用目的がしっかり達成できる仕組み作り。
学校をメインに考えて学びの場（子どもメインの施設）ということに重きを置いた方がいい。
<b>その他</b>
行政サービスと住民との間が縮まるようにしてほしい。住みやすい市にしてほしい。
事故が起きた際に出来事の実事確認がしっかりできるような体制、環境の整備。
学校周辺の交通規制をする。
地域住民が利用する場合は交通量が増えるのでその点を注意するべき。
付近住民の理解。
管理方法を市で直接か委託するかコストの比較が必要。
シャワー水栓、子どものお尻の洗い場、幼児用トイレの設置、門扉の施錠、その他保育園に必要なもの、それを考えるプロが市には要るでしょう。
事件。
安全性が一番大事。
活用の仕方によって配慮すべき点も大きく変わる。
あまりに一般の方の利用が多くなると防犯上良くない。
上記例示の配慮を要する時点で反対です。
当てはまるものなし。
区別しない。

問15 学校施設を廃校とした場合の学校跡地について、どのような施設として活用することが望ましいか [当てはまるものすべて]

- 「学校施設を廃校とした場合の学校跡地について、どのような施設として活用することが望ましいか」に対する回答としては、「児童福祉施設（70.6%）」が最も多く、次いで「社会体育施設（67.3%）」、「老人福祉施設（46.5%）」、「社会教育施設（46.4%）」となっています。

(複数回答) [上段：回答数 下段：構成比(%)]

施設名	回答数	構成比(%)
社会体育施設 (運動場・体育館・プール等)	419	67.3
社会教育施設 (生涯学習施設・公民館等)	289	46.4
住宅施設 (公営住宅等)	85	13.6
文化施設 (美術館・博物館等)	151	24.2
老人福祉施設 (老人ホーム・デイサービス等)	290	46.5
児童福祉施設 (保育所・子育て支援施設等)	440	70.6
医療施設 (病院・診療所等)	284	45.6
民間オフィス (事務所・ワーキングスペース等)	152	24.4
民間商業施設 (商業店舗・飲食店等)	203	32.6
その他	44	7.1
無回答	15	2.4
合計	623	100.0



**【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】**

避難所（9件）
公園（7件）
売却・貸与（5件）
図書館（3件）
児童館（3件）
学童（2件）
合宿所等の宿泊施設（2件）
学習塾（2件）
特別支援学級（2件）
観光施設（1件）
地域交流センター（1件）
駐車場（1件）
喫茶店（1件）
森林（1件）

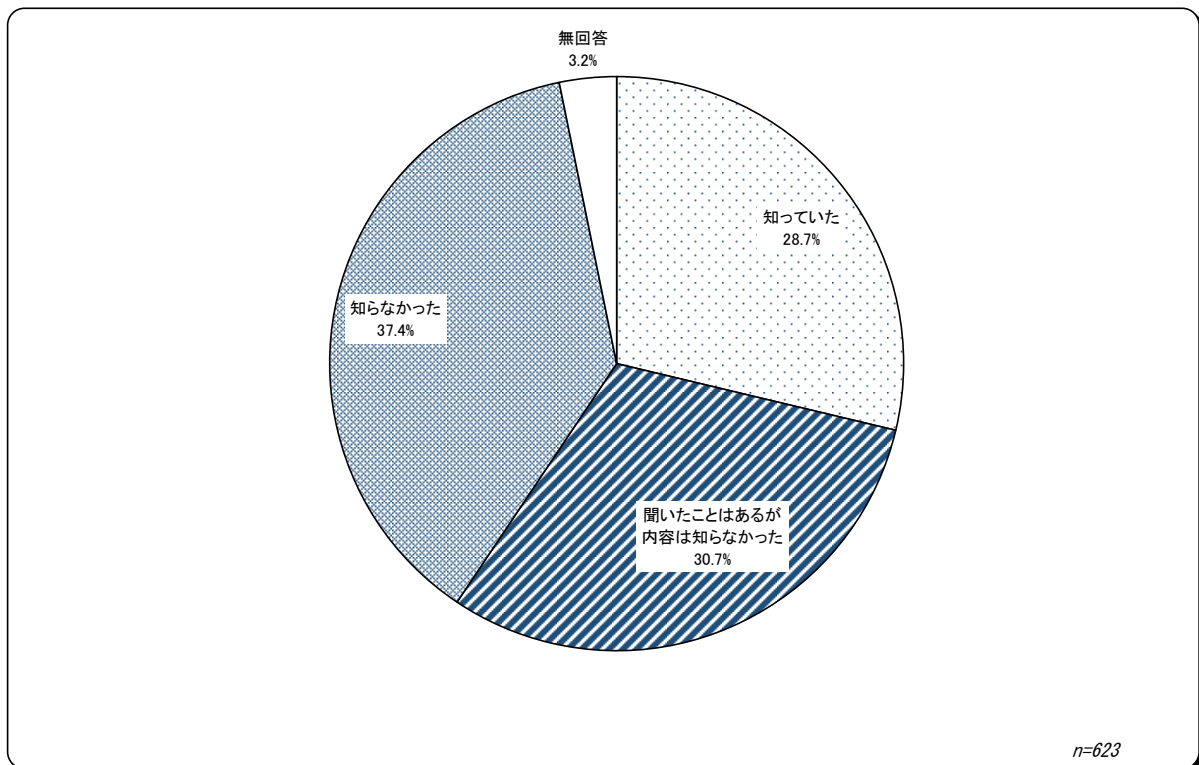
## 5. 新しい学校教育について

### 問16 小中一貫教育について、「別紙参考資料2」を見る前に知っていたか

- 「小中一貫教育について、「別紙参考資料2」を見る前に知っていたか」に対する回答としては、「知らなかった(37.4%)」が最も多く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らなかった(30.7%)」、「知っていた(28.7%)」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

知っていた	聞いたことはあるが内容は知らなかった	知らなかった	無回答	合計
179	191	233	20	623
28.7	30.7	37.4	3.2	100.0

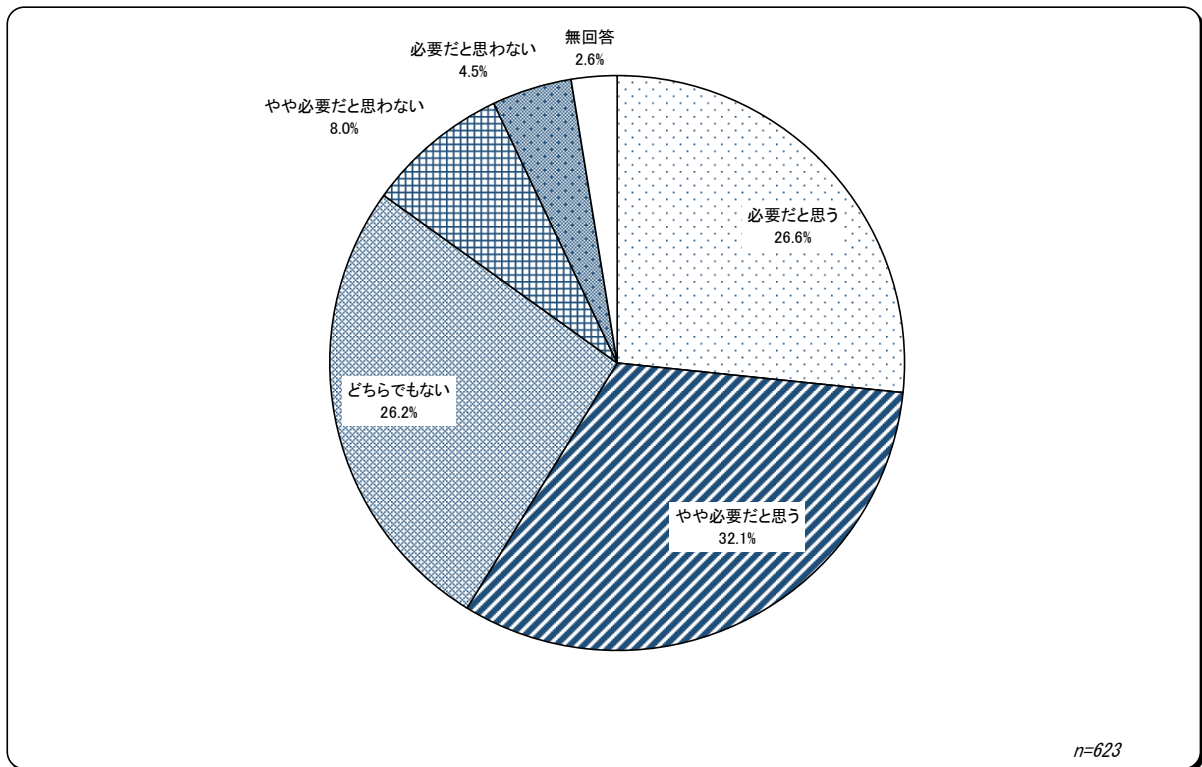


問17 小中一貫教育は、これからの学校教育として必要か

● 「小中一貫教育は、これからの学校教育として必要か」に対する回答としては、「やや必要だと思う（32.1%）」が最も多く、次いで「必要だと思う（26.6%）」、「どちらでもない（26.2%）」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

必要だと思う	やや必要だと思う	どちらでもない	やや必要だと思わない	必要だと思わない	無回答	合計
166	200	163	50	28	16	623
26.6	32.1	26.2	8.0	4.5	2.6	100.0



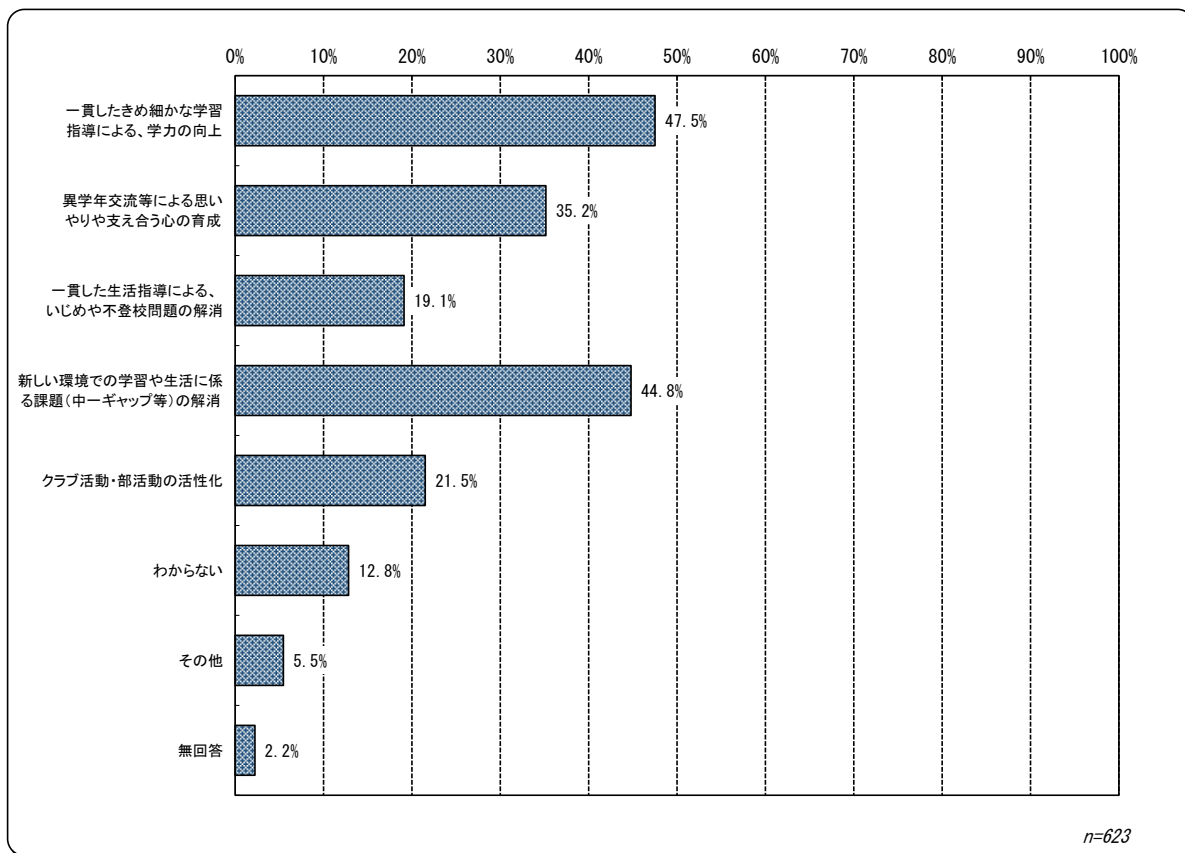
問18 小中一貫教育に期待する効果について [当てはまるもの2つ]

● 「小中一貫教育に期待する効果について」に対する回答としては、「一貫したきめ細かな学習指導による、学力の向上(47.5%)」が最も多く、次いで「新しい環境での学習や生活に係る課題(中一ギャップ等)の解消(44.8%)」、「異学年交流等による思いやりや支え合う心の育成(35.2%)」、「一貫した生活指導による、いじめや不登校問題の解消(19.1%)」、「クラブ活動・部活動の活性化(21.5%)」、「わからない(12.8%)」、「その他(5.5%)」、「無回答(2.2%)」となっています。

(複数回答) [上段: 回答数 下段: 構成比(%)]

一貫したきめ細かな学習指導による、学力の向上	異学年交流等による思いやりや支え合う心の育成	一貫した生活指導による、いじめや不登校問題の解消	新しい環境での学習や生活に係る課題(中一ギャップ等)の解消	クラブ活動・部活動の活性化	わからない	その他	無回答	合計
296	219	119	279	134	80	34	14	623
47.5	35.2	19.1	44.8	21.5	12.8	5.5	2.2	100.0

※2つ以上選択された回答を含む





【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】

<b>教員・教育の質の向上</b>
教員の指導力の向上、教員の責任感の向上。
教員の成長→児童の成長につながる為。
先生の意識・責任感の向上。
教育者のスキルアップ、子どもの社会性を向上させる。一貫教育となることで自由のない教育方針で9年間も固定されてしまうことに不安もある。
小学・中学で1つの区切りとを感じるが一貫教育にすることで9年間で1つの延長線と考え、学力・心の育成に繋がる。
<b>その他</b>
その地域への愛着。
通学路が同じ。
中1ギャップの解消はわかるが区切りは必要。
小中連携のほうが大切だと思っている。
学校施設の維持費削減のため小学校を減らすくらいなら小中一貫もやむを得ないと思う。
効果が感じられないがスポーツでそういう枠があってもいいかもしれない。
閉鎖的な環境にならないようにしてほしい。団結力が強すぎて外部（転入など）から受け入れがけないような環境は嫌です。
上尾市独自の取り組みとして実現可能でしょうか。県の推進ガイドのとおり、小中一貫教育を導入している自治体がありますか？
心の弱い人間が増えそう。
いじめられる奴は9年間いじめられるという現実、落ちこぼれる奴はなかなか這い上がりづらいシステム。
一度くじけたときに生徒に逃げ道、受け口があるのか疑問です。
いじめ、人間関係の固定化。
逆にいじめが増える気がします。例えば上学年に兄弟などがいる場合。
上下関係が心配。
9年は長すぎる。苦悩している時はきつい。いじめ、命をしっかりと守ってほしい。
高度な学習をするならまだしも市立の学習において、統一する理由が見つからない。節目節目で環境が変わることを人として経験すべき。
小学校と中学校に求める役割は違うので一緒にするべきではないと思う。
体格差がありすぎて小中学生を同一空間に共存させるのは危険が伴うと思う。
逆にいじめがリセットされないのではないか。
どちらでもメリットデメリットはあるのでは。
小中一貫教育施行から時間が経っているが、具体的な成果が不明で効果が期待できない。
不安の方が大きい。いじめられた子は9年間苦しむ可能性も。
大きな変化はないのでは。
メリットがあまりわからない。
必要だと思わない。
特に期待できることはありません。
抽象的過ぎて具体性（定量性が少ない）がないので判断できない。
なし。

## 6. 今後の学校施設のあり方を検討する方法について

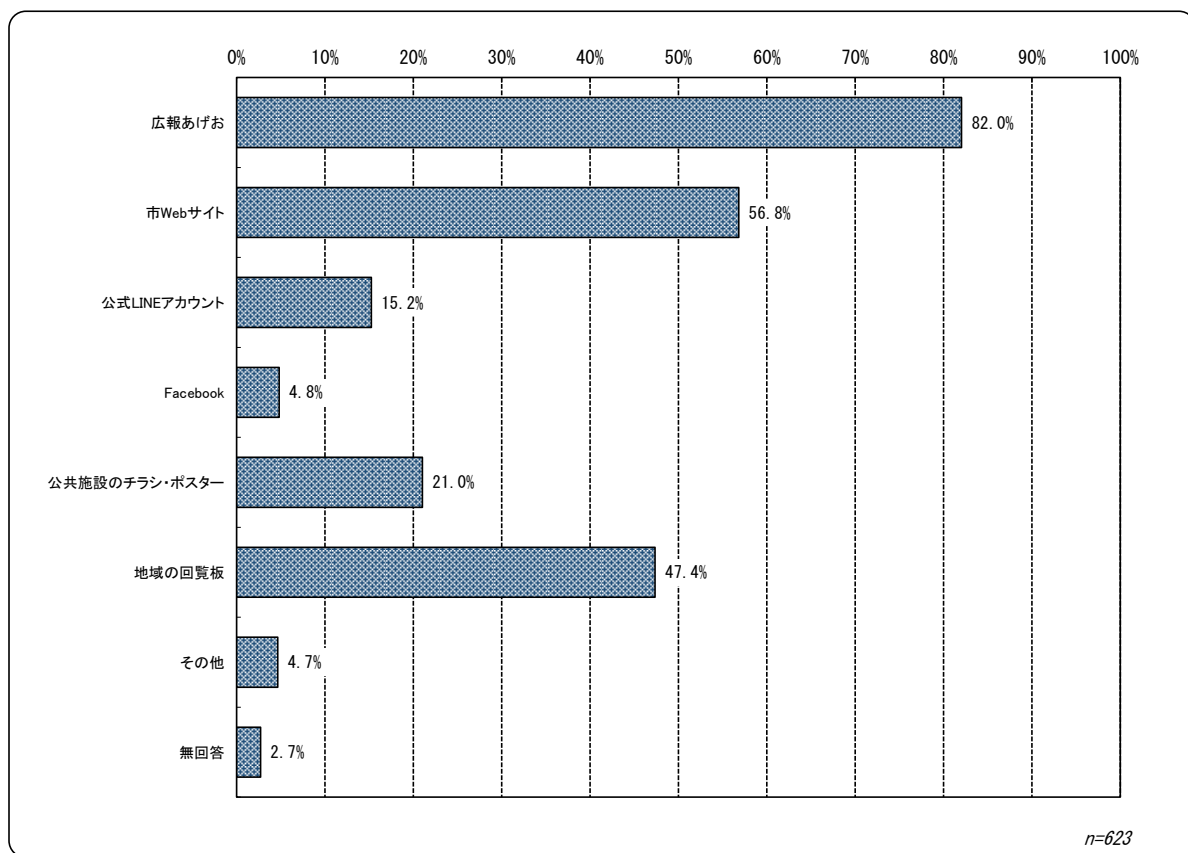
問 19 市が発信する情報を得る手段として活用しているもの [当てはまるものすべて]

- 「市が発信する情報を得る手段として活用しているもの」に対する回答としては、「広報あげお (82.0%)」が最も多く、次いで「市 Web サイト (56.8%)」、「地域の回覧板 (47.4%)」となっています。

(複数回答)

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

広報あげお	市 Web サイト	公式LINEアカウント	Facebook	公共施設のチラシ・ポスター	地域の回覧板	その他	無回答	合計
511	354	95	30	131	295	29	17	623
82.0	56.8	15.2	4.8	21.0	47.4	4.7	2.7	100.0



**【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】**

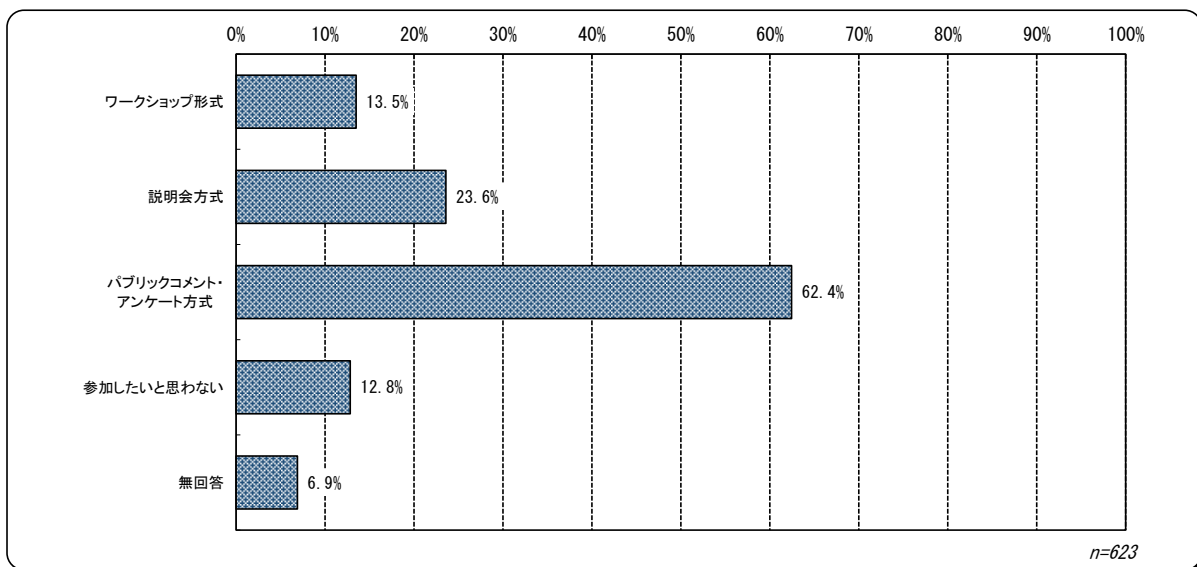
Twitter（10件）
メール（4件）
知人・友人等（2件）
まいたま（1件）
あげいる（1件）
テレ玉（1件）
学校からの手紙（1件）
市からの手紙（1件）
市長・議員の演説（1件）

問20-1 今後の学校施設のあり方を検討する場合、どのような方法であれば参加したいか  
 [当てはまるものすべて]

● 「今後の学校施設のあり方を検討する場合、どのような方法であれば参加したいか」に対する回答としては、「パブリックコメント・アンケート方式（62.4%）」が最も多く、次いで「説明会方式（23.6%）」、「ワークショップ形式（13.5%）」となっています。

(複数回答) [上段：回答数 下段：構成比(%)]

ワークショップ形式	説明会方式	パブリックコメント・アンケート方式	参加したいと思わない	無回答	合計
84	147	389	80	43	623
13.5	23.6	62.4	12.8	6.9	100.0



問20-2 ワークショップもしくは、説明会を開催する場合、どの曜日と時間帯を希望するか  
 [当てはまるものすべて]

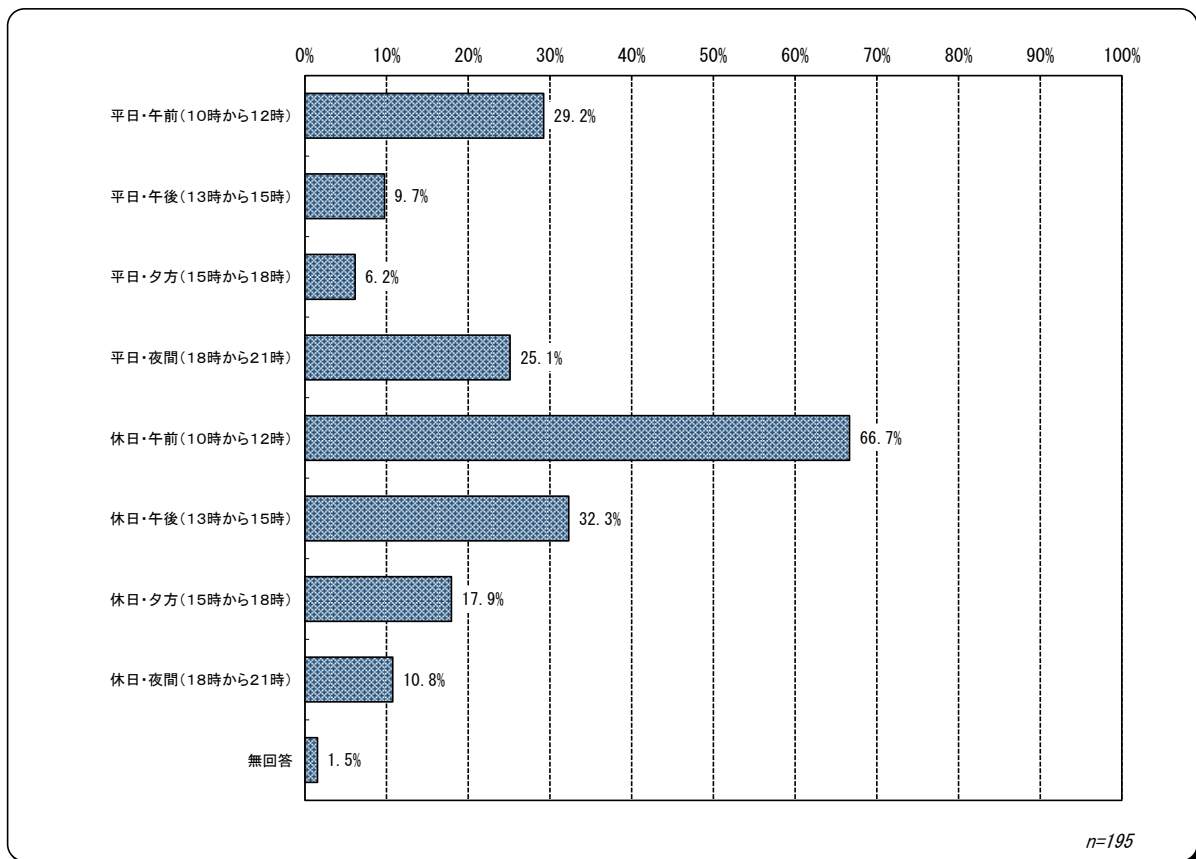
※「問20-1」で「ワークショップ形式」、「説明会方式」を選択された方のみ回答

- 「ワークショップもしくは、説明会を開催する場合、どの曜日と時間帯を希望するか」に対する回答としては、「休日・午前（10時から12時）（66.7%）」が最も多く、次いで「休日・午後（13時から15時）（32.3%）」、「平日・午前（10時から12時）（29.2%）」となっています。

(複数回答)

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

平日（月～金）				休日（土・日・祝）				無回答	合計
午前 （10時から12時）	午後 （13時から15時）	夕方 （15時から18時）	夜間 （18時から21時）	午前 （10時から12時）	午後 （13時から15時）	夕方 （15時から18時）	夜間 （18時から21時）		
57	19	12	49	130	63	35	21	3	195
29.2	9.7	6.2	25.1	66.7	32.3	17.9	10.8	1.5	100.0



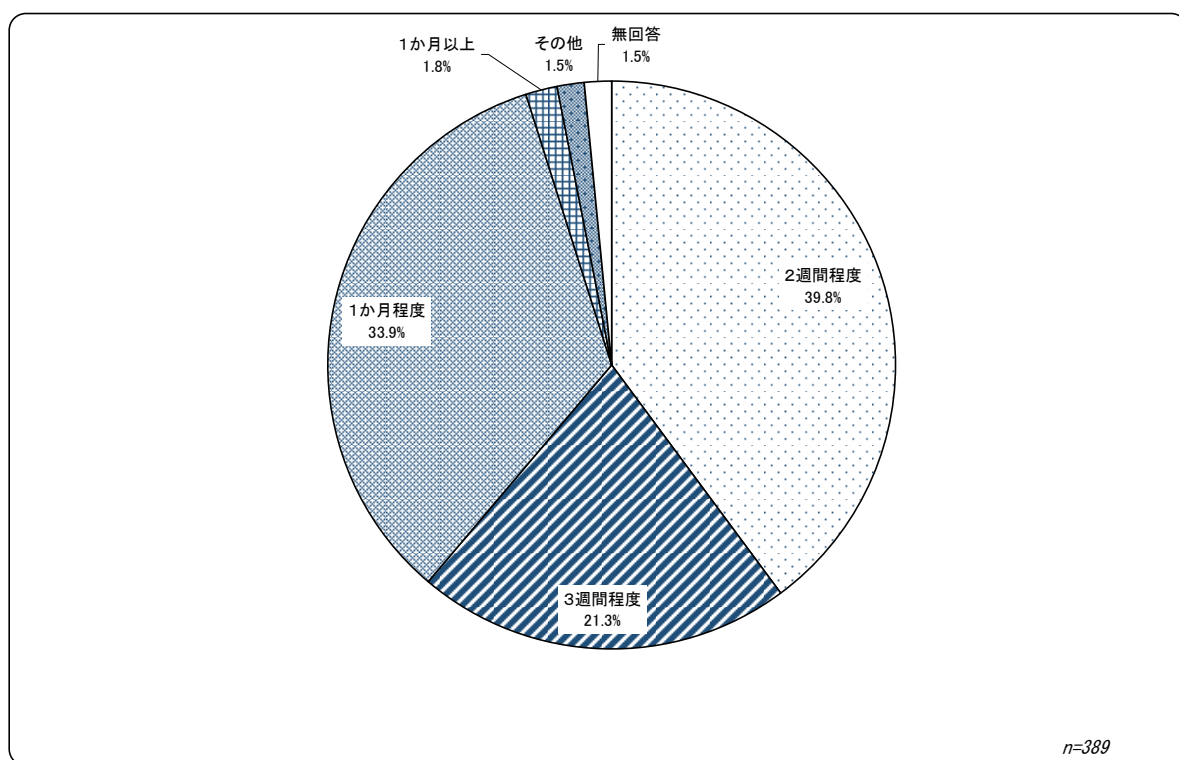
問20-3 取り組み案を読み、意見を送るまでの期間として、どの程度必要か

※「問20-1」で「パブリックコメント、アンケート方式」を選択された方のみ回答

- 「取り組み案を読み、意見を送るまでの期間として、どの程度必要か」に対する回答としては、「2週間程度（39.8%）」が最も多く、次いで「1か月程度（33.9%）」、「3週間程度（21.3%）」となっています。

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

2週間程度	3週間程度	1か月程度	1か月以上	その他	無回答	合計
155	83	132	7	6	6	389
39.8	21.3	33.9	1.8	1.5	1.5	100.0



【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】

2～3日
1週間
半年
内容によって異なる

## 7. 上尾市の学校施設全般に関する意見

### 問 2 1 上尾市内の学校施設全般に関する自由意見

施設の劣化・老朽化への対策
老朽化が進んでいる校舎に子どもを通わせるのは不安。安全・安心が第一優先です。
自分が子どもの頃からあるので、老朽化が進んでいるなどと思っておりました。クーラーや水道など新しい施設にして欲しいと思う反面、財政もあるし、なかなか難しいと思います。今回のようなアンケートなど積極的に係わっていきたいです。
埼玉県外の施設と比べて、とても古いなど感じます。市の人口を増やしていくことが第一と考えます。
新しくキレイな学校もあるが、老朽化が進んでいる学校もあり格差がすごい。
キレイに整備された学校と古くて暗い、汚い学校の差が激しすぎる。同じ上尾市内の学校なのに設置や環境に違いがありすぎる。
老朽化している施設は建て替えを希望します。芝川小を拝見しましたが、建物が古く、子どもをこれから通わせる立場としては少し不安があります。
外部から見ても老朽化が著しく感じられる。地震等の災害対策は万全か？
上尾市立上尾小学校ですが、建物が古く雨漏りで本が汚れました。不衛生。早期改修を求めます。
耐震性が疑われるところは早めに着手してほしい。
老朽化が進んだ学校に通わせるのは、その分不安もあるので、校舎は広くなくても新しく設備が整ったところにしてほしい。多額の費用を念押ししていますが、安全はお金で得られる部分もあると思います。むしろ必要経費だと感じます。
プール全般（更衣室も含め）きれいに建て替えてほしい。
きれいで勉強しやすい環境に通わせたいです
地震、洪水など災害が多く、学校の老朽化が心配です。何をするのもお金がかかるため、色々と大変かと思いますが、安全に勝るものはないと思います。学校が少なくなっても仕方がないと考えます。
全体的に老朽化しており、災害が起きた時に子ども達の安全が心配。
施設の老朽化、トイレやエアコン等の設備の状態が一番気になります。
富士見小は文化省認定でキレイな施設でいいと思うが、同じ学区の西中はかなり老朽化が進んでいるような感じなので、せめて西中くらいは新しく建て替えてほしい。
全体的に古い学校が多く、災害時は心配です。きちんと大きな地震などに対応できるのか検査しているのでしょうか？
小学校、中学校両方に施設のキレイの差がありすぎて例に挙げれば「富士見小学校」に子どもを入学させるために引越しをする人が増えてしまうと偏ってしまうと思います。一つの学校をキレイにするためにあそこまでお金をかけてしまうのなら全体的に平等に設備を整えるべき。1校だけあんなキレイで整っていたら他の子ども達が可哀そうですよ。子どもには未来があります。
建物自体が古いのが気になります。怖がっている新1年生もいると聞いています。古いことが良くない訳ではありませんが、建物全体の雰囲気明るくなるとういなどと思います。
昨年、台風で中央小学校に避難しました。避難所であるはずの体育館の老朽化に驚きました。雨漏りもしていましたし、建物そのものが古く、安全性を考えても建て替えて頂きたいです。
平方小で祖父の時代から私の子どもまでお世話になっている者です。私の頃は4クラスあった平方小ですが、今は2クラスとのこと。時代の流れでしょうがないとは思いますが、駅前の小学校等と比べ、あまりにも施設の老朽化が目立ってしまっている気がします。統廃合はしかたないと思うので同じ市内で同じ教育姿勢で臨んでもらえると嬉しいです。
古いのをどうかしたい。
学校によって新しさ、古さの差がありすぎる。
体育館が古く、避難所として適切でない。
古い、汚れ、ノーバリアフリー、冷暖房が不十分（体育館含む）。

取り敢えずボロイという印象。しかし、一部小学校ではキレイだし学習設備が整っているのが格差があるのはおかしいと思う。キレイな学校に行きたいのに地域で区切るのは変。税金を平等に使ってほしい。
市内のほとんどの学校校舎は古いと感じる。子どもを通わせるなら新しい校舎に通わせたい。新しい施設と古い施設の差がとても大きい。
地震対策で天井が落ちてこないか、耐震は十分か見直してほしい。
小学校と中学校の老朽化、早期の建て直しを希望します。
全体的に学校が古い。富士見小や大谷中はきれいだが、差がありすぎる。
古い校舎が多く、耐震が不安。新校舎は災害リスクの低い場所を選定してほしい。
建物の老朽化が心配。子どもが登校し、学校にいる間に災害があった場合、子どもがそのまま避難してられるように施設が整っていたら安心です。
学校が老朽化しており、子どもたちが利用している便利な場所よりも古く汚いと思う。情操面において、物や人を大切にすることを育む必要がある6年間に掃除をしてもキレイにならない場所で1日の大半を過ごすことが当たり前では可哀そうだと思うし、教育も徹底されないと思う。
校舎が古い。
とにかく安全第一で古いもの、危険な木々などの管理を徹底してほしい。先生たちにゆとりがあれば使っている当人が施設に必要なものに心配りができると思う。
学区調整、学校の選択
学区の区切り方に疑問を感じる。
学区の区分が不明確。
学区が広すぎる学校の児童は通学が大変なので、学区の再考をしていった方が良い。中高一貫教育を受けられる場所が一枚もない。
生徒の多いところは近くの学校と協力し、生徒数を分散させることも必要ではないかと考える。学区も融通を利かせることが重要ではないかと
学校毎の生徒数が差が大きいので通学エリアの見通しや学校の統合が必要だと思います。
私は北上尾駅の東側に住んでいますが、小学校の学区が芝川小ではなく中央小であると知った時は驚きました。小学生の足で20分以上かけて登校するのは大変だと思うので、学区の編成を変えることはできないでしょうか？
まずは学区の変更で児童・生徒の適正人数にならず必要があると思う。老朽化対策で建て直すのであれば、学校施設としてだけでなく、各種公共施設、防災施設との共用、小中一貫校への転換も見据えた建て替え計画をお願いしたい。今後の少子高齢化にも対応できるように。
学区がおかしい。一番近くの学校に通えない学区という形をやめてほしい。施設も古くて使用していない教室もある為（税金もかかっている為）、計画的な建て直しと統合を早急に進めてほしい。
通学などルートを再設定して下さい（安全性向上の為）。
学区域の見直し（選択地区とそうでない地区）が必要だと思います。
小学校の学区を選べる学区を増やした方が良いと思う。
学区の選択（距離が近い方）。
住んでいる区域で決めるのではなく、選択制にしてほしい。人気な学校は抽選にするなど公平にしてほしいです。
通学する学校を選択できることは良いと思った。その為には各学校の魅力的な学校作りが必要になる（学校設備や教育、学習内容の差別化など）。そうすることにより、上尾市、埼玉県の学力向上と活気ある街作りに繋がっていくはず。※学校施設に関係ないが保育士の待遇（給料面など）をもっと良くしてあげてほしい。働くママがもっと働きやすくなる→税収上がるかと。
学校は選択できるようにしてほしい。
学区を柔軟にし、通いたい学校を選択できるようにしてほしい（徒歩5分程度のところに学区外の中学校があるが通うことができない）。上記を前提として各校、特色のある学校運営をしてほしい。ニーズとして勉強に力を入れているとか、部活が盛んなどの魅力を発信してもらいたい。



小学校と中学校を選べるようにしてほしい。
高校のように選択制にしてほしい。学校の特色、教育者のスキルなど、競争がないから発展していないのが現状。魅力ある学校には魅力ある人材が多く育つと思う。競争があればより良い学校へ発展する。子どもを通わせるなら、より良い魅力的な学校に通わせたい。
隣接している地区の小学校は選べて行けるようにして頂きたいです。
私が住んでいる地域は上平北小地域です。子どもの足で歩いて30～40分くらいかかります。伊奈町に隣接していて、小針小学校の方が近いです。(歩いて10分以内)夏は真夏日で37℃になったり、子どもの人数も減っていて少人数での下校、このご時世で人気の少ない道を通るなど何かと心配です。小学校も幼稚園のように選択出来たら良いと思います。
<b>通学距離・手段、通学路の見直し</b>
小学校は家から徒歩範囲で通えるほうが良い。
大石南小、大石南中の学区に住んでいます。6歳と2歳の子どもがいます。今後、この2校が統廃合になる可能性があることは、このアンケートを答えたことでわかりました。もしそうなった場合、一番は通学距離が心配です。自転車通学など柔軟な対応を希望します。
安全性の面で子どもを対象とした犯罪が増える中、通学距離が長いのは非常に心配。学区範囲の見直しや距離が長い児童はスクールバスを検討するなど、1歩進んだ取り組みを実行して欲しい。中学生に関して、ある程度、通学距離がある生徒に関しては自転車通学を可にしてもいいのではないかと思います。
自転車通学を可能にしてもらいたい。
統合ありきではなく、それによる通学時間削減のための自転車通学への拡充等、並行して考慮頂きたい。
今、子どもは小学生ですが、中学校が更に遠い西中になります。その際の自転車通学を可能にしてもらいたい。部活をしたくても距離が遠く、今から考えると不安です。
通学時間の長い地域に住んでいる子どもの為にスクールバスの運用を検討してほしい。
全体的に通学範囲が広く感じる。今後、学校数が減るのであれば歩いて通学ではなく、スクールバス前提のような考え方が必要だろう。
徒歩30分以上かかる家庭にはスクールバスなどの対応。
スクールバスは登下校の自然ふれあい等が減るので学校側で工夫してほしい。
防犯、熱中症等の対策の為にスクールバスを取り入れてほしい。通学中の事故は親として一番の不安材料。
統合を検討するに当たって通学手段を検討してほしい。
通学路の整備をしてほしい。
施設よりも通学路が気がかりです。自転車が平気で小学生すれすれで走行していたり、路地も多いですから車も出てきます。
通学路の安全性、不審者が入らない等の安全面が第一です。経費削減も重要だが、ここはお金を使ってでも配慮してほしい点です。
子どもたちが安全に学校に通えるように配慮頂きたい。歩道橋がないため、1年生が30分歩いて学校へ行く..晴れの日ばかりではないんです。歩道橋の改修が行われたが、雨の日に滑りやすいノンスリップの設置..滑ることが恐怖で歩道橋を使用するのが嫌で登校が嫌になる子どももいます。
通学路の安全強化(ソフト、ハード面共に)。
通学路のガードレール設置。
<b>余裕空間の有効活用、施設の開放</b>
校舎の老朽化や少子化の深刻化を理解しました。財政への影響も勿論考える必要があることもわかりました。理想論かもしれませんが、子どもが少なくなったからこそ、以前とは違う教育をするチャンスと考え、空きスペースが有効利用(クラブ活動、自習室、こども食堂等)されることを望みます。地域で子どもを育てる中心になるような施策になるといいと思います。

学校の空き教室を有効活用してほしい。例えば学童、図書館、支所など。
昔と違い、子どもは少ないので、空いている教室を多目的で使えるようになったら良いと思います。開放日があってもいいと思います。あるのでしたら情報発信を増やす。（不審者対応も必要となるかもしれないが、未就学児の親子で見学できたり、高齢者散歩スポットとして）生徒数減少は仕方ないかもしれませんが、上尾市の生徒数（市民）を増やすことと税金を納める企業の誘致も努力してほしいです。
子どもが通っていない小学校や中学校等に休日グラウンドで遊んでいる親子を見て中で遊んでいたりと、学校関係者が分からない人に「この学童でなければ入らないで下さい」と言われる事が色々な学校でありました。怪我をしたり事故等があれば責任は取れないということなのでしょうが、がっかりします。親同伴なのであれば親にその旨伝えれば良いと思うし、子どもだけなら見守る為にその方がいるのでは？公園でも遊んではいけないと書かれている公園もあります。体力向上や思いやり、地域に安心して住んでいられるのはこんな人達がいるからと思うことが、大分減ったような気がします。子どもの活動範囲を増やせればと思います。
各所に点在する子どもを対象とした施設（図書館、児童館、学童、児相など）を学校と統一した総合施設にすることで費用面、人材面でもメリットがあるのでは？全ての学校を対象にするのは無理ですが。利用者にとっても便利と思う。
今後、統合などで使われなくなる施設が出たら積極的に民間企業などに利用してもらえような仕組みにしてほしい。全国的に廃校は社会の課題となっているので、廃校になる前からその後の利用方法を検討し、市民に示してほしい。
児童館等、働いている親の帰宅時間まで子どもを預けられる施設の増加もしてほしい。廃校などを児童館にしたらい。
私自身、上尾市で小さい頃から育ちました。今後、人口減少に伴い児童数も減っていくこと、学校が廃校になっていくことは寂しく思います。ですが、元々上尾市の資産であるため、是非有効活用して頂きたいと思います。子どもの遊び場が増えれば心身ともに健やかな成長が期待できると思っています。今後の上尾市の行く末を楽しみにしています。
現在、幼稚園に通っているが親の小学校の見学などあれば良い。なかなか見る機会はないのでアイデアがない。
有効活用されていないと思う（休日等）。
設備（エアコン・トイレ・ICT等）、備品の見直し
エアコン設備を整えてほしいです。
上尾市にある小中学校、全ての学校にエアコンをつけてほしい。（全学年、全クラス）
エアコンがついていなければ、必ずつけてほしい。授業の内容以前に健康な状態でいられることが大前提。
特に夏が暑いため、全学校、冷暖房完備にして頂きたいです。
今後、夏は今よりも気温が高くなったり、暑い日が多くなるとテレビで見ました。熱中症にならない為、授業に集中できる環境を作る為にも空調設備を整えるなど対策して頂きたいです。
冷暖房設備を整えてほしい。
温暖化で地球の気温が上がっていることもあり、設備（空調など）はしっかりして、子ども達を守ってほしい。人数が少なくなっているのであれば合併して無理に学校を継続する必要はないと思う。
冷房や暖房をもっと使用して欲しい。娘が小学校に通っています。梅雨時は湿度が高く、よく頭痛を起こしています。学校の教室は「めまいがする、蒸し暑く頭がクラクラする」と言っています。湿度を下げるように冷房をもっと使用して頂きたいです。
全ての教室（特別教室）や体育館にエアコンを設置してほしい。
空調は早急に対応して欲しい。プールも整備、設置を必須にして欲しい。社会へ出てから必要なことも学べる環境を望む。
エアコンを全ての教室、体育館につけてほしい。

男子トイレを全部、個室にしてほしい。
原市小にエアコン（クーラー）を設置した方が良い。子どもを殺す気でしょうか。税金上げてくれてかまわないです。もしかしてもう付いてましたっけ？
トイレを新しいものへ交換できれば（清掃を良くする）。子どもが学校のトイレが汚れていて入りたくないと言っている為。
トイレを全て洋式に変えてほしいです。和式トイレを使うにしても和式トイレが少ないので練習することも難しいです。
学校の設備等の考え方を改めた方が良いのではないのでしょうか？以前と比べて情報がどこからでもキャッチできる社会において、富士見小の設備と他学校と比べて不満を抱かない方はいないと思います。学校のトイレ一つ直すにも難色を示すような態度をとらなければならないのは納得できません。
オンラインの導入を早急をお願いしたいです。教室が密です。娘が喘息で習い事は全て辞めました。学校は大好きだし学びは止めたたくありません。毎年、インフルエンザの時期は気を付けていても隣の席の子がインフルエンザだったら防ぎようがありません。家族みんなインフルエンザになります。コロナも怖いです。こんなに高温多湿で流行するなんて、どうやって子どもを守ったら良いのか毎日学校を休ませるべきなのか葛藤しています。
オンライン授業ができるような設備環境を作って欲しい。
昨今の状況のように通学の困難となることを考慮頂き、オンラインでの学校教育も含めて施設の検討を頂けますようお願いいたします（教室の数の削減）。
IT 機器の充実。教育環境の整備にもっと予算を回してほしい。
IoT の拡充。
学校施設を利用したことがないので現状がわかりませんが、コロナ等でオンライン授業の必要性について言われているので、整備されていないのであれば、今後の為に整備してほしいです。今後、児童数の減少、施設の維持に多額の費用がかかるのであれば、施設数を減らし、その分各施設の設備の充実を図ってほしいです。
学校施設とは少し違うかもしれませんが、オンライン学習の整備をしてほしいです。もし無駄な工事などしているのならば、それをやめ早急にこちらに税金を使って欲しいです（少しでも家庭に負担がかからないように）。
コロナ禍の状況でオンライン授業は早期実現して下さい。2021 年まで待っている時間はなく、トライアルしなければ変わらないと思います。未来ある子どもたちに学習の機会を奪わないで下さい。チャレンジする姿を大人たちが見せる必要がある時代だと思います。できない、やらない理由を述べるより前を向く姿を見せたいですね。
オンラインが可能となるような教育環境を整えてほしい。
休校や学級閉鎖時にもすぐに対応できるようにオンライン授業を行う施設や設備、環境が必要だと思います。早ければ早いほど良いと思います。
現在の状況や今後を見据えてリモート対応できる設備等、先進的な設備や授業を取り入れるべき。
今回のコロナ禍だけでなく、学校に行けない子どもにも教育が受けられるようなオンライン環境の整備も急務と思われます。子どもの学びの意欲につながるのは興味関心を引き出すことだと思います。知的好奇心が高まるような授業や体験ができるような場に学校施設がなってくれれば良いなと思います。
近々の問題としては新型コロナウイルス感染拡大による休校あるいはその際の対応。オンラインを確実に準備し、実行すべきだし、授業や” 学びの場 ” を減らして統一するのではなく、高い水準を維持できるように是非考えてほしい。冬は（新型）インフルエンザのパンデミックも起こるかもしれず、対策と準備が必須。
網戸をつけてほしい。
電気が薄暗いので心配です。天井（教室の中央に）に扇風機などの空気を入れ替える装置を設置する。
夏、冬など気候に対する設備を全学校で統一。

時代に合わせた設備投資をお願い致します（PCがいつまでも古いとか）。
最新の設備を用いた教育。
災害時の避難場所、情報発信基地という重要な役割もあると思うので、統合していくとしても、ある程度の数は必要だと思います。そして各教室、体育館の空調設備はしっかりして頂き、備品もきちんと管理して頂きたいです。富士見小に子どもが通っていますが、設備がしっかりしていてキレイなので、親としてはとても安心して通わせることができます。
<b>防災拠点としての活用</b>
災害による避難所としての役割を担えるように取り組んでほしい。
防災、治安、医療的に何かあった時に対応ができる、安心・安全の学校施設であってほしい。
たとえ人数が少なくなっても災害が起こった時の為に施設は必要だと思う。人の命を守る場所を無くしてはいけないと思う。どんな形でもいいので。
学校は、災害時の時に集まる場所なので、できるだけ残してほしい。遠いと逃げ遅れる。高齢化に向け、高齢者と共存できる施設に学校が変換できればよりよい。
災害時の避難所テントは、是非、学校 or 周辺で用意してほしい。
<b>防犯対策</b>
自分の子どもと考えると、とにかく安心、安全な学校生活を送ってくれることを一番に望んでいます。事件、事故の起きない環境作り。
セキュリティ一面の強化をしたらよいと思います。
児童の安全を考慮したセキュリティ体制。
学校周辺に防犯カメラを設置してほしい
近くの小学校は休日誰でも入れる状態。警備員はマストだと思う。
セキュリティの向上。
私立小学校のように門を通過したら、登下校のメールを送信してほしい。
防犯カメラなどで不審者対策をしてほしい。
学区が変な為、通学路の安全性に疑問を感じることもある。他市でも事例があるように通学路に監視カメラを取り付けても良いのではないのでしょうか。
<b>教育内容の充実</b>
国語力、算数力、英語力は将来の財産となると思います。子どもたちに身に付くよう、どのように教えていくことがベストなのか、教育者間で勉強、試行、実践して頂きたいです。
とにかく子どもたちが安心して伸び伸びと学べる場所があれば、それが一番と思います。教員の教育もしっかりして欲しいです。
自然を大切に（遊具より木登り、山登り、走る）友情を大切に同世代との関りを重要視し、人間性、社会性を豊かに人と人の関りがある教育をお願いします。
学校の時間外は様々なジャンルの講師を呼んで習い事等を学校で行えるようにし、下校時間後はそれぞれが学びたい物を選ぶことが出来、月謝を取り、講師の人への収入以外は学校の財源にまわす等、財源の確保を考えて欲しい。
何よりも子どもたちが豊かに学び成長できるような計画をお願い致します。
教員の数を増やし、授業の質をあげる。
<b>統合・小中一貫教育導入の検討</b>
児童数だけでなく、教員の負担軽減のためにも今後、統合は必要と思います。SDGSの観点から環境問題等への教育も踏まえ検討されているワークショップ等は上尾市内の学校OBや教員、児童を含めて説明、議論する場としても良いかもしれません。
現在、学校を選択できる地区に住んでおり、上の子は指定校でなく選択校に通っています。近所でもそのような子ども達が増えてきているので学校区域をうまく分ければ、学校を統合することは良いと思います。運動会などの行事等人数が多い方が盛り上がると思いますし、保護者の負担（役員、係など）も少なくなると思います。

2055年以降も生徒数は減少していくのだからむやみに維持しようとせず、学校数を減らしていくのが自然な手法だと思う。近年、区画整理が進んで田畑や雑木林が消えていっているの、必要のなくなった学校を取り壊し、自然公園にでもするのが良いと思う。
小中一貫の件は初めて知りましたが、そもそも義務教育の中で小中校がわかる必要性に疑問を持ちます。少子化が進む中、効率化を目指すなら一貫した設備、教育の質でトータル的な教育水準を上げることも考慮しても良い時期かもしれません。
小中施設は一緒でもいいと思います。ただいじめなどしっかりと先生方や学校が見てもらわれないと少々不安もあります。また恋愛なども心配です。子どもたちが自発的に何でも考え、発見、自信が持てるような伸び伸びとした教育ができるといいと思っています。
小中一貫は知らなかったが賛成。施設数も減らせるだろうし、異学年交流などメリットが多そう。まだ子どもは未就学児で近所のお姉さん、お兄さんとよく遊んでいます。小中一貫だと交流が更に深まっていいなと思いました。
その他
小中一貫教育ではなく、さいたま市のように魅力ある中高一貫校にしてほしい。小中一貫校では中学受験で生徒が少なくなるおそれがある（中学受験を考えないような駅から遠い地域での小中一貫校を考えているのかもしれませんが）。
現在の消毒作業、トイレ清掃を外部にお願いしたい（教員の負担軽減、消毒等の確実な実施）。教員数を増やし、学級の人数を減らしてクラス数を増やしてほしい（教育の質向上、感染リスク減）。
何かあった時には地域の方々と助け合えるように”地域の中の学校”という意識を取り戻せたらと思います。そのためにもう少し地域の方々と気軽な交流が増やせたら良いのではと思います。
特別学級がある学校を増やしてほしい。中学校は上尾市にあるが、通うのに時間がかかる為プール施設の維持管理コストを考えると体育の授業（水泳）は民間の施設へ委託した方が良い。指導も民間委託で良い。
安全面には予算を多く投じて下さい。
体罰は望ましいことではありませんが、最近の子どもは生意気です。叱るときは叱る、鍛えるときは鍛えるというように先生は強く接して下さい。
コロナ、デジタル時代の教育方針を明確にさせてから施設の統廃合を考えた方が良い。
小学校入学後、学童を利用する予定だが夏休み中の朝の受け入れ時間により仕事に間に合わないと聞いたので心配している。
寄付金、募金を募ってはいかがでしょうか。
給食無料化。
反対に努力せず魅力ない学校は自然に淘汰されるでしょう。ハード面や通学方法などは予算さえあればどんなやり方もできる。是非、上尾市が先進的な教育モデルを作りませんか？実現してほしいです。
地域のことにに関して、積極的にアンケートを取り直接、住民に聞くことはとてもいい方法だと思います。これからも持続して行うべきだと思います。
「進級指導教室」のある学校が少ない。
コロナウィルス等の衛生管理の為に清掃業者を雇う。
今後、日本は温暖化の影響により益々、酷暑の日数が増加すると考えられる為、木を増やす等、日陰を作為的に作ることが望ましい。水はけのよい校庭を増やすこと。
子育て世帯を増やす、財源を増やす努力をして下さい。節約には限界があります。また、35年後、50年後に対応できる形になるとは思えません。小中一貫でいいと思います。今の時代に小・中を分けて考えても将来性がないです。伊奈やさいたま市など手本があるので、頑張ってください。50代以上の老人達の意見はどんな内容ですか？
まず、このアンケートに見られる前向きな姿勢に好感を持ちました。次に環境の整った教育は子どもの心の育成に計り知れない効果があるので、慎重かつ計画的にやる必要があります。終

<p>わりに母校という言葉があるように市を愛する源泉です。以上のことから、とても大事な市の取り組みになると思っています。</p>
<p>学校施設は重要であり、市のスタンスが見て取れる施設だと思っている。先にも記載したが、学校施設単体で考えるべきではなく、他の市町村と差別化し、人口減を抑制していくパーツの1つとして使えると思います。少子化で子どもにお金をかける親が増える中で学区で住まいを定める人も多い（浦和等）状況で、上尾市がどの方向へ進むか決める必要がある。また、規模については私の実家である新潟において、少人数ゆえに学力が平均的に高く県内の多くの市立中学から推薦での入学の打診が多く来ていると聞きます。規模だけの影響と思わないが考慮の余地はあるかと思います。</p>
<p>近年、市議会での不祥事が相次いでいるため、今回の学校施設に掛ける工事でも、そのようなことがないように強く願います。</p>
<p>芝川小学校の4年生は1クラス39名で授業を行っております。夏はエアコンをつけても全く効かず、生徒も先生も汗だくで授業に集中できません。先生の中には保護者に対し、堂々と「39名も見きれぬ心配」などと言ってくるやる気のない先生もいらっしゃいます。生徒は好きで大人数のクラスになったわけではありませんので、そのような発言をされても困ります。1クラスの上限をもっと少なくするべきではないでしょうか。</p>
<p>瓦葺に住んでいる為、上尾の中心地のほうのことはほぼ分かりません。その為、比較などはできませんが、瓦葺には少し古いのかなと思います。あと、役員や係を全員が必ずやらなければいけないのは大変なので本当にどうかしてほしいです。</p>
<p>児童・生徒数が少ない所から統合も必要ではないかと思っています。老朽化も進んでいると思いますので、建て替えのタイミングで考えるのも良いかと個人的には思います。費用逓減にもなりますし、浮いた費用は保育や学童へまわすこともできますし。個人の意見としては無駄は省いて必要な所にまわしてほしいです。いかんせん私たちの税金ですから。一番要望したいのは無認可の学童にも補助金を出して欲しいです。NPOの学童は親の負担が多過ぎます。日々仕事があり、学童を利用しています。「親子の触れ合いが」とか言いますが、そんなもの言われなくてもやっています。学童で時間を取られるなら親子の時間として使用したいです。無認可への補助金が可能ならNPOの学童において親の負担（金額の問題ではない）を無くして欲しいです。</p>
<p>もし今後、小学校が統合される場合、生徒の親も共働きが増えていくので横断歩道の旗振り当番が大変なのではないかと思う。地域の高齢者ボランティアと協力してできたら、見守りにもなって良いのではないかと？</p>
<p>クラスが1クラスしかないのは、どうかなと思う。人数が多い所と少ない所で協調性や学力の差も出てくるのではないかと心配です。</p>
<p>以前、大石南小学区の人口増に伴い、大石小へ学区を移した経緯があったと聞いております。また大石南小の学区に戻ることは可能なのか？</p>
<p>P T Aの活動などを通して先生たちも一生懸命、生徒に対して取り組んでくれているのがわかります。これから学校、保護者、地域が一体となって子どもの教育に関わっていけるような仕組み作り、意識統一が望まれると考えます。</p>
<p>療育施設（未就学児を含む）がもっと増えれば良いと思います。</p>
<p>私は上平北小学校に通いました。子どもは大石小学校に通っています。少人数だった上平北小学校は授業も行事等もきめ細やかで先生方全員で見守って下さっているという安心感がありました。児童数が多いことへの魅力は何も感じないのが現状です。学校を統合することになった場合でも1クラスの人数が25人を超えないでほしい。</p>
<p>業者選定は完全公開を。</p>
<p>学童施設をもっと増やしてほしい。</p>
<p>クオリティの高い教育ができるよう施設についてもよく議論したうえで進めてほしい。上平公園横の広場のように図書館の計画が白紙になるようなことがあっては困る。</p>

<p>耐用年数が短すぎると思います。100年使える学校を目指しても良いのではないのでしょうか。大学の時メインで使っていた建物は関東大震災直後に建てられたものですが、きちんと機能していました。災害も多いので何とも言えませんが、長持ちする学校を建てた方が良いと思います。</p>
<p>大谷中は部活がわりと盛んときくが、その他で部活を続けるなら遠くてもクラブチームに入らないと意味がない程レベルが低いと聞く。</p>
<p>子ども達の学校施設に対してご検討ありがとうございます。財源など難しい課題が多いことがわかりました。未来を担う子供たちが学ぶ学校が今より安全、安心なものになっていくことを願います。</p>
<p>耐震、セキュリティ、給食の質。</p>
<p>案件としてとても興味があるが、時間を割いて労力をかけてまで積極的に説明会や話し合いの場に行く気にはなれない。このアンケートも最初に手を取った時に「面倒そう」と思ってしまった。私以外にもそう感じる人は少なくないと思うので、極力負担が少ない参加形態が取ればとても魅力的だと思う（例えば紙ベースのこのようなアンケートではなく、スマホから簡単に回答ができるシステムなど）。</p>
<p>保育園→学校→学童の連携がもっとあると良い。学校でそのまま学童にしてくれれば改めて手続きも要らないので便利、複合できるものはその分、中身を濃く、安全にしていける事が今後、必要不可欠かと思っている。</p>
<p>問12～14に関して、駐車場の増設、不審者に対する対策は必須だと考えます。問7に関して、あえて1クラスの人数を減らし、教員の負担軽減、きめ細かな指導を希望するのは財源面からすると厳しいのでしょうか。小学校と統合するのであれば、中学校の学区毎での統合が現実的かと思われます。しかしながら、中高一貫の流れも昨今見受けられますが、この点については如何お考えでしょうか。上尾市中心部の学校のほうが市中心でない学校と比べて設備が手厚いと聞いたことがあります。学校統合の際には設備の格差を是正して頂きたい。大災害が想定される中、例えば耐震強度のチェック及び対策強化等が必要と考えます。</p>
<p>統合、廃止等は早めの保護者に連絡が必要だと思います。安全、安心は大事ですが各家庭、児童に合わせた対応が行われるようにして頂きたいです。</p>
<p>学区施設を他施設と複合化するにあたり、児童、生徒の安全面を第一に考えてほしいです。誰でも入って利用できるということは、不審者も入り易いと思う。防犯強化、警備員の増加は絶対必要だと思う。ここに費用を当てられないのであれば複合化には反対です。学校統合した場合、小学校はスクールバスで遠い児童を送迎するべきだと思う。バス停は作らず自宅近くに乗車可能な場所を見つける方が良いと思う（幼稚園バスのように、事故、事件を防ぐため）。</p>
<p>働く母親が増えています。希望した全ての子どもが通っている学校の敷地内にある学童に通うことができれば、安心して働くことができます。小中だけでなく、保育所の設置で小学校への円滑な接続も必要と思います。色々なタイプの子どもがいます。増加傾向にある発達障害など学校生活が大変だと感じている子ども達の為に支援ができるクラスの設置が必要かと思っています。また、カウンセラーや気楽にすぐ相談ができる場所も必要かと思っています。</p>
<p>北本市が比較的新しい取り組みを取り入れているように感じます。柔軟に情報収集し、取り入れる姿勢を求めます。上尾市の学童保育について、費用や活動内容について不安を感じています。</p>
<p>様々な立場、意見のある中、これからの学校施設について、検討を重ね実行することは大変なことだと思います。私自身今回のアンケートを回答するにあたり色々と考えることができました。良い機会をいただきました。ありがとうございました。</p>
<p>問2の学校施設（ハード面）で求める点として、学校内の不審者対策や災害時の安全性能を優先順位の1と2にしたいです。不審者対策の施設で敷地内の入口から来客者→事務室までの道を他のアスファルトと色分けし、色分けされてない所を歩く人を見たら、生徒は近くの先生に報告する等、対策している学校があったので、我が子が通う学校でも取り入れて欲しいです。災害時は蓄電池や太陽光発電等で万が一の自給自足が最低限出来ると良いと思います。スクールバスも有料でも良いので取り入れて欲しいです。</p>
<p>予算（財政）と児童の両面から短期だけでなく、中長期の視点で検討していただければと思う。</p>

<p>全体的に古く、数が多い。幼稚園が同じでも 4～5 校に別れた小学校に入学したりとエリア・エリアで小学校が多いように感じる。</p>
<p>娘が現在、尾山台小学校へ通っています。上の子の時から年々、児童数が減っていくのに寂しさを感じています。低学年のクラスはギリギリの 30 人超えの 1 クラスなので、先生はとても大変そうです。1 クラス当たりの人数を減らし 2 クラスにした方が確実に先生の負担が少なくなり、保護者も安心ではないかと思えます。校舎は古いのかと思えますが、トイレはキレイですし、このまま使い続けられるのでは？と私は思います。私立のようなキレイさは求めています。</p>
<p>コロナクラスターを考え、コロナ陽性者が出た場合、5 日（平均発症日数が 5 日のため）は休校としたほうがいいのではないのでしょうか。</p>
<p>学校内学童や児童館を建て替える場合、併設してほしい。今後、共働きの家庭が増える事を想定すると併設してあると安心できる。今後、児童数が減ってきて廃校になるのはやむを得ないが通学距離が長くなると小学校低学年くらいまでは心配なのでスクールバスはほしい。もし、近隣の学校が建て替えてキレイになったらそちらに通わせたい。昨今、夏はとても暑いのでクーラーは必須だと思う。建て替えた場合、プールは屋内だと変質者などから子どもを守れると思う。小中一貫校（同じ敷地内）を実現できれば特別教室、プール等は別棟などと 1 つにすれば維持費が減る。</p>
<p>中央小、富士見小のように教室と廊下の境をなくした意図・目的が知りたいです。授業への集中力が落ちるだけのような気がします…</p>
<p>参考資料 1-2 によると 2024 年の児童生徒数は 1972 年とおおよそ同じに見えるので、その頃の学校規模に近づけ適正化を図ってほしいと思う。ただ、その頃とは時代背景も違うので、少人数教育ができる施設の規模や通学の安全性は確保してほしい。</p>
<p>上尾市だけの問題ではなく全国的なことだと思いますので、全国での成功例を参考にしたり、市民だけではなく教育の専門家を集めた会議などを開催し、幅広い意見を求めた方がよいと思います。</p>
<p>このアンケートの設問、選択肢が「財源がないから統合」ありきだと感じる。財源がないことは理解できるが、「児童生徒の安全、安心な学校環境を守る」ということに対する考えが貧しいのではないか。（たかがアンケートの設問だとしても）市の教育の中核である教育委員会が市民に対して、子どもたちの安全な生活、市としての財源の有効活用を提示して様々な意見をくみ取ることができると思う。このアンケートは「財源がないから統合」のアリバイ作りのように感じる。</p>
<p>学童をもっとしっかりやってほしい（市でやってほしい）。早い時間からやってほしい。資料が見つらい（小学校、中学校それぞれの統合数のアンケートがあるのに資料はまとめて書いてある等）。結果ありきのアンケートに意味はない。</p>
<p>本アンケートの質問の中に回答を意図的に誘導する問があり、不信感を覚えた。（問 11-1 のように「学校をすべて残し」「多額の費用をかけても」など学校施設の統廃合が正しいかのような印象を与える表現）統廃合により、通学距離が長くなる生徒も増える為、通学路の整備（電灯の設置、危険個所のカーブミラー設置など）も一体的に実施すべき。</p>
<p>うちの子（小 3）は不登校です。先生方は親身になって下さっていますが、勉強の遅れがどうしても避けられません。オンライン授業や公的なフリースクールが近くにあればいいなと思えます。フリースクールを作らないのはなぜ？需要あるはず。市内でも大人数のところ、少人数のところ、運動に力を入れている、英語教育が盛んなど、それぞれの特色を持った学校ができ、個人で選べるようになれば良いと思えます。通信教育も含めて小中一貫教育は子どもをレールに乗せようとしている感じ。やや否定的です。</p>
<p>独創的な意見、世の中の流れとは違う意見といった内容にもきちんと耳を傾け、取り組みを真剣にして頂きたいです。昨今、間違った財政状況の認識や自己責任論が蔓延していますが、将来世代、現役世代にとって何が本当に大事かを意識して取り組んでほしいです。財源によって豊かなる社会をあえて放棄しますか？ハード、ソフト共に貧困化を目指しますか？</p>
<p>学校を統廃合する前に上尾市と桶川市を統合するべき。無責任な大人のエゴを押しつけるな。</p>



<p>上尾市で生まれ育ち、多くの学校が老朽化や生徒数減の問題に直面していることは概ね理解しています。また、次男が障害児であることから数年後に控えた小学校への入学に対して不安を抱えています。安全面やコスト面など多くの課題があるかと存じますが、今回のように市民の声に耳を傾けつつ、少しでも良い方向に進んでいただけることを願います。</p>
<p>自分自身の子ども時代より子どもの少なさを感じています。地域でも同学年は少なく、安心して1人で送り出せる公園などはありません。夏も暑く外で遊ぶことが危険な時代です。子どもが安心して遊べる施設にしてもらえると良いと思います。例えば八王子にある中学か高校を廃校にした施設に行ったことがあります。キャンプができ、外が苦手だったりすると寝るときだけは校舎で寝ることができて楽しそうでした。上尾市はキャンプ場もありますが、近所で手頃にアウトドアが家族や友人とできたら地域の交流にもなって良いと思います。</p>
<p>各施設は統一された様式があるのか。また、それぞれ特徴があるのか（例えば、トイレ、出入口及び内部のデザインや各教室の空調、OA等）。</p>
<p>家から小学校まで遠いのに行事など駐車場も使えない。小さい子どもがいるのに不便。わざわざ箸を持参しないといけない。</p>
<p>今後の学校施設のあり方におけるリスクとリスクに対する対応案を検討頂き、内容を開示頂きたい。</p>
<p>おそらく新しく建てる50年は使用すると思います。難しいですが50年、若しくはそれ以上先を見据えた計画の上で建てるべきです。</p>
<p>現状維持はあり得ません。変化していく世の中には変化して対応するしかないと考えます。</p>
<p>子どもが通う小学校は、マンモス校で家からも遠く、危険な道路も通る為、心配です。少人数で家から近い学校だったらいいなと思います。</p>
<p>富士見小学校はモデル校となっていますが、現状のメリット、デメリットを知りたいです。学習の向上やいじめの減少など。</p>
<p>学校は子どもたちの学習、成長の場として運用されるべき。少なくとも地域住民の体育祭などに利用されるべきではない（騒音や近隣トラブルの要因）。</p>
<p>子どもの人数が減っていくと分かっているなら無駄な金がかかるような施策はいらないと思います。その全ては税金であり、皆が支払っているものを適切に使用して貰いたいです。</p>
<p>生徒減少の根本もわかっていない。子どもが減る理由は金がないからです。だから女性が働く。だから家事負担を上げたくない。だから子どもも家事負担を考えた人数しか出産しない。こういうことだと思います。ただ中には働いたうえでたくさん子どもを産みたい人もいると思う。しかし、保育園が足りないじゃないですか。保育園が増える→親が働ける→豊かになる→子どもがくれる。こういうことでしょうか。日本は子どもが減ります。これはとめられないかもしれません。でも上尾市だけは子どもが増えるという現実はまだあきらめる段階じゃないのではないのでしょうか。上尾市ならば子どもを預けて働けるとなれば、子どもを持つ親は集まるでしょう。</p>
<p>上尾市の市政は他の自治体より保守的です。ニュースに取り上げられるお手本になるような子どものことを考えたアンケート、そして市政をして下さい。時代は今までにないものを作り出す世ですよ。今のままでは市政に参加したいと思いません。市側が変わらなければ参加者は増えませんよ。</p>
<p>富士見小がモデル校として建てられているが、モデルなどどうでも良い。全ての小学校で同じレベルの環境、学習ができるようにすべきではないでしょうか。学校等に違いがありすぎる気がします。周りへの（市）アピールではなく、今いる子どもの為に最善の方法を考えていただきたい。</p>
<p>現在の家を購入する際、学区を考慮し決定した経緯もあり、むやみやたらに統合には賛成できない。</p>
<p>学校は残すべき、近隣の市では児童数が多過ぎるところもある。一概に児童数減少を嘆くのではなく、人口増加に人力を尽くすべき。</p>
<p>今後、子どもが減少していく中では保育園、小学校、福祉施設等、一緒に運営、その中でそれぞれ思いやる。活気ある運営ができればと思います。小中一貫でも同じ思いです。</p>

アンケートを見ると統合ありきのものと見られました。財源ないとできないこともあります。子どもの安全、安心が第一です。車の多く走るこの地域に1日に1時間以上も(往復で)子どもが歩き通学するのは、排気ガスも多く吸い込み、健康被害が出るのではと心配になります。余分な財源や自由に使える特別会計はありませんか?何とか子どものために小さい建物での建て替えはできませんか?

学校を統合するため、このアンケートで統合するのはやむを得ないという回答をもらい、市民がそう言っているので統合します。という責任を市民に押し付けるためのアンケートという印象を受けた。

こういったアンケートを実施することは否定しないが集計に莫大な手間がかかり、無駄な人件費を要する。財源が必要なのであれば、サービスも業務もIT化し、先ず無駄な費用を捨てる工夫から始めたらどうか。

子ども達が遊べる公園がないです。平塚公園が汚すぎます。上谷総合公園のような公園が欲しいです。

問3の時代に合った教育というのは必然的に設備も必要になってくると思いますが、具体的にどのような設備が必要になるのか知りたい。その費用によっては統合案に賛成するかもしれないし、建て替えでもいいんじゃない?となるかもしれないし、選択肢が増えます。正直、子どもと先生方が学習しやすい、教えやすい環境であれば賛成すると思います。

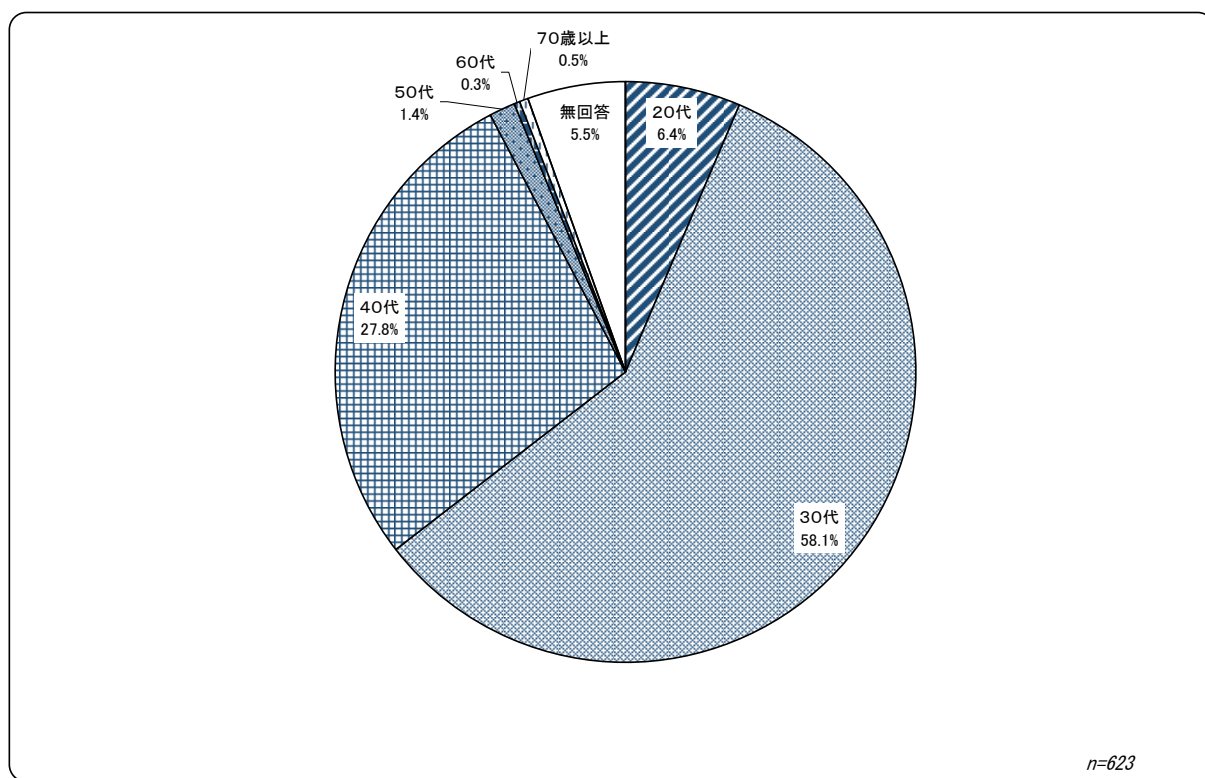
子どもが0歳で、まだ通っていないので分かりません。

## 8. 回答者の属性

### 問22(1) 年齢

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

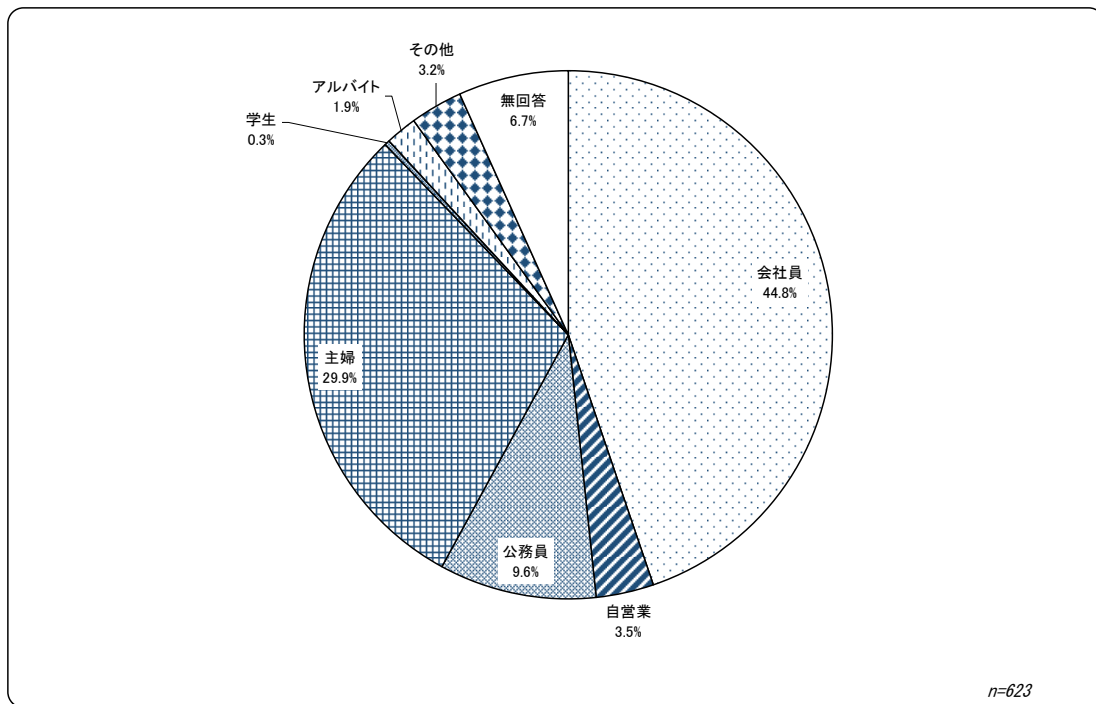
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	合計
0	40	362	173	9	2	3	34	623
0.0	6.4	58.1	27.8	1.4	0.3	0.5	5.5	100.0



問22(2) 職業

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

職業	回答数	構成比(%)
会社員	279	44.8
自営業	22	3.5
公務員	60	9.6
主婦	186	29.9
学生	2	0.3
無職	0	0.0
アルバイト	12	1.9
その他	20	3.2
無回答	42	6.7
合計	623	100.0



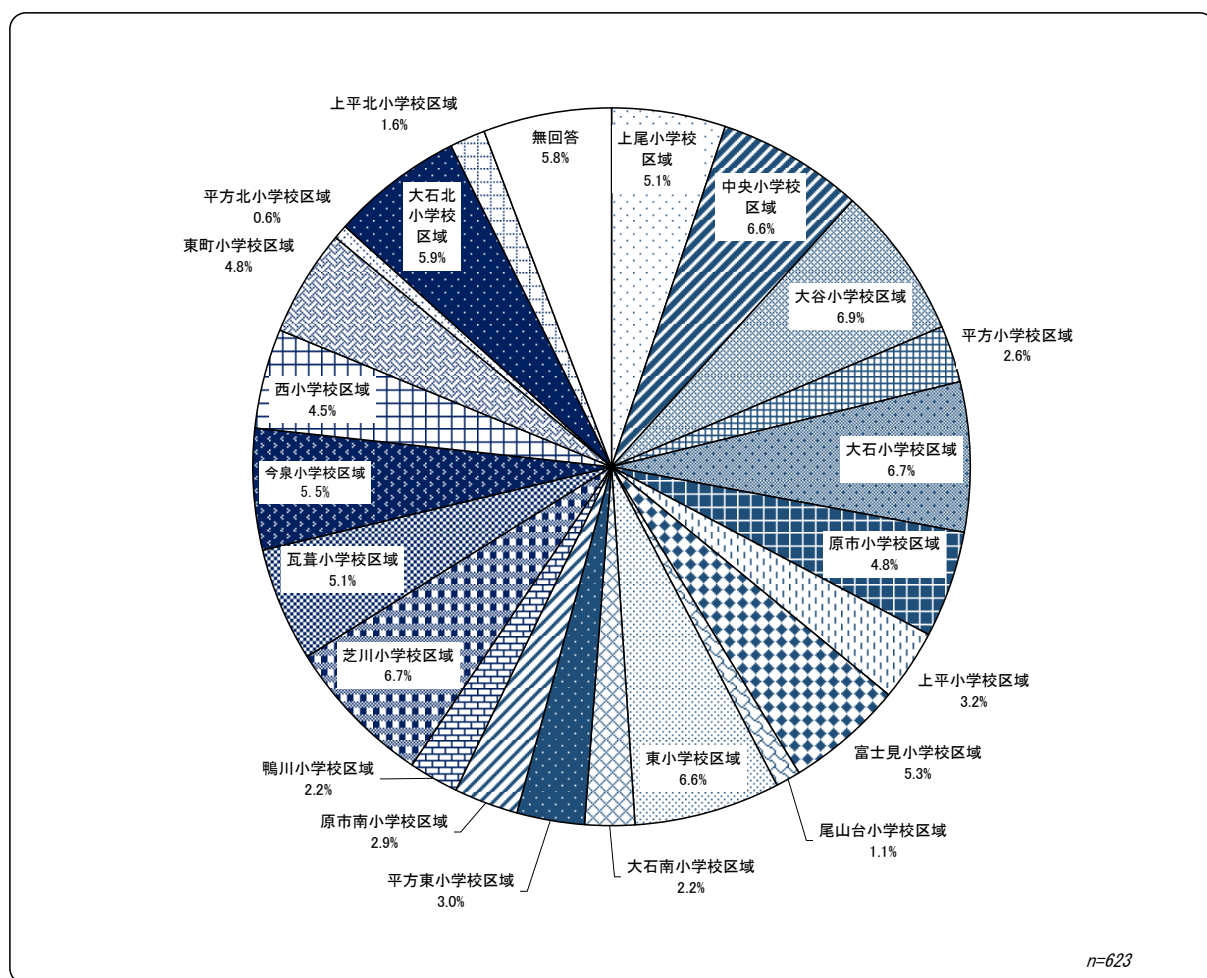
【参考：「その他」意見の整理（抜粋）】

パート（12件）
団体職員（2件）
派遣社員（1件）
会社経営（1件）
介護士（1件）

問 2 2 ( 3 ) 居住地区

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

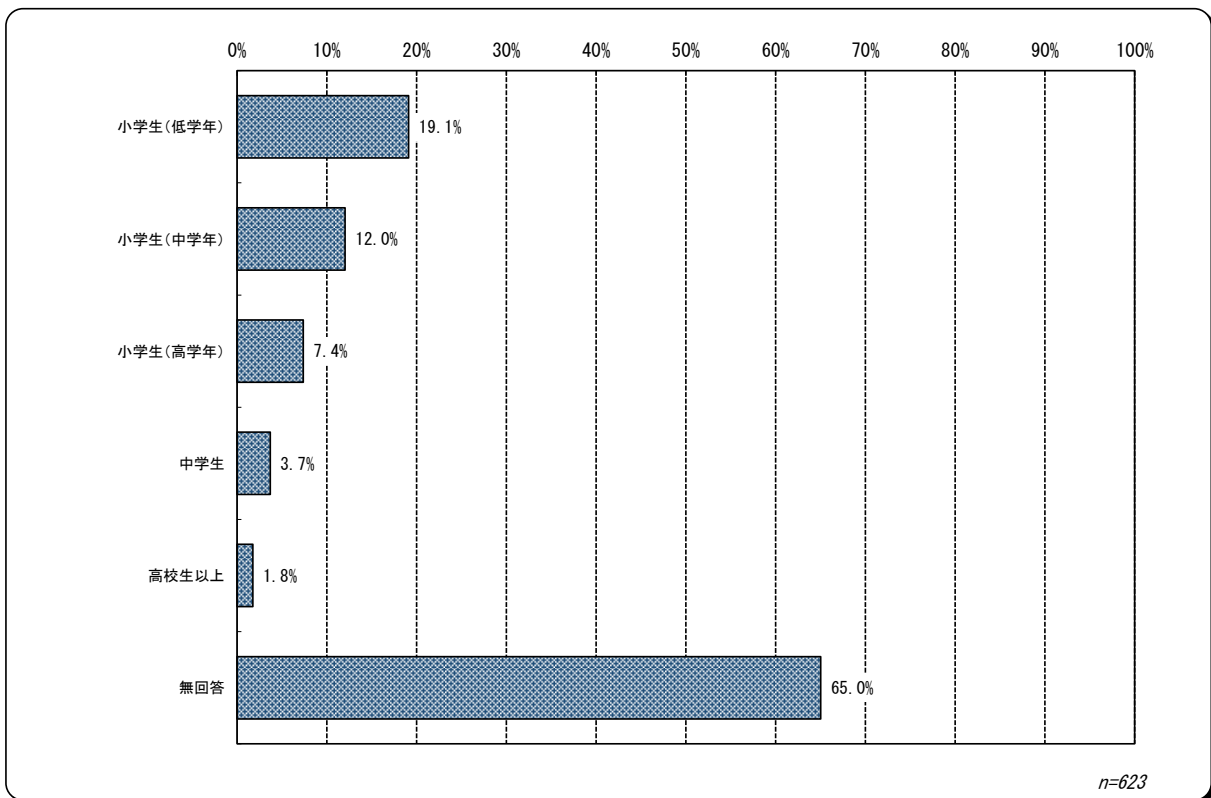
上尾小学校区域	32 5.1	原市南小学校区域	18 2.9
中央小学校区域	41 6.6	鴨川小学校区域	14 2.2
大谷小学校区域	43 6.9	芝川小学校区域	42 6.7
平方小学校区域	16 2.6	瓦葺小学校区域	32 5.1
大石小学校区域	42 6.7	今泉小学校区域	34 5.5
原市小学校区域	30 4.8	西小学校区域	28 4.5
上平小学校区域	20 3.2	東町小学校区域	30 4.8
富士見小学校区域	33 5.3	平方北小学校区域	4 0.6
尾山台小学校区域	7 1.1	大石北小学校区域	37 5.9
東小学校区域	41 6.6	上平北小学校区域	10 1.6
大石南小学校区域	14 2.2	無回答	36 5.8
平方東小学校区域	19 3.0	合計	623 100.0



問 2 2 ( 4 ) 未就学児以外のお子さんの有無

(複数回答) [上段：回答数 下段：構成比(%)]

小学生 (低学年)	小学生 (中学年)	小学生 (高学年)	中学生	高校生以上	無回答	合計
119	75	46	23	11	405	623
19.1	12.0	7.4	3.7	1.8	65.0	100.0



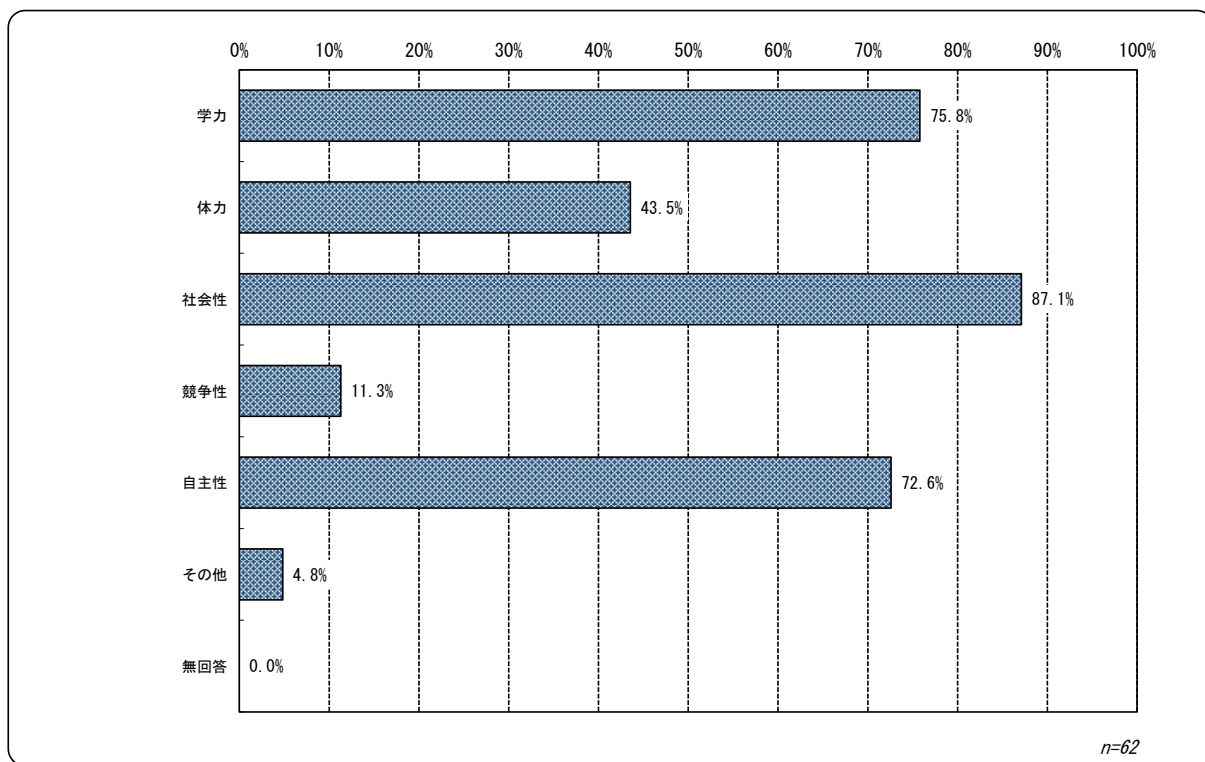
## 参考：中学校区ごとのクロス集計結果

問1 お子さんが今後学校に通る際に、最も身に付けさせたいこと [当てはまる上位3つ]

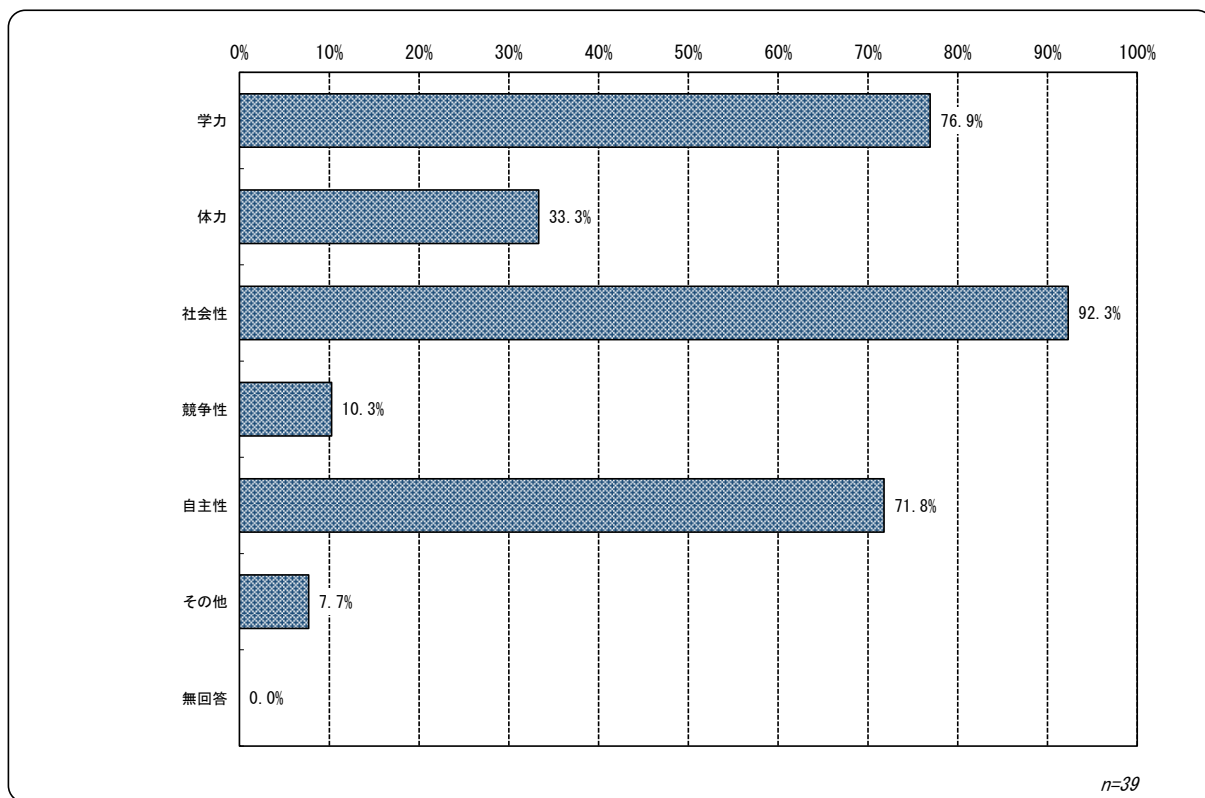
[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

	学力	体力	社会性	競争性	自主性	その他	無回答	合計
中学校区域								
上尾中学校区域	47 75.8	27 43.5	54 87.1	7 11.3	45 72.6	3 4.8	0 0.0	62 100.0
太平中学校区域	30 76.9	13 33.3	36 92.3	4 10.3	28 71.8	3 7.7	0 0.0	39 100.0
大石中学校区域	64 81.0	33 41.8	69 87.3	8 10.1	59 74.7	2 2.5	0 0.0	79 100.0
原市中学校区域	35 72.9	27 56.3	41 85.4	3 6.3	33 68.8	5 10.4	0 0.0	48 100.0
上平中学校区域	60 83.3	25 34.7	64 88.9	5 6.9	55 76.4	3 4.2	0 0.0	72 100.0
西中学校区域	56 91.8	14 23.0	56 91.8	4 6.6	48 78.7	3 4.9	0 0.0	61 100.0
東中学校区域	67 81.7	32 39.0	72 87.8	5 6.1	58 70.7	6 7.3	0 0.0	82 100.0
大石南中学校区域	12 85.7	5 35.7	10 71.4	1 7.1	13 92.9	1 7.1	0 0.0	14 100.0
瓦葺中学校区域	28 71.8	15 38.5	30 76.9	5 12.8	31 79.5	4 10.3	0 0.0	39 100.0
南中学校区域	46 80.7	29 50.9	55 96.5	5 8.8	34 59.6	0 0.0	0 0.0	57 100.0
大谷中学校区域	29 85.3	12 35.3	32 94.1	4 11.8	24 70.6	1 2.9	0 0.0	34 100.0
不明	29 80.6	11 30.6	34 94.4	1 2.8	30 83.3	2 5.6	0 0.0	36 100.0
合計	503 80.7	243 39.0	553 88.8	52 8.3	458 73.5	33 5.3	0 0.0	623 100.0

<上尾中学校区域>

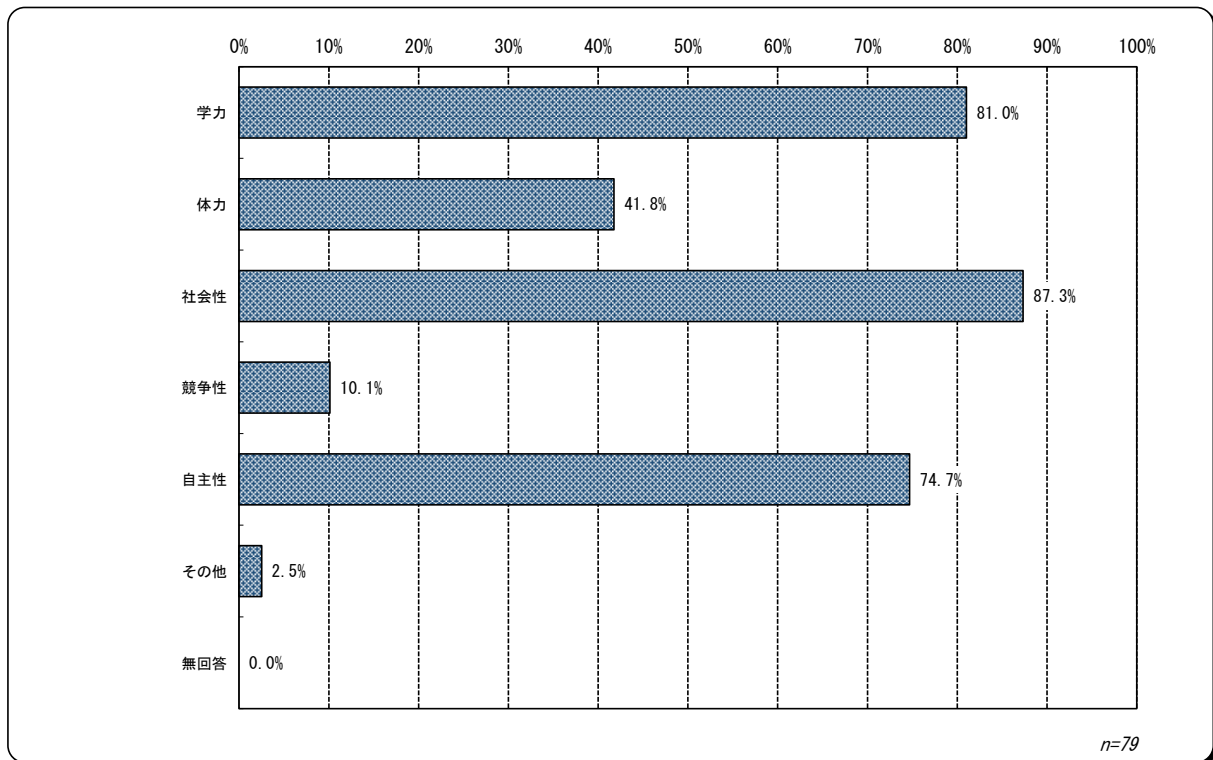


<太平中学校区域>

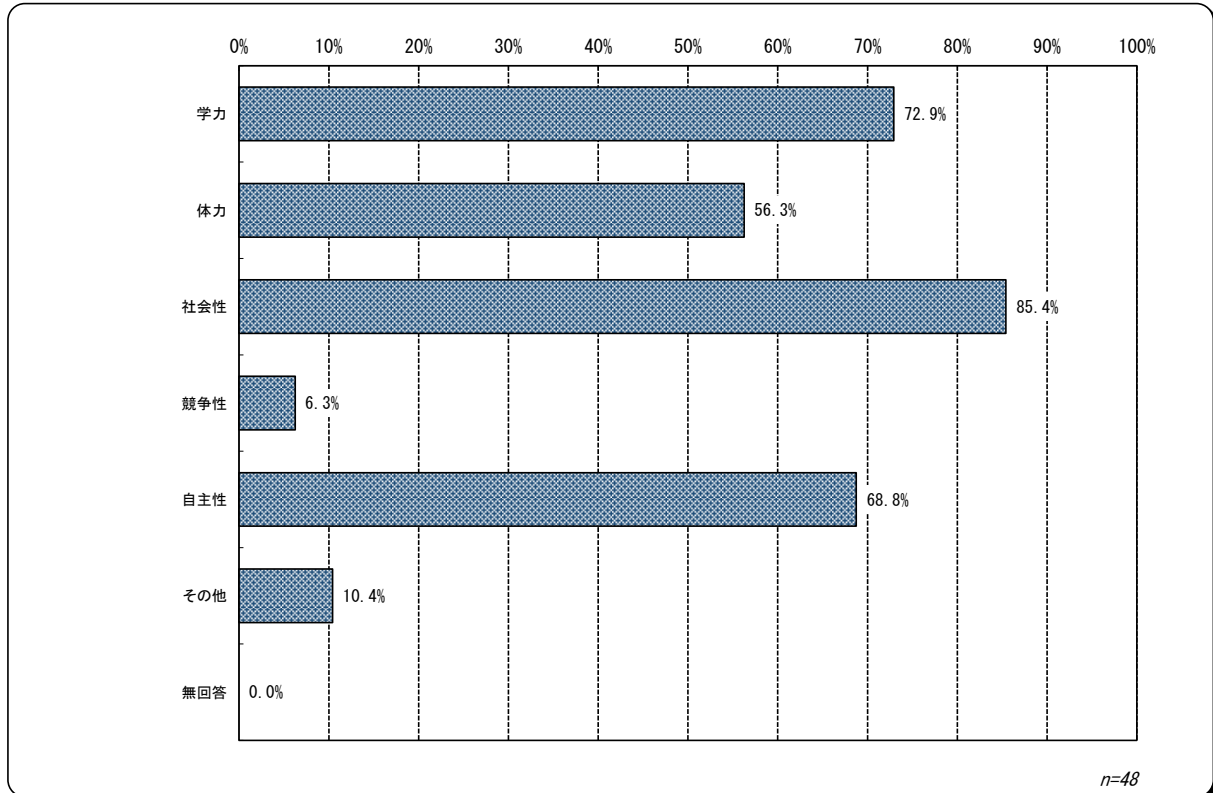




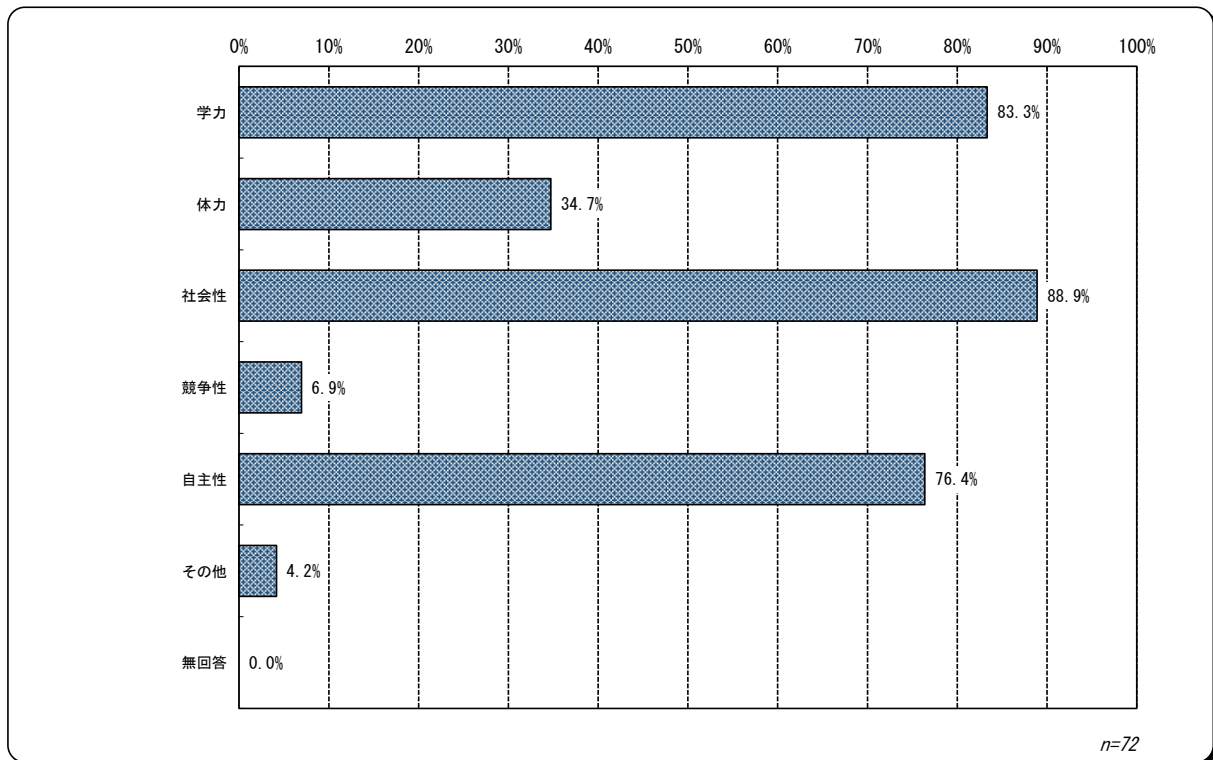
<大石中学校区域>



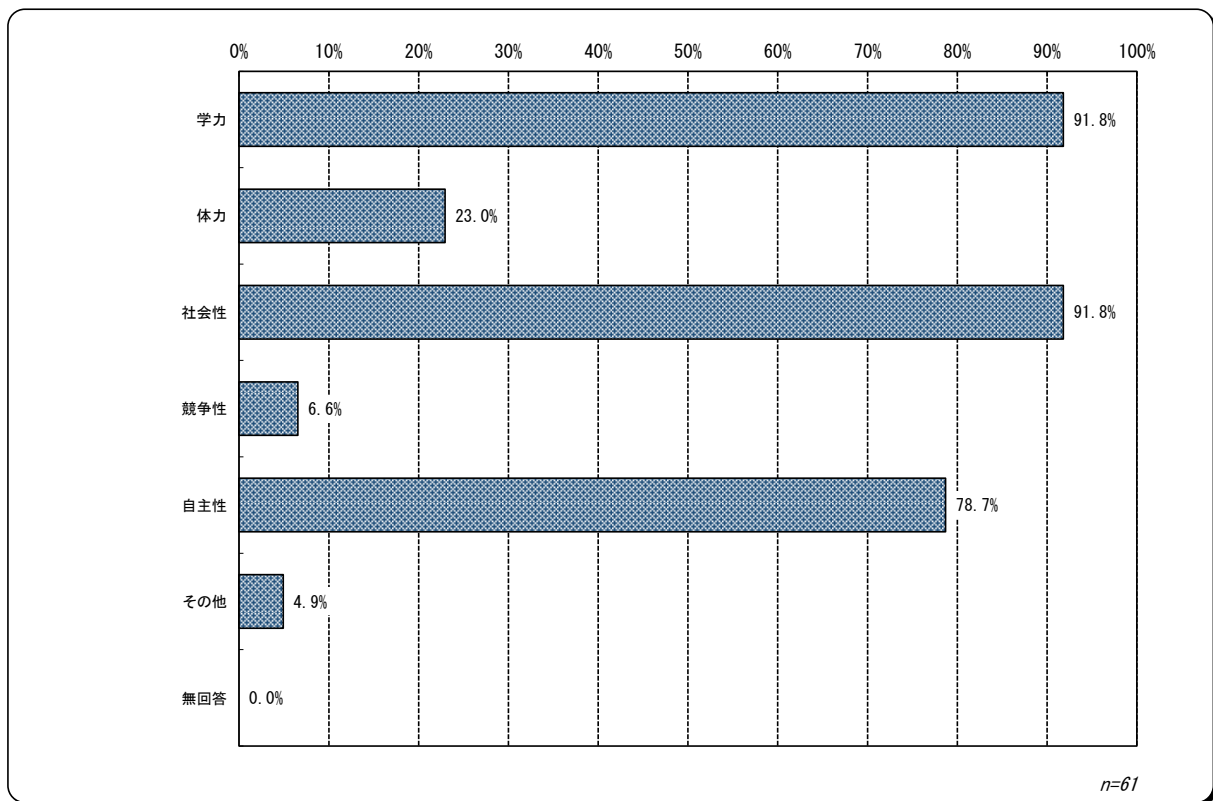
<原市中学校区域>



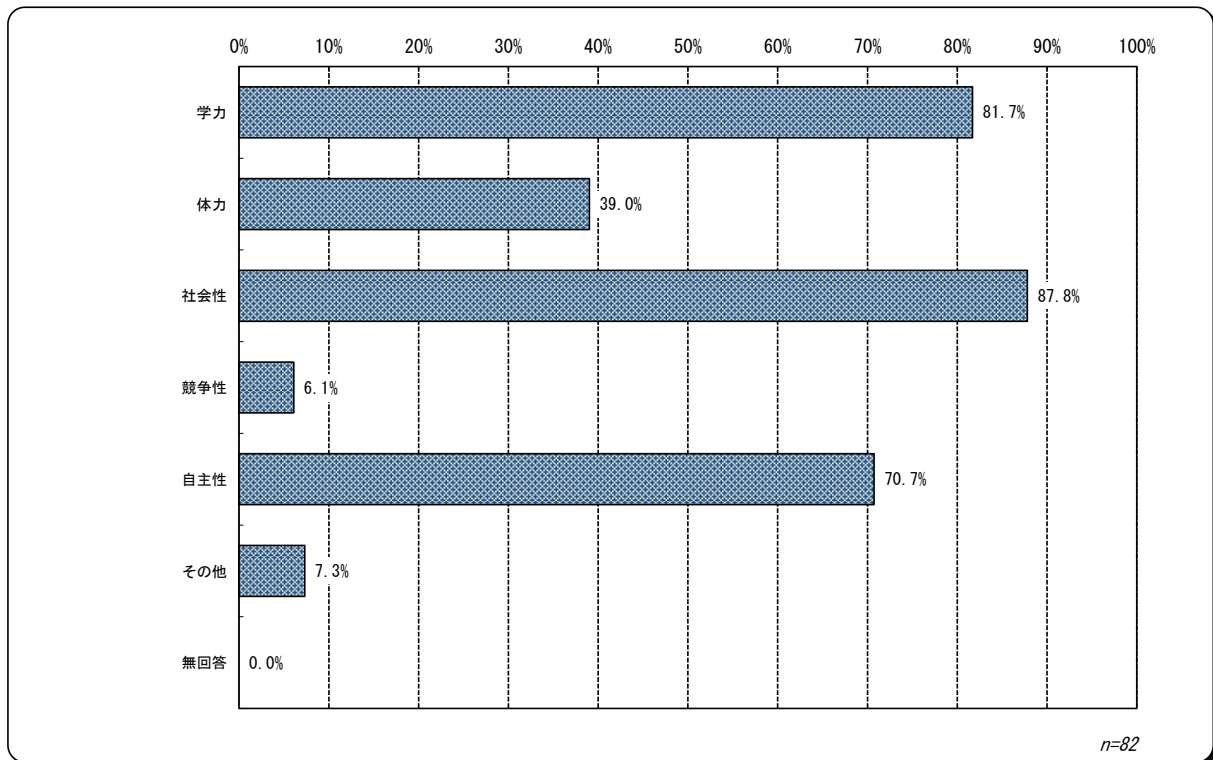
<上平中学校区域>



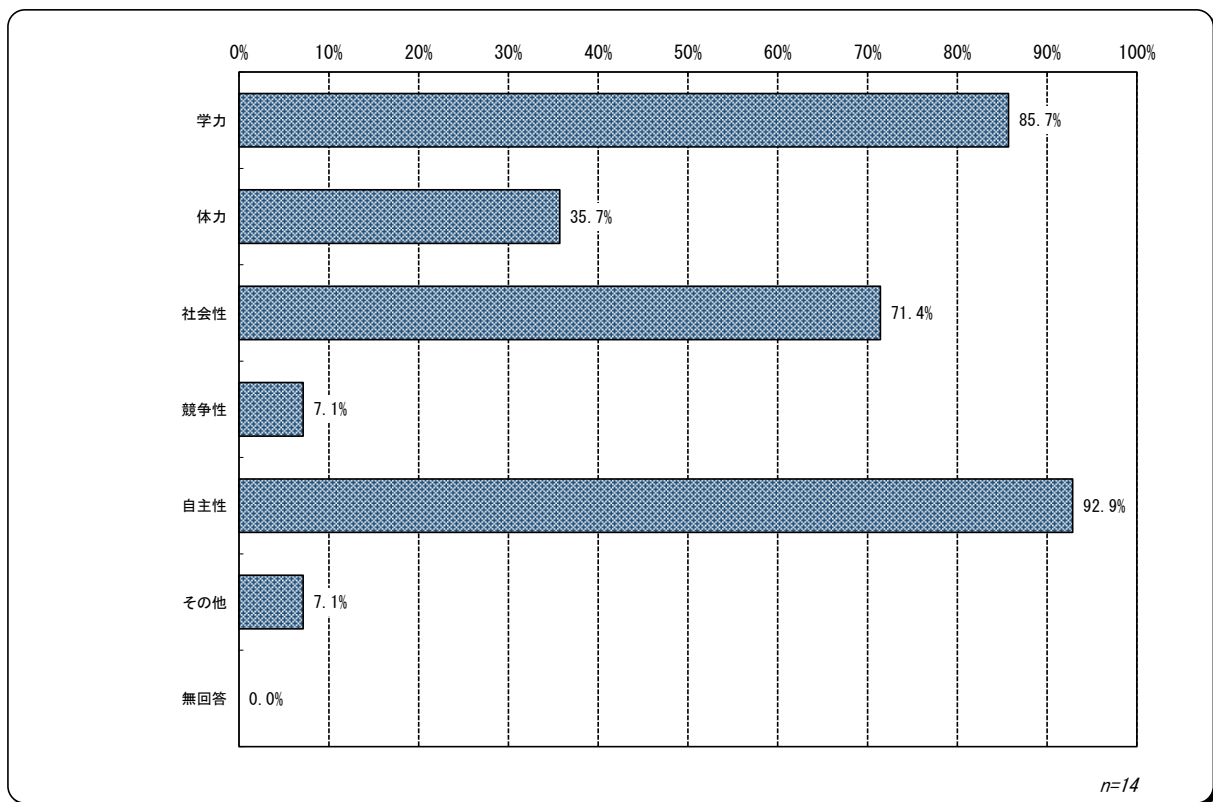
<西中学校区域>



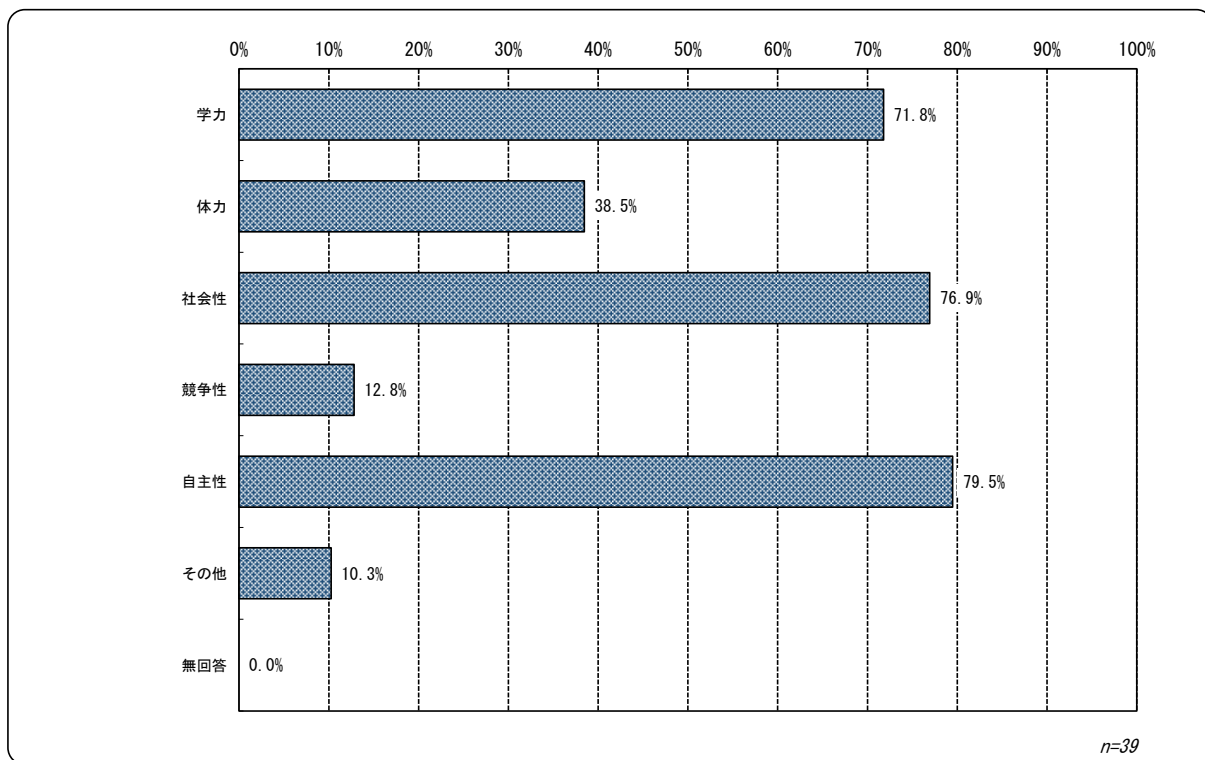
<東中学校区域>



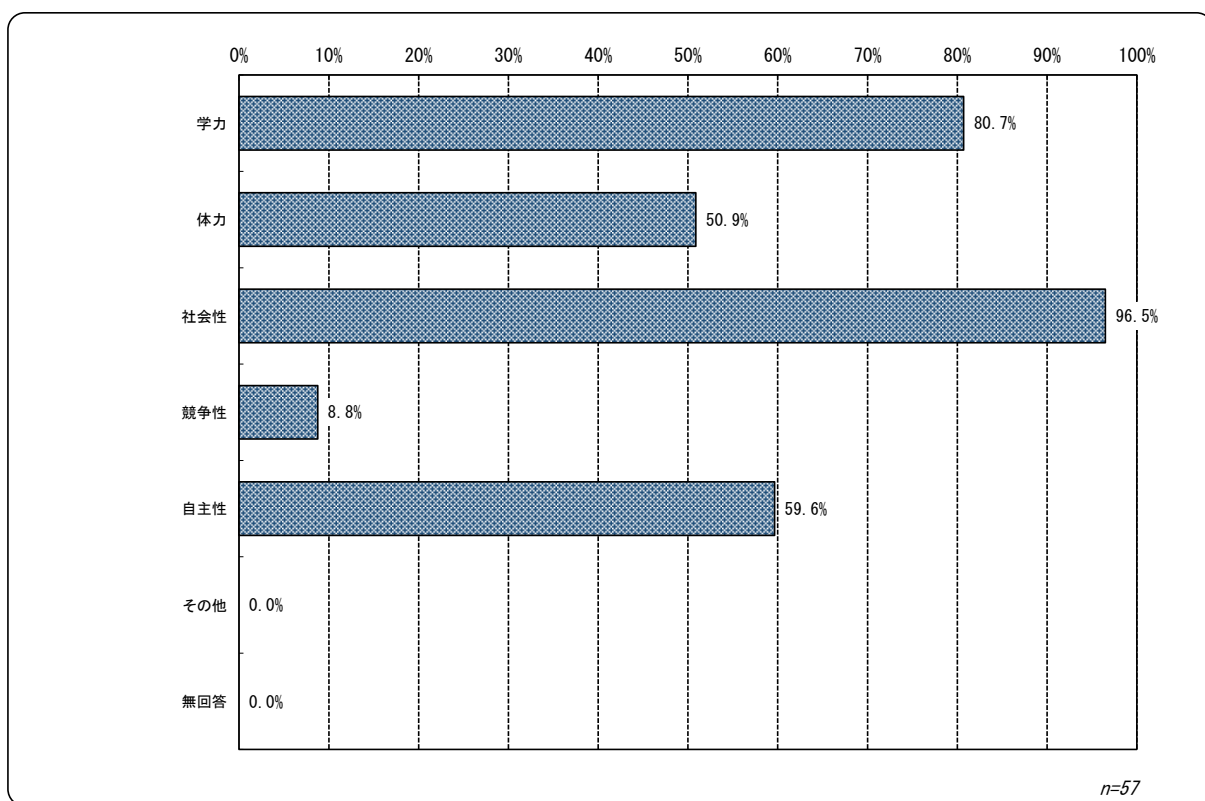
<大石南中学校区域>



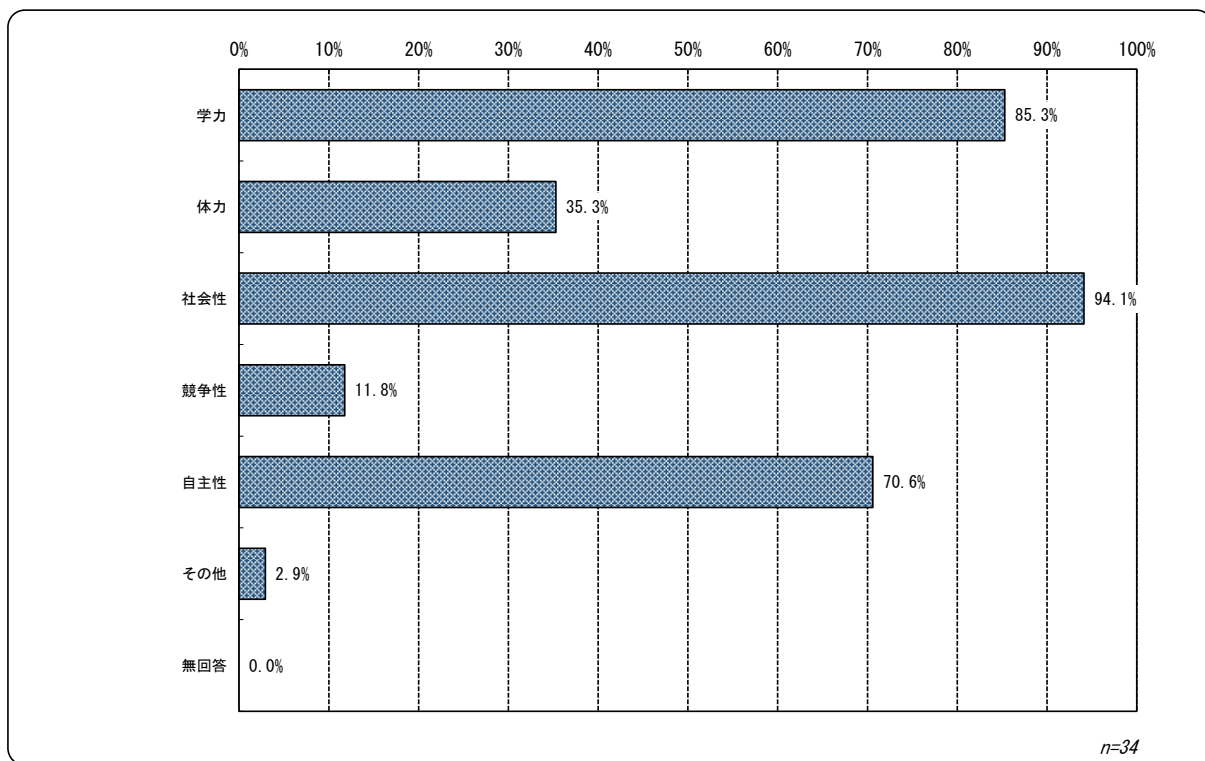
<瓦葺中学校区域>



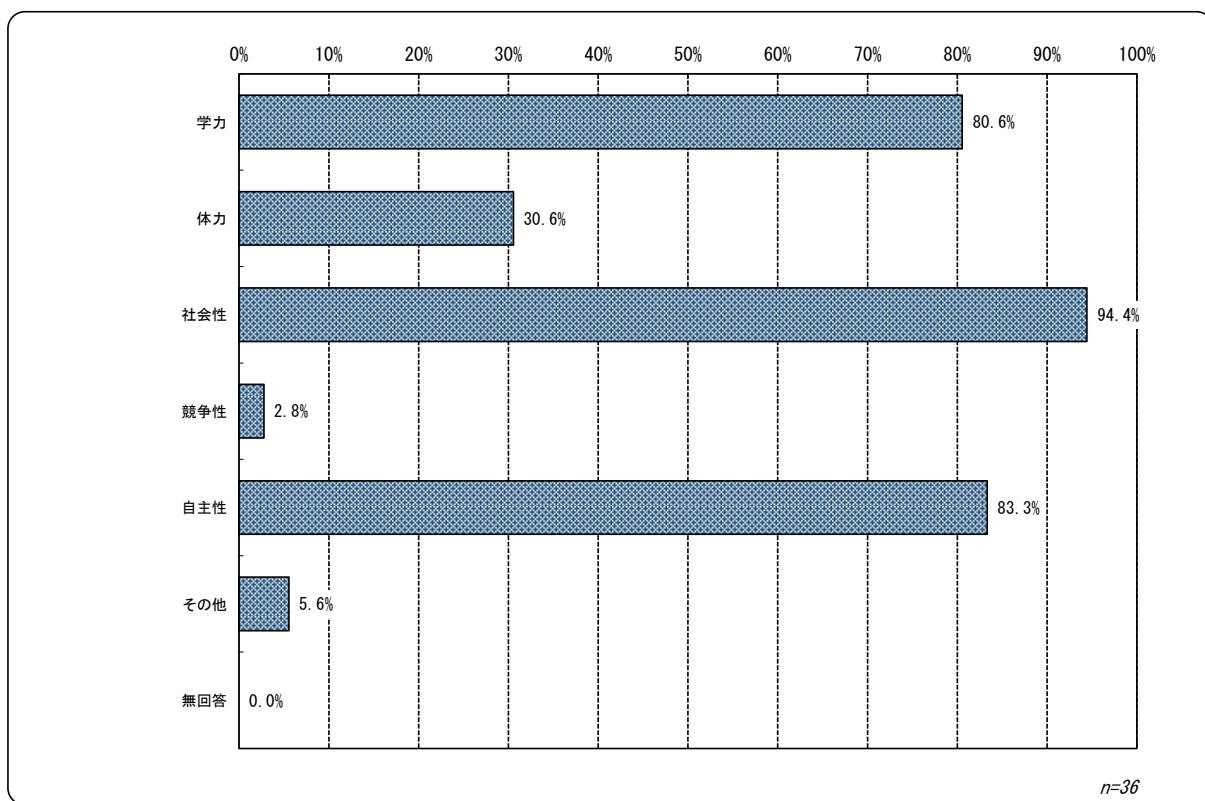
<南中学校区域>



<大谷中学校区域>



<不明>

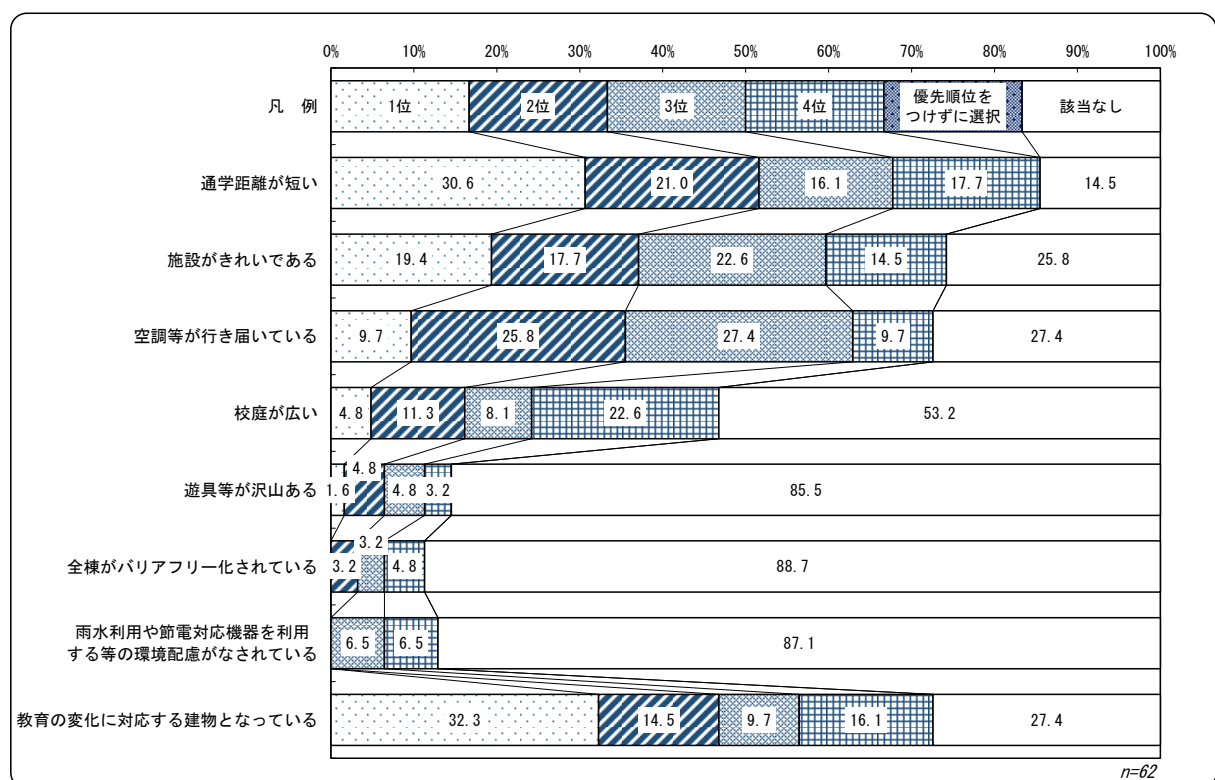


問2 学校施設に求めるもの（ハード面） [上位4番目までの優先順位]

<上尾中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

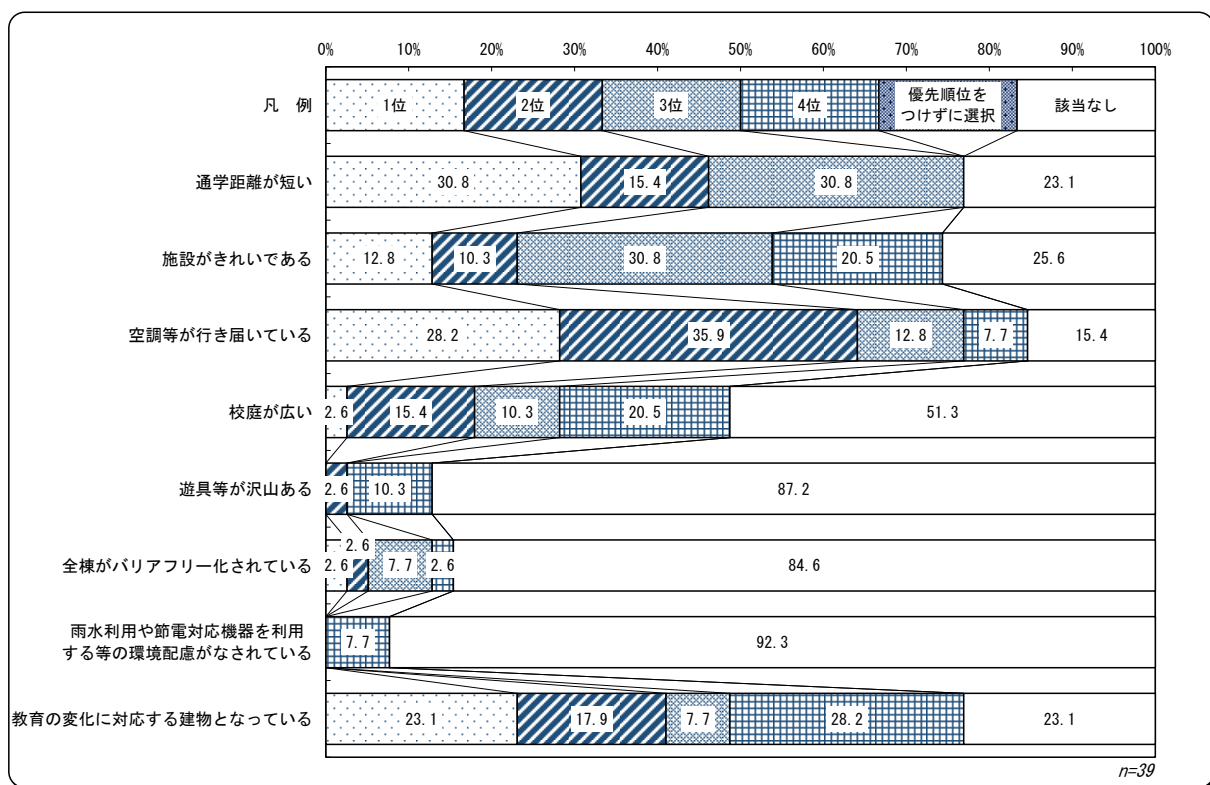
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	19 30.6	13 21.0	10 16.1	11 17.7	0 0.0	9 14.5	62 100.0
施設がきれいである	12 19.4	11 17.7	14 22.6	9 14.5	0 0.0	16 25.8	62 100.0
空調等が行き届いている	6 9.7	16 25.8	17 27.4	6 9.7	0 0.0	17 27.4	62 100.0
校庭が広い	3 4.8	7 11.3	5 8.1	14 22.6	0 0.0	33 53.2	62 100.0
遊具等が沢山ある	1 1.6	3 4.8	3 4.8	2 3.2	0 0.0	53 85.5	62 100.0
全棟がバリアフリー化されている	0 0.0	2 3.2	2 3.2	3 4.8	0 0.0	55 88.7	62 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	0 0.0	0 0.0	4 6.5	4 6.5	0 0.0	54 87.1	62 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	20 32.3	9 14.5	6 9.7	10 16.1	0 0.0	17 27.4	62 100.0



<太平中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

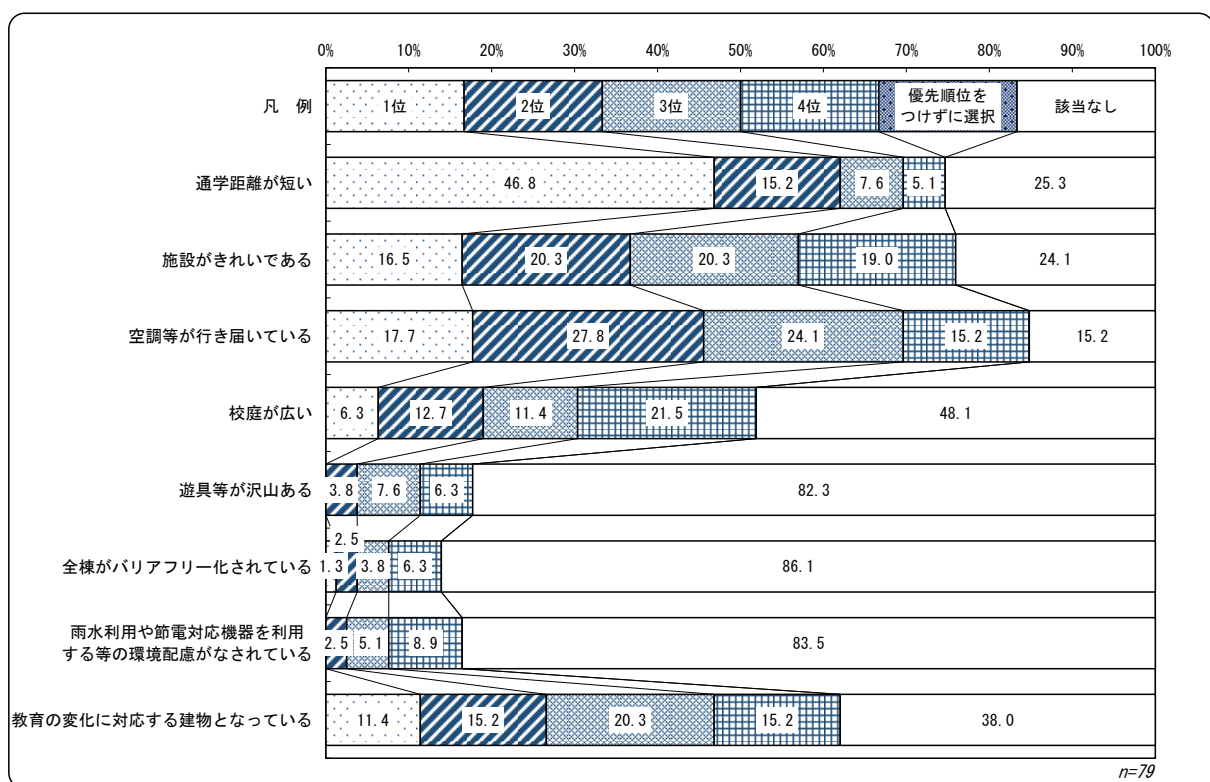
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	12 30.8	6 15.4	12 30.8	0 0.0	0 0.0	9 23.1	39 100.0
施設がきれいである	5 12.8	4 10.3	12 30.8	8 20.5	0 0.0	10 25.6	39 100.0
空調等が行き届いている	11 28.2	14 35.9	5 12.8	3 7.7	0 0.0	6 15.4	39 100.0
校庭が広い	1 2.6	6 15.4	4 10.3	8 20.5	0 0.0	20 51.3	39 100.0
遊具等が沢山ある	0 0.0	1 2.6	0 0.0	4 10.3	0 0.0	34 87.2	39 100.0
全棟がバリアフリー化されている	1 2.6	1 2.6	3 7.7	1 2.6	0 0.0	33 84.6	39 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.7	0 0.0	36 92.3	39 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	9 23.1	7 17.9	3 7.7	11 28.2	0 0.0	9 23.1	39 100.0



<大石中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	37 46.8	12 15.2	6 7.6	4 5.1	0 0.0	20 25.3	79 100.0
施設がきれいである	13 16.5	16 20.3	16 20.3	15 19.0	0 0.0	19 24.1	79 100.0
空調等が行き届いている	14 17.7	22 27.8	19 24.1	12 15.2	0 0.0	12 15.2	79 100.0
校庭が広い	5 6.3	10 12.7	9 11.4	17 21.5	0 0.0	38 48.1	79 100.0
遊具等が沢山ある	0 0.0	3 3.8	6 7.6	5 6.3	0 0.0	65 82.3	79 100.0
全棟がバリアフリー化されている	1 1.3	2 2.5	3 3.8	5 6.3	0 0.0	68 86.1	79 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	0 0.0	2 2.5	4 5.1	7 8.9	0 0.0	66 83.5	79 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	9 11.4	12 15.2	16 20.3	12 15.2	0 0.0	30 38.0	79 100.0

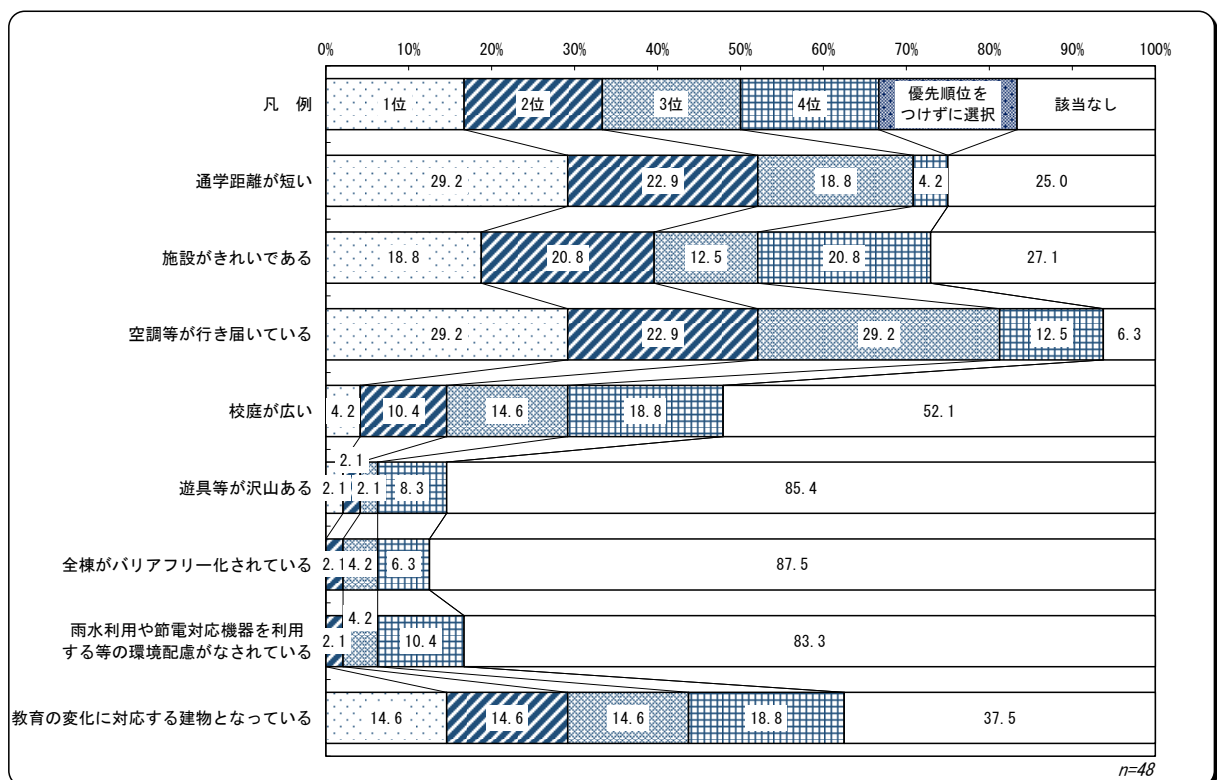




<原市中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

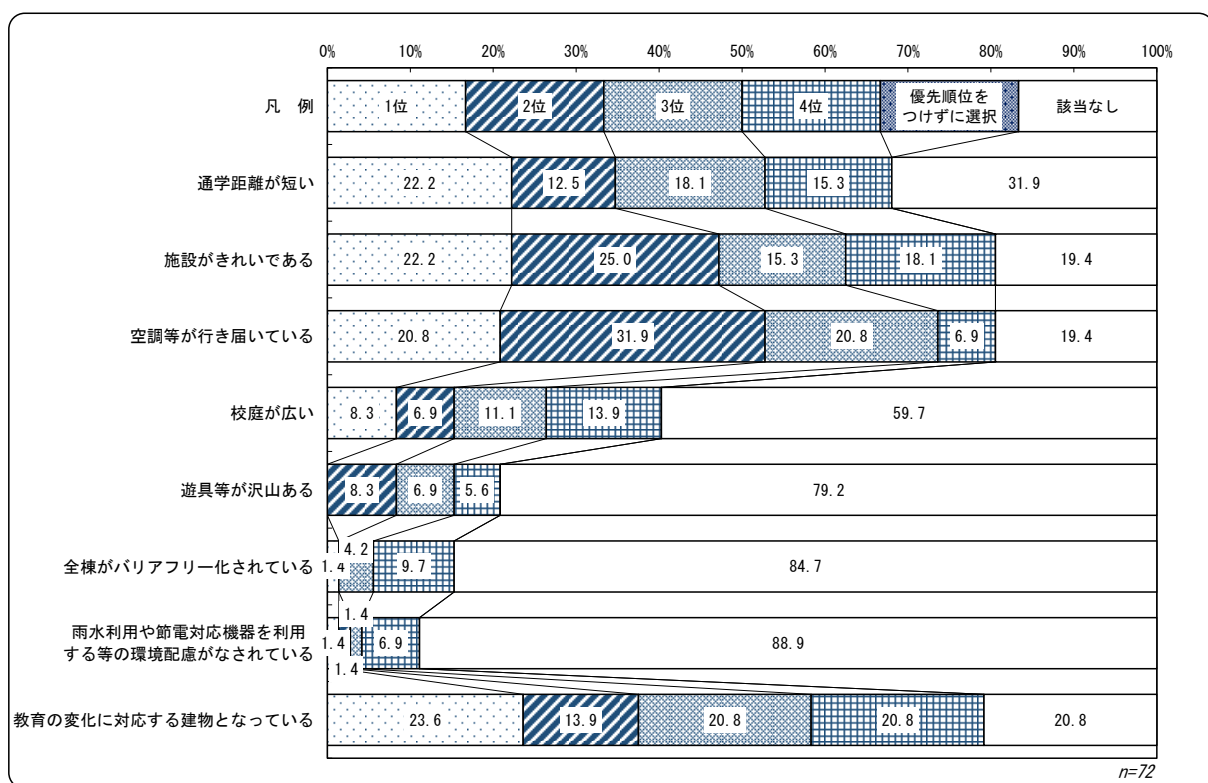
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	14 29.2	11 22.9	9 18.8	2 4.2	0 0.0	12 25.0	48 100.0
施設がきれいである	9 18.8	10 20.8	6 12.5	10 20.8	0 0.0	13 27.1	48 100.0
空調等が行き届いている	14 29.2	11 22.9	14 29.2	6 12.5	0 0.0	3 6.3	48 100.0
校庭が広い	2 4.2	5 10.4	7 14.6	9 18.8	0 0.0	25 52.1	48 100.0
遊具等が沢山ある	1 2.1	1 2.1	1 2.1	4 8.3	0 0.0	41 85.4	48 100.0
全棟がバリアフリー化されている	0 0.0	1 2.1	2 4.2	3 6.3	0 0.0	42 87.5	48 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	0 0.0	1 2.1	2 4.2	5 10.4	0 0.0	40 83.3	48 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	7 14.6	7 14.6	7 14.6	9 18.8	0 0.0	18 37.5	48 100.0



<上平中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	16 22.2	9 12.5	13 18.1	11 15.3	0 0.0	23 31.9	72 100.0
施設がきれいである	16 22.2	18 25.0	11 15.3	13 18.1	0 0.0	14 19.4	72 100.0
空調等が行き届いている	15 20.8	23 31.9	15 20.8	5 6.9	0 0.0	14 19.4	72 100.0
校庭が広い	6 8.3	5 6.9	8 11.1	10 13.9	0 0.0	43 59.7	72 100.0
遊具等が沢山ある	0 0.0	6 8.3	5 6.9	4 5.6	0 0.0	57 79.2	72 100.0
全棟がバリアフリー化されている	1 1.4	0 0.0	3 4.2	7 9.7	0 0.0	61 84.7	72 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	1 1.4	1 1.4	1 1.4	5 6.9	0 0.0	64 88.9	72 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	17 23.6	10 13.9	15 20.8	15 20.8	0 0.0	15 20.8	72 100.0

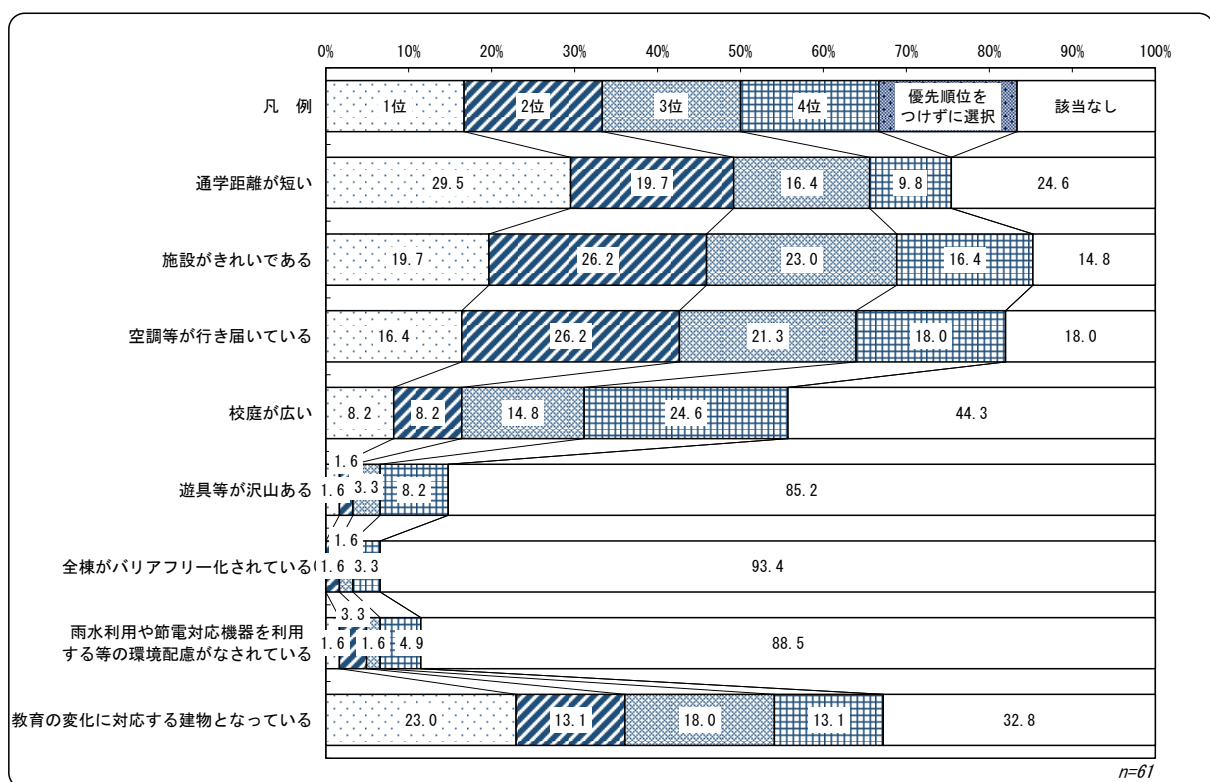


n=72

<西中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

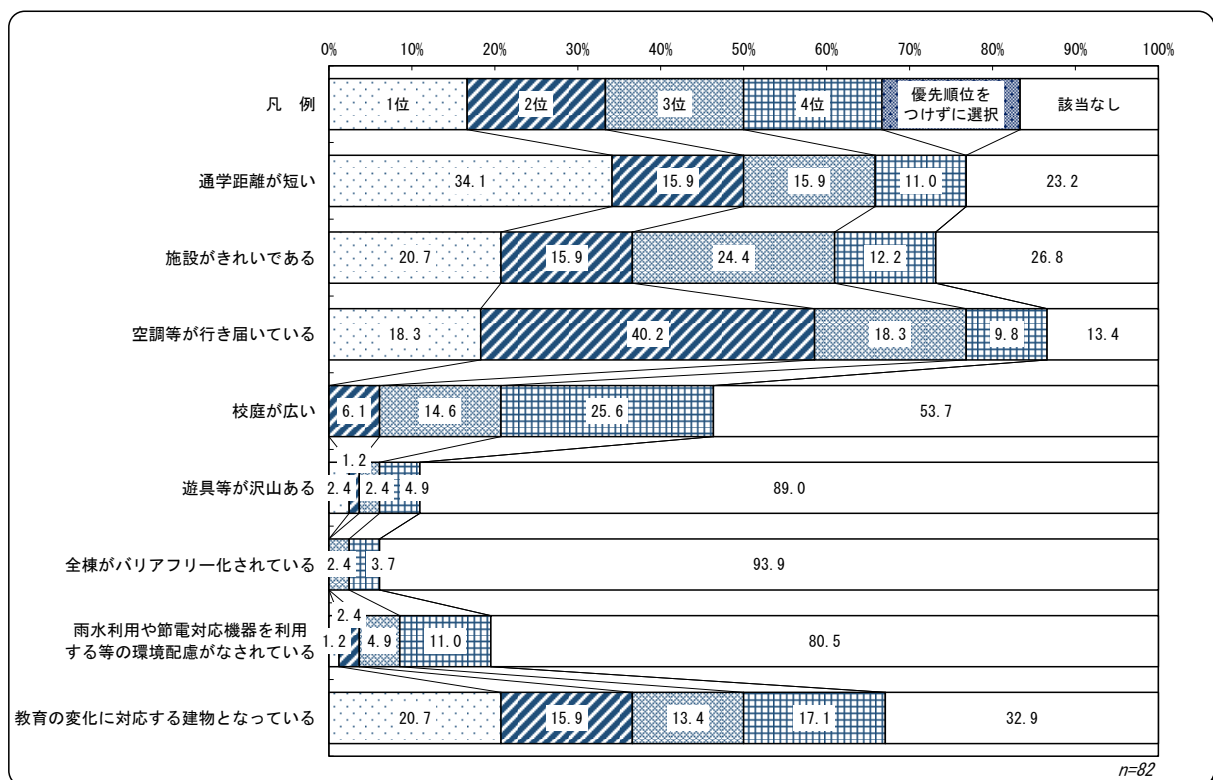
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	18 29.5	12 19.7	10 16.4	6 9.8	0 0.0	15 24.6	61 100.0
施設がきれいである	12 19.7	16 26.2	14 23.0	10 16.4	0 0.0	9 14.8	61 100.0
空調等が行き届いている	10 16.4	16 26.2	13 21.3	11 18.0	0 0.0	11 18.0	61 100.0
校庭が広い	5 8.2	5 8.2	9 14.8	15 24.6	0 0.0	27 44.3	61 100.0
遊具等が沢山ある	1 1.6	1 1.6	2 3.3	5 8.2	0 0.0	52 85.2	61 100.0
全棟がバリアフリー化されている	0 0.0	1 1.6	1 1.6	2 3.3	0 0.0	57 93.4	61 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	1 1.6	2 3.3	1 1.6	3 4.9	0 0.0	54 88.5	61 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	14 23.0	8 13.1	11 18.0	8 13.1	0 0.0	20 32.8	61 100.0



<東中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

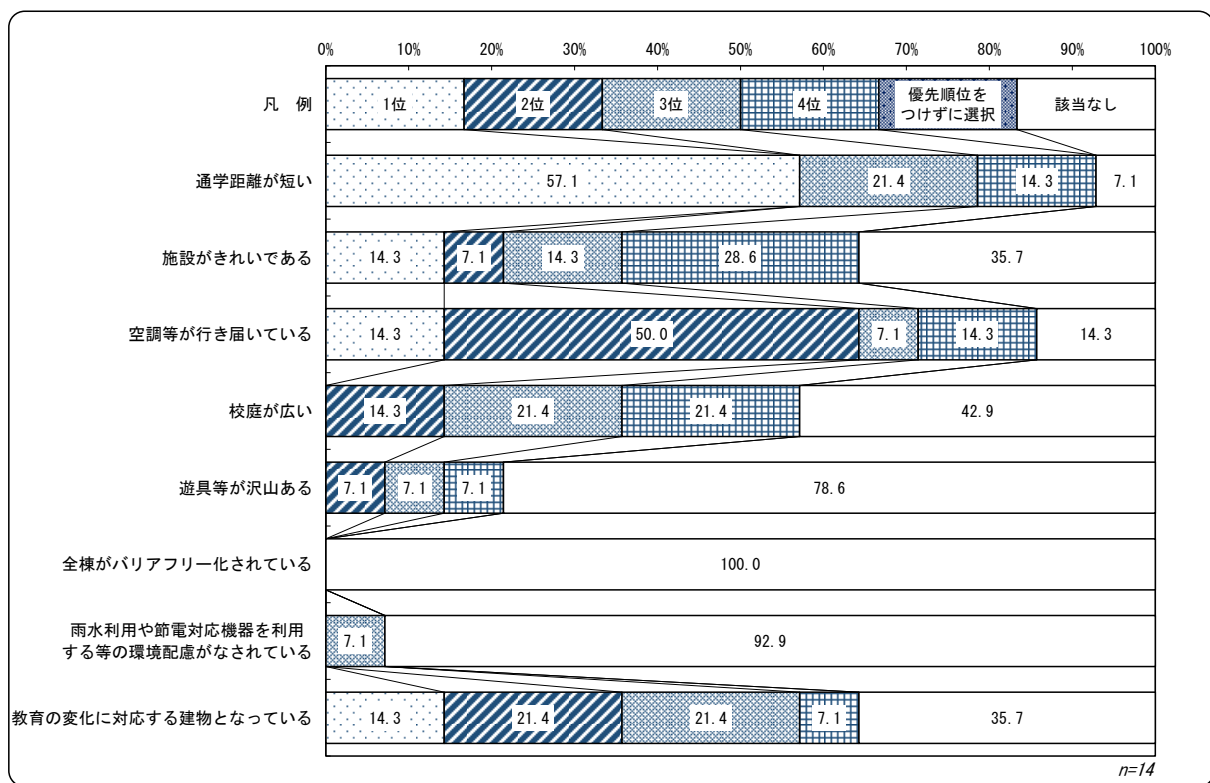
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	28 34.1	13 15.9	13 15.9	9 11.0	0 0.0	19 23.2	82 100.0
施設がきれいである	17 20.7	13 15.9	20 24.4	10 12.2	0 0.0	22 26.8	82 100.0
空調等が行き届いている	15 18.3	33 40.2	15 18.3	8 9.8	0 0.0	11 13.4	82 100.0
校庭が広い	0 0.0	5 6.1	12 14.6	21 25.6	0 0.0	44 53.7	82 100.0
遊具等が沢山ある	2 2.4	1 1.2	2 2.4	4 4.9	0 0.0	73 89.0	82 100.0
全棟がバリアフリー化されている	0 0.0	0 0.0	2 2.4	3 3.7	0 0.0	77 93.9	82 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	1 1.2	2 2.4	4 4.9	9 11.0	0 0.0	66 80.5	82 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	17 20.7	13 15.9	11 13.4	14 17.1	0 0.0	27 32.9	82 100.0



<大石南中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

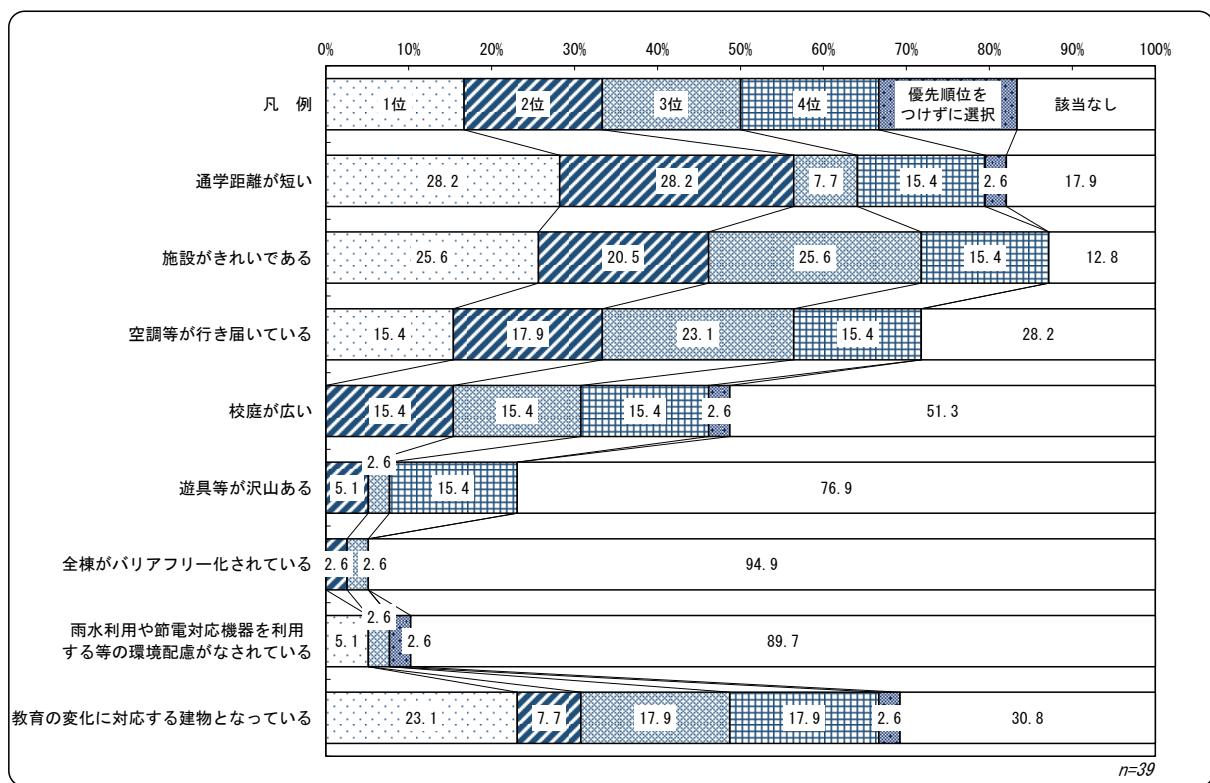
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	8 57.1	0 0.0	3 21.4	2 14.3	0 0.0	1 7.1	14 100.0
施設がきれいである	2 14.3	1 7.1	2 14.3	4 28.6	0 0.0	5 35.7	14 100.0
空調等が行き届いている	2 14.3	7 50.0	1 7.1	2 14.3	0 0.0	2 14.3	14 100.0
校庭が広い	0 0.0	2 14.3	3 21.4	3 21.4	0 0.0	6 42.9	14 100.0
遊具等が沢山ある	0 0.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0	11 78.6	14 100.0
全棟がバリアフリー化されている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0	14 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	13 92.9	14 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	2 14.3	3 21.4	3 21.4	1 7.1	0 0.0	5 35.7	14 100.0



<瓦葺中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

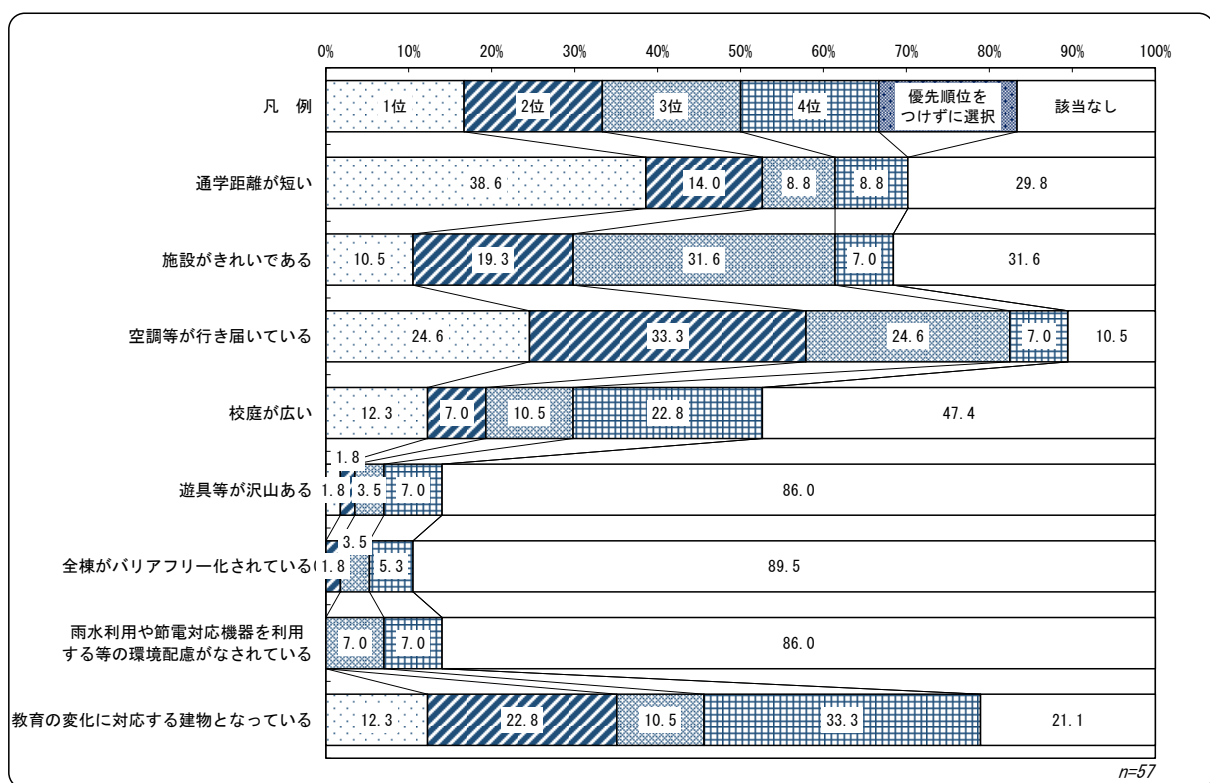
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	11 28.2	11 28.2	3 7.7	6 15.4	1 2.6	7 17.9	39 100.0
施設がきれいである	10 25.6	8 20.5	10 25.6	6 15.4	0 0.0	5 12.8	39 100.0
空調等が行き届いている	6 15.4	7 17.9	9 23.1	6 15.4	0 0.0	11 28.2	39 100.0
校庭が広い	0 0.0	6 15.4	6 15.4	6 15.4	1 2.6	20 51.3	39 100.0
遊具等が沢山ある	0 0.0	2 5.1	1 2.6	6 15.4	0 0.0	30 76.9	39 100.0
全棟がバリアフリー化されている	0 0.0	1 2.6	1 2.6	0 0.0	0 0.0	37 94.9	39 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	2 5.1	0 0.0	1 2.6	0 0.0	1 2.6	35 89.7	39 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	9 23.1	3 7.7	7 17.9	7 17.9	1 2.6	12 30.8	39 100.0



<南中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比（％）]

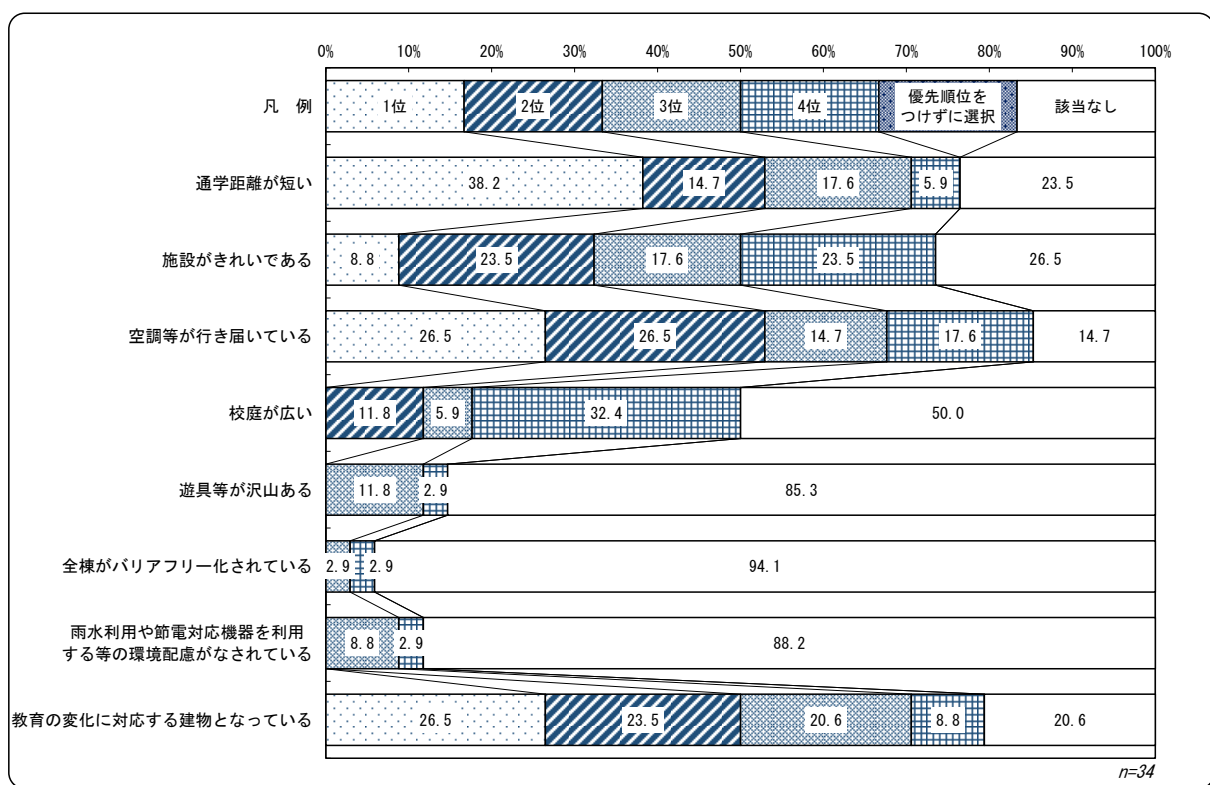
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	22 38.6	8 14.0	5 8.8	5 8.8	0 0.0	17 29.8	57 100.0
施設がきれいである	6 10.5	11 19.3	18 31.6	4 7.0	0 0.0	18 31.6	57 100.0
空調等が行き届いている	14 24.6	19 33.3	14 24.6	4 7.0	0 0.0	6 10.5	57 100.0
校庭が広い	7 12.3	4 7.0	6 10.5	13 22.8	0 0.0	27 47.4	57 100.0
遊具等が沢山ある	1 1.8	1 1.8	2 3.5	4 7.0	0 0.0	49 86.0	57 100.0
全棟がバリアフリー化されている	0 0.0	1 1.8	2 3.5	3 5.3	0 0.0	51 89.5	57 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	0 0.0	0 0.0	4 7.0	4 7.0	0 0.0	49 86.0	57 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	7 12.3	13 22.8	6 10.5	19 33.3	0 0.0	12 21.1	57 100.0



<大谷中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	13 38.2	5 14.7	6 17.6	2 5.9	0 0.0	8 23.5	34 100.0
施設がきれいである	3 8.8	8 23.5	6 17.6	8 23.5	0 0.0	9 26.5	34 100.0
空調等が行き届いている	9 26.5	9 26.5	5 14.7	6 17.6	0 0.0	5 14.7	34 100.0
校庭が広い	0 0.0	4 11.8	2 5.9	11 32.4	0 0.0	17 50.0	34 100.0
遊具等が沢山ある	0 0.0	0 0.0	4 11.8	1 2.9	0 0.0	29 85.3	34 100.0
全棟がバリアフリー化されている	0 0.0	0 0.0	1 2.9	1 2.9	0 0.0	32 94.1	34 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	0 0.0	0 0.0	3 8.8	1 2.9	0 0.0	30 88.2	34 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	9 26.5	8 23.5	7 20.6	3 8.8	0 0.0	7 20.6	34 100.0

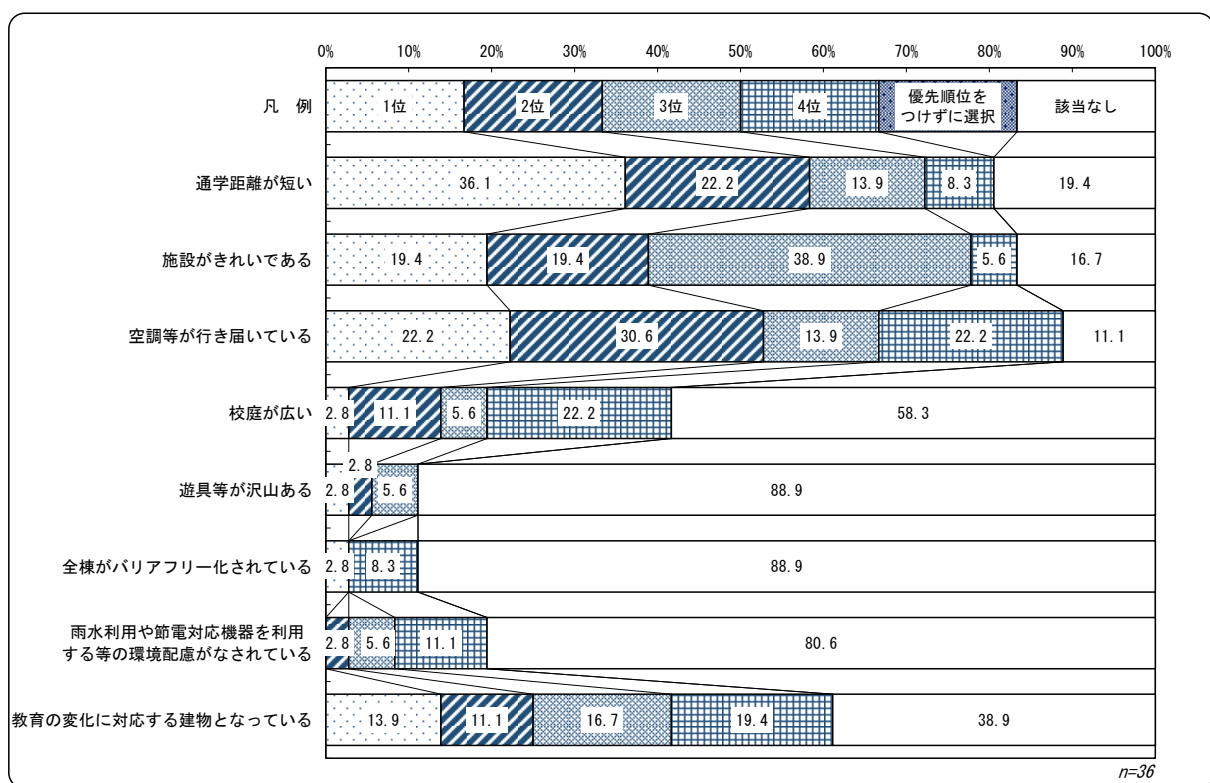




<不明>

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
通学距離が短い	13 36.1	8 22.2	5 13.9	3 8.3	0 0.0	7 19.4	36 100.0
施設がきれいである	7 19.4	7 19.4	14 38.9	2 5.6	0 0.0	6 16.7	36 100.0
空調等が行き届いている	8 22.2	11 30.6	5 13.9	8 22.2	0 0.0	4 11.1	36 100.0
校庭が広い	1 2.8	4 11.1	2 5.6	8 22.2	0 0.0	21 58.3	36 100.0
遊具等が沢山ある	1 2.8	1 2.8	2 5.6	0 0.0	0 0.0	32 88.9	36 100.0
全棟がバリアフリー化されている	1 2.8	0 0.0	0 0.0	3 8.3	0 0.0	32 88.9	36 100.0
雨水利用や節電対応機器を利用する等の環境配慮がなされている	0 0.0	1 2.8	2 5.6	4 11.1	0 0.0	29 80.6	36 100.0
教育の変化に対応する建物となっている	5 13.9	4 11.1	6 16.7	7 19.4	0 0.0	14 38.9	36 100.0

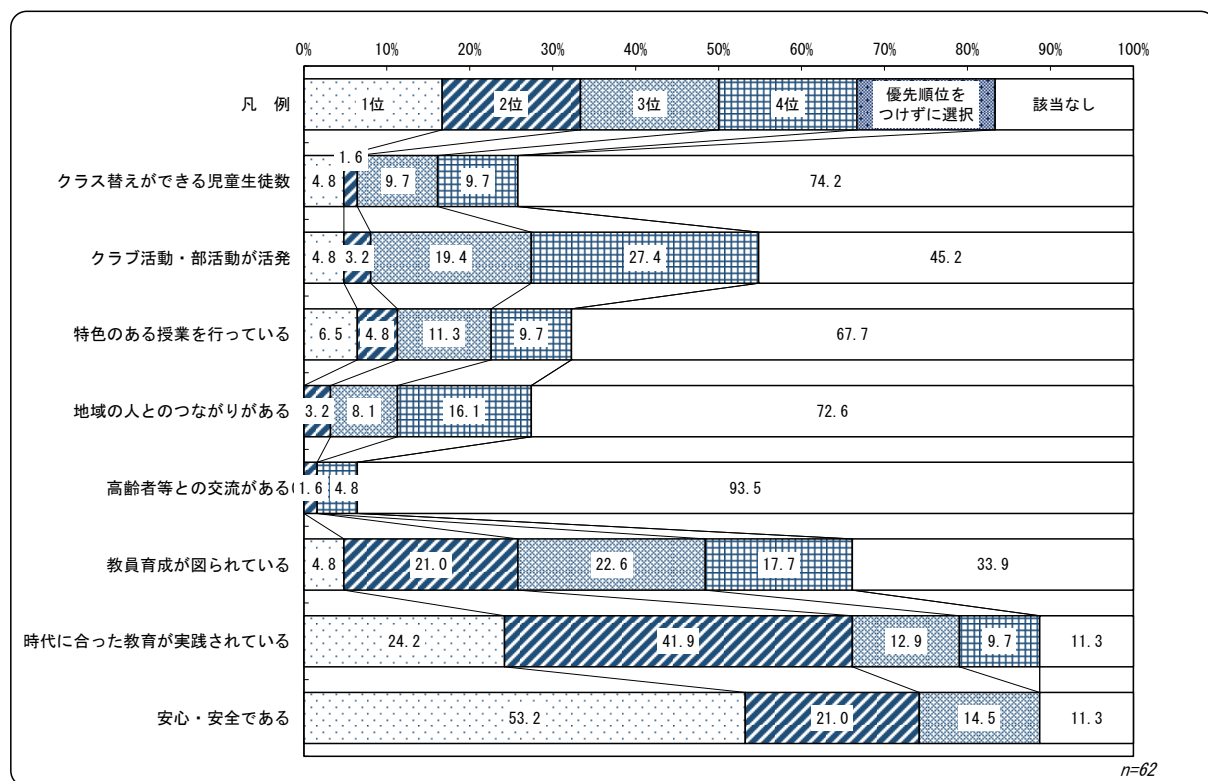


問3 学校施設に求めるもの（ソフト面） [上位4番目までの優先順位]

<上尾中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

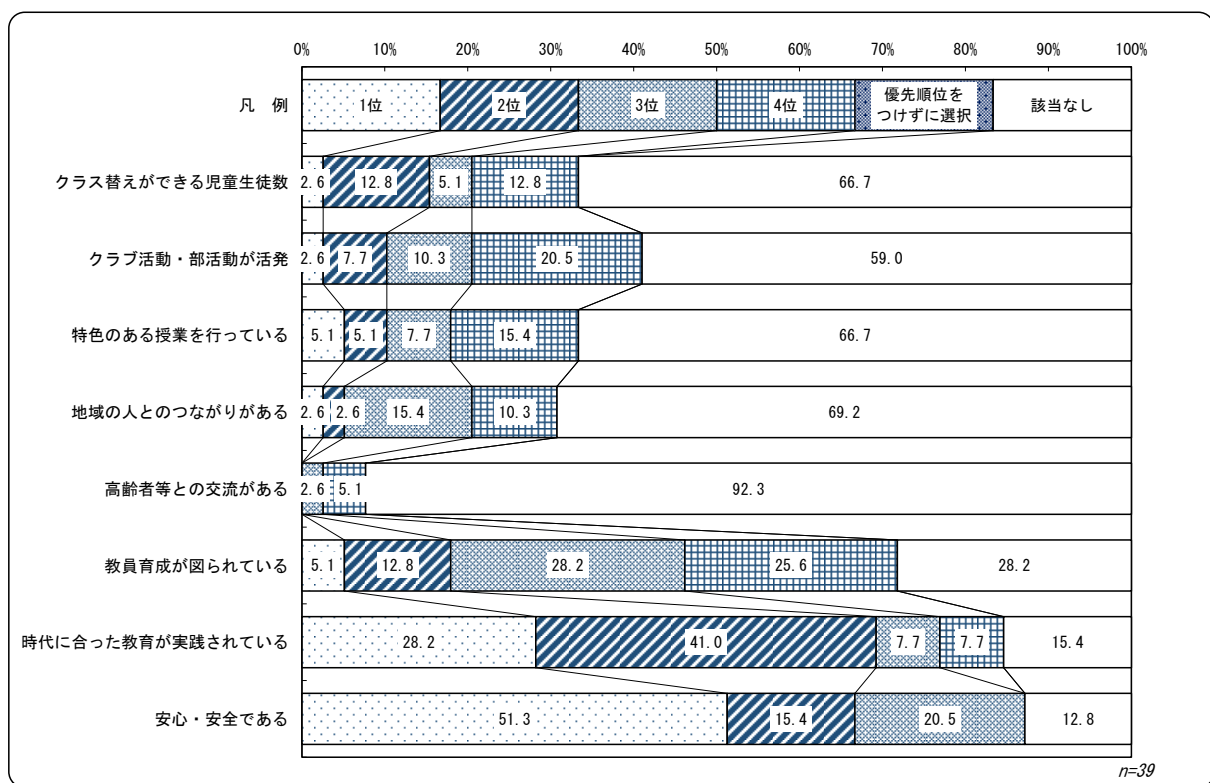
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	3 4.8	1 1.6	6 9.7	6 9.7	0 0.0	46 74.2	62 100.0
クラブ活動・部活動が活発	3 4.8	2 3.2	12 19.4	17 27.4	0 0.0	28 45.2	62 100.0
特色のある授業を行っている	4 6.5	3 4.8	7 11.3	6 9.7	0 0.0	42 67.7	62 100.0
地域の人とのつながりがある	0 0.0	2 3.2	5 8.1	10 16.1	0 0.0	45 72.6	62 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	1 1.6	0 0.0	3 4.8	0 0.0	58 93.5	62 100.0
教員育成が図られている	3 4.8	13 21.0	14 22.6	11 17.7	0 0.0	21 33.9	62 100.0
時代に合った教育が実践されている	15 24.2	26 41.9	8 12.9	6 9.7	0 0.0	7 11.3	62 100.0
安心・安全である	33 53.2	13 21.0	9 14.5	0 0.0	0 0.0	7 11.3	62 100.0



<太平中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

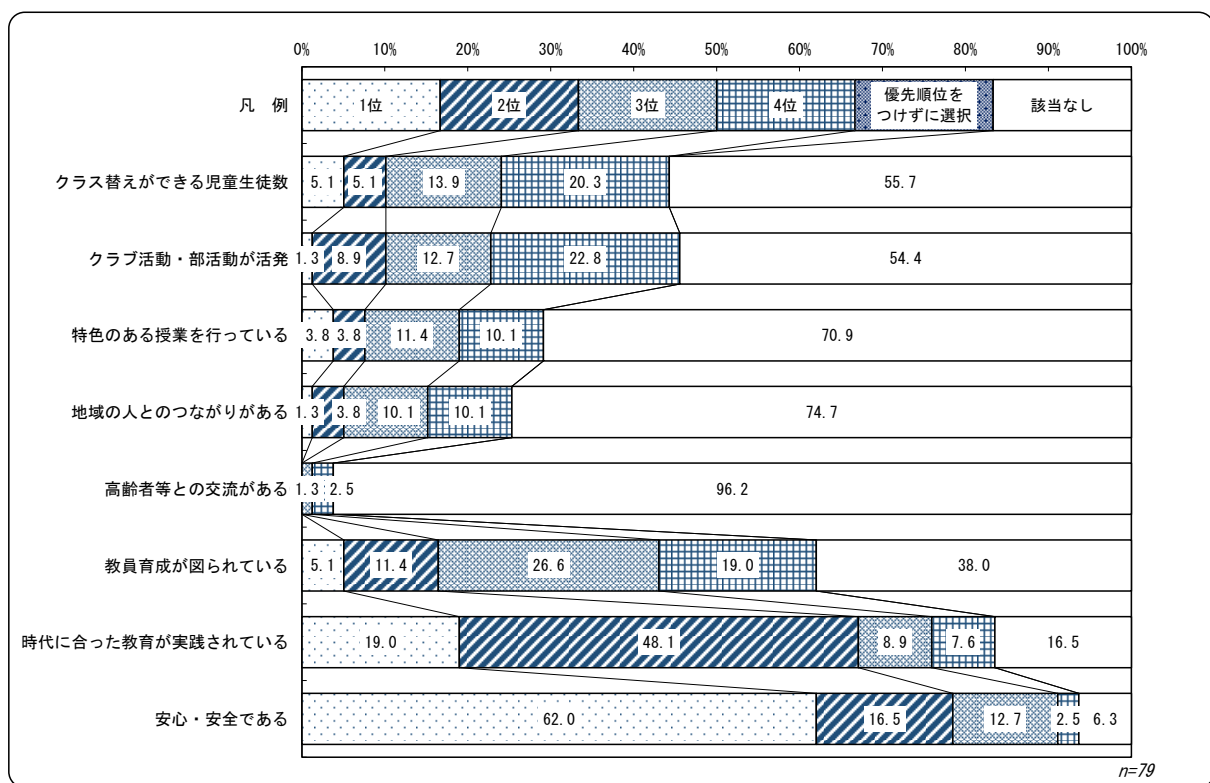
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	1 2.6	5 12.8	2 5.1	5 12.8	0 0.0	26 66.7	39 100.0
クラブ活動・部活動が活発	1 2.6	3 7.7	4 10.3	8 20.5	0 0.0	23 59.0	39 100.0
特色のある授業を行っている	2 5.1	2 5.1	3 7.7	6 15.4	0 0.0	26 66.7	39 100.0
地域の人とのつながりがある	1 2.6	1 2.6	6 15.4	4 10.3	0 0.0	27 69.2	39 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	0 0.0	1 2.6	2 5.1	0 0.0	36 92.3	39 100.0
教員育成が図られている	2 5.1	5 12.8	11 28.2	10 25.6	0 0.0	11 28.2	39 100.0
時代に合った教育が実践されている	11 28.2	16 41.0	3 7.7	3 7.7	0 0.0	6 15.4	39 100.0
安心・安全である	20 51.3	6 15.4	8 20.5	0 0.0	0 0.0	5 12.8	39 100.0



<大石中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

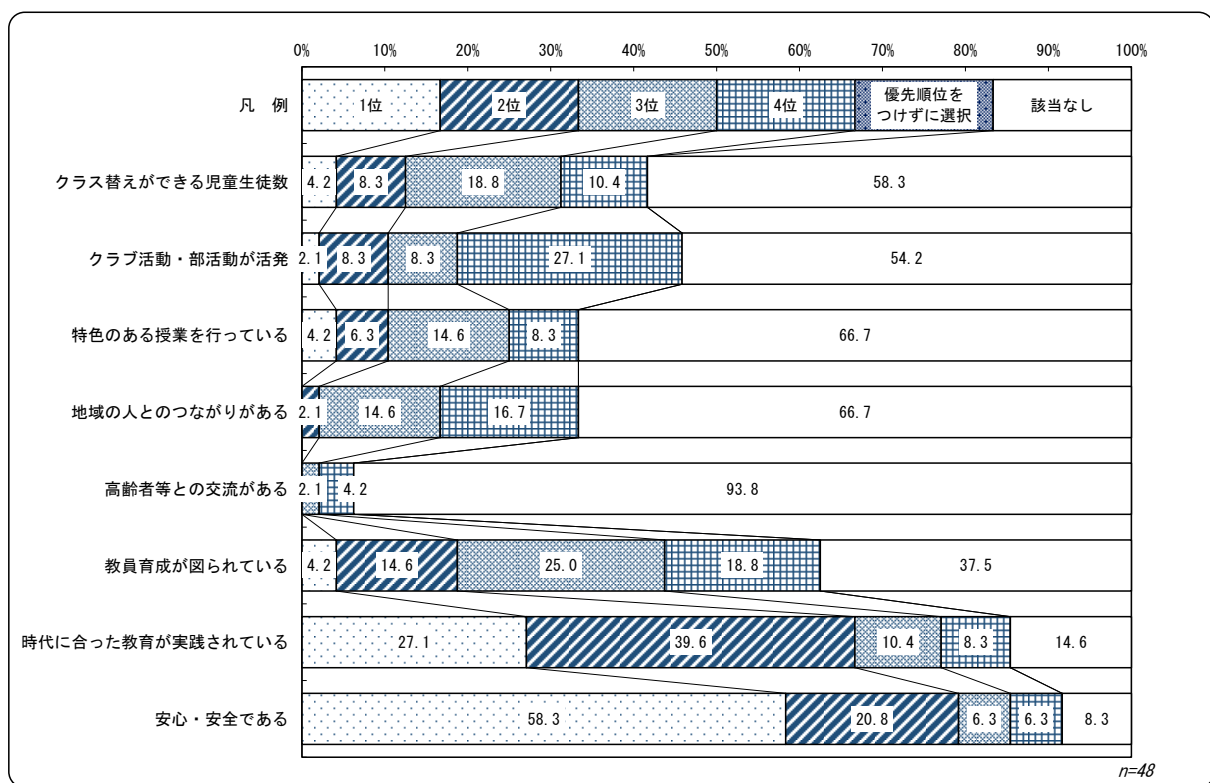
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	4 5.1	4 5.1	11 13.9	16 20.3	0 0.0	44 55.7	79 100.0
クラブ活動・部活動が活発	1 1.3	7 8.9	10 12.7	18 22.8	0 0.0	43 54.4	79 100.0
特色のある授業を行っている	3 3.8	3 3.8	9 11.4	8 10.1	0 0.0	56 70.9	79 100.0
地域の人とのつながりがある	1 1.3	3 3.8	8 10.1	8 10.1	0 0.0	59 74.7	79 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	0 0.0	1 1.3	2 2.5	0 0.0	76 96.2	79 100.0
教員育成が図られている	4 5.1	9 11.4	21 26.6	15 19.0	0 0.0	30 38.0	79 100.0
時代に合った教育が実践されている	15 19.0	38 48.1	7 8.9	6 7.6	0 0.0	13 16.5	79 100.0
安心・安全である	49 62.0	13 16.5	10 12.7	2 2.5	0 0.0	5 6.3	79 100.0



<原市中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

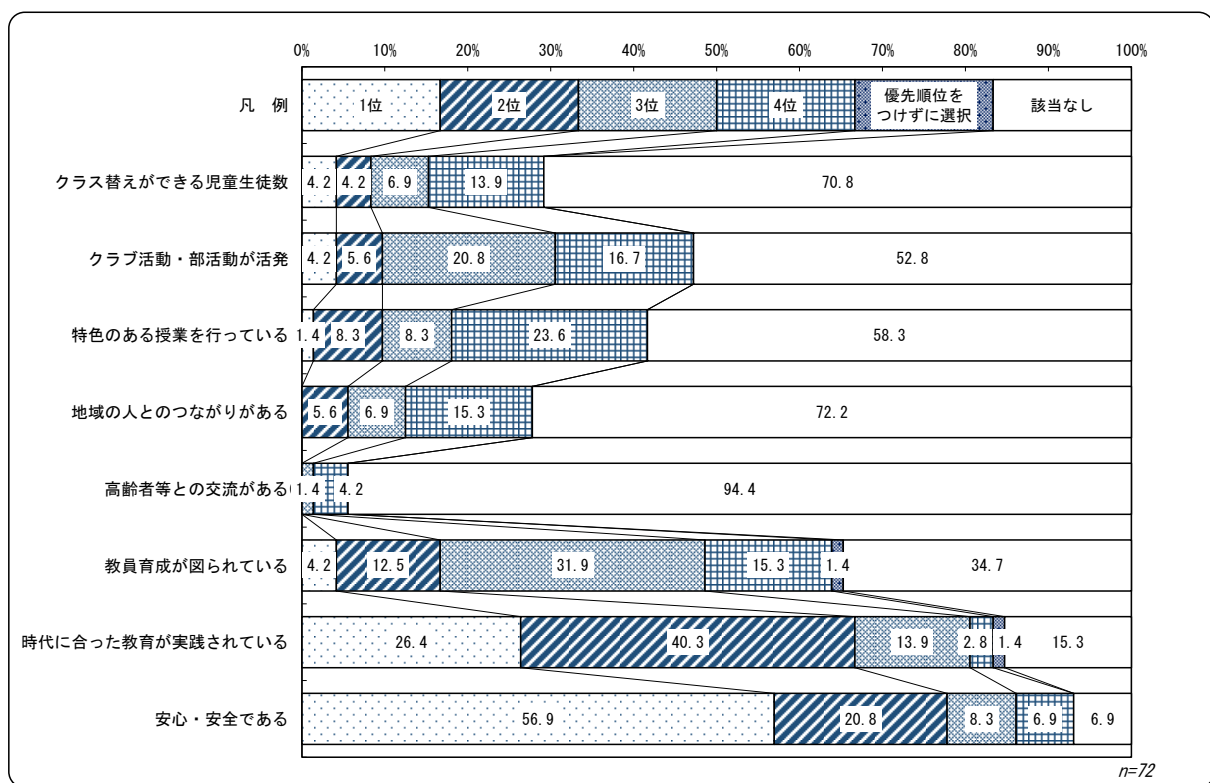
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	2 4.2	4 8.3	9 18.8	5 10.4	0 0.0	28 58.3	48 100.0
クラブ活動・部活動が活発	1 2.1	4 8.3	4 8.3	13 27.1	0 0.0	26 54.2	48 100.0
特色のある授業を行っている	2 4.2	3 6.3	7 14.6	4 8.3	0 0.0	32 66.7	48 100.0
地域の人とのつながりがある	0 0.0	1 2.1	7 14.6	8 16.7	0 0.0	32 66.7	48 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	0 0.0	1 2.1	2 4.2	0 0.0	45 93.8	48 100.0
教員育成が図られている	2 4.2	7 14.6	12 25.0	9 18.8	0 0.0	18 37.5	48 100.0
時代に合った教育が実践されている	13 27.1	19 39.6	5 10.4	4 8.3	0 0.0	7 14.6	48 100.0
安心・安全である	28 58.3	10 20.8	3 6.3	3 6.3	0 0.0	4 8.3	48 100.0



<上平中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

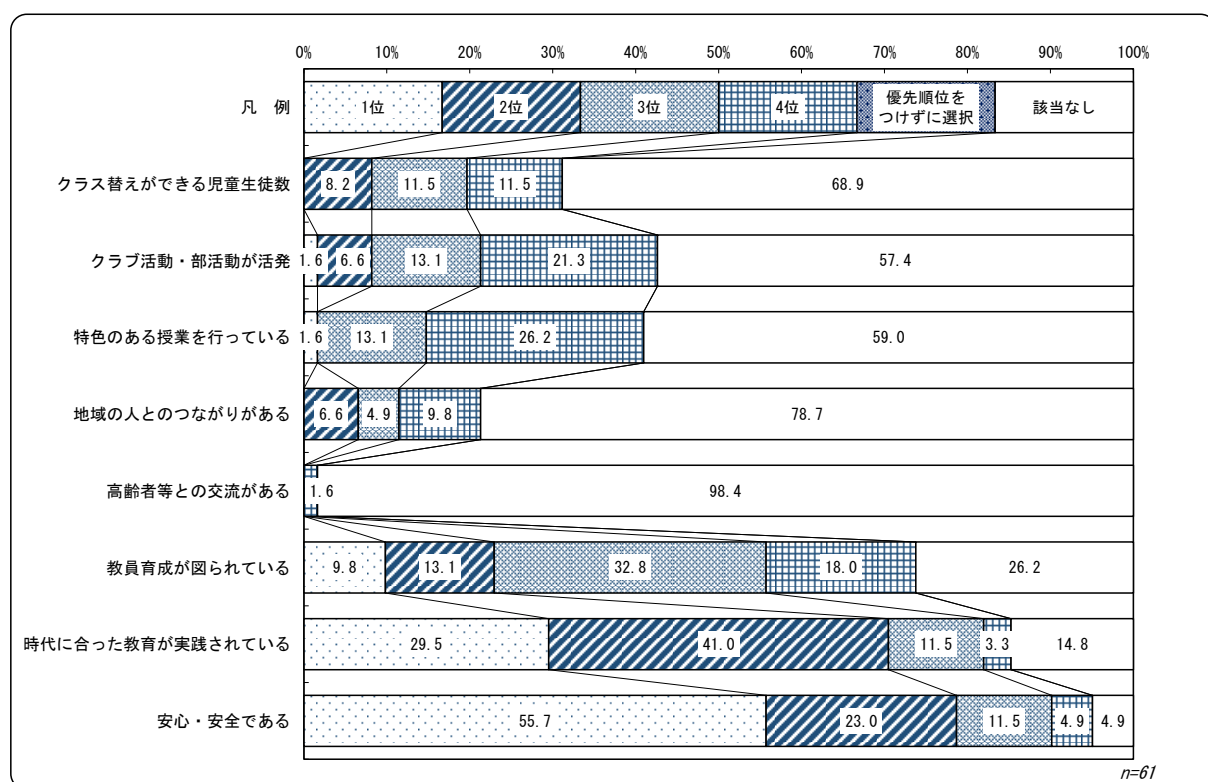
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	3 4.2	3 4.2	5 6.9	10 13.9	0 0.0	51 70.8	72 100.0
クラブ活動・部活動が活発	3 4.2	4 5.6	15 20.8	12 16.7	0 0.0	38 52.8	72 100.0
特色のある授業を行っている	1 1.4	6 8.3	6 8.3	17 23.6	0 0.0	42 58.3	72 100.0
地域の人とのつながりがある	0 0.0	4 5.6	5 6.9	11 15.3	0 0.0	52 72.2	72 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	0 0.0	1 1.4	3 4.2	0 0.0	68 94.4	72 100.0
教員育成が図られている	3 4.2	9 12.5	23 31.9	11 15.3	1 1.4	25 34.7	72 100.0
時代に合った教育が実践されている	19 26.4	29 40.3	10 13.9	2 2.8	1 1.4	11 15.3	72 100.0
安心・安全である	41 56.9	15 20.8	6 8.3	5 6.9	0 0.0	5 6.9	72 100.0



<西中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

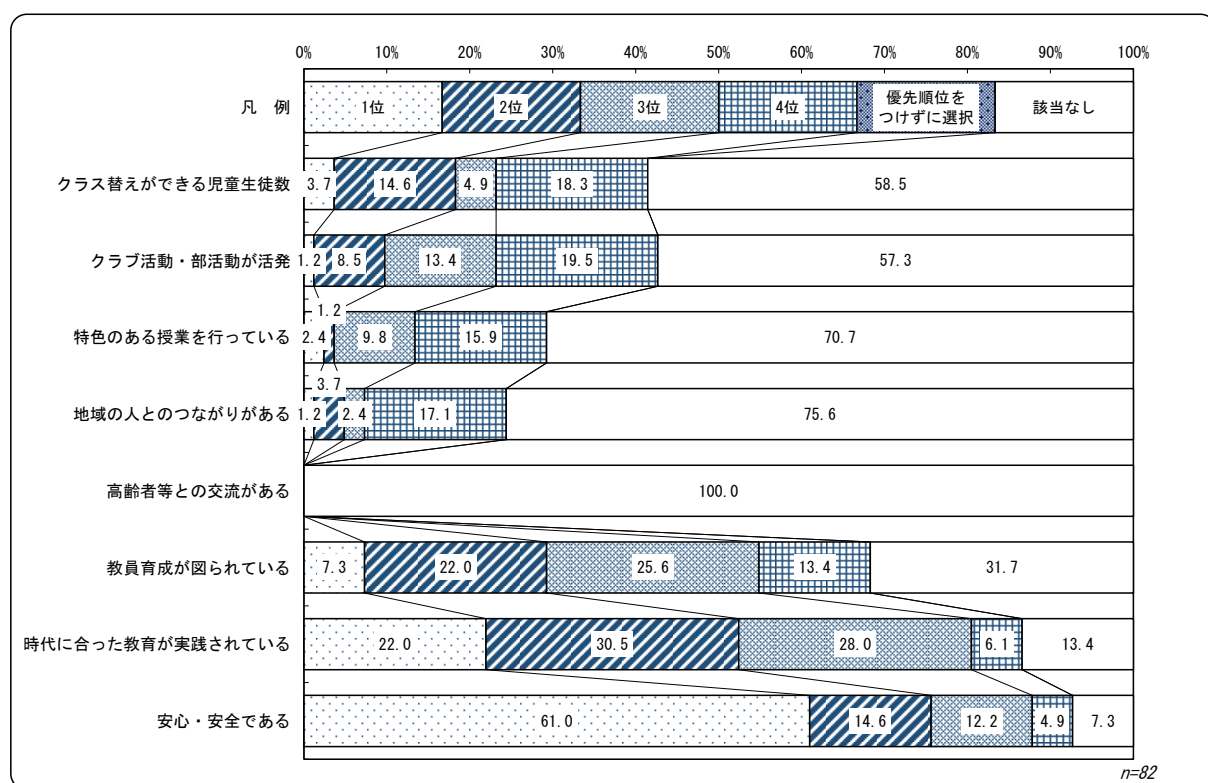
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	0 0.0	5 8.2	7 11.5	7 11.5	0 0.0	42 68.9	61 100.0
クラブ活動・部活動が活発	1 1.6	4 6.6	8 13.1	13 21.3	0 0.0	35 57.4	61 100.0
特色のある授業を行っている	1 1.6	0 0.0	8 13.1	16 26.2	0 0.0	36 59.0	61 100.0
地域の人とのつながりがある	0 0.0	4 6.6	3 4.9	6 9.8	0 0.0	48 78.7	61 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.6	0 0.0	60 98.4	61 100.0
教員育成が図られている	6 9.8	8 13.1	20 32.8	11 18.0	0 0.0	16 26.2	61 100.0
時代に合った教育が実践されている	18 29.5	25 41.0	7 11.5	2 3.3	0 0.0	9 14.8	61 100.0
安心・安全である	34 55.7	14 23.0	7 11.5	3 4.9	0 0.0	3 4.9	61 100.0



<東中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	3 3.7	12 14.6	4 4.9	15 18.3	0 0.0	48 58.5	82 100.0
クラブ活動・部活動が活発	1 1.2	7 8.5	11 13.4	16 19.5	0 0.0	47 57.3	82 100.0
特色のある授業を行っている	2 2.4	1 1.2	8 9.8	13 15.9	0 0.0	58 70.7	82 100.0
地域の人とのつながりがある	1 1.2	3 3.7	2 2.4	14 17.1	0 0.0	62 75.6	82 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	82 100.0	82 100.0
教員育成が図られている	6 7.3	18 22.0	21 25.6	11 13.4	0 0.0	26 31.7	82 100.0
時代に合った教育が実践されている	18 22.0	25 30.5	23 28.0	5 6.1	0 0.0	11 13.4	82 100.0
安心・安全である	50 61.0	12 14.6	10 12.2	4 4.9	0 0.0	6 7.3	82 100.0

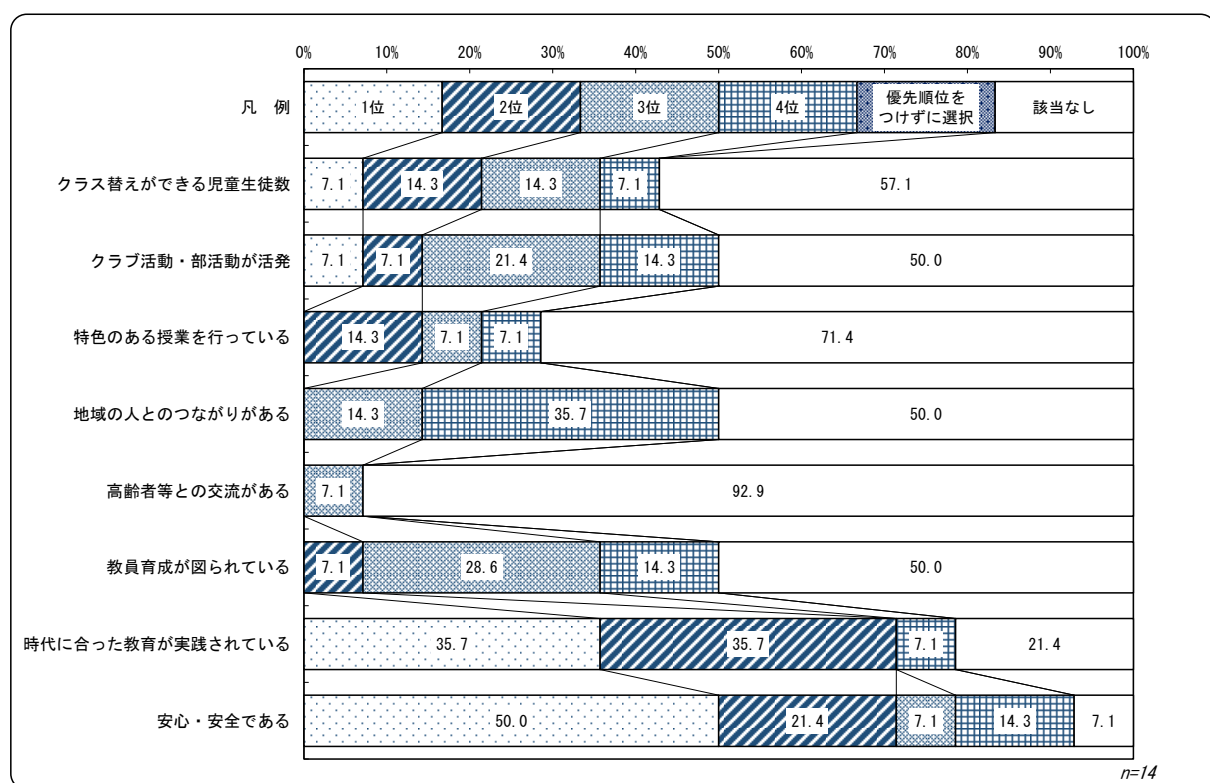




<大石南中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

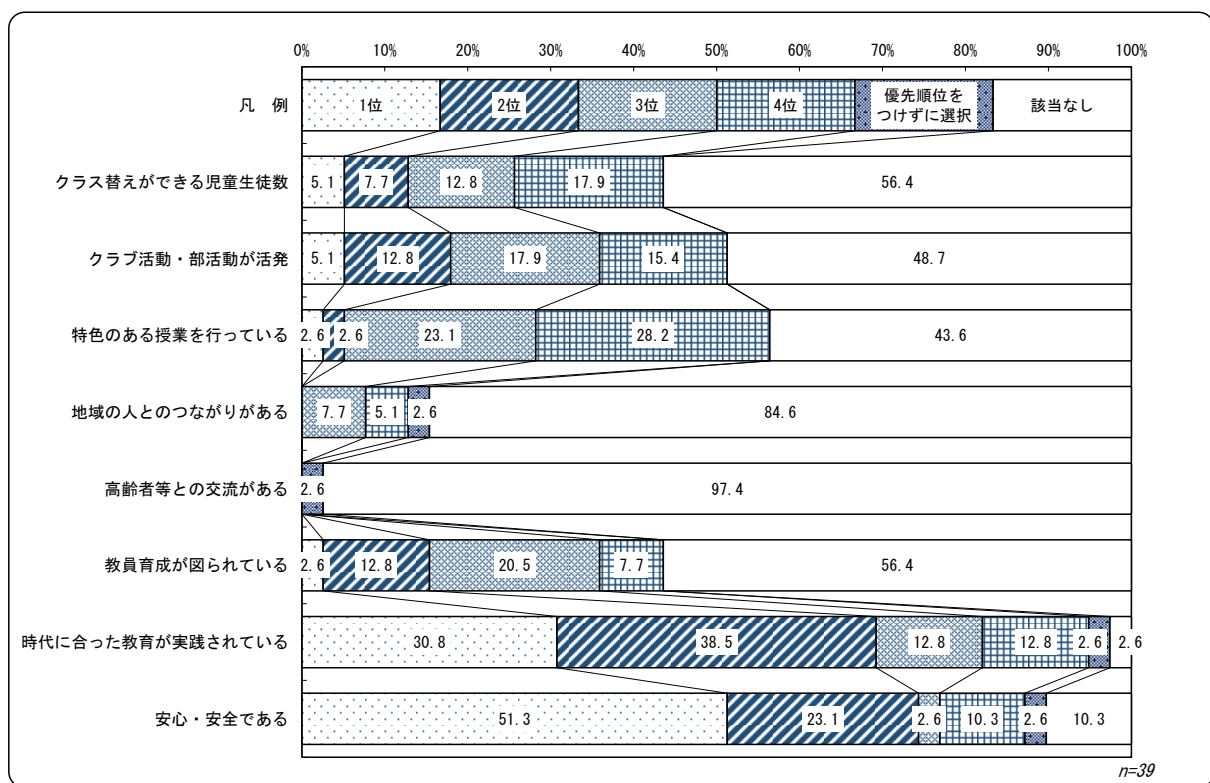
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	1 7.1	2 14.3	2 14.3	1 7.1	0 0.0	8 57.1	14 100.0
クラブ活動・部活動が活発	1 7.1	1 7.1	3 21.4	2 14.3	0 0.0	7 50.0	14 100.0
特色のある授業を行っている	0 0.0	2 14.3	1 7.1	1 7.1	0 0.0	10 71.4	14 100.0
地域の人とのつながりがある	0 0.0	0 0.0	2 14.3	5 35.7	0 0.0	7 50.0	14 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	13 92.9	14 100.0
教員育成が図られている	0 0.0	1 7.1	4 28.6	2 14.3	0 0.0	7 50.0	14 100.0
時代に合った教育が実践されている	5 35.7	5 35.7	0 0.0	1 7.1	0 0.0	3 21.4	14 100.0
安心・安全である	7 50.0	3 21.4	1 7.1	2 14.3	0 0.0	1 7.1	14 100.0



<瓦葺中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

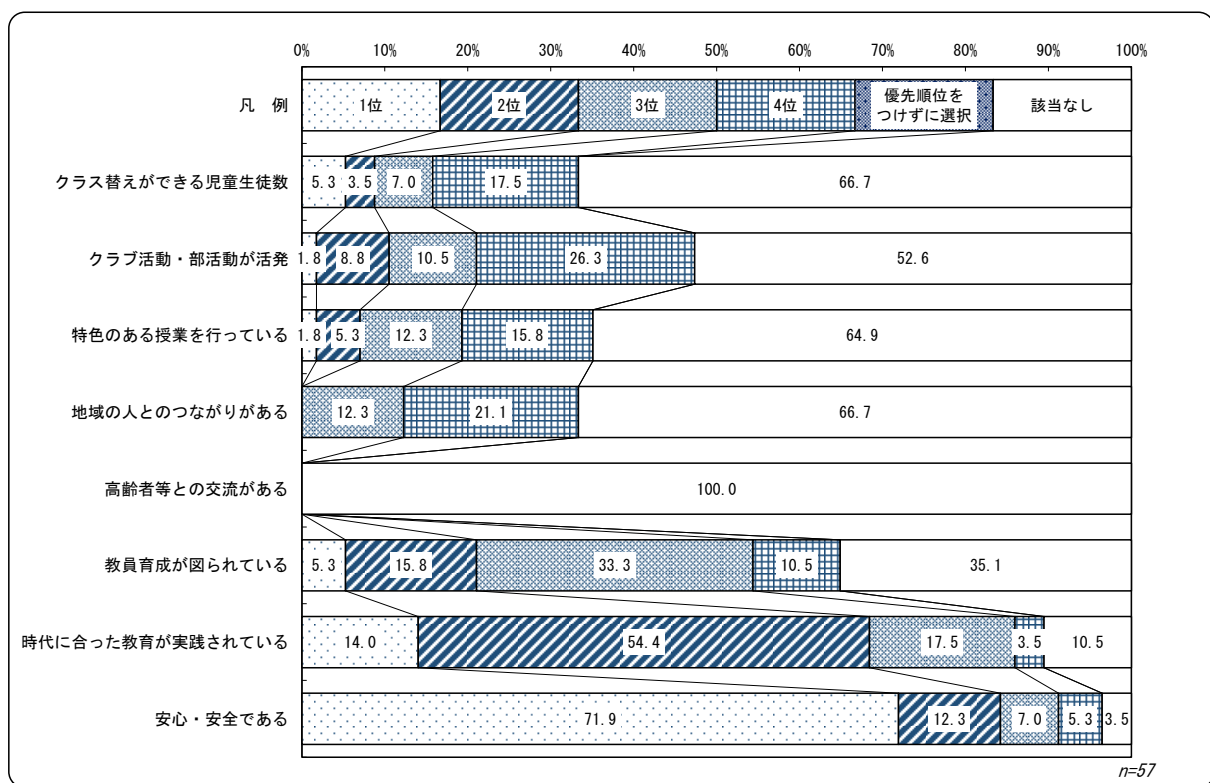
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	2 5.1	3 7.7	5 12.8	7 17.9	0 0.0	22 56.4	39 100.0
クラブ活動・部活動が活発	2 5.1	5 12.8	7 17.9	6 15.4	0 0.0	19 48.7	39 100.0
特色のある授業を行っている	1 2.6	1 2.6	9 23.1	11 28.2	0 0.0	17 43.6	39 100.0
地域の人とのつながりがある	0 0.0	0 0.0	3 7.7	2 5.1	1 2.6	33 84.6	39 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	38 97.4	39 100.0
教員育成が図られている	1 2.6	5 12.8	8 20.5	3 7.7	0 0.0	22 56.4	39 100.0
時代に合った教育が実践されている	12 30.8	15 38.5	5 12.8	5 12.8	1 2.6	1 2.6	39 100.0
安心・安全である	20 51.3	9 23.1	1 2.6	4 10.3	1 2.6	4 10.3	39 100.0



<南中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

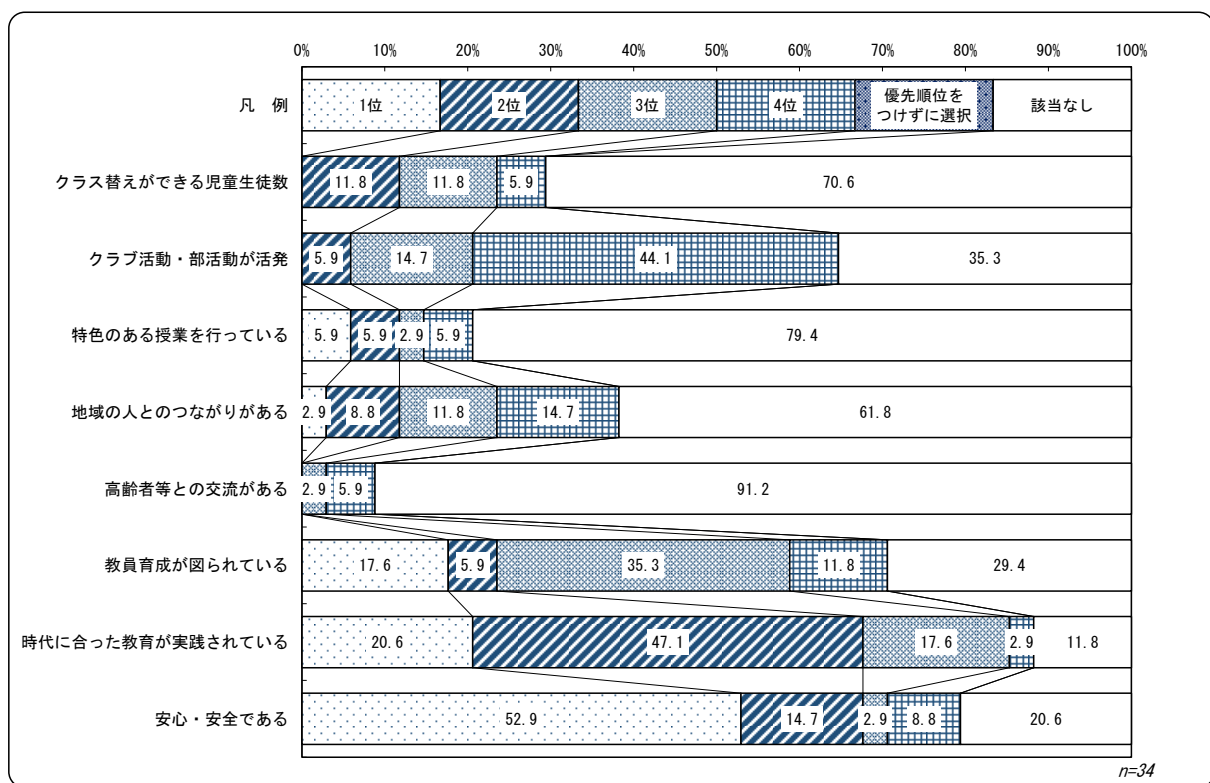
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	3 5.3	2 3.5	4 7.0	10 17.5	0 0.0	38 66.7	57 100.0
クラブ活動・部活動が活発	1 1.8	5 8.8	6 10.5	15 26.3	0 0.0	30 52.6	57 100.0
特色のある授業を行っている	1 1.8	3 5.3	7 12.3	9 15.8	0 0.0	37 64.9	57 100.0
地域の人とのつながりがある	0 0.0	0 0.0	7 12.3	12 21.1	0 0.0	38 66.7	57 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	57 100.0	57 100.0
教員育成が図られている	3 5.3	9 15.8	19 33.3	6 10.5	0 0.0	20 35.1	57 100.0
時代に合った教育が実践されている	8 14.0	31 54.4	10 17.5	2 3.5	0 0.0	6 10.5	57 100.0
安心・安全である	41 71.9	7 12.3	4 7.0	3 5.3	0 0.0	2 3.5	57 100.0



<大谷中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

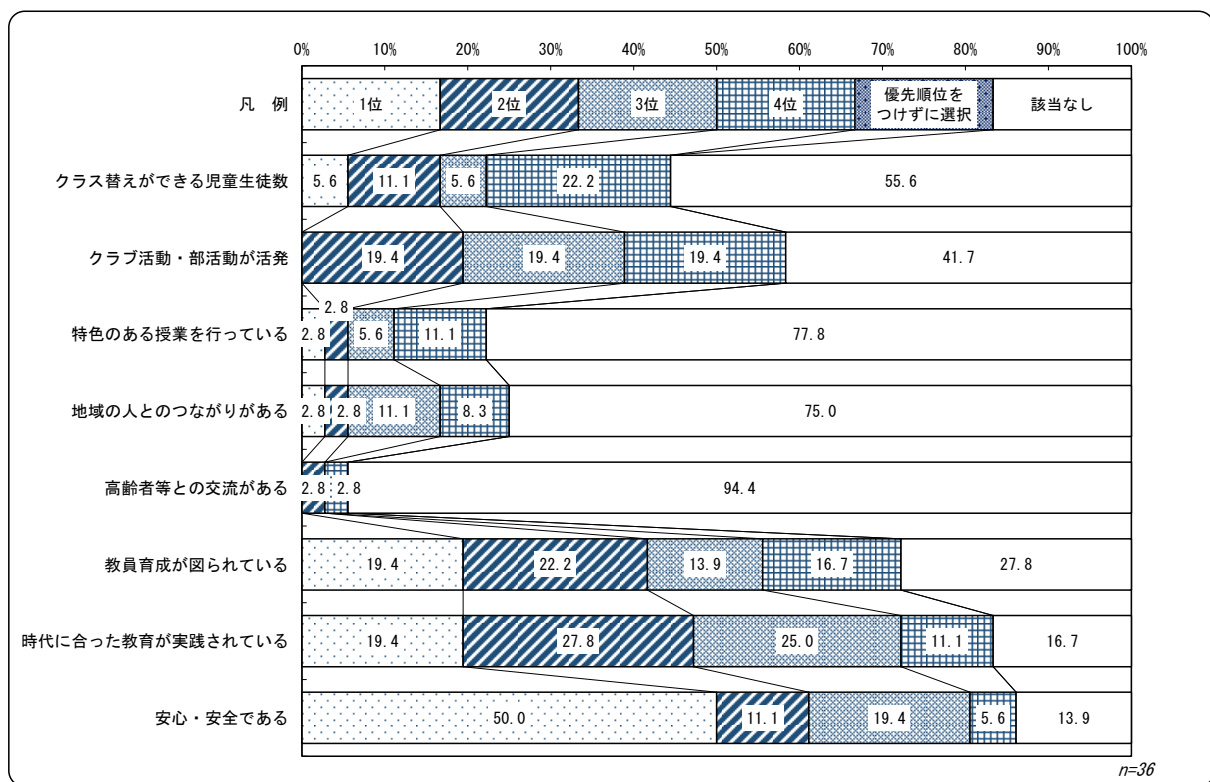
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	0 0.0	4 11.8	4 11.8	2 5.9	0 0.0	24 70.6	34 100.0
クラブ活動・部活動が活発	0 0.0	2 5.9	5 14.7	15 44.1	0 0.0	12 35.3	34 100.0
特色のある授業を行っている	2 5.9	2 5.9	1 2.9	2 5.9	0 0.0	27 79.4	34 100.0
地域の人とのつながりがある	1 2.9	3 8.8	4 11.8	5 14.7	0 0.0	21 61.8	34 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	0 0.0	1 2.9	2 5.9	0 0.0	31 91.2	34 100.0
教員育成が図られている	6 17.6	2 5.9	12 35.3	4 11.8	0 0.0	10 29.4	34 100.0
時代に合った教育が実践されている	7 20.6	16 47.1	6 17.6	1 2.9	0 0.0	4 11.8	34 100.0
安心・安全である	18 52.9	5 14.7	1 2.9	3 8.8	0 0.0	7 20.6	34 100.0



<不明>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
クラス替えができる児童生徒数	2 5.6	4 11.1	2 5.6	8 22.2	0 0.0	20 55.6	36 100.0
クラブ活動・部活動が活発	0 0.0	7 19.4	7 19.4	7 19.4	0 0.0	15 41.7	36 100.0
特色のある授業を行っている	1 2.8	1 2.8	2 5.6	4 11.1	0 0.0	28 77.8	36 100.0
地域の人とのつながりがある	1 2.8	1 2.8	4 11.1	3 8.3	0 0.0	27 75.0	36 100.0
高齢者等との交流がある	0 0.0	1 2.8	0 0.0	1 2.8	0 0.0	34 94.4	36 100.0
教員育成が図られている	7 19.4	8 22.2	5 13.9	6 16.7	0 0.0	10 27.8	36 100.0
時代に合った教育が実践されている	7 19.4	10 27.8	9 25.0	4 11.1	0 0.0	6 16.7	36 100.0
安心・安全である	18 50.0	4 11.1	7 19.4	2 5.6	0 0.0	5 13.9	36 100.0



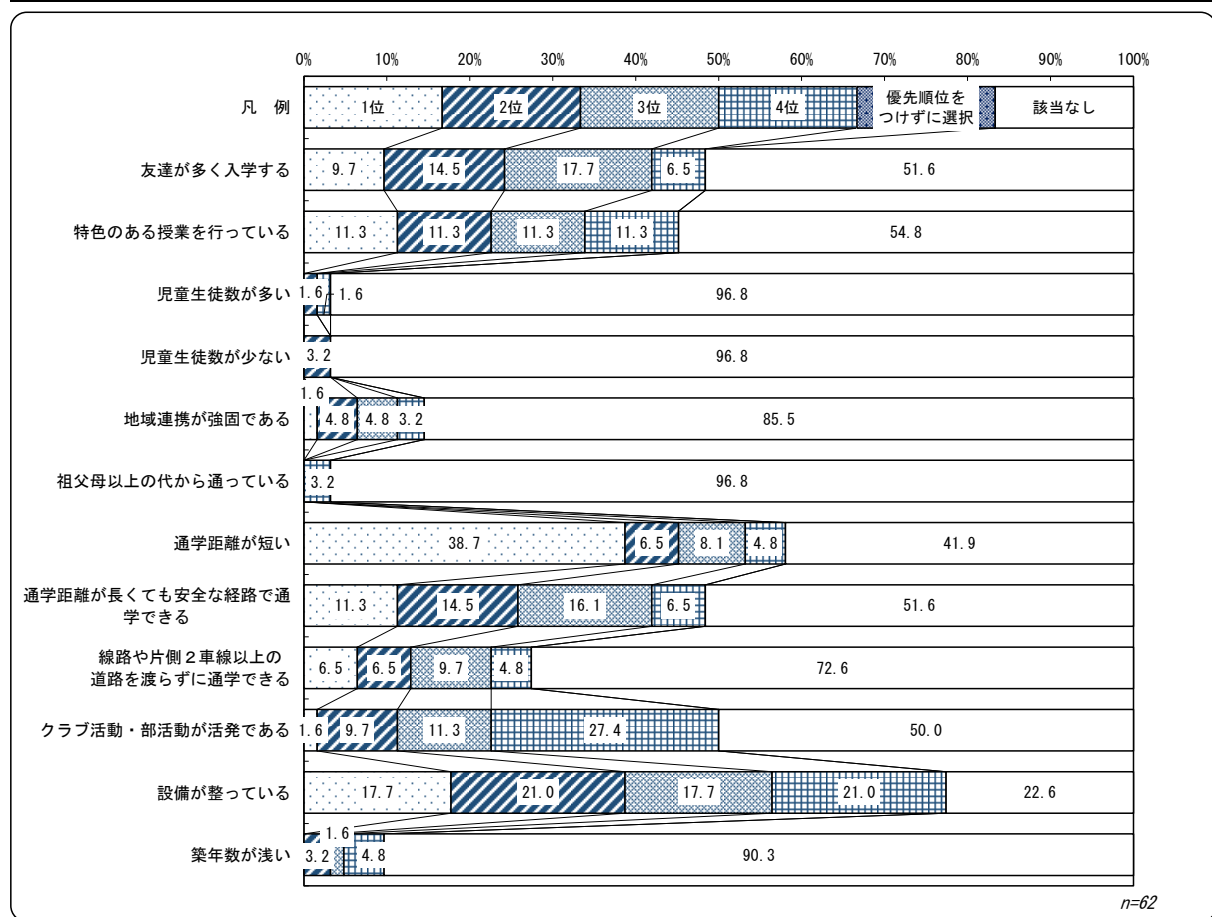
問4 通う学校を選択できるようになった場合に、学校を選ぶ上で重要なこと

[上位4番目までの優先順位]

<上尾中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

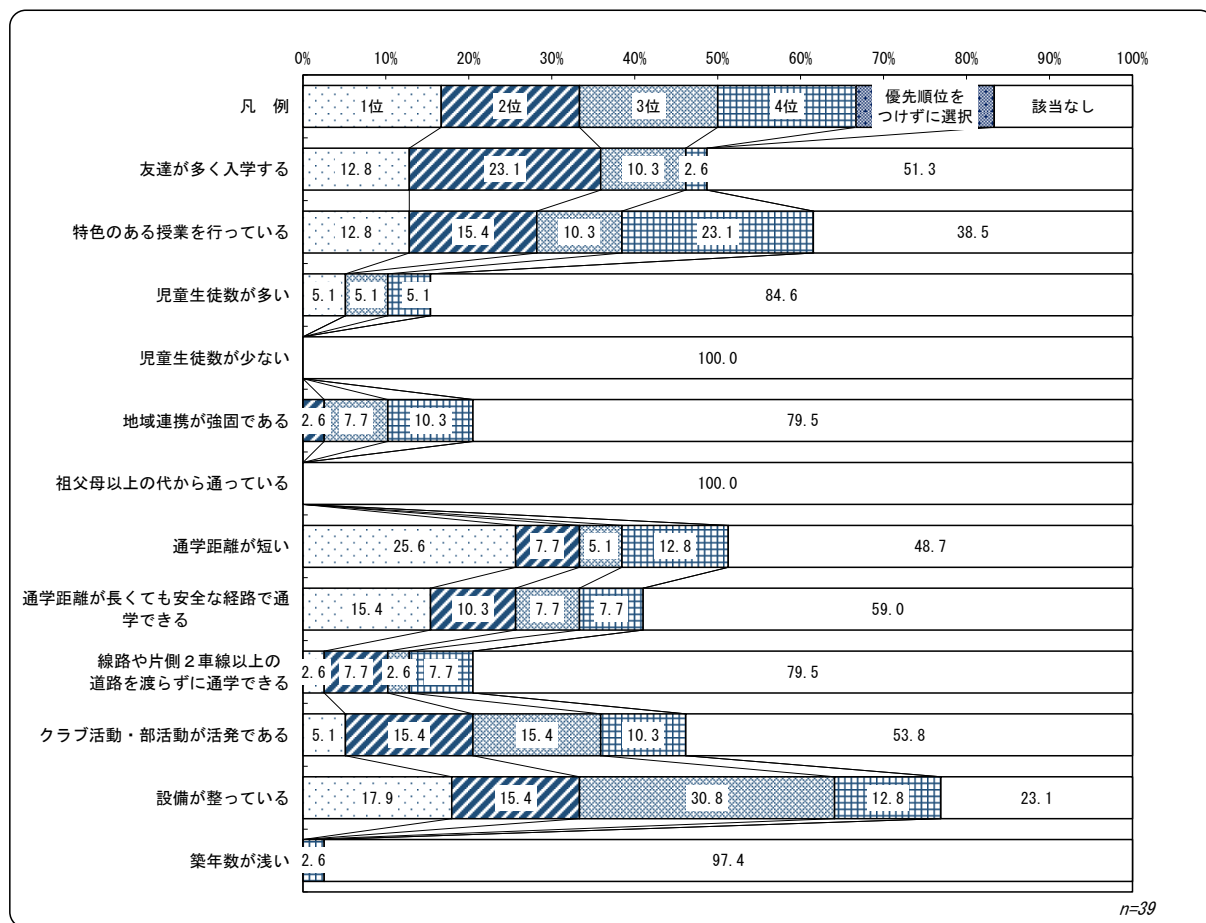
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
友達が多く入学する	6 9.7	9 14.5	11 17.7	4 6.5	0 0.0	32 51.6	62 100.0
特色のある授業を行っている	7 11.3	7 11.3	7 11.3	7 11.3	0 0.0	34 54.8	62 100.0
児童生徒数が多い	0 0.0	1 1.6	0 0.0	1 1.6	0 0.0	60 96.8	62 100.0
児童生徒数が少ない	0 0.0	2 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	60 96.8	62 100.0
地域連携が強固である	1 1.6	3 4.8	3 4.8	2 3.2	0 0.0	53 85.5	62 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.2	0 0.0	60 96.8	62 100.0
通学距離が短い	24 38.7	4 6.5	5 8.1	3 4.8	0 0.0	26 41.9	62 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学できる	7 11.3	9 14.5	10 16.1	4 6.5	0 0.0	32 51.6	62 100.0
線路や片側2車線以上の道路を渡らずに通学できる	4 6.5	4 6.5	6 9.7	3 4.8	0 0.0	45 72.6	62 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	1 1.6	6 9.7	7 11.3	17 27.4	0 0.0	31 50.0	62 100.0
設備が整っている	11 17.7	13 21.0	11 17.7	13 21.0	0 0.0	14 22.6	62 100.0
築年数が浅い	0 0.0	2 3.2	1 1.6	3 4.8	0 0.0	56 90.3	62 100.0



<太平中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

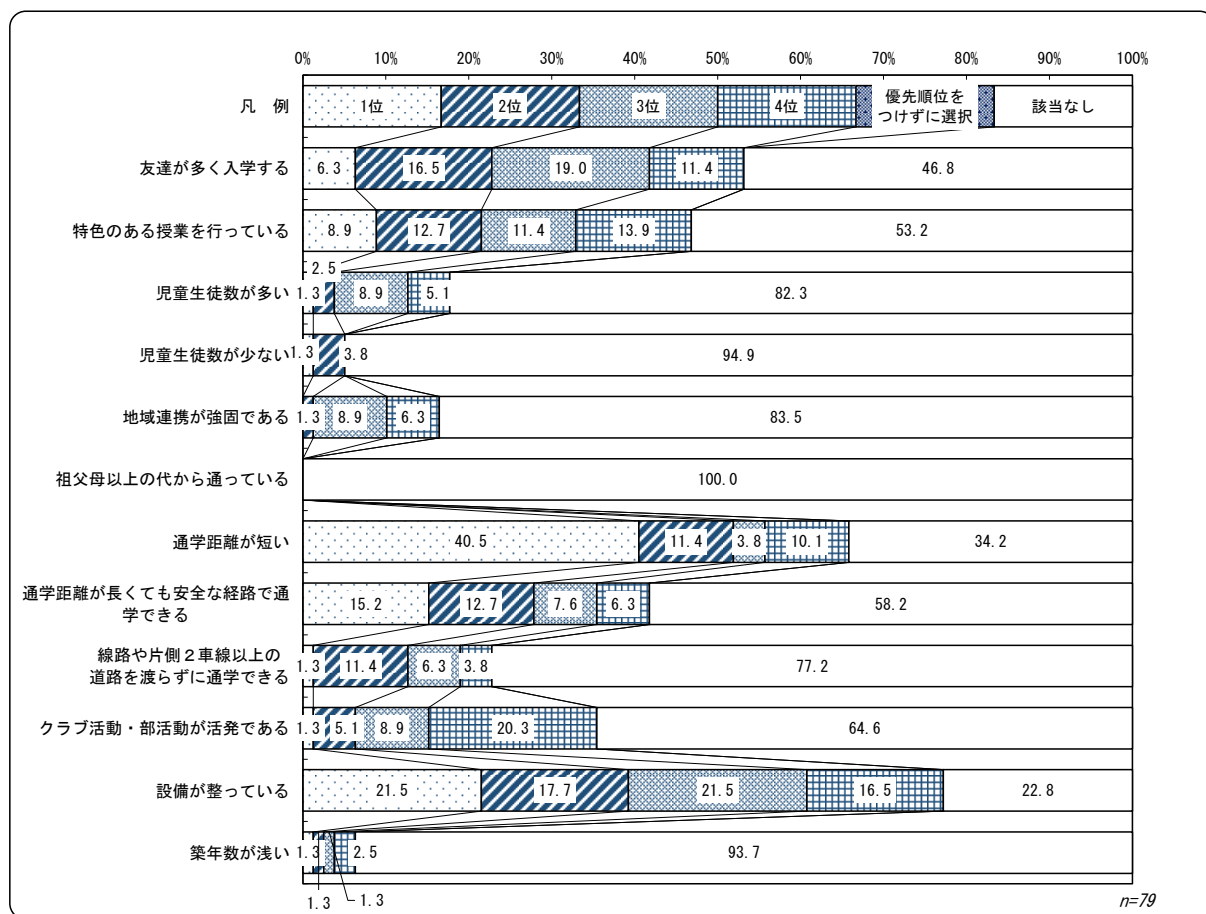
	1位	2位	3位	4位	優先順位 につ けず に選 択	該 当 な し	合 計
友達が多く入学する	5 12.8	9 23.1	4 10.3	1 2.6	0 0.0	20 51.3	39 100.0
特色のある授業を行っている	5 12.8	6 15.4	4 10.3	9 23.1	0 0.0	15 38.5	39 100.0
児童生徒数が多い	2 5.1	0 0.0	2 5.1	2 5.1	0 0.0	33 84.6	39 100.0
児童生徒数が少ない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	39 100.0	39 100.0
地域連携が強固である	0 0.0	1 2.6	3 7.7	4 10.3	0 0.0	31 79.5	39 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	39 100.0	39 100.0
通学距離が短い	10 25.6	3 7.7	2 5.1	5 12.8	0 0.0	19 48.7	39 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学 できる	6 15.4	4 10.3	3 7.7	3 7.7	0 0.0	23 59.0	39 100.0
線路や片側2車線以上の 道路を渡らずに通学できる	1 2.6	3 7.7	1 2.6	3 7.7	0 0.0	31 79.5	39 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	2 5.1	6 15.4	6 15.4	4 10.3	0 0.0	21 53.8	39 100.0
設備が整っている	7 17.9	6 15.4	12 30.8	5 12.8	0 0.0	9 23.1	39 100.0
築年数が浅い	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	38 97.4	39 100.0



<大石中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	1位	2位	3位	4位	優先順位 につけず に選択	該当 なし	合計
友達が多く入学する	5 6.3	13 16.5	15 19.0	9 11.4	0 0.0	37 46.8	79 100.0
特色のある授業を行っている	7 8.9	10 12.7	9 11.4	11 13.9	0 0.0	42 53.2	79 100.0
児童生徒数が多い	1 1.3	2 2.5	7 8.9	4 5.1	0 0.0	65 82.3	79 100.0
児童生徒数が少ない	1 1.3	3 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	75 94.9	79 100.0
地域連携が強固である	0 0.0	1 1.3	7 8.9	5 6.3	0 0.0	66 83.5	79 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	79 100.0	79 100.0
通学距離が短い	32 40.5	9 11.4	3 3.8	8 10.1	0 0.0	27 34.2	79 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学 できる	12 15.2	10 12.7	6 7.6	5 6.3	0 0.0	46 58.2	79 100.0
線路や片側2車線以上の 道路を渡らずに通学できる	1 1.3	9 11.4	5 6.3	3 3.8	0 0.0	61 77.2	79 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	1 1.3	4 5.1	7 8.9	16 20.3	0 0.0	51 64.6	79 100.0
設備が整っている	17 21.5	14 17.7	17 21.5	13 16.5	0 0.0	18 22.8	79 100.0
築年数が浅い	1 1.3	1 1.3	1 1.3	2 2.5	0 0.0	74 93.7	79 100.0

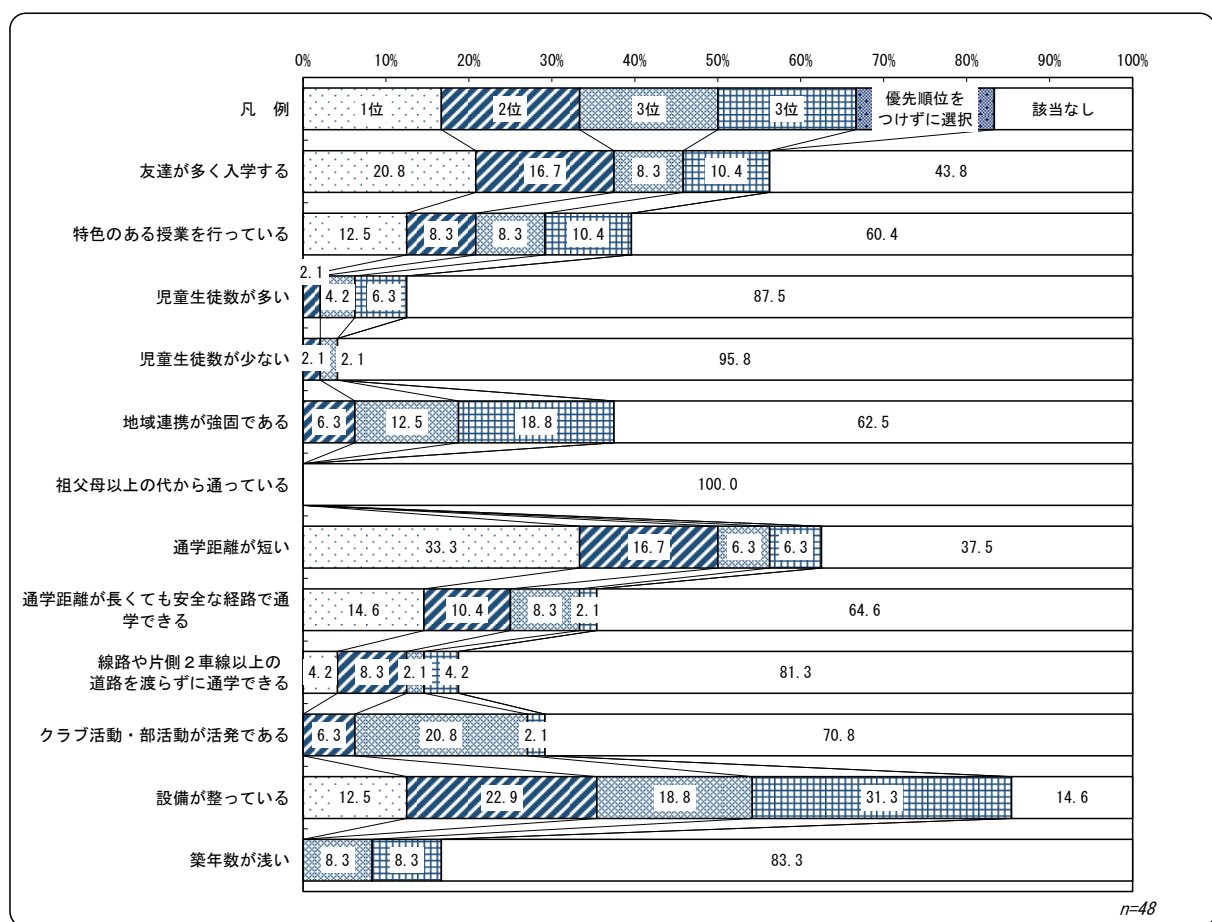




<原市中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

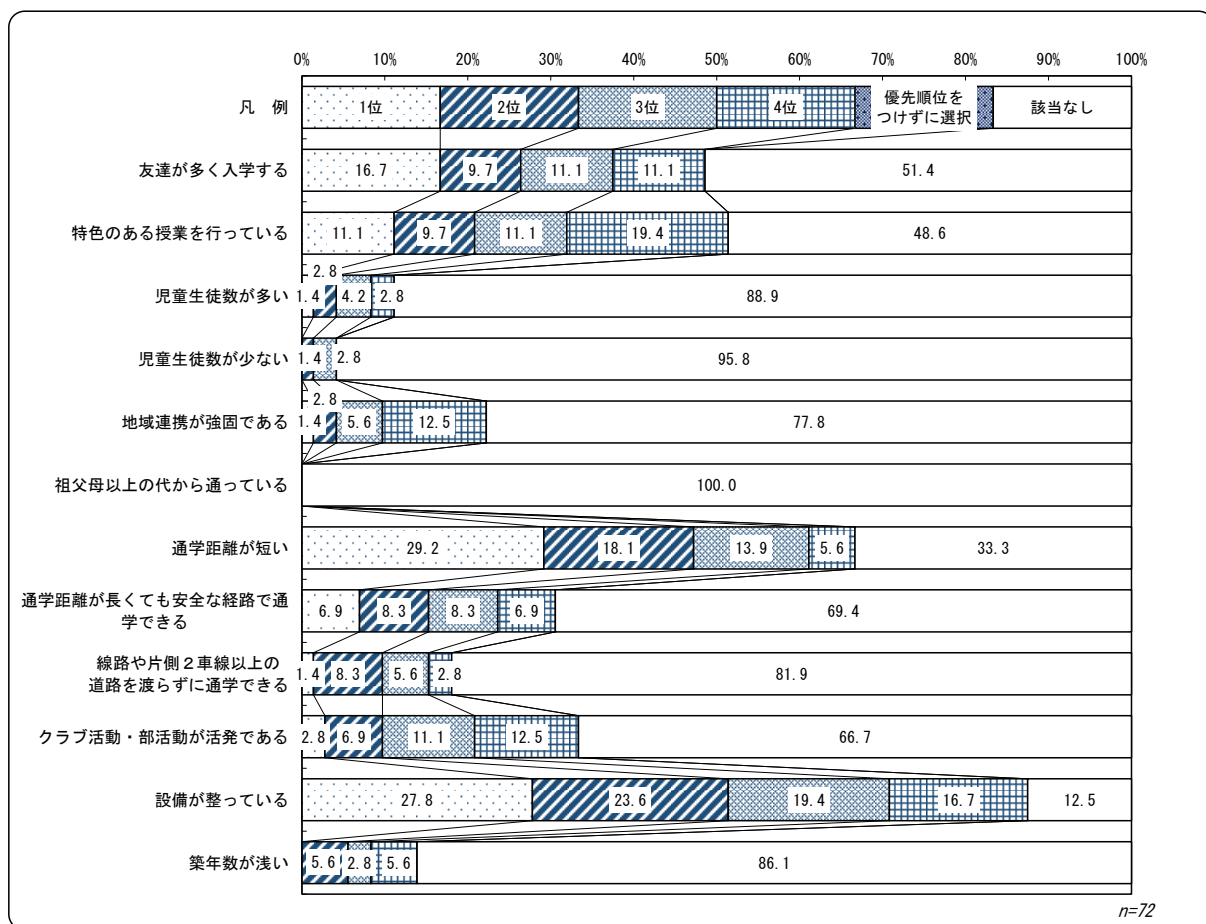
	1位	2位	3位	4位	優先順位を つけずに選 択	該当 なし	合計
友達が多く入学する	10 20.8	8 16.7	4 8.3	5 10.4	0 0.0	21 43.8	48 100.0
特色のある授業を行っている	6 12.5	4 8.3	4 8.3	5 10.4	0 0.0	29 60.4	48 100.0
児童生徒数が多い	0 0.0	1 2.1	2 4.2	3 6.3	0 0.0	42 87.5	48 100.0
児童生徒数が少ない	0 0.0	1 2.1	1 2.1	0 0.0	0 0.0	46 95.8	48 100.0
地域連携が強固である	0 0.0	3 6.3	6 12.5	9 18.8	0 0.0	30 62.5	48 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	48 100.0	48 100.0
通学距離が短い	16 33.3	8 16.7	3 6.3	3 6.3	0 0.0	18 37.5	48 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学 できる	7 14.6	5 10.4	4 8.3	1 2.1	0 0.0	31 64.6	48 100.0
線路や片側2車線以上の 道路を渡らずに通学できる	2 4.2	4 8.3	1 2.1	2 4.2	0 0.0	39 81.3	48 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	0 0.0	3 6.3	10 20.8	1 2.1	0 0.0	34 70.8	48 100.0
設備が整っている	6 12.5	11 22.9	9 18.8	15 31.3	0 0.0	7 14.6	48 100.0
築年数が浅い	0 0.0	0 0.0	4 8.3	4 8.3	0 0.0	40 83.3	48 100.0



<上平中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

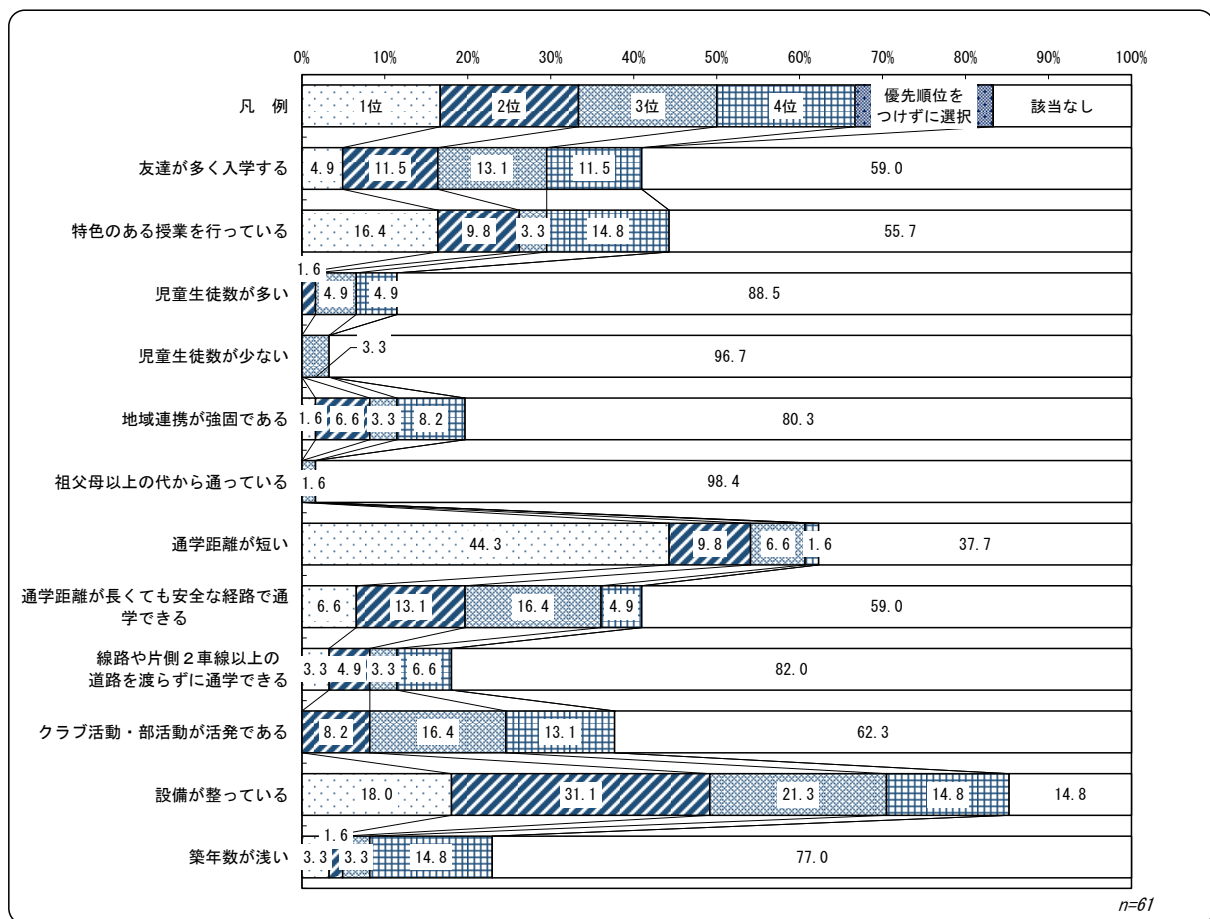
	1位	2位	3位	4位	つ優 け先 ず順 に位 選を 択	該 当 な し	合 計
友達が多く入学する	12 16.7	7 9.7	8 11.1	8 11.1	0 0.0	37 51.4	72 100.0
特色のある授業を行っている	8 11.1	7 9.7	8 11.1	14 19.4	0 0.0	35 48.6	72 100.0
児童生徒数が多い	1 1.4	2 2.8	3 4.2	2 2.8	0 0.0	64 88.9	72 100.0
児童生徒数が少ない	0 0.0	1 1.4	2 2.8	0 0.0	0 0.0	69 95.8	72 100.0
地域連携が強固である	1 1.4	2 2.8	4 5.6	9 12.5	0 0.0	56 77.8	72 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	72 100.0	72 100.0
通学距離が短い	21 29.2	13 18.1	10 13.9	4 5.6	0 0.0	24 33.3	72 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学できる	5 6.9	6 8.3	6 8.3	5 6.9	0 0.0	50 69.4	72 100.0
線路や片側2車線以上の道路を渡らずに通学できる	1 1.4	6 8.3	4 5.6	2 2.8	0 0.0	59 81.9	72 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	2 2.8	5 6.9	8 11.1	9 12.5	0 0.0	48 66.7	72 100.0
設備が整っている	20 27.8	17 23.6	14 19.4	12 16.7	0 0.0	9 12.5	72 100.0
築年数が浅い	0 0.0	4 5.6	2 2.8	4 5.6	0 0.0	62 86.1	72 100.0



<西中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

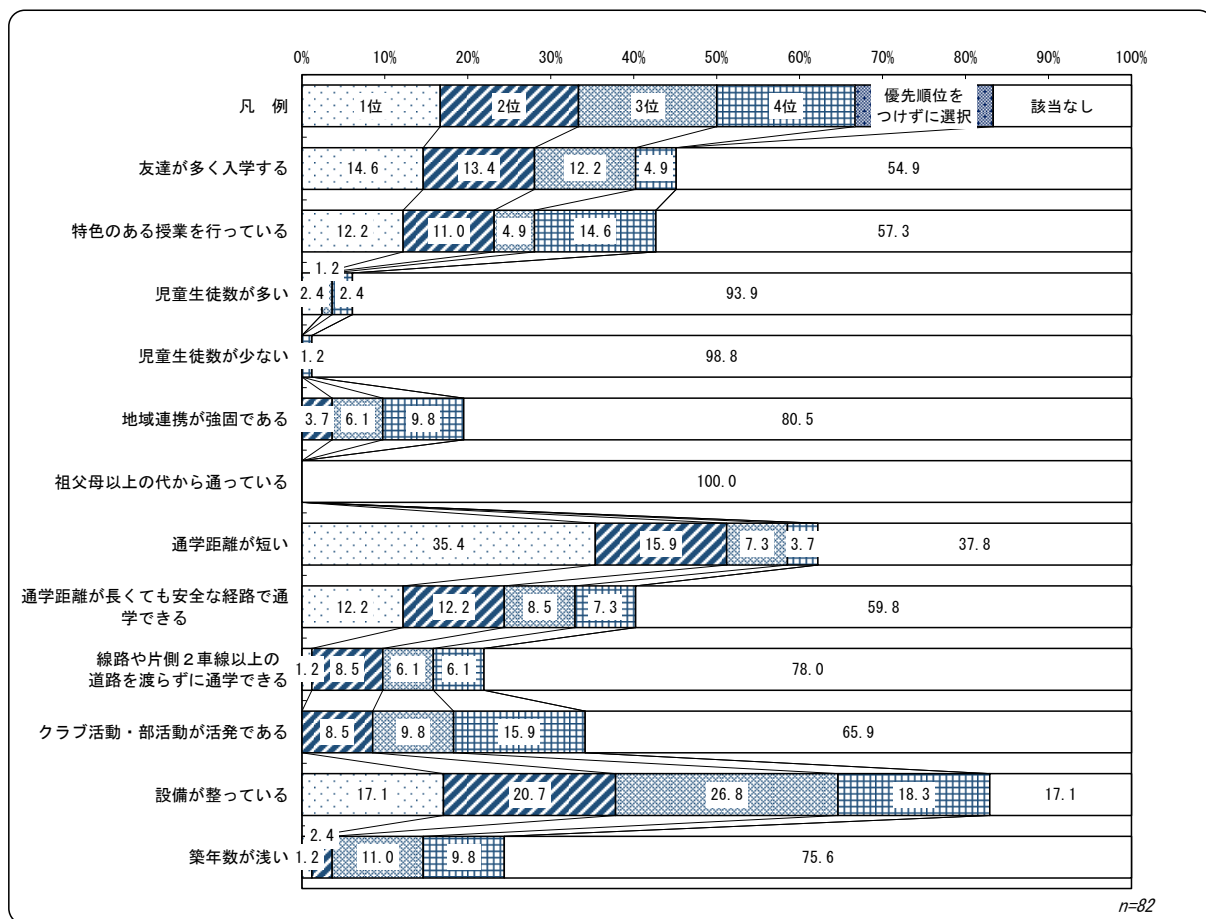
	1位	2位	3位	4位	優先順位 につまず けず順 位を選 択	該当 なし	合計
友達が多く入学する	3 4.9	7 11.5	8 13.1	7 11.5	0 0.0	36 59.0	61 100.0
特色のある授業を行っている	10 16.4	6 9.8	2 3.3	9 14.8	0 0.0	34 55.7	61 100.0
児童生徒数が多い	0 0.0	1 1.6	3 4.9	3 4.9	0 0.0	54 88.5	61 100.0
児童生徒数が少ない	0 0.0	0 0.0	2 3.3	0 0.0	0 0.0	59 96.7	61 100.0
地域連携が強固である	1 1.6	4 6.6	2 3.3	5 8.2	0 0.0	49 80.3	61 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0	60 98.4	61 100.0
通学距離が短い	27 44.3	6 9.8	4 6.6	1 1.6	0 0.0	23 37.7	61 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学 できる	4 6.6	8 13.1	10 16.4	3 4.9	0 0.0	36 59.0	61 100.0
線路や片側2車線以上の 道路を渡らずに通学できる	2 3.3	3 4.9	2 3.3	4 6.6	0 0.0	50 82.0	61 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	0 0.0	5 8.2	10 16.4	8 13.1	0 0.0	38 62.3	61 100.0
設備が整っている	11 18.0	19 31.1	13 21.3	9 14.8	0 0.0	9 14.8	61 100.0
築年数が浅い	2 3.3	1 1.6	2 3.3	9 14.8	0 0.0	47 77.0	61 100.0



<東中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

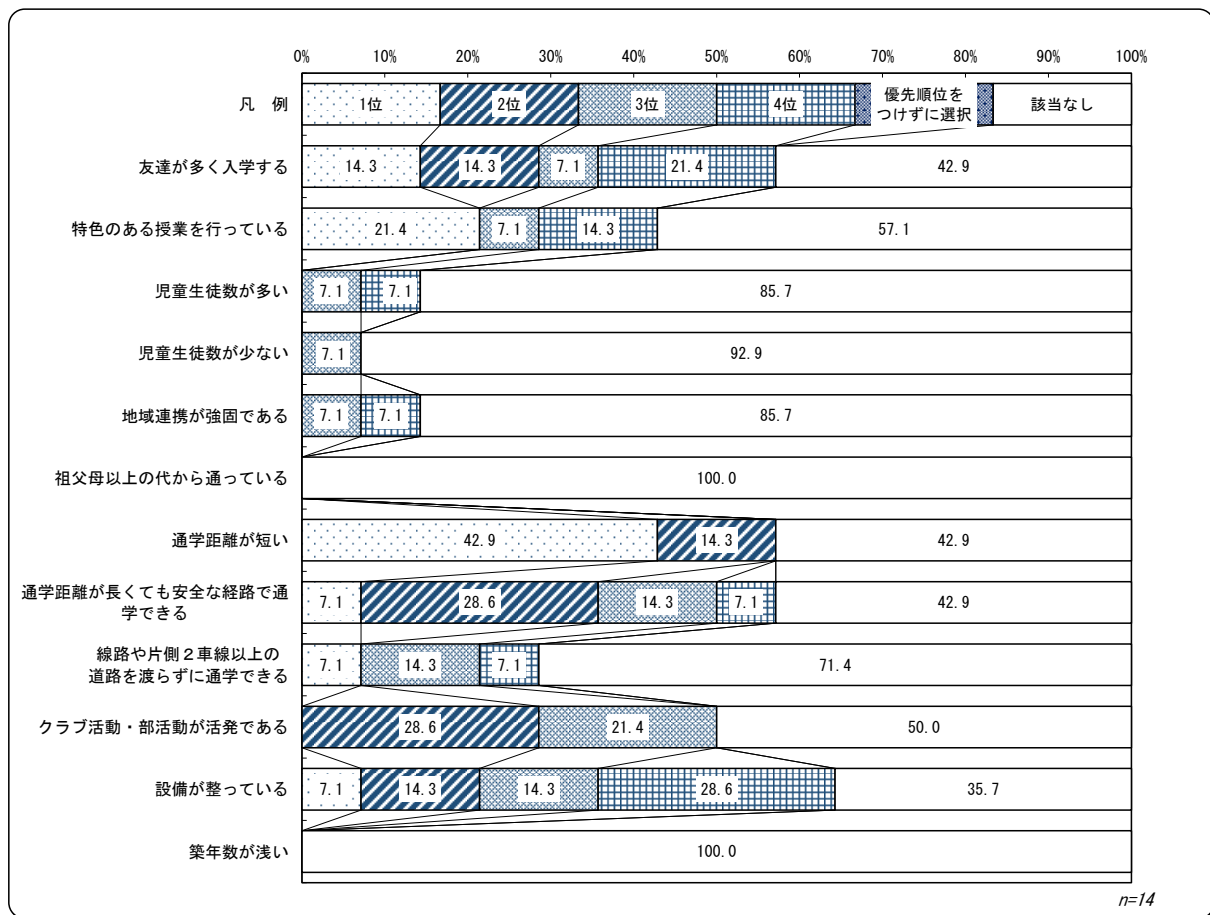
	1位	2位	3位	4位	優先順位 につ けず に選 択を 択	該 当 な し	合 計
友達が多く入学する	12 14.6	11 13.4	10 12.2	4 4.9	0 0.0	45 54.9	82 100.0
特色のある授業を行っている	10 12.2	9 11.0	4 4.9	12 14.6	0 0.0	47 57.3	82 100.0
児童生徒数が多い	2 2.4	0 0.0	1 1.2	2 2.4	0 0.0	77 93.9	82 100.0
児童生徒数が少ない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	81 98.8	82 100.0
地域連携が強固である	0 0.0	3 3.7	5 6.1	8 9.8	0 0.0	66 80.5	82 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	82 100.0	82 100.0
通学距離が短い	29 35.4	13 15.9	6 7.3	3 3.7	0 0.0	31 37.8	82 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学 できる	10 12.2	10 12.2	7 8.5	6 7.3	0 0.0	49 59.8	82 100.0
線路や片側2車線以上の 道路を渡らずに通学できる	1 1.2	7 8.5	5 6.1	5 6.1	0 0.0	64 78.0	82 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	0 0.0	7 8.5	8 9.8	13 15.9	0 0.0	54 65.9	82 100.0
設備が整っている	14 17.1	17 20.7	22 26.8	15 18.3	0 0.0	14 17.1	82 100.0
築年数が浅い	1 1.2	2 2.4	9 11.0	8 9.8	0 0.0	62 75.6	82 100.0



<大石南中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

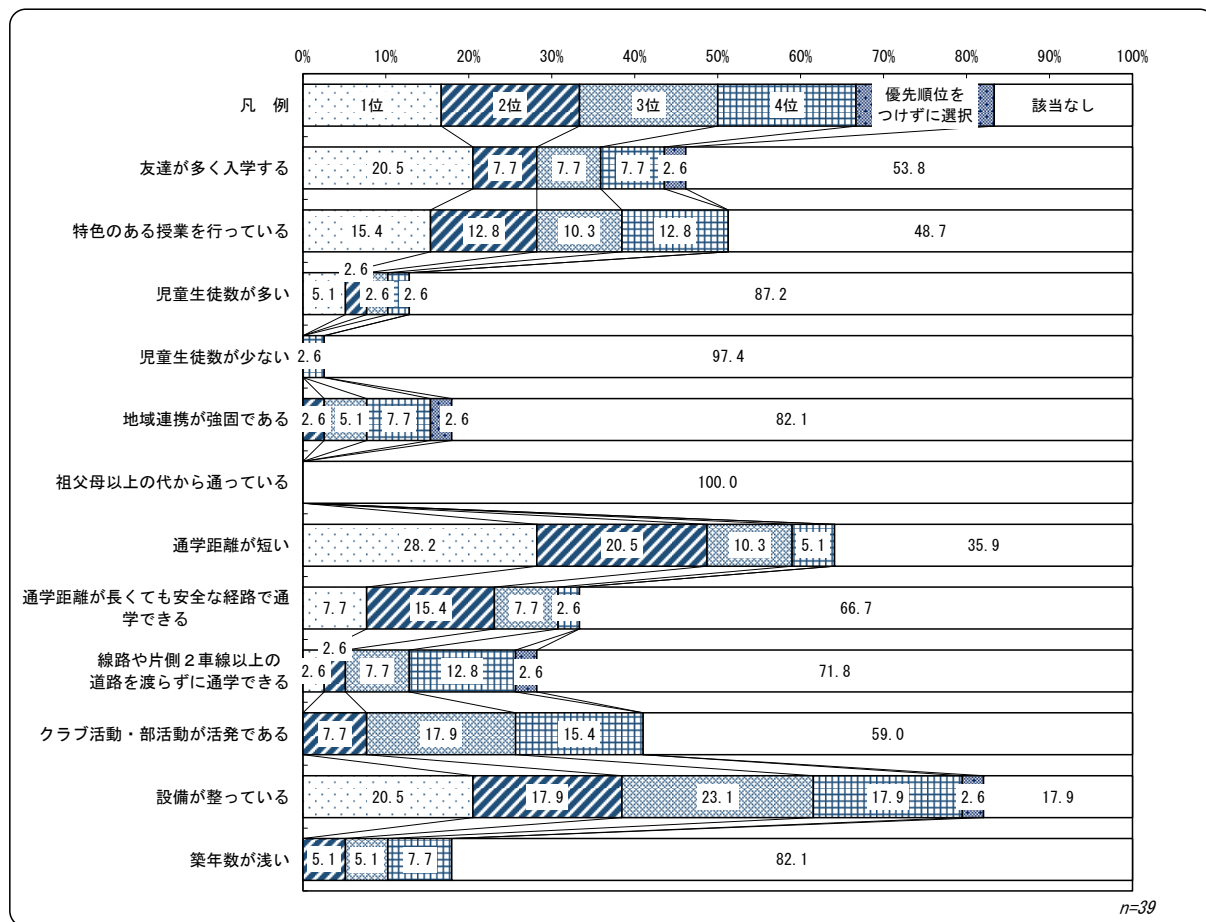
	1位	2位	3位	4位	優先順位を つけずに選 び	該当 なし	合計
友達が多く入学する	2 14.3	2 14.3	1 7.1	3 21.4	0 0.0	6 42.9	14 100.0
特色のある授業を行っている	3 21.4	0 0.0	1 7.1	2 14.3	0 0.0	8 57.1	14 100.0
児童生徒数が多い	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0	12 85.7	14 100.0
児童生徒数が少ない	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	13 92.9	14 100.0
地域連携が強固である	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0	12 85.7	14 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0	14 100.0
通学距離が短い	6 42.9	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 42.9	14 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学 できる	1 7.1	4 28.6	2 14.3	1 7.1	0 0.0	6 42.9	14 100.0
線路や片側2車線以上の 道路を渡らずに通学できる	1 7.1	0 0.0	2 14.3	1 7.1	0 0.0	10 71.4	14 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	0 0.0	4 28.6	3 21.4	0 0.0	0 0.0	7 50.0	14 100.0
設備が整っている	1 7.1	2 14.3	2 14.3	4 28.6	0 0.0	5 35.7	14 100.0
築年数が浅い	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0	14 100.0



<瓦葺中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

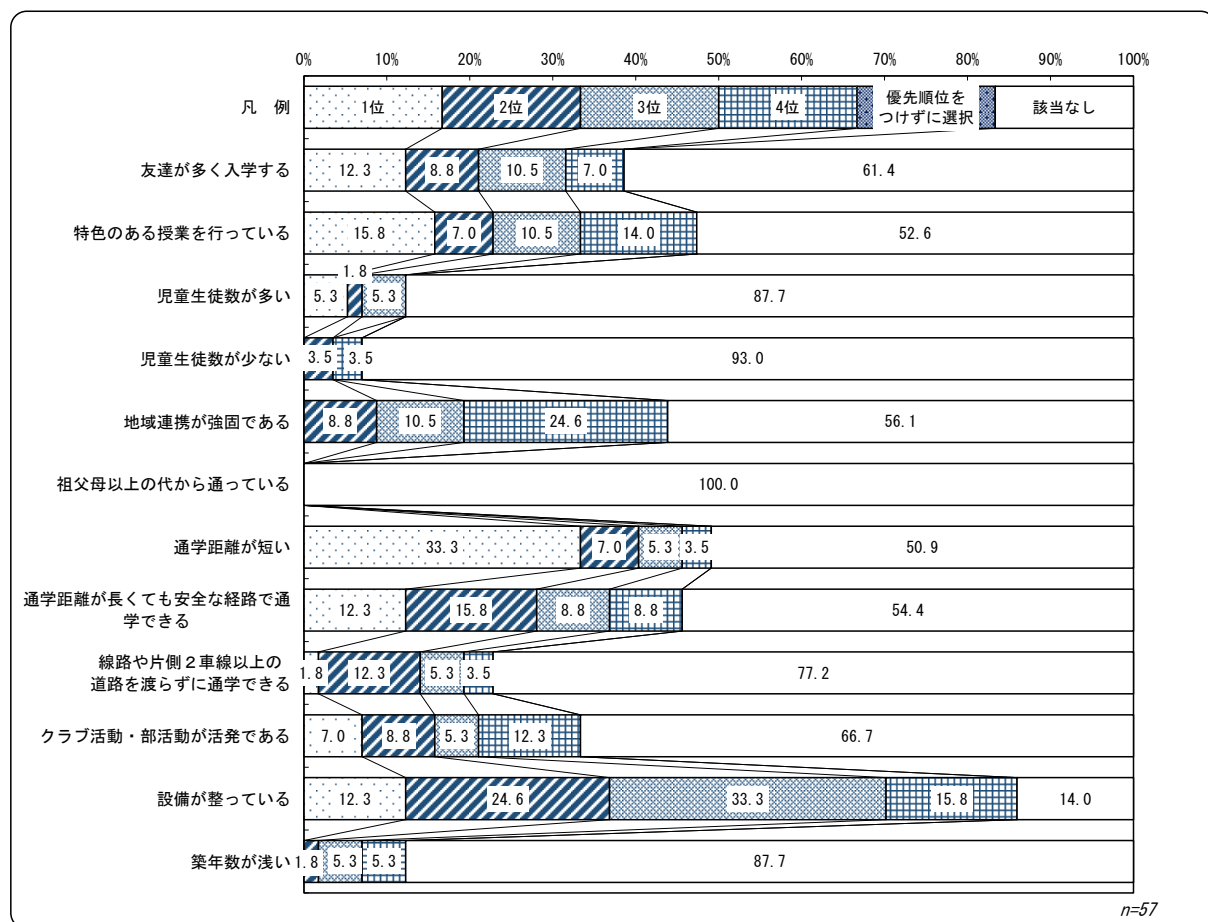
	1位	2位	3位	4位	優先順位 づけずに選 択	該当 なし	合計
友達が多く入学する	8 20.5	3 7.7	3 7.7	3 7.7	1 2.6	21 53.8	39 100.0
特色のある授業を行っている	6 15.4	5 12.8	4 10.3	5 12.8	0 0.0	19 48.7	39 100.0
児童生徒数が多い	2 5.1	1 2.6	1 2.6	1 2.6	0 0.0	34 87.2	39 100.0
児童生徒数が少ない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	38 97.4	39 100.0
地域連携が強固である	0 0.0	1 2.6	2 5.1	3 7.7	1 2.6	32 82.1	39 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	39 100.0	39 100.0
通学距離が短い	11 28.2	8 20.5	4 10.3	2 5.1	0 0.0	14 35.9	39 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学 できる	3 7.7	6 15.4	3 7.7	1 2.6	0 0.0	26 66.7	39 100.0
線路や片側2車線以上の 道路を渡らずに通学できる	1 2.6	1 2.6	3 7.7	5 12.8	1 2.6	28 71.8	39 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	0 0.0	3 7.7	7 17.9	6 15.4	0 0.0	23 59.0	39 100.0
設備が整っている	8 20.5	7 17.9	9 23.1	7 17.9	1 2.6	7 17.9	39 100.0
築年数が浅い	0 0.0	2 5.1	2 5.1	3 7.7	0 0.0	32 82.1	39 100.0



<南中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

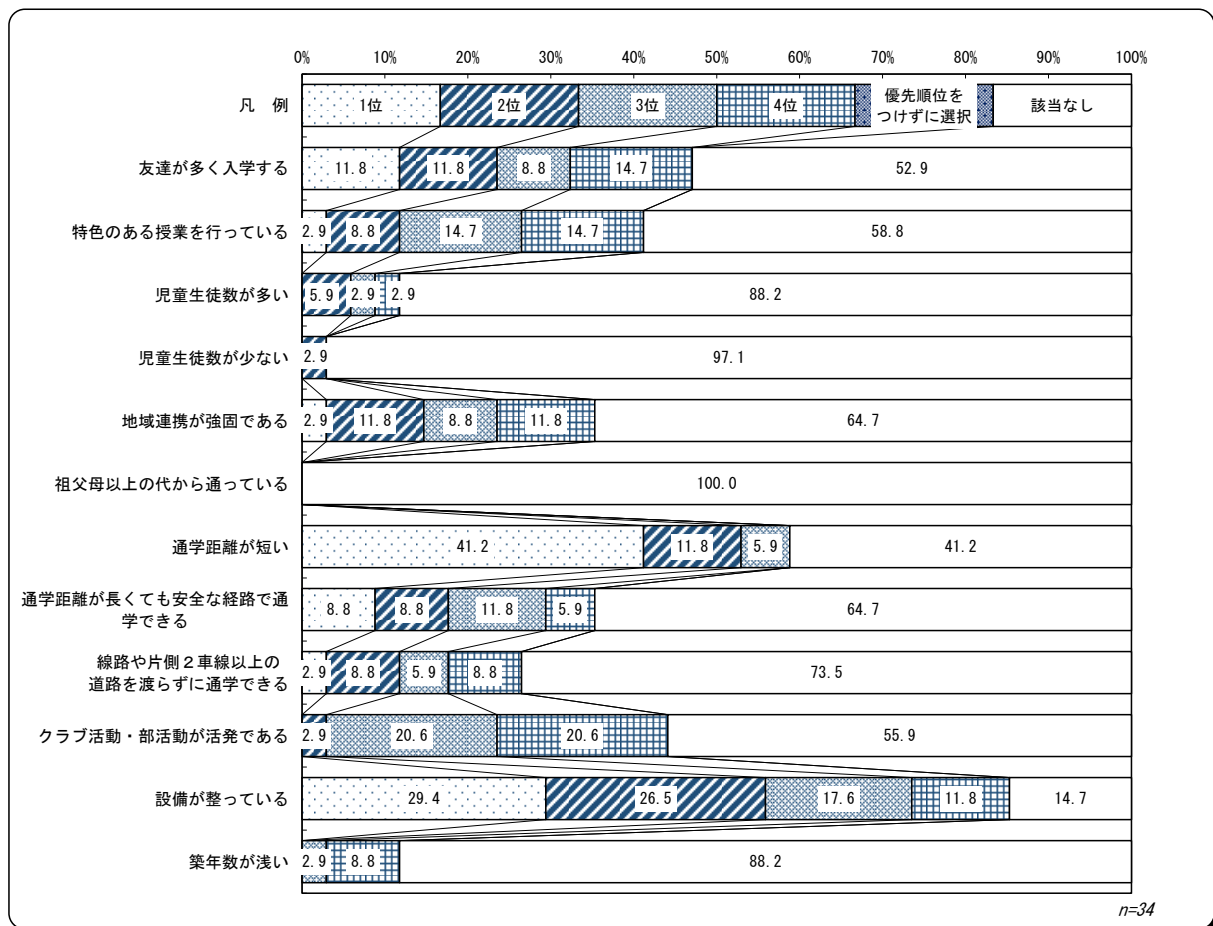
	1位	2位	3位	4位	優先順位 づけずに選 択	該当 なし	合計
友達が多く入学する	7 12.3	5 8.8	6 10.5	4 7.0	0 0.0	35 61.4	57 100.0
特色のある授業を行っている	9 15.8	4 7.0	6 10.5	8 14.0	0 0.0	30 52.6	57 100.0
児童生徒数が多い	3 5.3	1 1.8	3 5.3	0 0.0	0 0.0	50 87.7	57 100.0
児童生徒数が少ない	0 0.0	2 3.5	0 0.0	2 3.5	0 0.0	53 93.0	57 100.0
地域連携が強固である	0 0.0	5 8.8	6 10.5	14 24.6	0 0.0	32 56.1	57 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	57 100.0	57 100.0
通学距離が短い	19 33.3	4 7.0	3 5.3	2 3.5	0 0.0	29 50.9	57 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学 できる	7 12.3	9 15.8	5 8.8	5 8.8	0 0.0	31 54.4	57 100.0
線路や片側2車線以上の 道路を渡らずに通学できる	1 1.8	7 12.3	3 5.3	2 3.5	0 0.0	44 77.2	57 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	4 7.0	5 8.8	3 5.3	7 12.3	0 0.0	38 66.7	57 100.0
設備が整っている	7 12.3	14 24.6	19 33.3	9 15.8	0 0.0	8 14.0	57 100.0
築年数が浅い	0 0.0	1 1.8	3 5.3	3 5.3	0 0.0	50 87.7	57 100.0



<大谷中学校区域>

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

	1位	2位	3位	4位	優先順位を つけずに選 択	該当なし	合計
友達が多く入学する	4 11.8	4 11.8	3 8.8	5 14.7	0 0.0	18 52.9	34 100.0
特色のある授業を行っている	1 2.9	3 8.8	5 14.7	5 14.7	0 0.0	20 58.8	34 100.0
児童生徒数が多い	0 0.0	2 5.9	1 2.9	1 2.9	0 0.0	30 88.2	34 100.0
児童生徒数が少ない	0 0.0	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	33 97.1	34 100.0
地域連携が強固である	1 2.9	4 11.8	3 8.8	4 11.8	0 0.0	22 64.7	34 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	34 100.0	34 100.0
通学距離が短い	14 41.2	4 11.8	2 5.9	0 0.0	0 0.0	14 41.2	34 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学 できる	3 8.8	3 8.8	4 11.8	2 5.9	0 0.0	22 64.7	34 100.0
線路や片側2車線以上の 道路を渡らずに通学できる	1 2.9	3 8.8	2 5.9	3 8.8	0 0.0	25 73.5	34 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	0 0.0	1 2.9	7 20.6	7 20.6	0 0.0	19 55.9	34 100.0
設備が整っている	10 29.4	9 26.5	6 17.6	4 11.8	0 0.0	5 14.7	34 100.0
築年数が浅い	0 0.0	0 0.0	1 2.9	3 8.8	0 0.0	30 88.2	34 100.0

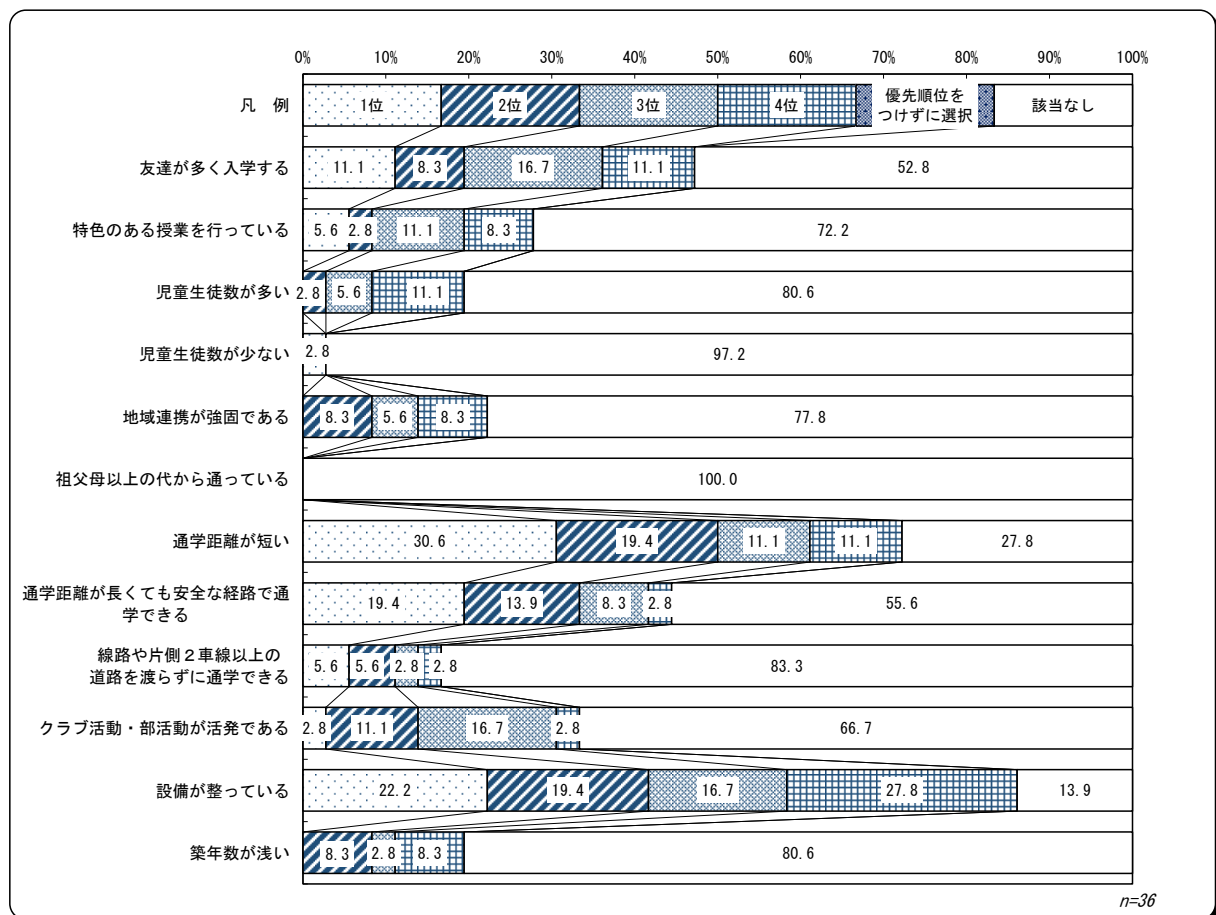




<不明>

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

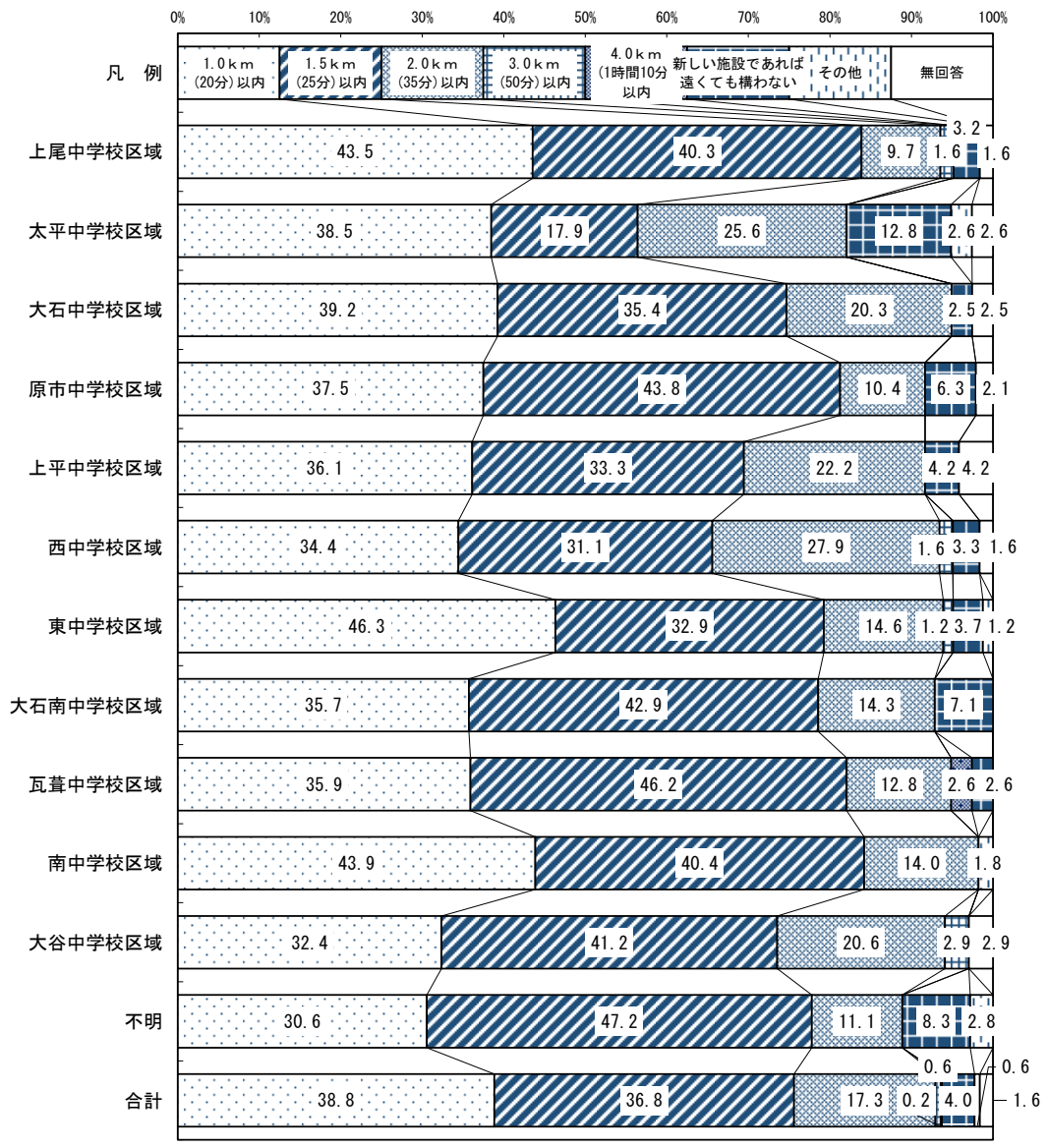
	1位	2位	3位	4位	優先順位をつけずに選択	該当なし	合計
友達が多く入学する	4 11.1	3 8.3	6 16.7	4 11.1	0 0.0	19 52.8	36 100.0
特色のある授業を行っている	2 5.6	1 2.8	4 11.1	3 8.3	0 0.0	26 72.2	36 100.0
児童生徒数が多い	0 0.0	1 2.8	2 5.6	4 11.1	0 0.0	29 80.6	36 100.0
児童生徒数が少ない	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	35 97.2	36 100.0
地域連携が強固である	0 0.0	3 8.3	2 5.6	3 8.3	0 0.0	28 77.8	36 100.0
祖父母以上の代から通っている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	36 100.0	36 100.0
通学距離が短い	11 30.6	7 19.4	4 11.1	4 11.1	0 0.0	10 27.8	36 100.0
通学距離が長くても安全な経路で通学できる	7 19.4	5 13.9	3 8.3	1 2.8	0 0.0	20 55.6	36 100.0
線路や片側2車線以上の道路を渡らずに通学できる	2 5.6	2 5.6	1 2.8	1 2.8	0 0.0	30 83.3	36 100.0
クラブ活動・部活動が活発である	1 2.8	4 11.1	6 16.7	1 2.8	0 0.0	24 66.7	36 100.0
設備が整っている	8 22.2	7 19.4	6 16.7	10 27.8	0 0.0	5 13.9	36 100.0
築年数が浅い	0 0.0	3 8.3	1 2.8	3 8.3	0 0.0	29 80.6	36 100.0



問5-1 小学生の通学距離として上限と思われる距離

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

	1 ・ 0 k m ( 2 0 分) 以 内	1 ・ 5 k m ( 2 5 分) 以 内	2 ・ 0 k m ( 3 5 分) 以 内	3 ・ 0 k m ( 5 0 分) 以 内	4 ・ 0 k m ( 1 時 間 1 0 分) 以 内	遠 新 く て も 施 設 で あ れ ば 構 わ な い	そ の 他	無 回 答	合 計
中学校区域									
上尾中学校区域	27 43.5	25 40.3	6 9.7	1 1.6	0 0.0	2 3.2	0 0.0	1 1.6	62 100.0
太平中学校区域	15 38.5	7 17.9	10 25.6	0 0.0	0 0.0	5 12.8	1 2.6	1 2.6	39 100.0
大石中学校区域	31 39.2	28 35.4	16 20.3	0 0.0	0 0.0	2 2.5	0 0.0	2 2.5	79 100.0
原市中学校区域	18 37.5	21 43.8	5 10.4	0 0.0	0 0.0	3 6.3	0 0.0	1 2.1	48 100.0
上平中学校区域	26 36.1	24 33.3	16 22.2	0 0.0	0 0.0	3 4.2	0 0.0	3 4.2	72 100.0
西中学校区域	21 34.4	19 31.1	17 27.9	1 1.6	0 0.0	2 3.3	0 0.0	1 1.6	61 100.0
東中学校区域	38 46.3	27 32.9	12 14.6	1 1.2	0 0.0	3 3.7	1 1.2	0 0.0	82 100.0
大石南中学校区域	5 35.7	6 42.9	2 14.3	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	14 100.0
瓦葺中学校区域	14 35.9	18 46.2	5 12.8	0 0.0	1 2.6	1 2.6	0 0.0	0 0.0	39 100.0
南中学校区域	25 43.9	23 40.4	8 14.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	0 0.0	57 100.0
大谷中学校区域	11 32.4	14 41.2	7 20.6	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.9	34 100.0
不明	11 30.6	17 47.2	4 11.1	0 0.0	0 0.0	3 8.3	1 2.8	0 0.0	36 100.0
合計	242 38.8	229 36.8	108 17.3	4 0.6	1 0.2	25 4.0	4 0.6	10 1.6	623 100.0

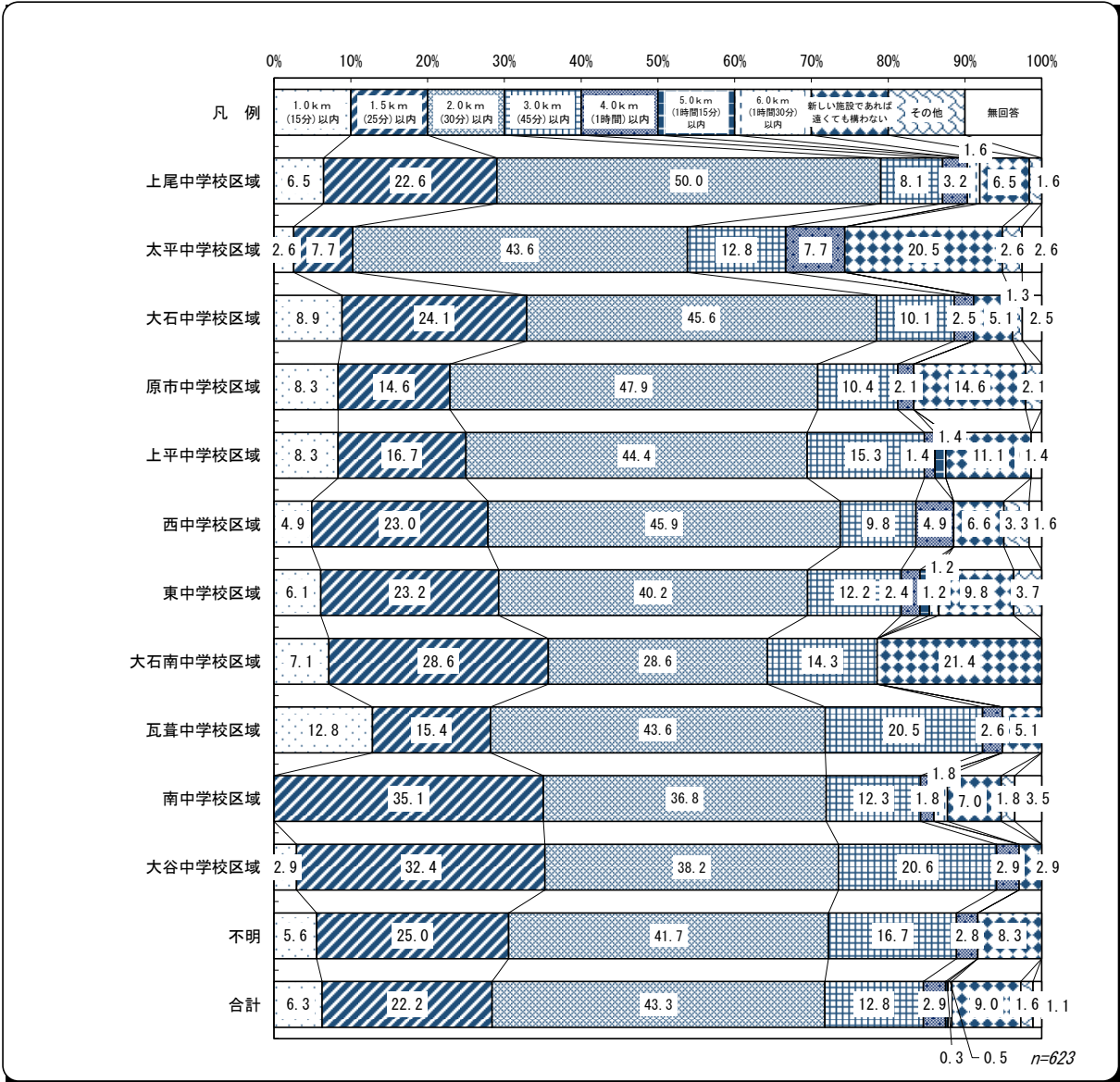


n=623

問6-1 中学生の通学距離として上限と思われる距離

[上段：回答数 下段：構成比（％）]

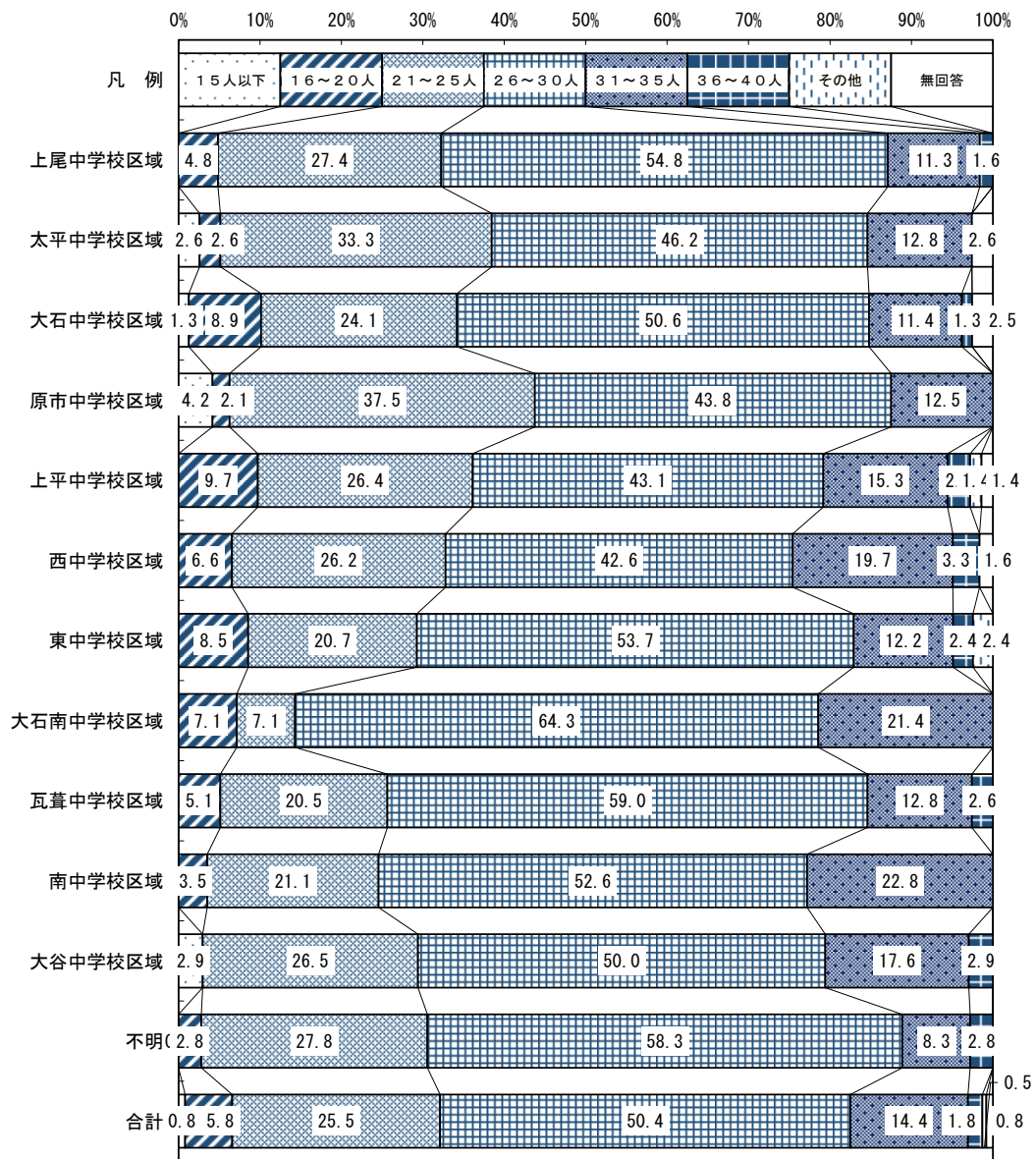
	1 0 k m (1 5 分) 以内	1 5 k m (2 5 分) 以内	2 0 k m (3 0 分) 以内	3 0 k m (4 5 分) 以内	4 0 k m (1 時 間) 以内	5 0 k m (1 時 間 1 5 分) 以内	6 0 k m (1 時 間 3 0 分) 以内	遠 新 く て も 構 わ な い ば	そ の 他	無 回 答	合 計
中学校区域											
上尾中学校区域	4 6.5	14 22.6	31 50.0	5 8.1	2 3.2	0 0.0	1 1.6	4 6.5	1 1.6	0 0.0	62 100.0
太平中学校区域	1 2.6	3 7.7	17 43.6	5 12.8	3 7.7	0 0.0	0 0.0	8 20.5	1 2.6	1 2.6	39 100.0
大石中学校区域	7 8.9	19 24.1	36 45.6	8 10.1	2 2.5	0 0.0	0 0.0	4 5.1	1 1.3	2 2.5	79 100.0
原市中学校区域	4 8.3	7 14.6	23 47.9	5 10.4	1 2.1	0 0.0	0 0.0	7 14.6	1 2.1	0 0.0	48 100.0
上平中学校区域	6 8.3	12 16.7	32 44.4	11 15.3	1 1.4	1 1.4	0 0.0	8 11.1	0 0.0	1 1.4	72 100.0
西中学校区域	3 4.9	14 23.0	28 45.9	6 9.8	3 4.9	0 0.0	0 0.0	4 6.6	2 3.3	1 1.6	61 100.0
東中学校区域	5 6.1	19 23.2	33 40.2	10 12.2	2 2.4	1 1.2	1 1.2	8 9.8	3 3.7	0 0.0	82 100.0
大石南中学校区域	1 7.1	4 28.6	4 28.6	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 21.4	0 0.0	0 0.0	14 100.0
瓦葺中学校区域	5 12.8	6 15.4	17 43.6	8 20.5	1 2.6	0 0.0	0 0.0	2 5.1	0 0.0	0 0.0	39 100.0
南中学校区域	0 0.0	20 35.1	21 36.8	7 12.3	1 1.8	0 0.0	1 1.8	4 7.0	1 1.8	2 3.5	57 100.0
大谷中学校区域	1 2.9	11 32.4	13 38.2	7 20.6	1 2.9	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0	0 0.0	34 100.0
不明	2 5.6	9 25.0	15 41.7	6 16.7	1 2.8	0 0.0	0 0.0	3 8.3	0 0.0	0 0.0	36 100.0
合計	39 6.3	138 22.2	270 43.3	80 12.8	18 2.9	2 0.3	3 0.5	56 9.0	10 1.6	7 1.1	623 100.0



問7 1学級当たりの適正なクラス人数

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	1 5 人 以 下	1 6 ~ 2 0 人	2 1 ~ 2 5 人	2 6 ~ 3 0 人	3 1 ~ 3 5 人	3 6 ~ 4 0 人	そ の 他	無 回 答	合 計
中学校区域									
上尾中学校区域	0 0.0	3 4.8	17 27.4	34 54.8	7 11.3	1 1.6	0 0.0	0 0.0	62 100.0
太平中学校区域	1 2.6	1 2.6	13 33.3	18 46.2	5 12.8	0 0.0	0 0.0	1 2.6	39 100.0
大石中学校区域	1 1.3	7 8.9	19 24.1	40 50.6	9 11.4	1 1.3	0 0.0	2 2.5	79 100.0
原市中学校区域	2 4.2	1 2.1	18 37.5	21 43.8	6 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	48 100.0
上平中学校区域	0 0.0	7 9.7	19 26.4	31 43.1	11 15.3	2 2.8	1 1.4	1 1.4	72 100.0
西中学校区域	0 0.0	4 6.6	16 26.2	26 42.6	12 19.7	2 3.3	0 0.0	1 1.6	61 100.0
東中学校区域	0 0.0	7 8.5	17 20.7	44 53.7	10 12.2	2 2.4	2 2.4	0 0.0	82 100.0
大石南中学校区域	0 0.0	1 7.1	1 7.1	9 64.3	3 21.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0
瓦葺中学校区域	0 0.0	2 5.1	8 20.5	23 59.0	5 12.8	1 2.6	0 0.0	0 0.0	39 100.0
南中学校区域	0 0.0	2 3.5	12 21.1	30 52.6	13 22.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	57 100.0
大谷中学校区域	1 2.9	0 0.0	9 26.5	17 50.0	6 17.6	1 2.9	0 0.0	0 0.0	34 100.0
不明	0 0.0	1 2.8	10 27.8	21 58.3	3 8.3	1 2.8	0 0.0	0 0.0	36 100.0
合計	5 0.8	36 5.8	159 25.5	314 50.4	90 14.4	11 1.8	3 0.5	5 0.8	623 100.0



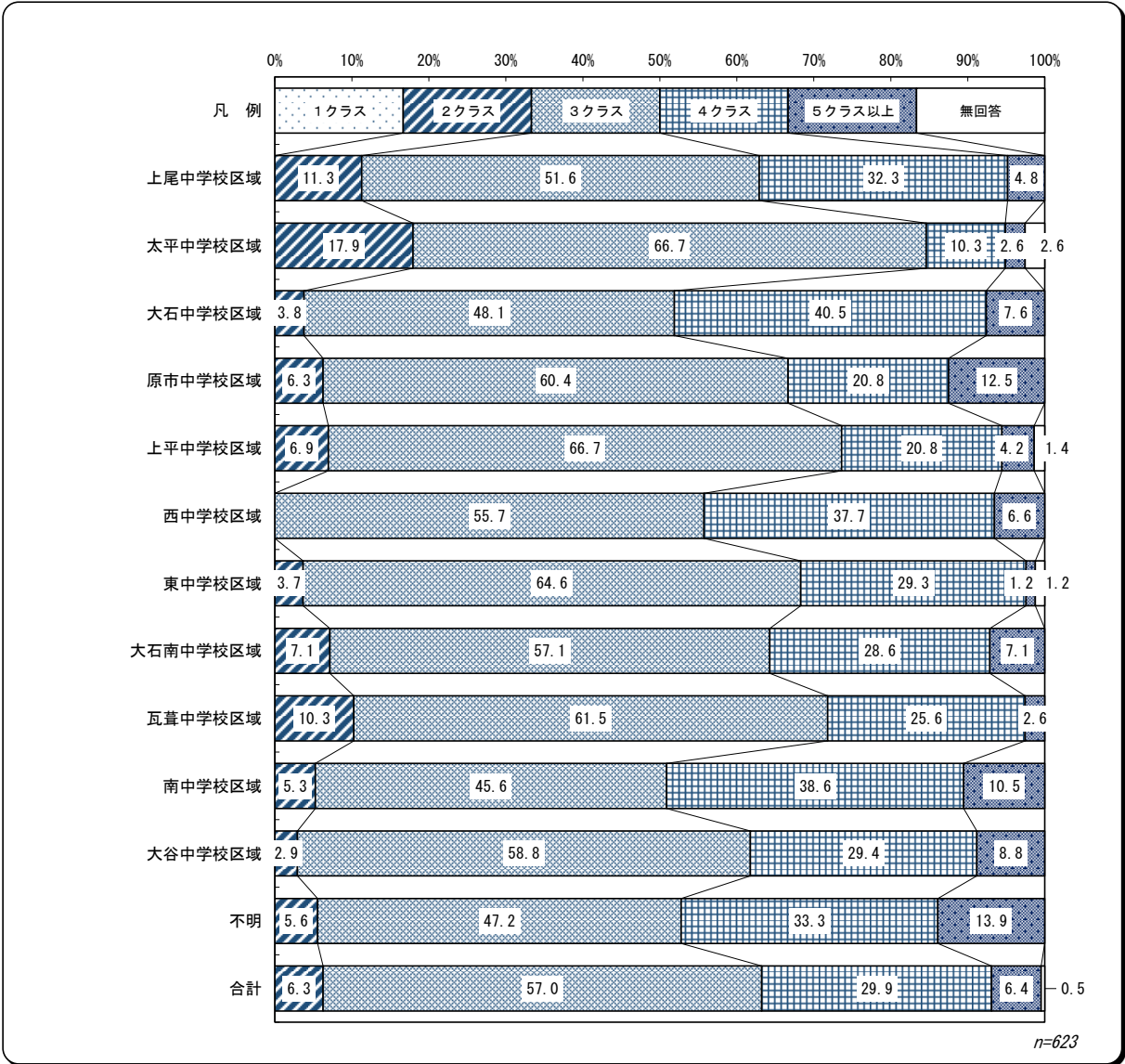
n=623

問8 1学年当たりの適正と考える小学校のクラス数

[上段：回答数 下段：構成比（％）]

	1 ク ラ ス	2 ク ラ ス	3 ク ラ ス	4 ク ラ ス	5 ク ラ ス 以 上	無 回 答	合 計
中学校区域							
上尾中学校区域	0 0.0	7 11.3	32 51.6	20 32.3	3 4.8	0 0.0	62 100.0
太平中学校区域	0 0.0	7 17.9	26 66.7	4 10.3	1 2.6	1 2.6	39 100.0
大石中学校区域	0 0.0	3 3.8	38 48.1	32 40.5	6 7.6	0 0.0	79 100.0
原市中学校区域	0 0.0	3 6.3	29 60.4	10 20.8	6 12.5	0 0.0	48 100.0
上平中学校区域	0 0.0	5 6.9	48 66.7	15 20.8	3 4.2	1 1.4	72 100.0
西中学校区域	0 0.0	0 0.0	34 55.7	23 37.7	4 6.6	0 0.0	61 100.0
東中学校区域	0 0.0	3 3.7	53 64.6	24 29.3	1 1.2	1 1.2	82 100.0
大石南中学校区域	0 0.0	1 7.1	8 57.1	4 28.6	1 7.1	0 0.0	14 100.0
瓦葺中学校区域	0 0.0	4 10.3	24 61.5	10 25.6	1 2.6	0 0.0	39 100.0
南中学校区域	0 0.0	3 5.3	26 45.6	22 38.6	6 10.5	0 0.0	57 100.0
大谷中学校区域	0 0.0	1 2.9	20 58.8	10 29.4	3 8.8	0 0.0	34 100.0
不明	0 0.0	2 5.6	17 47.2	12 33.3	5 13.9	0 0.0	36 100.0
合計	0 0.0	39 6.3	355 57.0	186 29.9	40 6.4	3 0.5	623 100.0

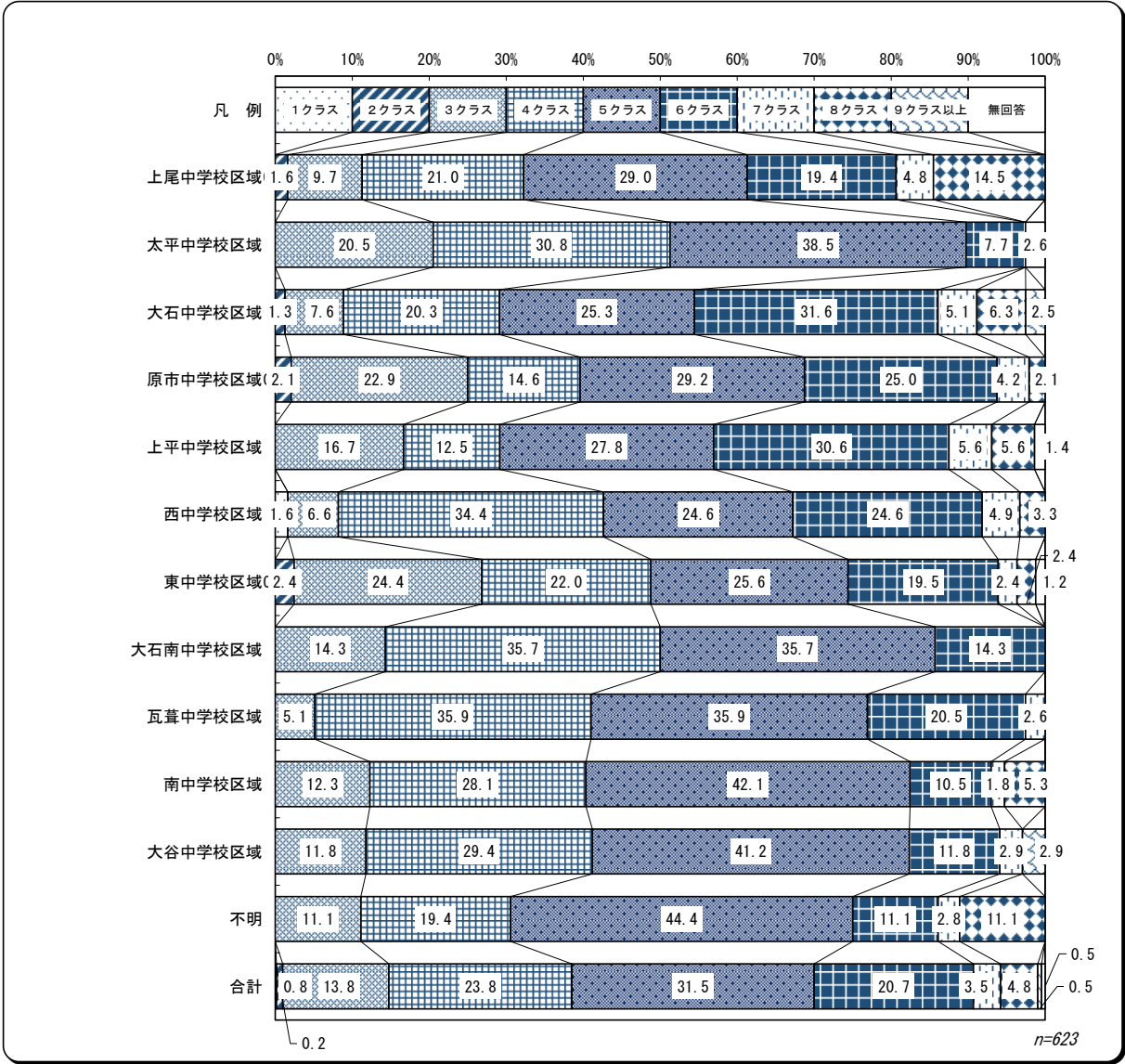




問9 1学年当たりの適正と考える中学校のクラス数

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

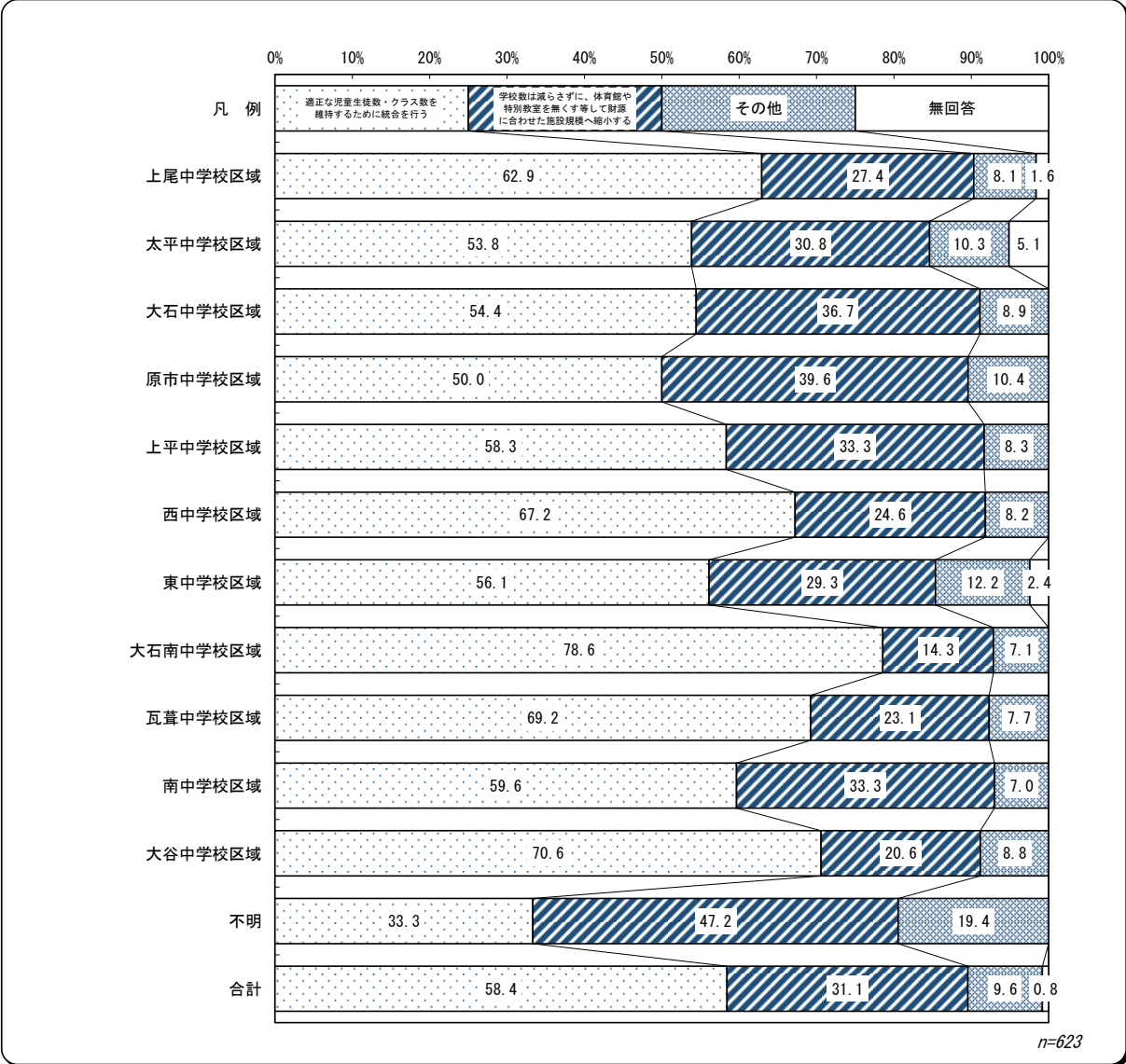
	1 クラス	2 クラス	3 クラス	4 クラス	5 クラス	6 クラス	7 クラス	8 クラス	9 クラス 以上	無 回 答	合 計
中学校区域											
上尾中学校区域	0 0.0	1 1.6	6 9.7	13 21.0	18 29.0	12 19.4	3 4.8	9 14.5	0 0.0	0 0.0	62 100.0
太平中学校区域	0 0.0	0 0.0	8 20.5	12 30.8	15 38.5	3 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	39 100.0
大石中学校区域	0 0.0	1 1.3	6 7.6	16 20.3	20 25.3	25 31.6	4 5.1	5 6.3	2 2.5	0 0.0	79 100.0
原市中学校区域	0 0.0	1 2.1	11 22.9	7 14.6	14 29.2	12 25.0	2 4.2	1 2.1	0 0.0	0 0.0	48 100.0
上平中学校区域	0 0.0	0 0.0	12 16.7	9 12.5	20 27.8	22 30.6	4 5.6	4 5.6	0 0.0	1 1.4	72 100.0
西中学校区域	1 1.6	0 0.0	4 6.6	21 34.4	15 24.6	15 24.6	3 4.9	2 3.3	0 0.0	0 0.0	61 100.0
東中学校区域	0 0.0	2 2.4	20 24.4	18 22.0	21 25.6	16 19.5	2 2.4	2 2.4	0 0.0	1 1.2	82 100.0
大石南中学校区域	0 0.0	0 0.0	2 14.3	5 35.7	5 35.7	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0
瓦葺中学校区域	0 0.0	0 0.0	2 5.1	14 35.9	14 35.9	8 20.5	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	39 100.0
南中学校区域	0 0.0	0 0.0	7 12.3	16 28.1	24 42.1	6 10.5	1 1.8	3 5.3	0 0.0	0 0.0	57 100.0
大谷中学校区域	0 0.0	0 0.0	4 11.8	10 29.4	14 41.2	4 11.8	1 2.9	0 0.0	1 2.9	0 0.0	34 100.0
不明	0 0.0	0 0.0	4 11.1	7 19.4	16 44.4	4 11.1	1 2.8	4 11.1	0 0.0	0 0.0	36 100.0
合計	1 0.2	5 0.8	86 13.8	148 23.8	196 31.5	129 20.7	22 3.5	30 4.8	3 0.5	3 0.5	623 100.0



問10-1 35年後を見据えたときに、上尾市の学校施設としてどうしていくことが望ましいか

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	適正な児童生徒数・クラス数を維持するため統合を行う	別教室を無くす等に、体育館や特 設施設規模へ縮小する	その他	無回答	合計
中学校区域					
上尾中学校区域	39 62.9	17 27.4	5 8.1	1 1.6	62 100.0
太平中学校区域	21 53.8	12 30.8	4 10.3	2 5.1	39 100.0
大石中学校区域	43 54.4	29 36.7	7 8.9	0 0.0	79 100.0
原市中学校区域	24 50.0	19 39.6	5 10.4	0 0.0	48 100.0
上平中学校区域	42 58.3	24 33.3	6 8.3	0 0.0	72 100.0
西中学校区域	41 67.2	15 24.6	5 8.2	0 0.0	61 100.0
東中学校区域	46 56.1	24 29.3	10 12.2	2 2.4	82 100.0
大石南中学校区域	11 78.6	2 14.3	1 7.1	0 0.0	14 100.0
瓦葺中学校区域	27 69.2	9 23.1	3 7.7	0 0.0	39 100.0
南中学校区域	34 59.6	19 33.3	4 7.0	0 0.0	57 100.0
大谷中学校区域	24 70.6	7 20.6	3 8.8	0 0.0	34 100.0
不明	12 33.3	17 47.2	7 19.4	0 0.0	36 100.0
合計	364 58.4	194 31.1	60 9.6	5 0.8	623 100.0



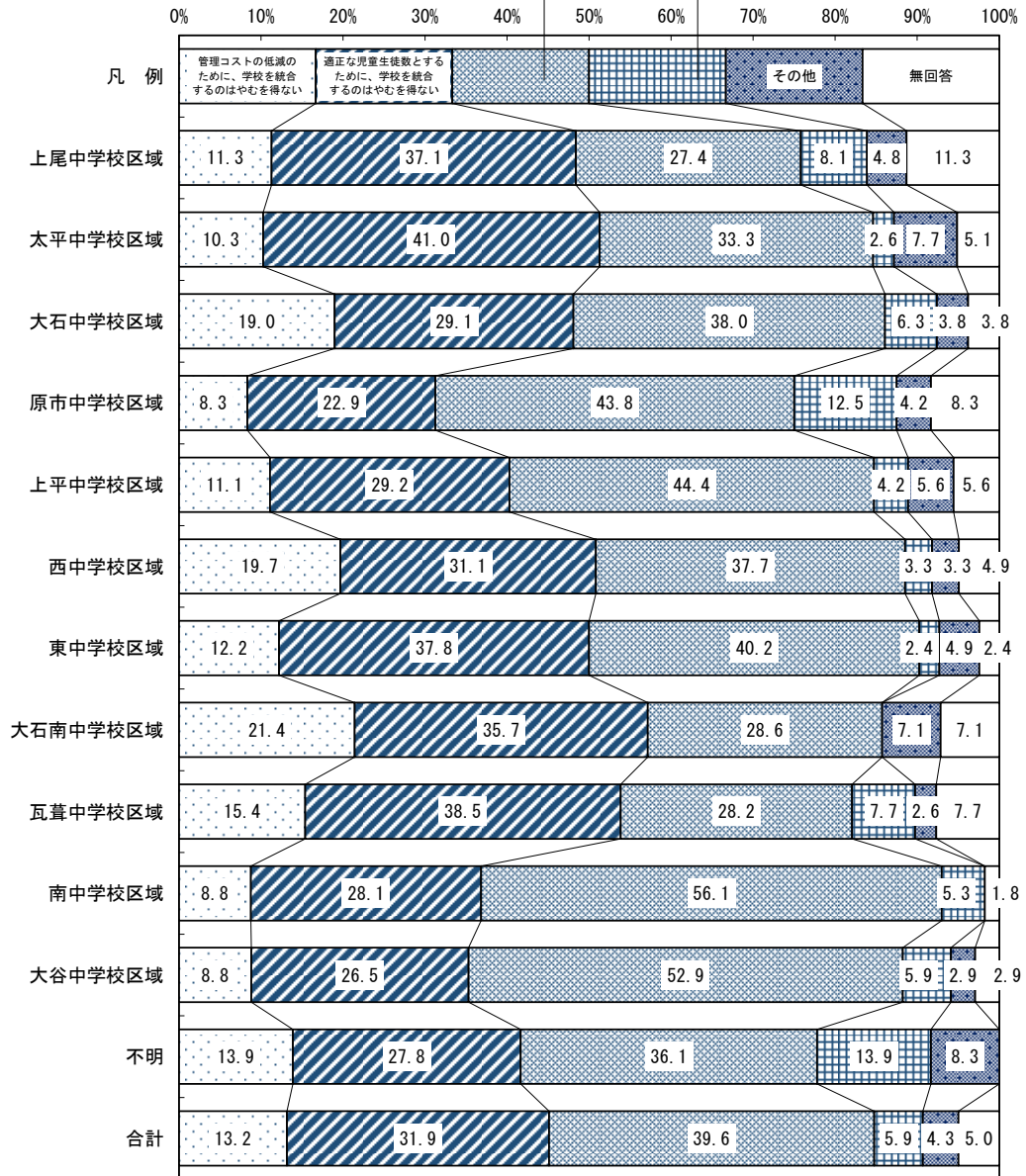
問 1 1-1 今後の学校更新方法について、学校を建て替える際の考え方

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

	学管理 校を統 合する の低減 のため に、得 ない	学適 校を統 合する の児童 生徒数 とする ため に、得 ない	見合 うは、 場合 は、廃 止も やむ を得 ない	現 在使 用し てい る学 校施 設が 使用 でき る	か い る 学 校 施 設 は す べ て 残 し、 多 額 の 費 用 を	そ の 他	無 回 答	合 計
中学校区域								
上尾中学校区域	7 11.3	23 37.1	17 27.4	5 8.1	3 4.8	7 11.3	62 100.0	
太平中学校区域	4 10.3	16 41.0	13 33.3	1 2.6	3 7.7	2 5.1	39 100.0	
大石中学校区域	15 19.0	23 29.1	30 38.0	5 6.3	3 3.8	3 3.8	79 100.0	
原市中学校区域	4 8.3	11 22.9	21 43.8	6 12.5	2 4.2	4 8.3	48 100.0	
上平中学校区域	8 11.1	21 29.2	32 44.4	3 4.2	4 5.6	4 5.6	72 100.0	
西中学校区域	12 19.7	19 31.1	23 37.7	2 3.3	2 3.3	3 4.9	61 100.0	
東中学校区域	10 12.2	31 37.8	33 40.2	2 2.4	4 4.9	2 2.4	82 100.0	
大石南中学校区域	3 21.4	5 35.7	4 28.6	0 0.0	1 7.1	1 7.1	14 100.0	
瓦葺中学校区域	6 15.4	15 38.5	11 28.2	3 7.7	1 2.6	3 7.7	39 100.0	
南中学校区域	5 8.8	16 28.1	32 56.1	3 5.3	0 0.0	1 1.8	57 100.0	
大谷中学校区域	3 8.8	9 26.5	18 52.9	2 5.9	1 2.9	1 2.9	34 100.0	
不明	5 13.9	10 27.8	13 36.1	5 13.9	3 8.3	0 0.0	36 100.0	
合計	82 13.2	199 31.9	247 39.6	37 5.9	27 4.3	31 5.0	623 100.0	

現在使用している学校施設が使用できる  
うちは残すべきであるが、児童生徒数に  
見合わない多額の建て替え費用がかかる  
場合は、廃止もやむを得ない

児童生徒数が減少しても通う児童生徒  
がいる限り、統合は実施せず現在使用して  
いる学校施設はすべて残し、多額の費用を  
かけても建て替えすべき



n=623

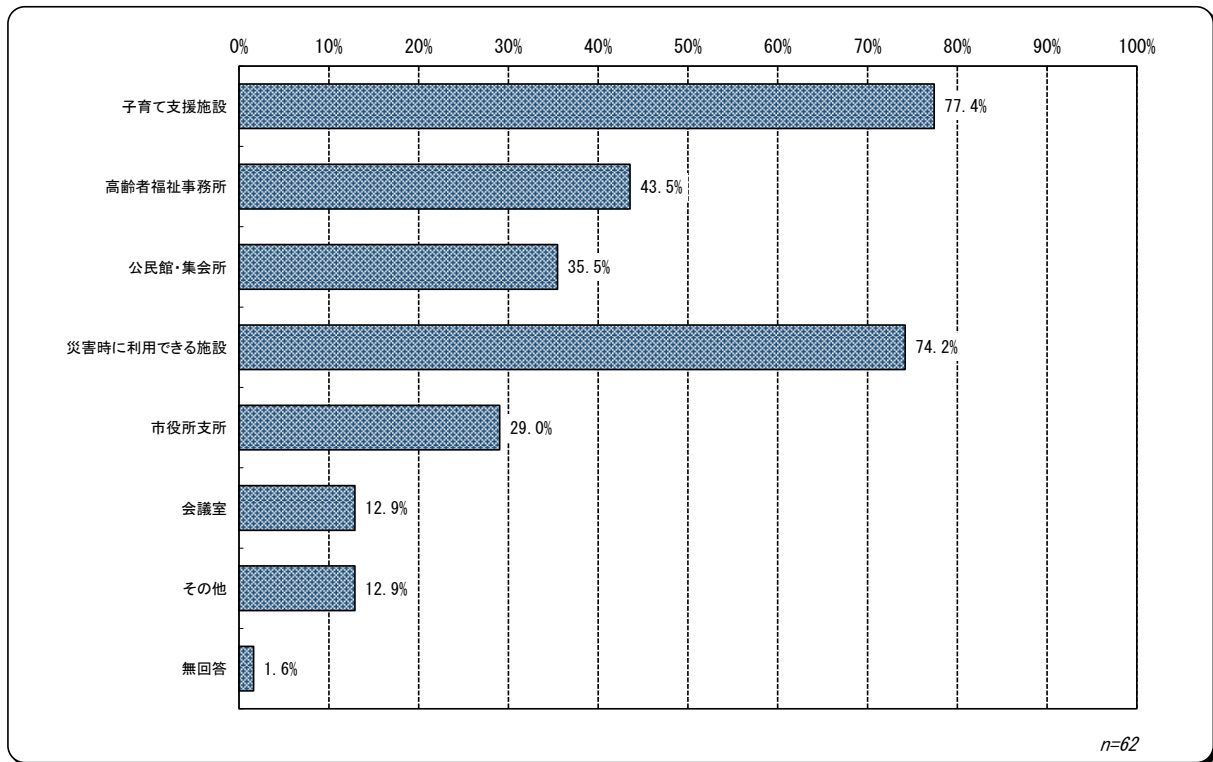
問 1 2 お住いの地区にある学校施設で、今後どのような新しい活用の仕方ができるか  
 [当てはまるもの3つ]

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

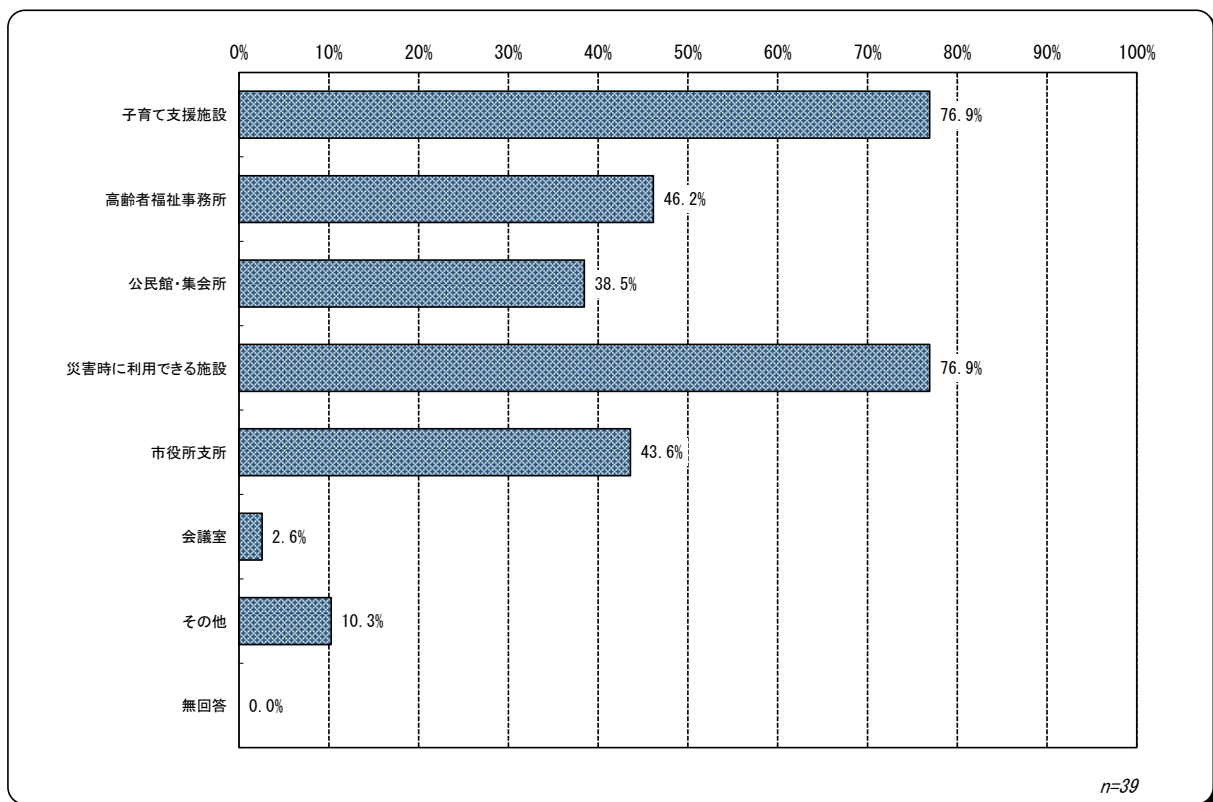
	子育て支援施設	高齢者福祉事務所	公民館・集会所	災害時に利用できる施設	市役所支所	会議室	その他	無回答	合計
中学校区域									
上尾中学校区域	48 77.4	27 43.5	22 35.5	46 74.2	18 29.0	8 12.9	8 12.9	1 1.6	62 100.0
太平中学校区域	30 76.9	18 46.2	15 38.5	30 76.9	17 43.6	1 2.6	4 10.3	0 0.0	39 100.0
大石中学校区域	57 72.2	29 36.7	32 40.5	67 84.8	24 30.4	11 13.9	12 15.2	0 0.0	79 100.0
原市中学校区域	38 79.2	16 33.3	18 37.5	44 91.7	13 27.1	5 10.4	6 12.5	0 0.0	48 100.0
上平中学校区域	61 84.7	30 41.7	30 41.7	56 77.8	16 22.2	3 4.2	13 18.1	1 1.4	72 100.0
西中学校区域	48 78.7	21 34.4	25 41.0	49 80.3	13 21.3	9 14.8	10 16.4	1 1.6	61 100.0
東中学校区域	66 80.5	29 35.4	34 41.5	64 78.0	9 11.0	12 14.6	13 15.9	3 3.7	82 100.0
大石南中学校区域	11 78.6	6 42.9	5 35.7	13 92.9	1 7.1	2 14.3	2 14.3	0 0.0	14 100.0
瓦葺中学校区域	35 89.7	17 43.6	14 35.9	32 82.1	11 28.2	2 5.1	5 12.8	0 0.0	39 100.0
南中学校区域	49 86.0	29 50.9	19 33.3	47 82.5	12 21.1	6 10.5	8 14.0	0 0.0	57 100.0
大谷中学校区域	25 73.5	12 35.3	15 44.1	27 79.4	9 26.5	4 11.8	5 14.7	1 2.9	34 100.0
不明	18 50.0	12 33.3	12 33.3	23 63.9	5 13.9	4 11.1	1 2.8	9 25.0	36 100.0
合計	486 78.0	246 39.5	241 38.7	498 79.9	148 23.8	67 10.8	87 14.0	16 2.6	623 100.0



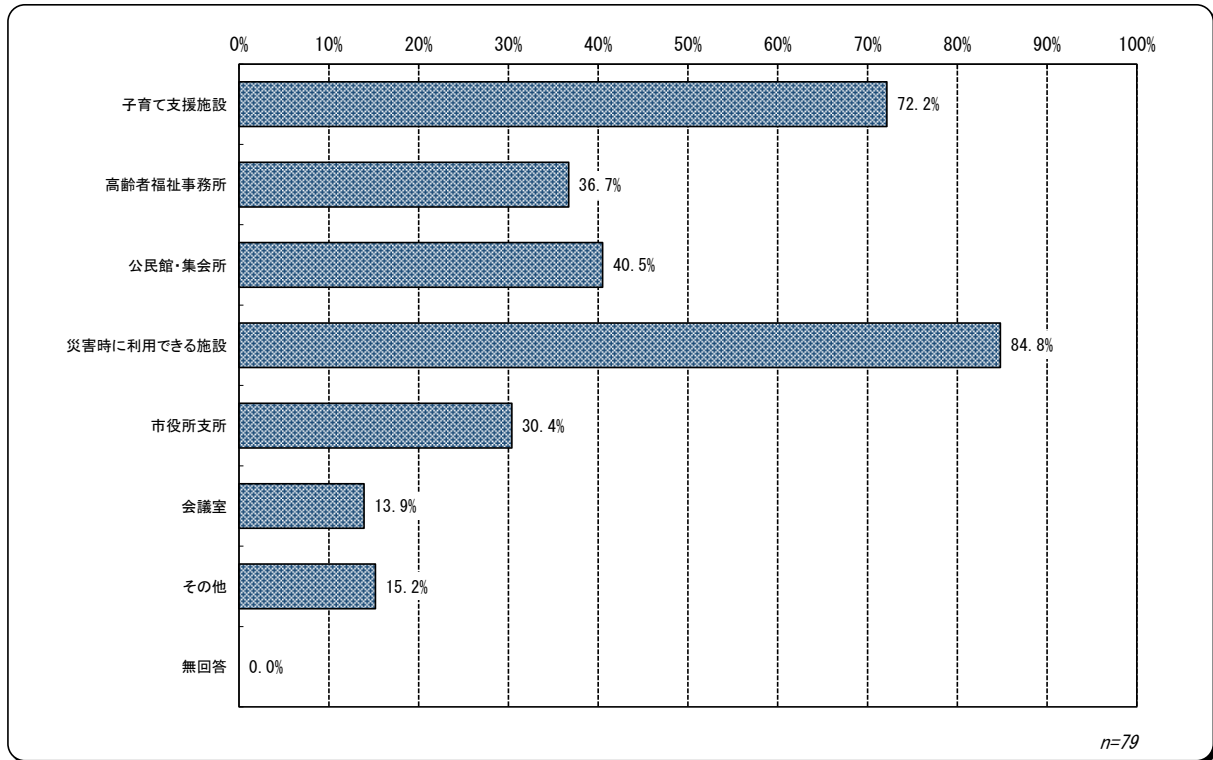
<上尾中学校区域>



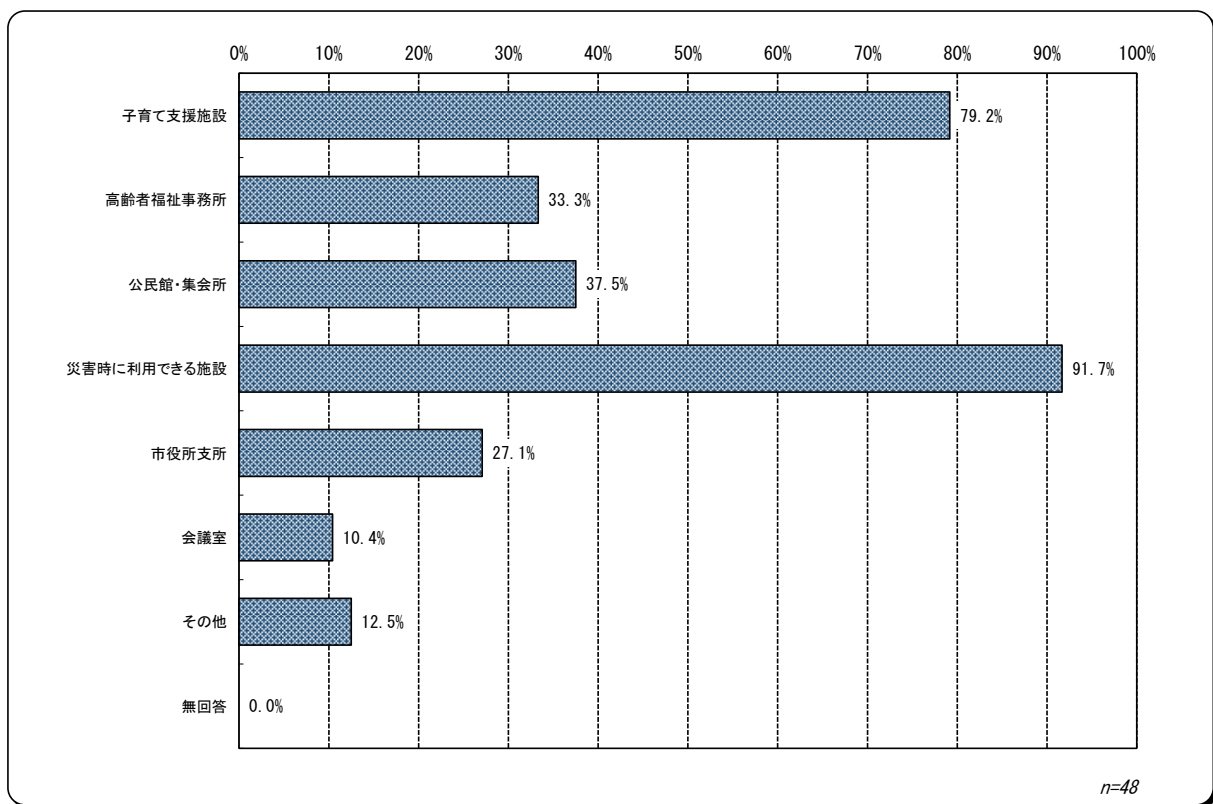
<太平中学校区域>



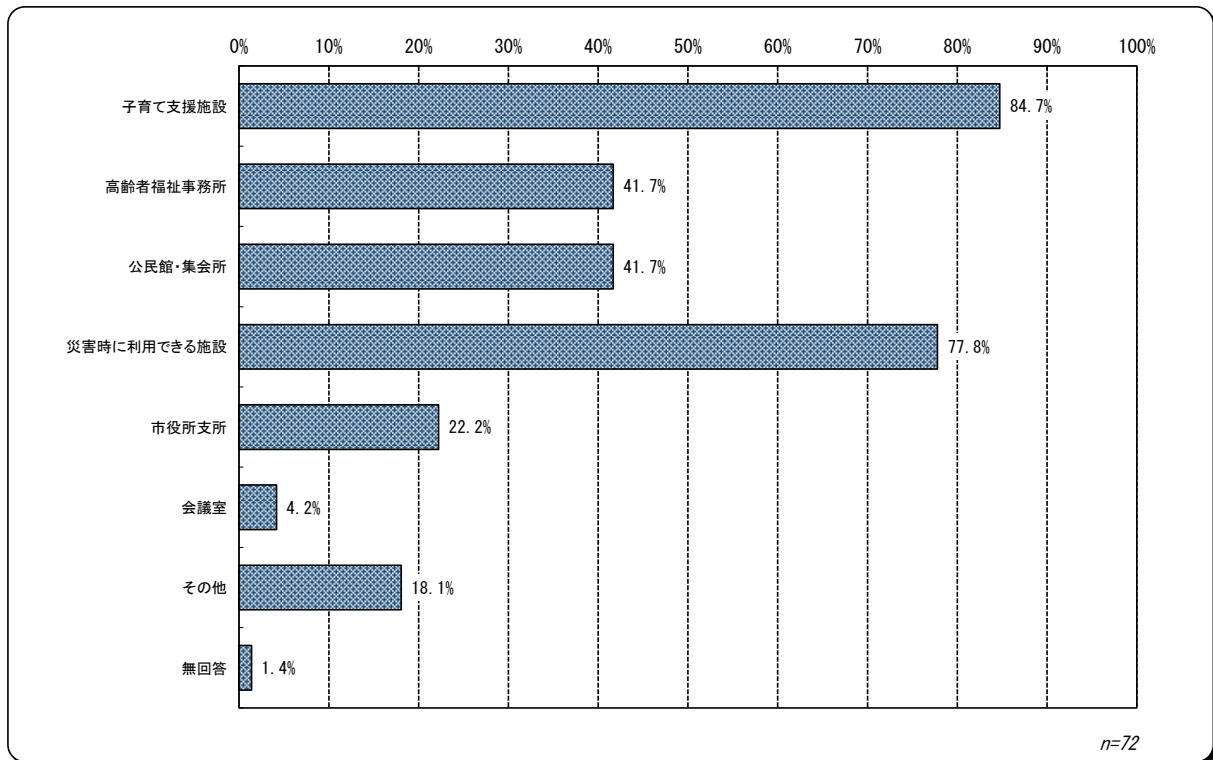
<大石中学校区域>



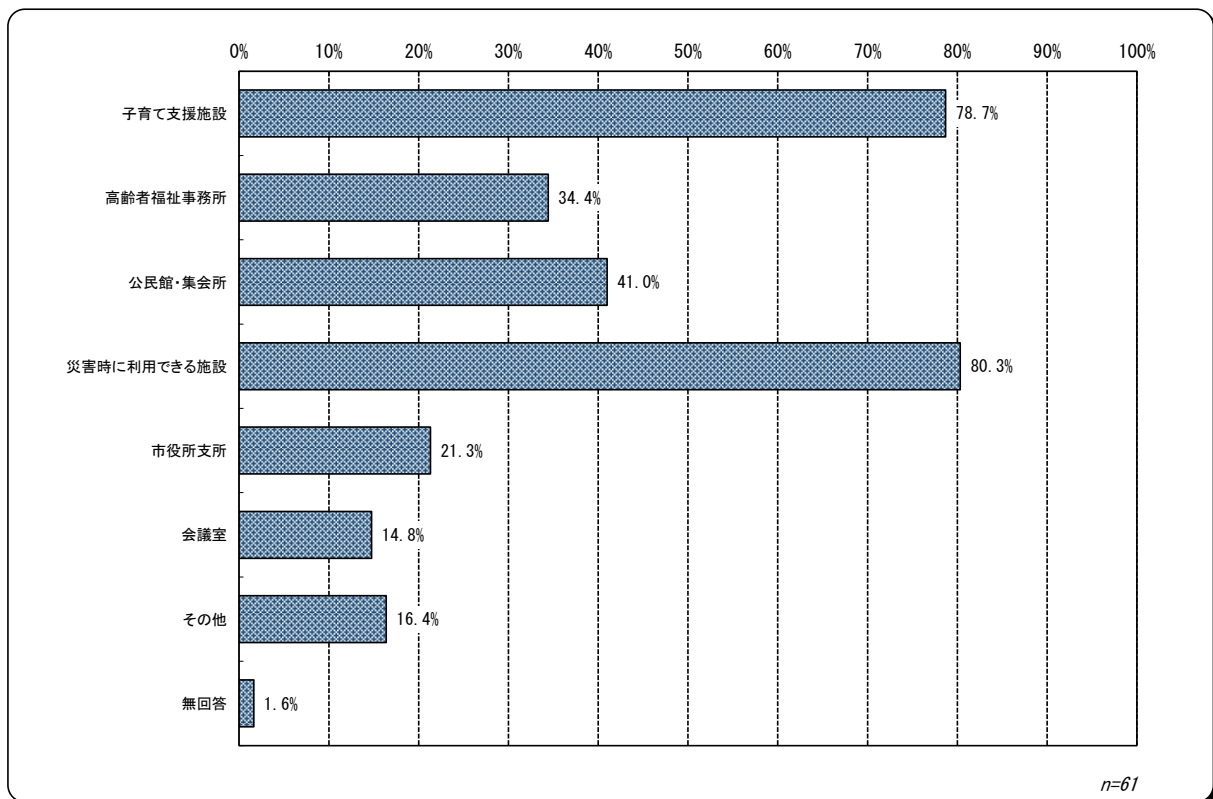
<原市中学校区域>



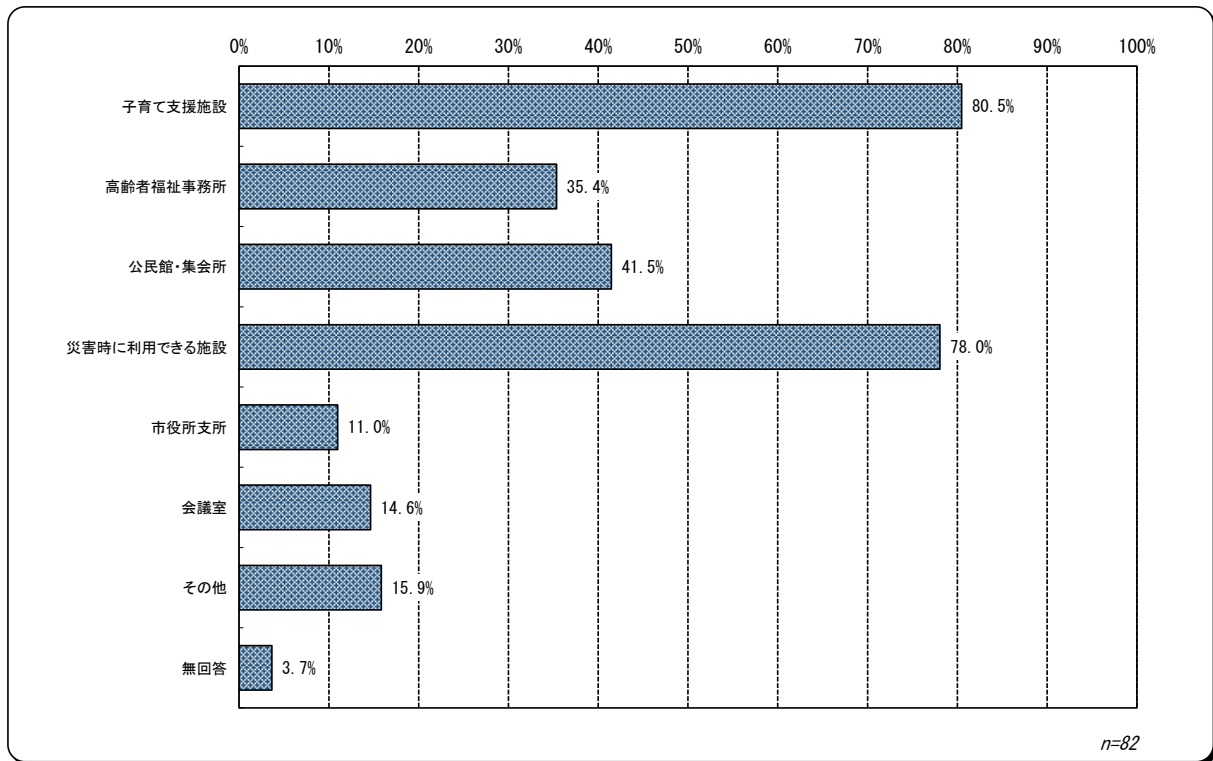
<上平中学校区域>



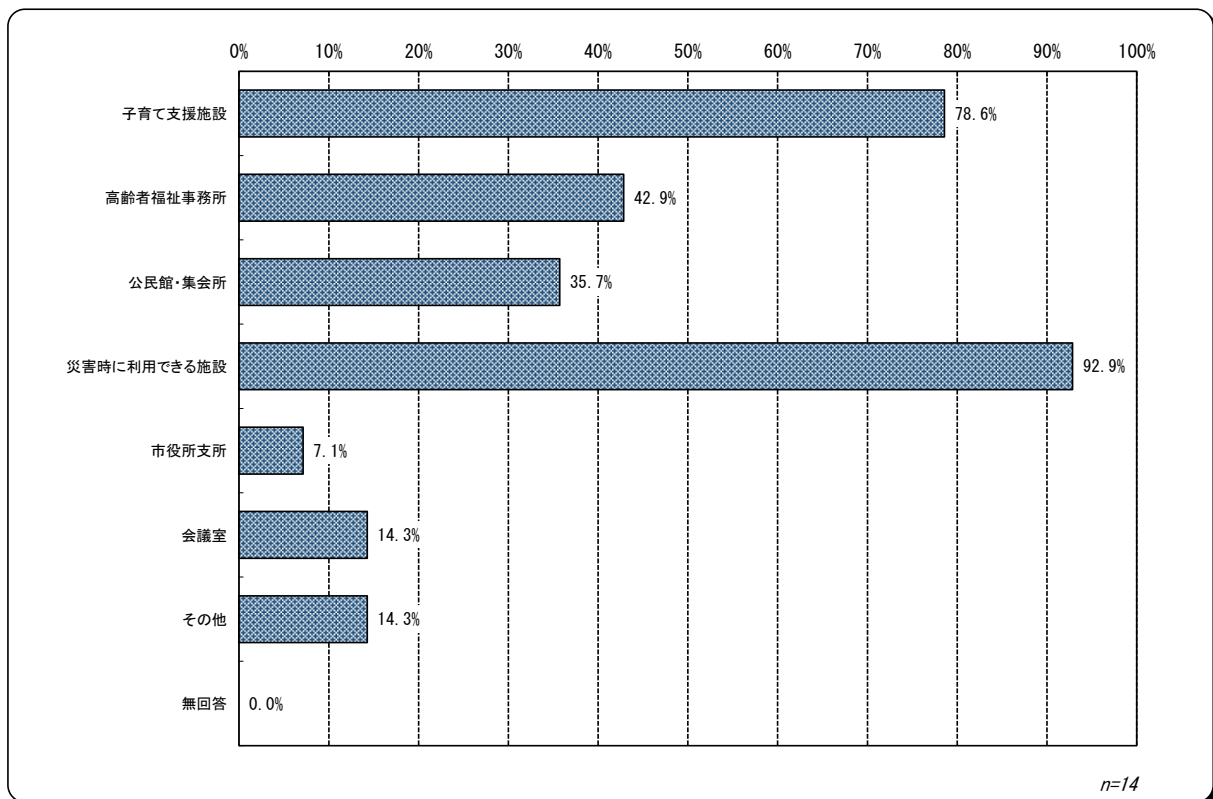
<西中学校区域>



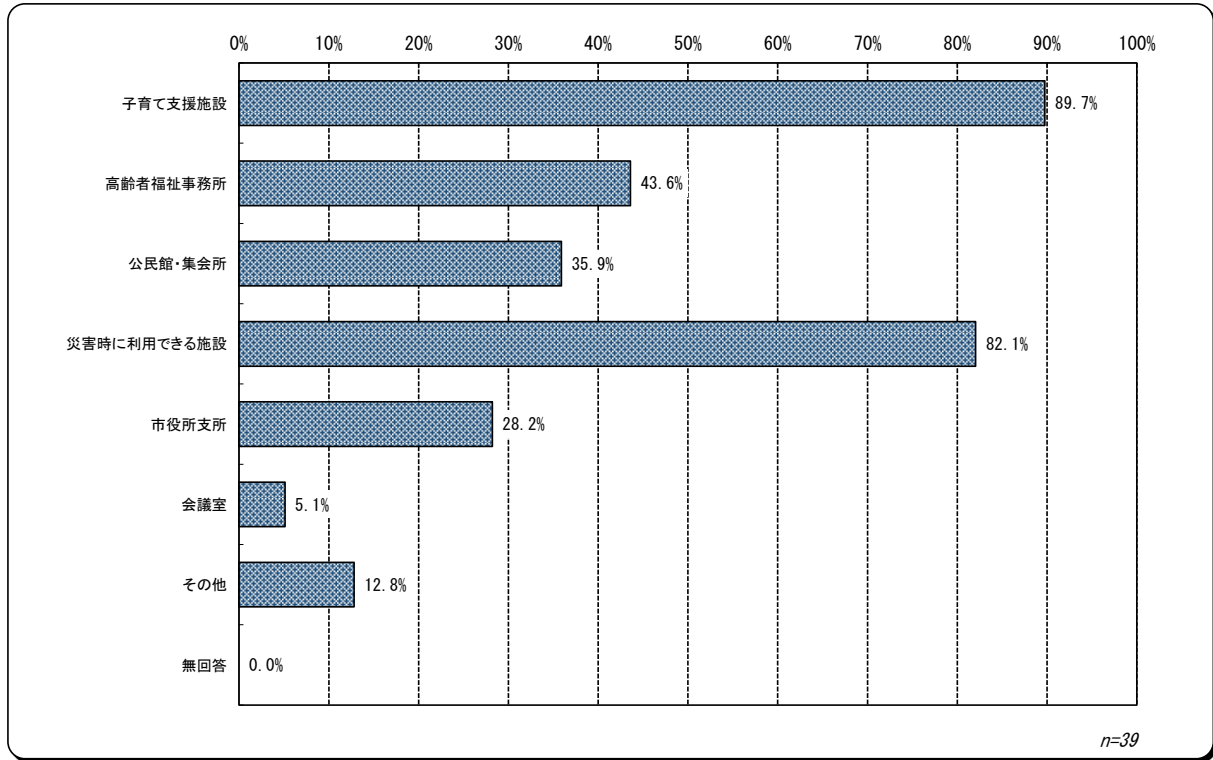
<東中学校区域>



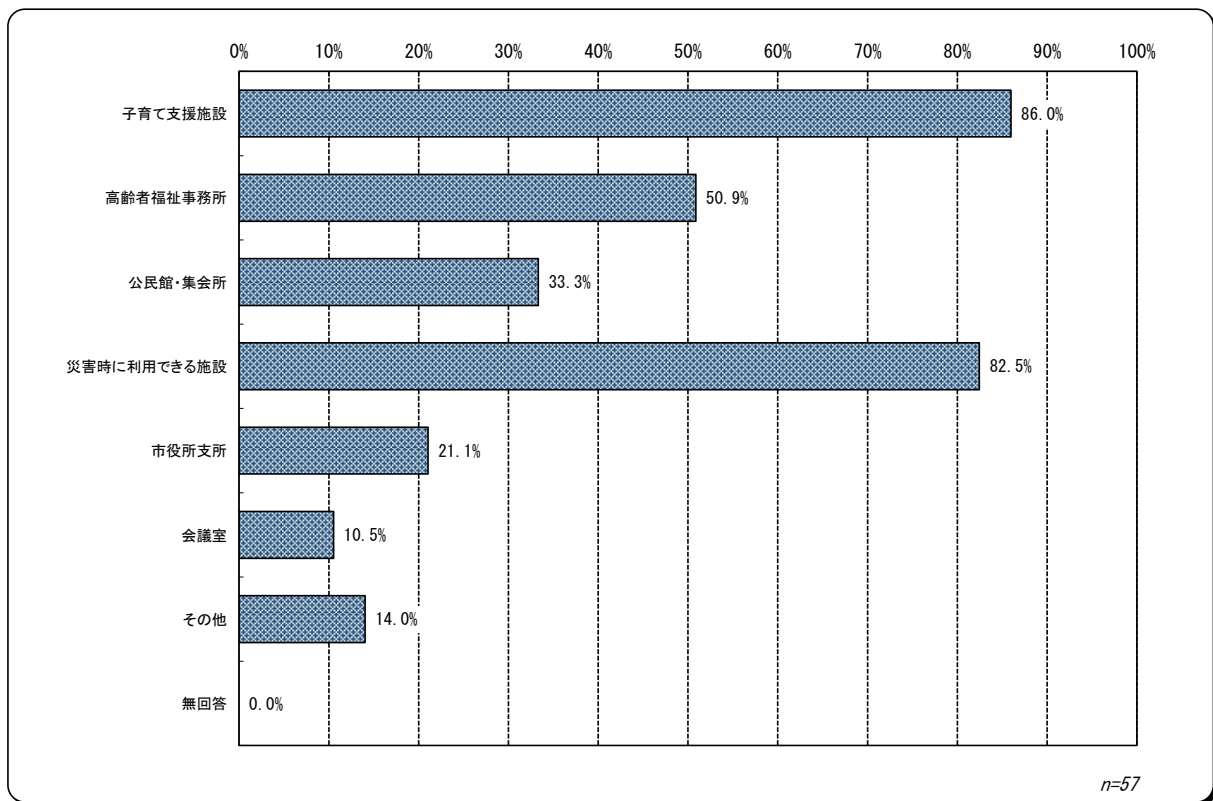
<大石南中学校区域>



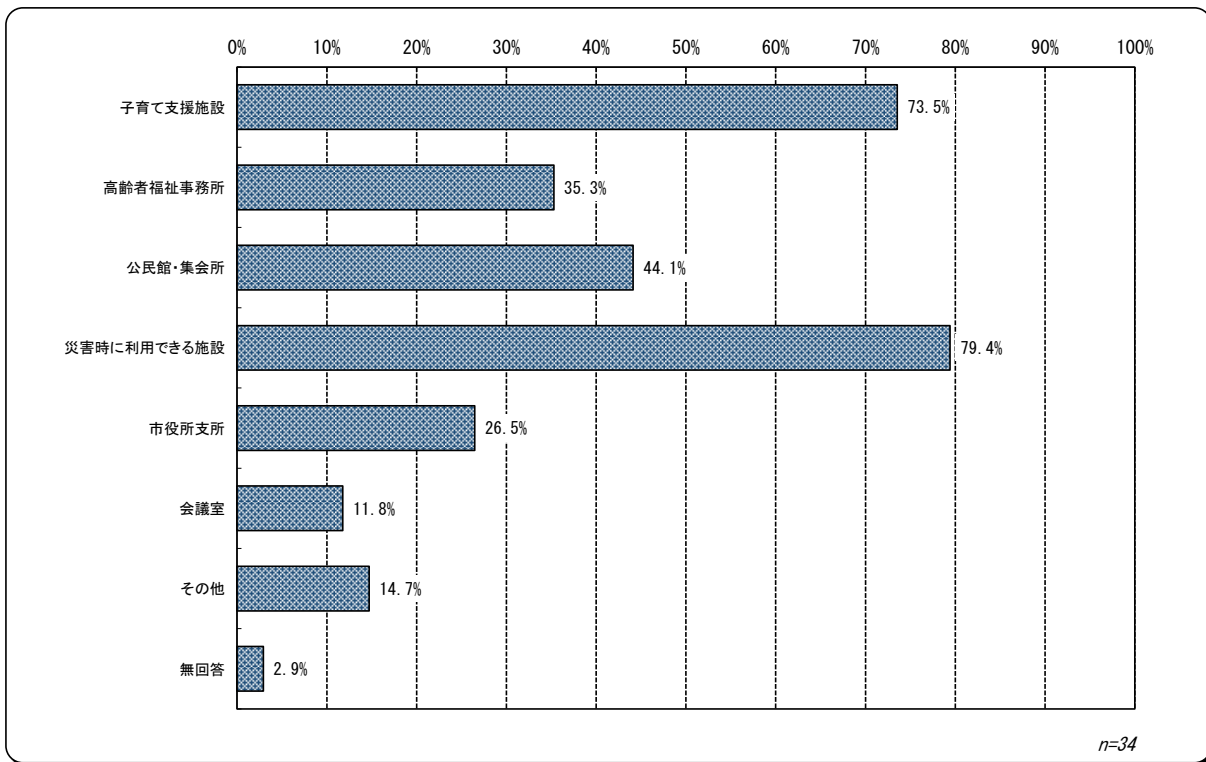
<瓦葺中学校区域>



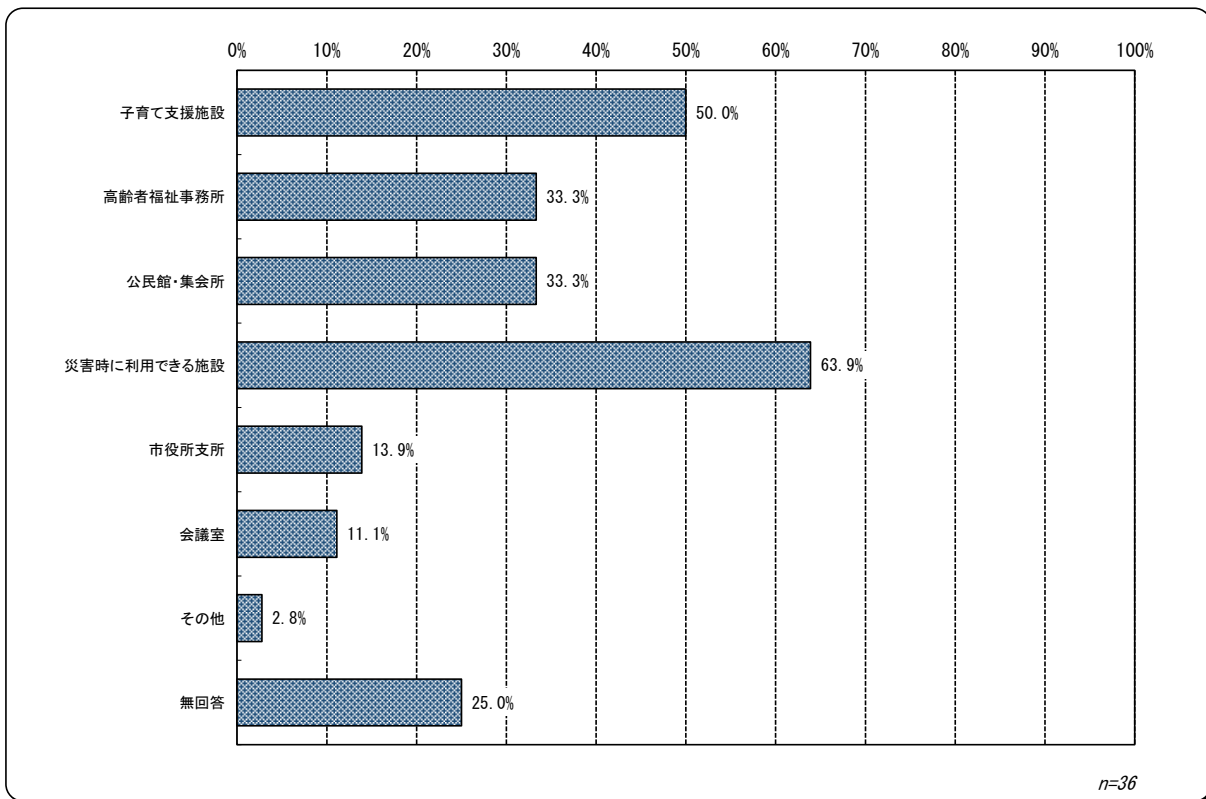
<南中学校区域>



<大谷中学校区域>



<不明>

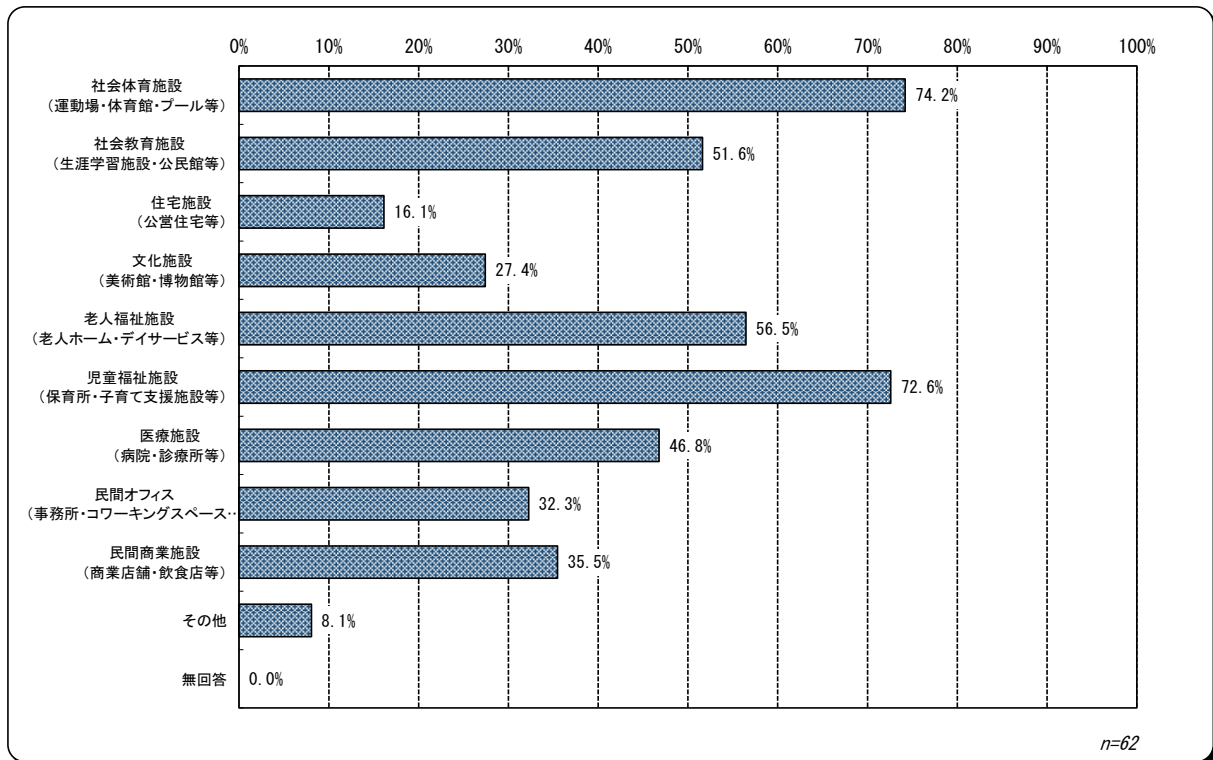


問15 学校施設を廃校とした場合の学校跡地について、どのような施設として活用することが望ましいか [当てはまるものすべて]

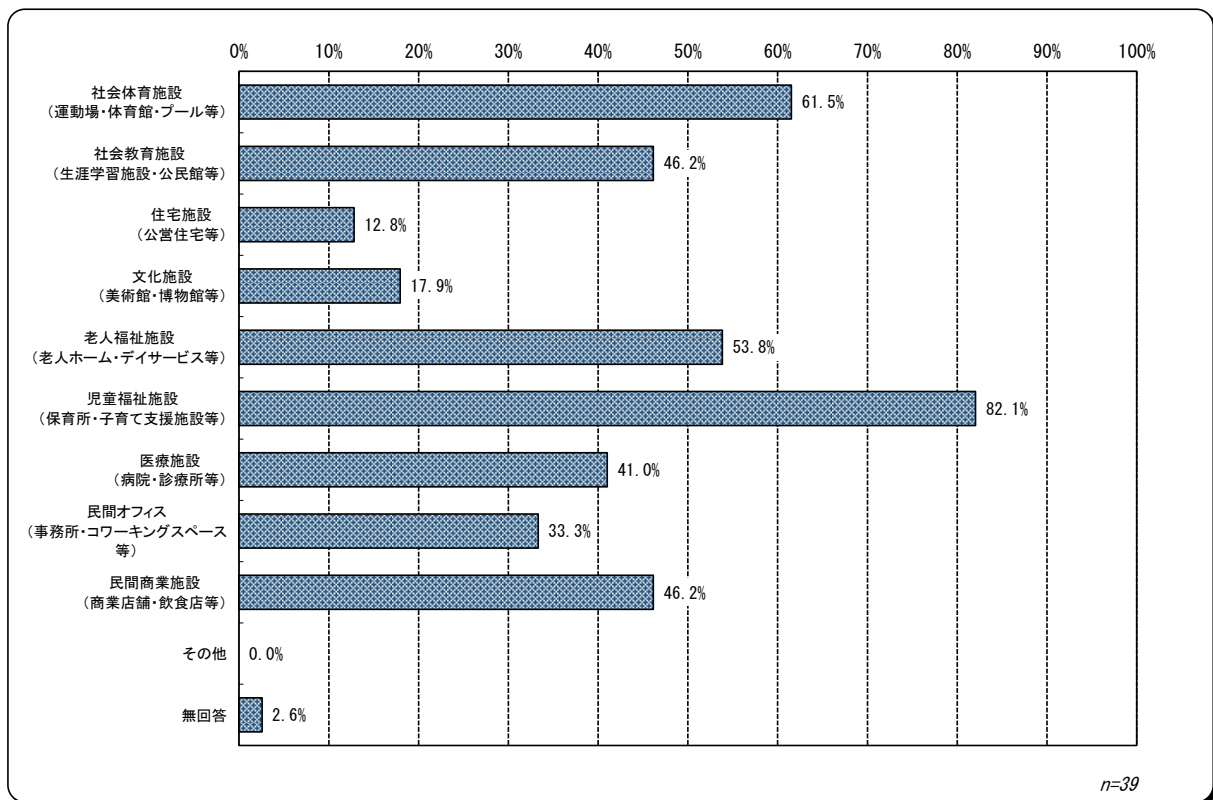
[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	社会体育施設 (運動場・体育館・プール等)	社会教育施設 (生涯学習施設・公民館等)	住宅施設 (公営住宅等)	文化施設 (美術館・博物館等)	老人福祉施設 (老人ホーム・デイサービス等)	児童福祉施設 (保育所・子育て支援施設等)	医療施設 (病院・診療所等)	民間オフィス (事務所・コワーキングスペース等)	民間商業施設 (商業店舗・飲食店等)	その他	無回答	合計
中学校区域												
上尾中学校区域	46 74.2	32 51.6	10 16.1	17 27.4	35 56.5	45 72.6	29 46.8	20 32.3	22 35.5	5 8.1	0 0.0	62 100.0
太平中学校区域	24 61.5	18 46.2	5 12.8	7 17.9	21 53.8	32 82.1	16 41.0	13 33.3	18 46.2	0 0.0	1 2.6	39 100.0
大石中学校区域	52 65.8	32 40.5	9 11.4	19 24.1	39 49.4	56 70.9	35 44.3	19 24.1	22 27.8	7 8.9	1 1.3	79 100.0
原市中学校区域	37 77.1	24 50.0	7 14.6	12 25.0	20 41.7	35 72.9	24 50.0	11 22.9	18 37.5	2 4.2	0 0.0	48 100.0
上平中学校区域	54 75.0	42 58.3	8 11.1	18 25.0	33 45.8	53 73.6	31 43.1	17 23.6	26 36.1	5 6.9	0 0.0	72 100.0
西中学校区域	37 60.7	29 47.5	11 18.0	16 26.2	29 47.5	40 65.6	30 49.2	14 23.0	17 27.9	6 9.8	0 0.0	61 100.0
東中学校区域	54 65.9	36 43.9	14 17.1	23 28.0	41 50.0	60 73.2	36 43.9	19 23.2	29 35.4	7 8.5	1 1.2	82 100.0
大石南中学校区域	9 64.3	6 42.9	2 14.3	3 21.4	6 42.9	8 57.1	7 50.0	3 21.4	3 21.4	1 7.1	0 0.0	14 100.0
瓦葺中学校区域	31 79.5	15 38.5	5 12.8	10 25.6	16 41.0	31 79.5	21 53.8	9 23.1	16 41.0	3 7.7	0 0.0	39 100.0
南中学校区域	39 68.4	29 50.9	9 15.8	13 22.8	28 49.1	45 78.9	27 47.4	16 28.1	20 35.1	3 5.3	0 0.0	57 100.0
大谷中学校区域	21 61.8	14 41.2	4 11.8	7 20.6	13 38.2	19 55.9	17 50.0	4 11.8	6 17.6	3 8.8	1 2.9	34 100.0
不明	15 41.7	12 33.3	1 2.8	6 16.7	9 25.0	16 44.4	11 30.6	7 19.4	6 16.7	2 5.6	11 30.6	36 100.0
合計	419 67.3	289 46.4	85 13.6	151 24.2	290 46.5	440 70.6	284 45.6	152 24.4	203 32.6	44 7.1	15 2.4	623 100.0

<上尾中学校区域>

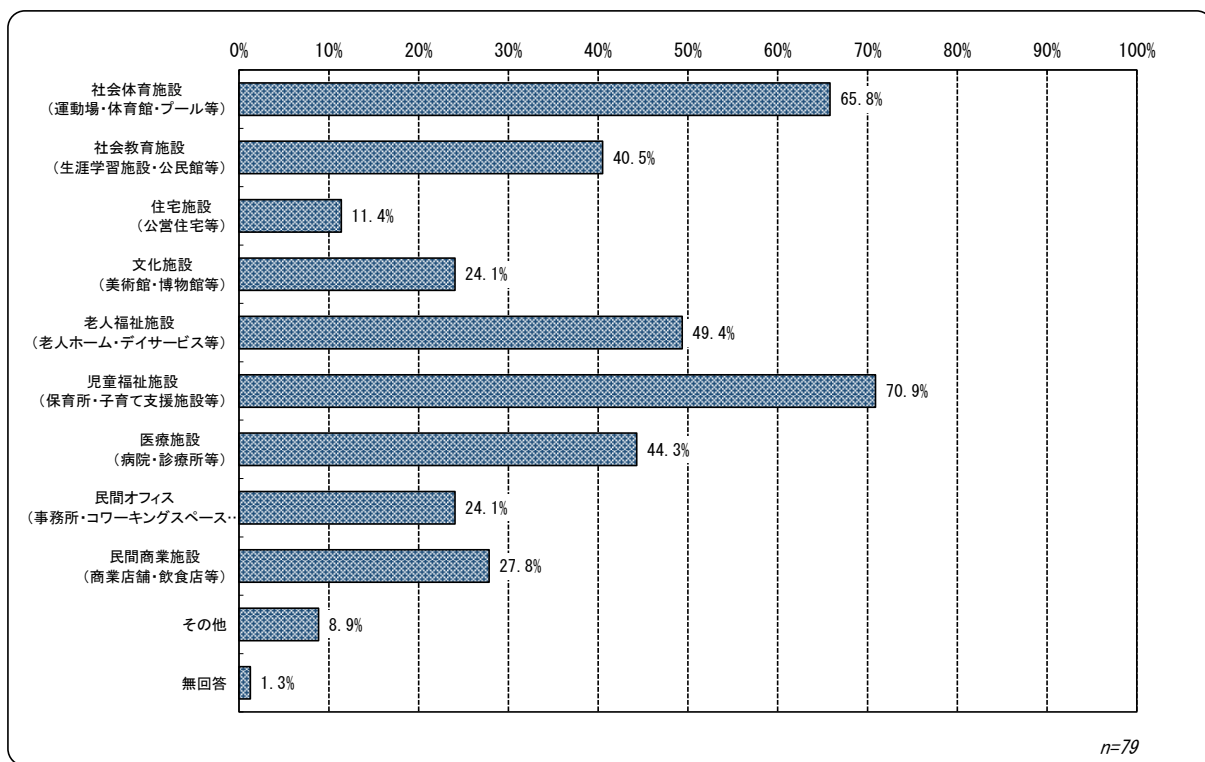


<太平中学校区域>

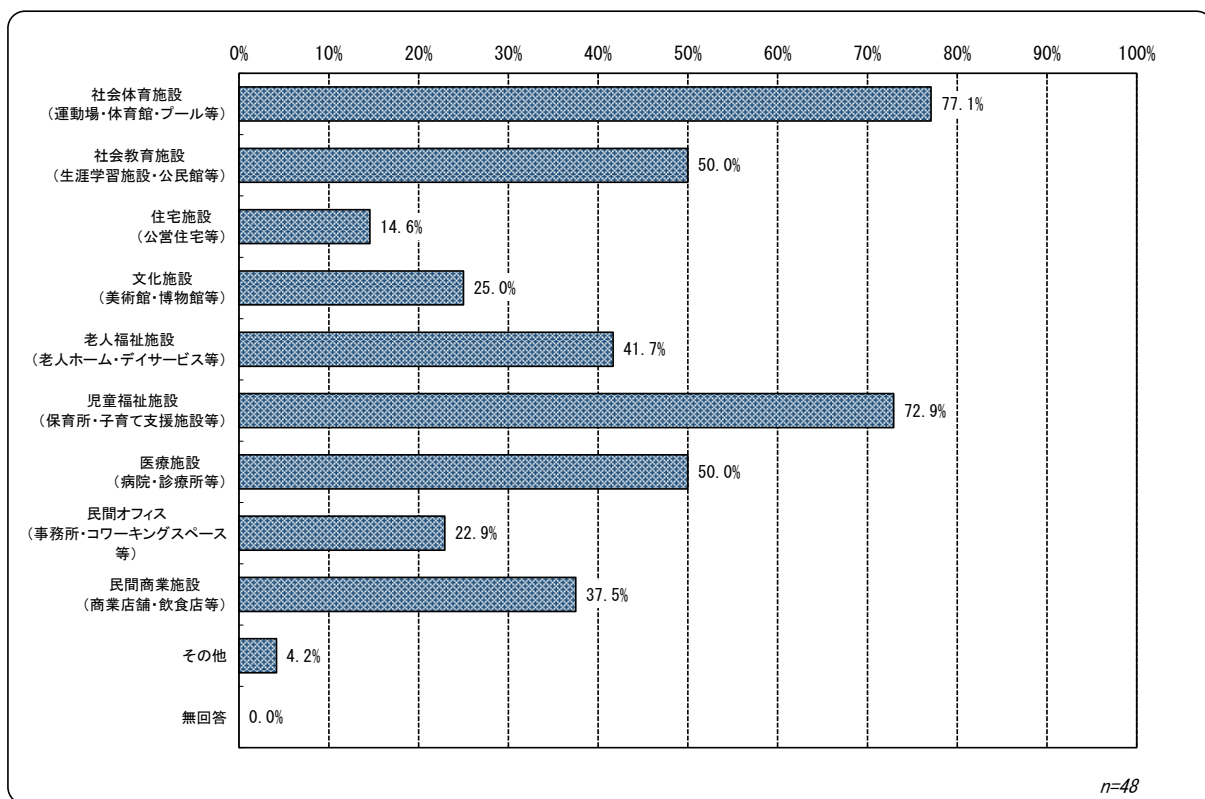




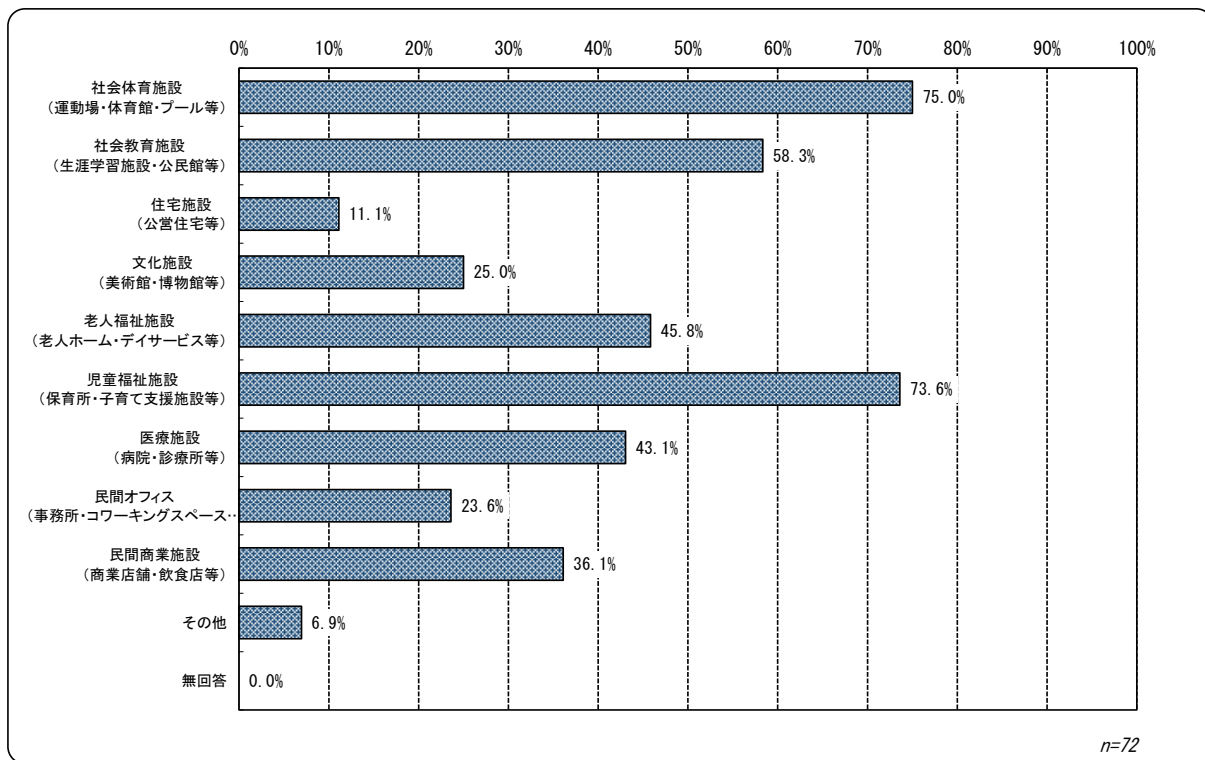
<大石中学校区域>



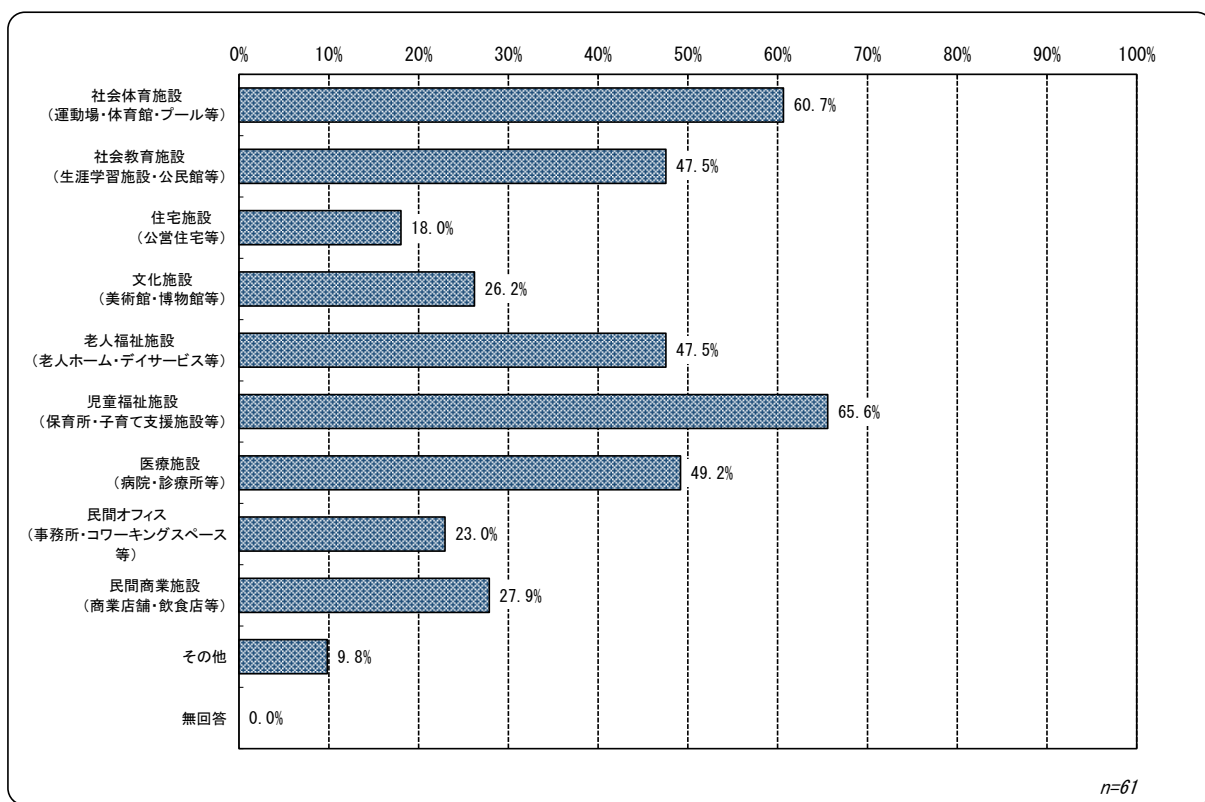
<原市中学校区域>



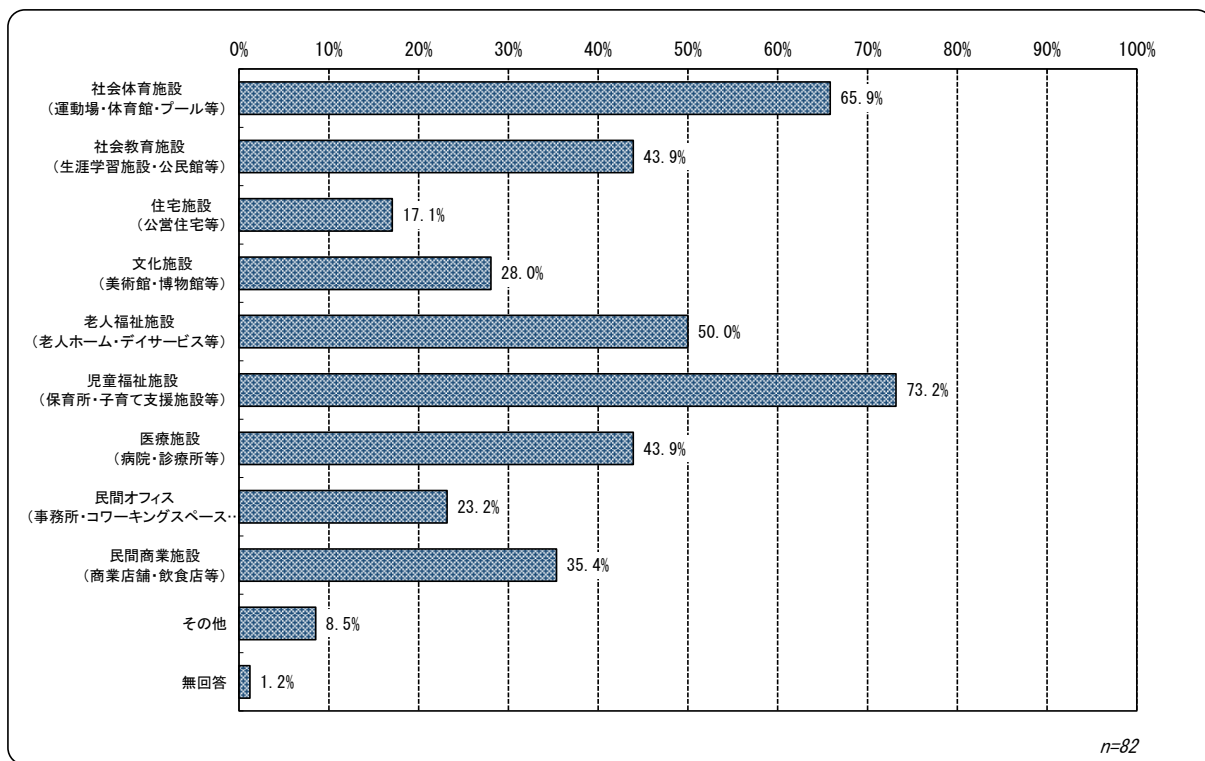
<上平中学校区域>



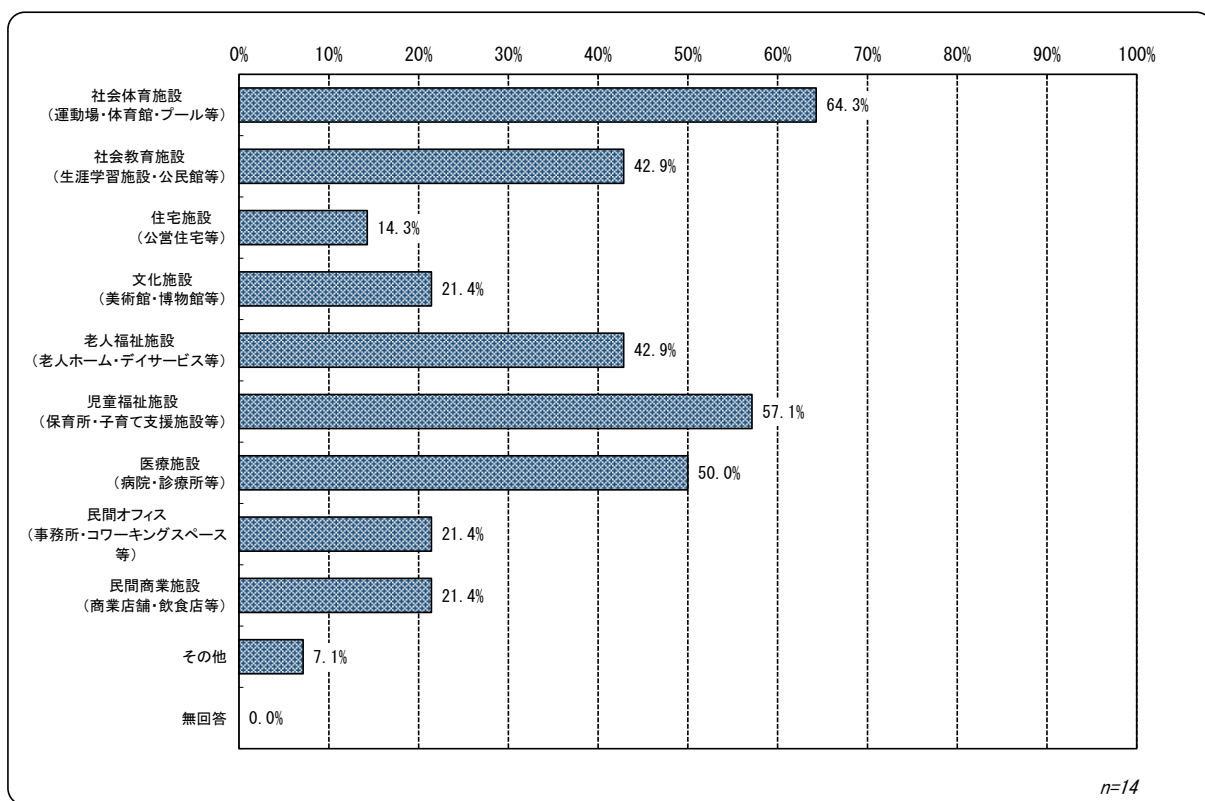
<西中学校区域>



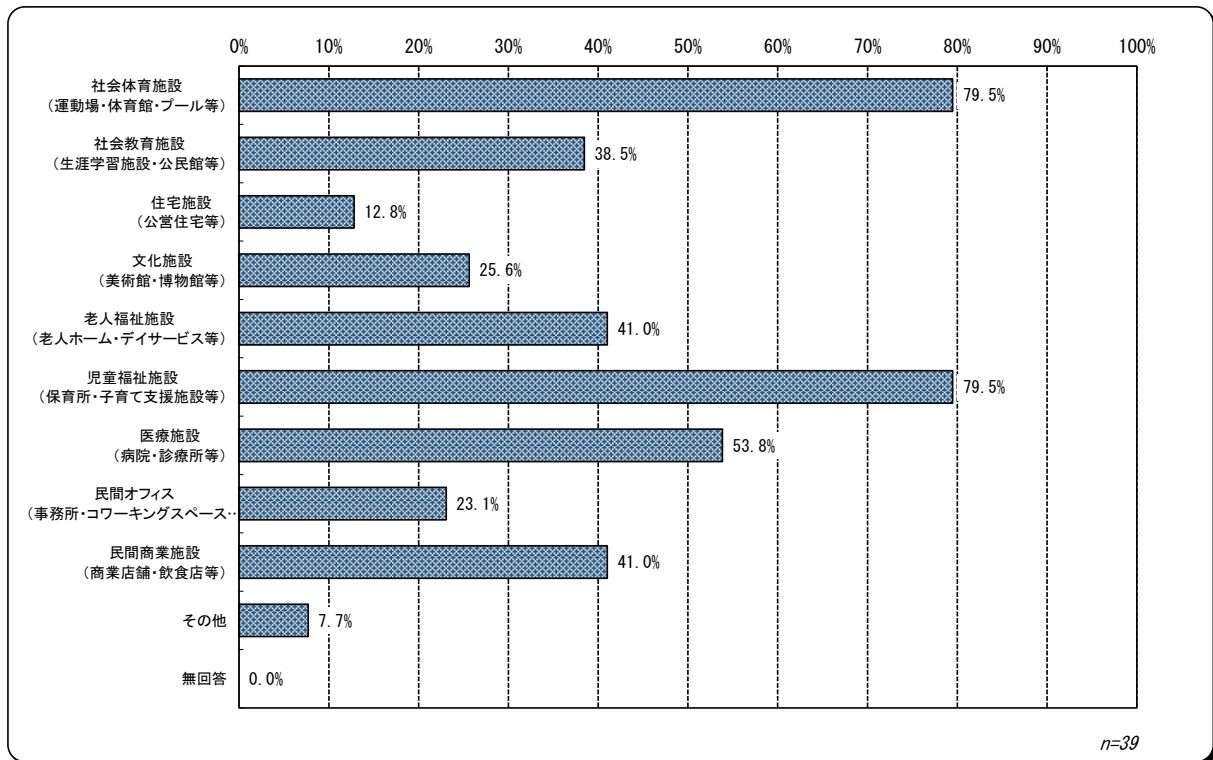
<東中学校区域>



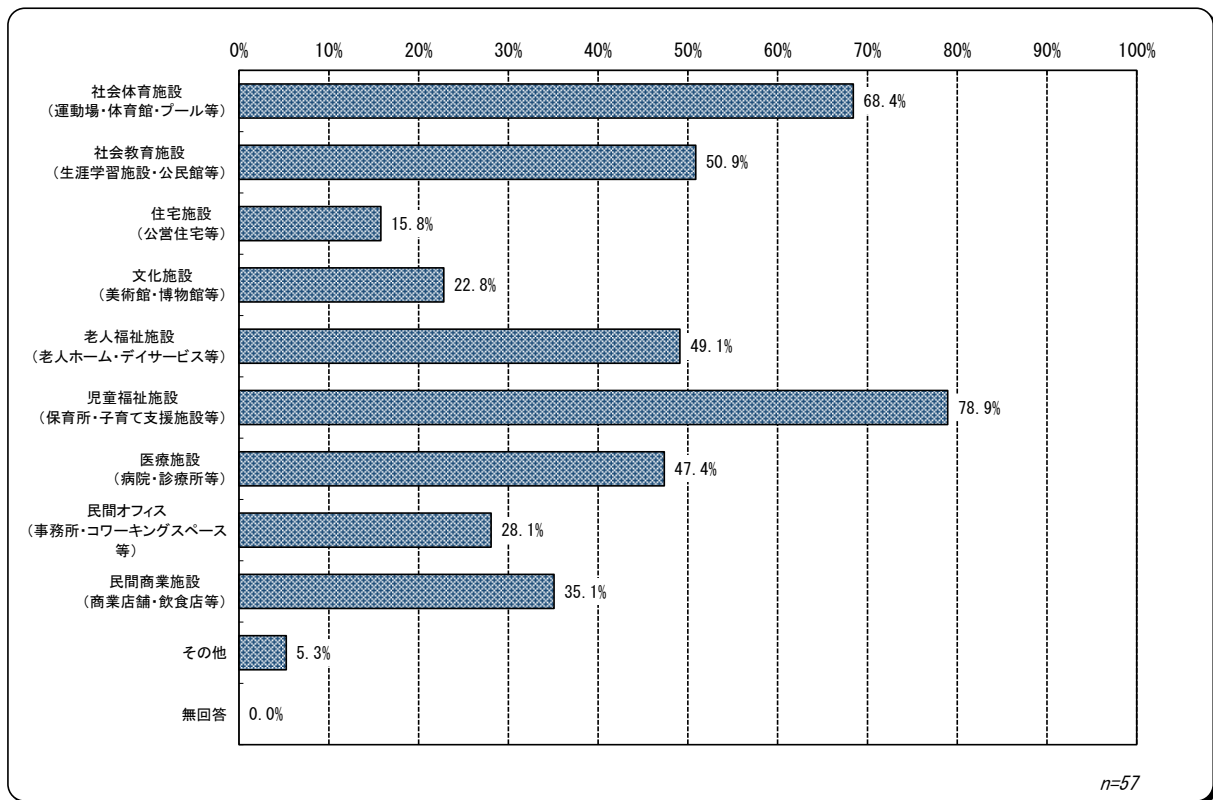
<大石南中学校区域>



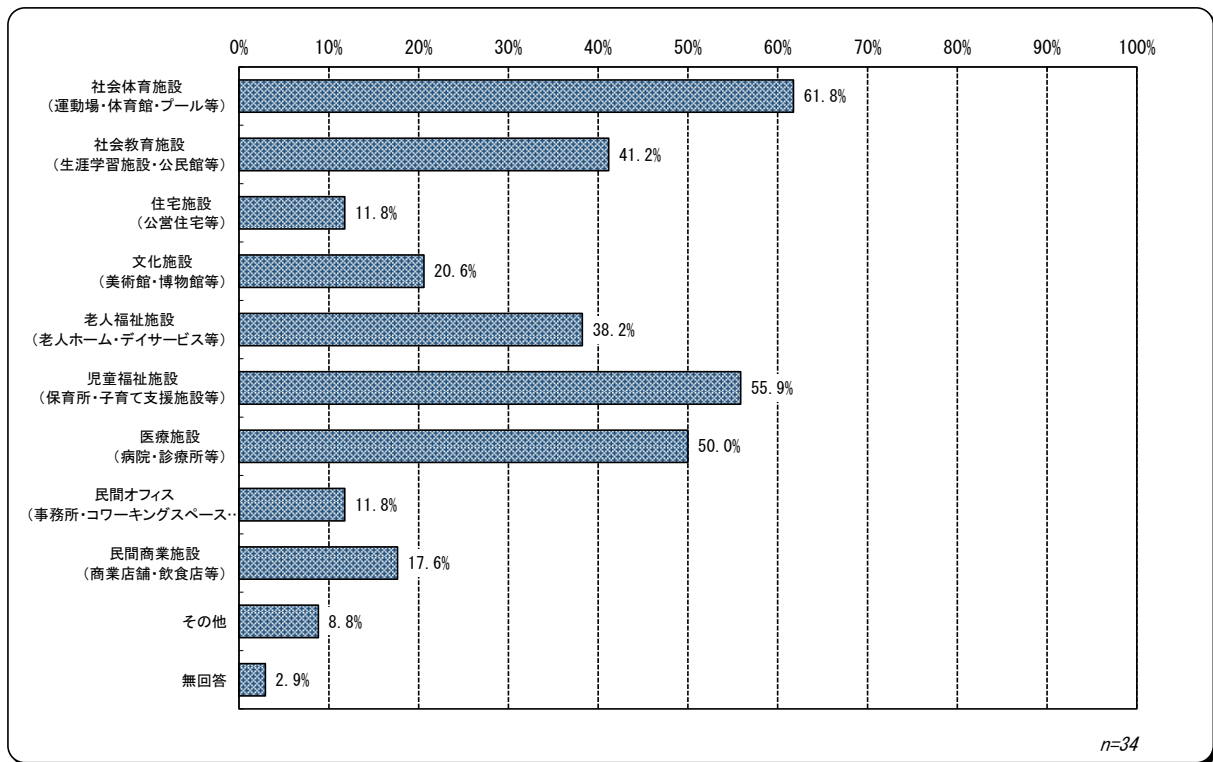
<瓦葺中学校区域>



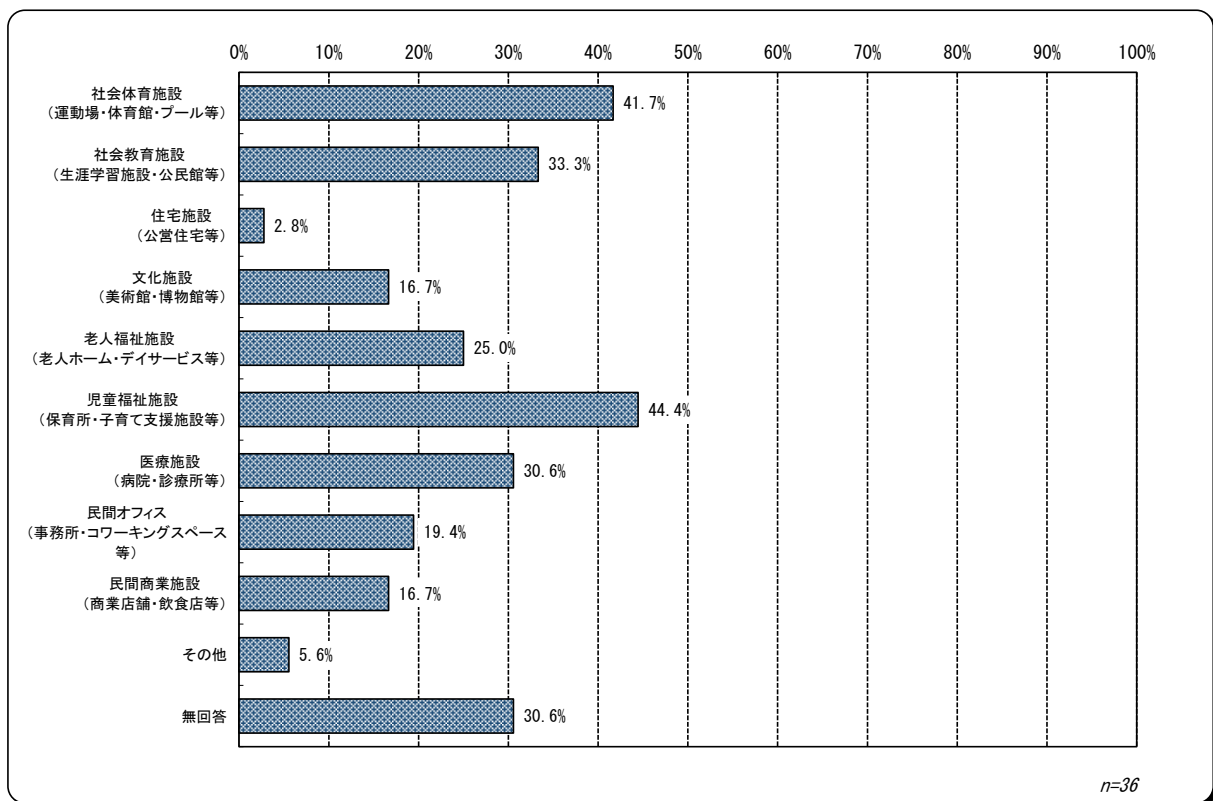
<南中学校区域>



<大谷中学校区域>



<不明>



問17 小中一貫教育は、これからの学校教育として必要か

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

	必要だと思う	やや必要だと思う	どちらでもない	やや必要だと思わない	必要だと思わない	無回答	合計
中学校区域							
上尾中学校区域	18 29.0	16 25.8	18 29.0	6 9.7	3 4.8	1 1.6	62 100.0
太平中学校区域	14 35.9	14 35.9	7 17.9	3 7.7	0 0.0	1 2.6	39 100.0
大石中学校区域	20 25.3	27 34.2	20 25.3	7 8.9	5 6.3	0 0.0	79 100.0
原市中学校区域	18 37.5	16 33.3	9 18.8	3 6.3	1 2.1	1 2.1	48 100.0
上平中学校区域	17 23.6	29 40.3	15 20.8	7 9.7	4 5.6	0 0.0	72 100.0
西中学校区域	19 31.1	12 19.7	26 42.6	4 6.6	0 0.0	0 0.0	61 100.0
東中学校区域	22 26.8	24 29.3	25 30.5	5 6.1	5 6.1	1 1.2	82 100.0
大石南中学校区域	3 21.4	3 21.4	7 50.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	14 100.0
瓦葺中学校区域	6 15.4	17 43.6	10 25.6	5 12.8	1 2.6	0 0.0	39 100.0
南中学校区域	14 24.6	22 38.6	13 22.8	5 8.8	3 5.3	0 0.0	57 100.0
大谷中学校区域	11 32.4	11 32.4	7 20.6	3 8.8	2 5.9	0 0.0	34 100.0
不明	4 11.1	9 25.0	6 16.7	1 2.8	4 11.1	12 33.3	36 100.0
合計	166 26.6	200 32.1	163 26.2	50 8.0	28 4.5	16 2.6	623 100.0

